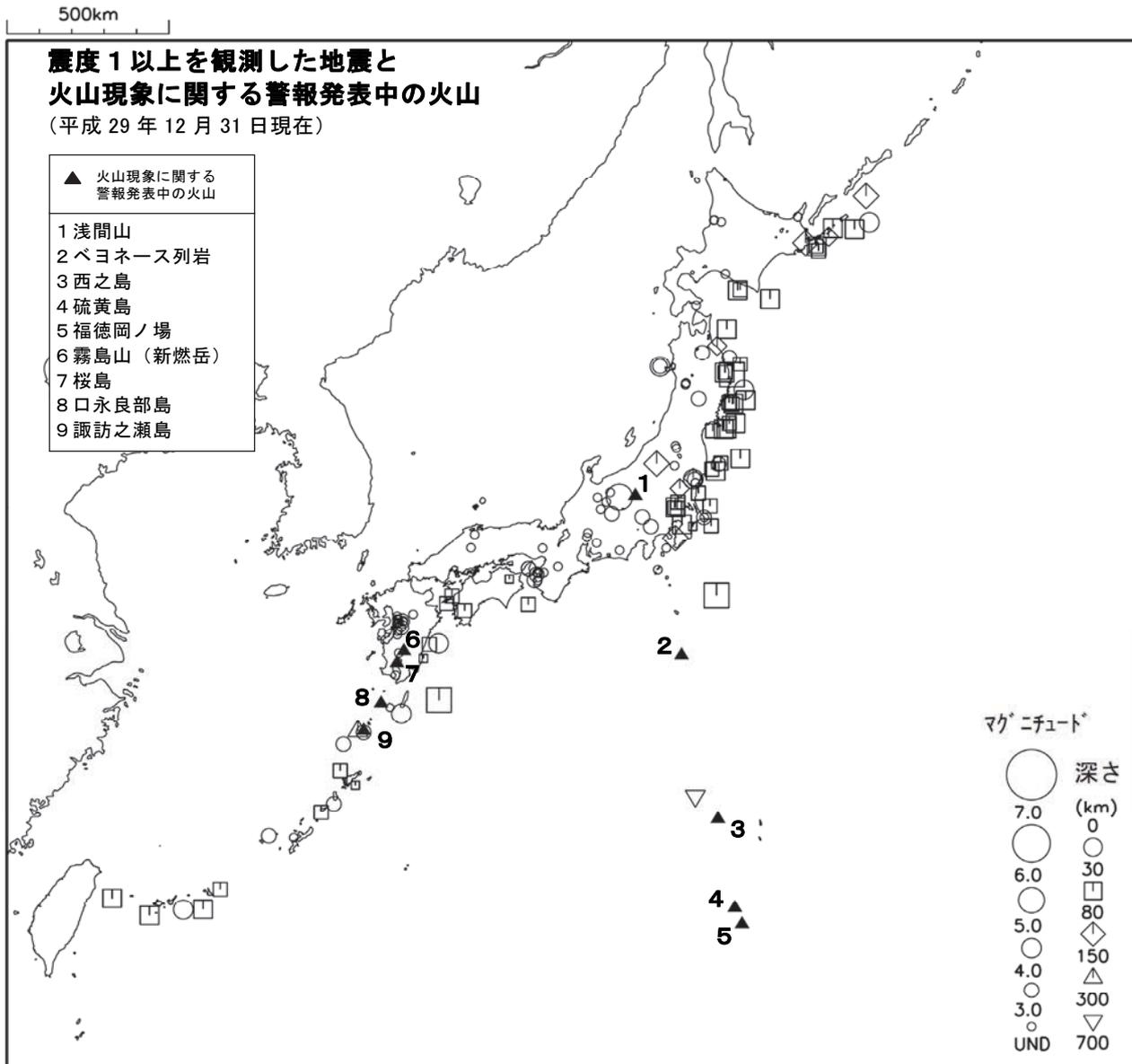


平成 29 年 12 月 地震・火山月報(防災編)

Monthly Report on Earthquakes and Volcanoes in Japan

December 2017



気 象 庁

Japan Meteorological Agency

利用にあたって

本誌は、「平成29年12月号」をもって印刷物の発行は終了し、下記URLの電子版に移行する。

<http://www.data.jma.go.jp/svd/eqev/data/gaikyo/index.html#monthly>

本書は、地震・火山に関連した各種防災情報や地震・火山活動に関する分析結果の最新版を防災機関等における効果的な利用に供するため、毎月刊行している。

気象庁では、平成9年11月10日より、国・地方公共団体及び住民が一体となった緊急防災対応の迅速かつ円滑な実施に資するため、気象庁の震度計の観測データに合わせて地方公共団体*及び国立研究開発法人防災科学技術研究所から提供されたものも震度情報として発表している。

また、気象庁では、地震防災対策特別措置法の趣旨に沿って、平成9年10月1日より、大学や国立研究開発法人防災科学技術研究所等の関係機関から地震観測データの提供を受け**、文部科学省と協力してこれを整理し、整理結果等を、同法に基づいて設置された地震調査研究推進本部地震調査委員会に提供するとともに、気象業務の一環として防災情報として適宜発表する等活用している。

本誌で使用している震源位置・マグニチュードは世界測地系 (Japanese Geodetic Datum 2000) に基づいて計算したものである。

注* 平成29年12月31日現在：北海道、青森県、岩手県、宮城県、秋田県、山形県、福島県、茨城県、栃木県、群馬県、埼玉県、千葉県、東京都、神奈川県、新潟県、富山県、石川県、福井県、山梨県、長野県、岐阜県、静岡県、愛知県、三重県、滋賀県、京都府、大阪府、兵庫県、奈良県、和歌山県、鳥取県、島根県、岡山県、広島県、山口県、徳島県、香川県、愛媛県、高知県、福岡県、佐賀県、長崎県、熊本県、大分県、宮崎県、鹿児島県、沖縄県、札幌市 (北海道)、仙台市 (宮城県)、千葉市 (千葉県)、横浜市 (神奈川県)、川崎市 (神奈川県)、相模原市 (神奈川県)、名古屋市 (愛知県)、京都市 (京都府) の47都道府県、8政令指定都市。

注**平成29年12月31日現在：国立研究開発法人防災科学技術研究所、北海道大学、弘前大学、東北大学、東京大学、名古屋大学、京都大学、高知大学、九州大学、鹿児島大学、国立研究開発法人産業技術総合研究所、国土地理院、国立研究開発法人海洋研究開発機構、公益財団法人地震予知総合研究振興会、青森県、東京都、静岡県、神奈川県、温泉地学研究所及び気象庁のデータを基に作成している。また、2016年熊本地震合同観測グループのオンライン臨時観測点 (河原、熊野座)、米国家間地震学研究連合 (IRIS) の観測点 (台北、玉峰、寧安橋、玉里、台東) のデータを利用している。

□本書利用上の注意

・震央分布図中の語句について

M：マグニチュード (通常、揺れの最大振幅から推定した気象庁マグニチュードだが、気象庁 CMT 解のモーメントマグニチュードの場合がある。)

Mw：モーメントマグニチュード (特にことわりがない限り、気象庁 CMT 解のモーメントマグニチュードを表す。)

depth：深さ (km)

UND：マグニチュードの決まらない地震が含まれていることを意味する。

N=XX：図中に表示している地震の回数を表す (通常図の右肩上に示してある)

・発震機構解について

本書での発震機構解の図は下半球投影である。また、本書での発震機構解は、特にことわりがない限り、初動による発震機構解である。初動発震機構解が求められない場合や、十分な精度が得られない場合には、初動発震機構解に替えて CMT 解を掲載する場合がある。

・発震機構解の図中の語句について

P：P 軸 (圧力軸) T：T 軸 (張力軸)

N：N 軸 (中立軸)

・Global CMT解について

Global CMT解は、米国のコロンビア大学とハーバード大学で行っている、世界で発生した規模の大きな地震の CMT 解を求めるプロジェクト (Global CMT Project) により求められた解である。

・M-T図について

縦軸にマグニチュード (M)、横軸に時間 (T) を表示した図であり、地震活動の経過を見るために用いる。

・震央地名について

本書での震央地名は、原則として情報発表時に使用したものをを用いるが、震央を精査した結果等により、情報発表時とは異なる震央地名を用いる場合がある。なお、情報発表時の震央地名及びその領域については、各年の「地震・火山月報 (防災編)」1月号の付録「地震・火山月報 (防災編) で用いる震央地名」を参照のこと。

・震源と震央について

震源とは地震の発生原因である地球内部の岩石の破壊が開始した点であり、震源の真上の地点を震央という。

・地震の震源要素等について

2016年4月1日以降の震源では、Mの小さな地震は、自動処理による震源を表示している場合がある。自動処理による震源は、震源誤差の大きなものが表示されることがある。

震源の深さを「CMT解による」とした場合は、気象庁 CMT 解のセントロイド (破壊の重心) の深さをを用いている。

地震の震源要素、発震機構解、震度データ等は、再調査後、修正することがある。確定した値、算出方法については、地震月報 (カタログ編) [気象庁ホームページ：http://www.data.jma.go.jp/svd/eqev/data/bulletin/index.html] に掲載する。

・火山の活動解説の火山性地震回数等について

火山性地震や火山性微動の回数等は、再調査後、修正することがある。確定した値については、火山月報 (カタログ編) [気象庁ホームページ：http://www.data.jma.go.jp/svd/vois/data/tokyo/STOCK/bulletin/index_vcatalog.html] に掲載する。

・本書で使用した地図等について

本書中の地図の作成に当たっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の『数値地図 25000 (行政界・海岸線)』を使用した (承認番号 平 29 情使、第 798 号)。また、震央分布図等に表記した活断層は、地震調査研究推進本部の長期評価による。

・図版作成には一部 GMT (Generic Mapping Tool [Wessel, P., and W. H. F. Smith, New, improved version of Generic Mapping Tools released, *EOS Trans. Amer. Geophys. U.*, vol. 79 (47), pp. 579, 1998]) を使用した。

目次

● 日本及びその周辺での主な地震活動	1
北海道地方の地震活動	5
東北地方の地震活動	6
関東・中部地方の地震活動	8
近畿・中国・四国地方の地震活動	13
九州地方の地震活動	14
沖縄地方の地震活動	15
その他の地域の地震活動	16
● 南海トラフ周辺の地殻活動	18
● 日本の主な火山活動	48
北海道地方	51
東北地方	51
関東・中部地方及び伊豆・小笠原諸島	52
九州地方及び南西諸島	54
資料 1 全国の火山現象に関する特別警報・警報・予報の発表状況のまとめ	58
● 世界の主な地震	63
● 世界の主な火山活動	64
● 付録	65
1. 震度 1 以上を観測した地震の表	65
2. 過去 1 年間に震度 1 以上を観測した地震の最大震度別の月別回数	84
3. 日本及びその周辺におけるマグニチュード (M) 別の月別地震回数	85
4. 緊急地震速報の提供状況	86
5. 長周期地震動階級 1 以上を観測した地震	88

● 平成 29 年（2017 年）の地震・火山活動	91
● 付録	
6. 気象庁震度階級関連解説表	141
7. 気象庁震度階級と計測震度	143
8. 震度観測点（平成 29 年 11 月 16 日現在）	144
9. 震度 6 または震度 6 弱以上を観測した地震の表（1926 年～2017 年）	148
10. 長周期地震動階級関連解説表	165

●日本及びその周辺での主な地震活動

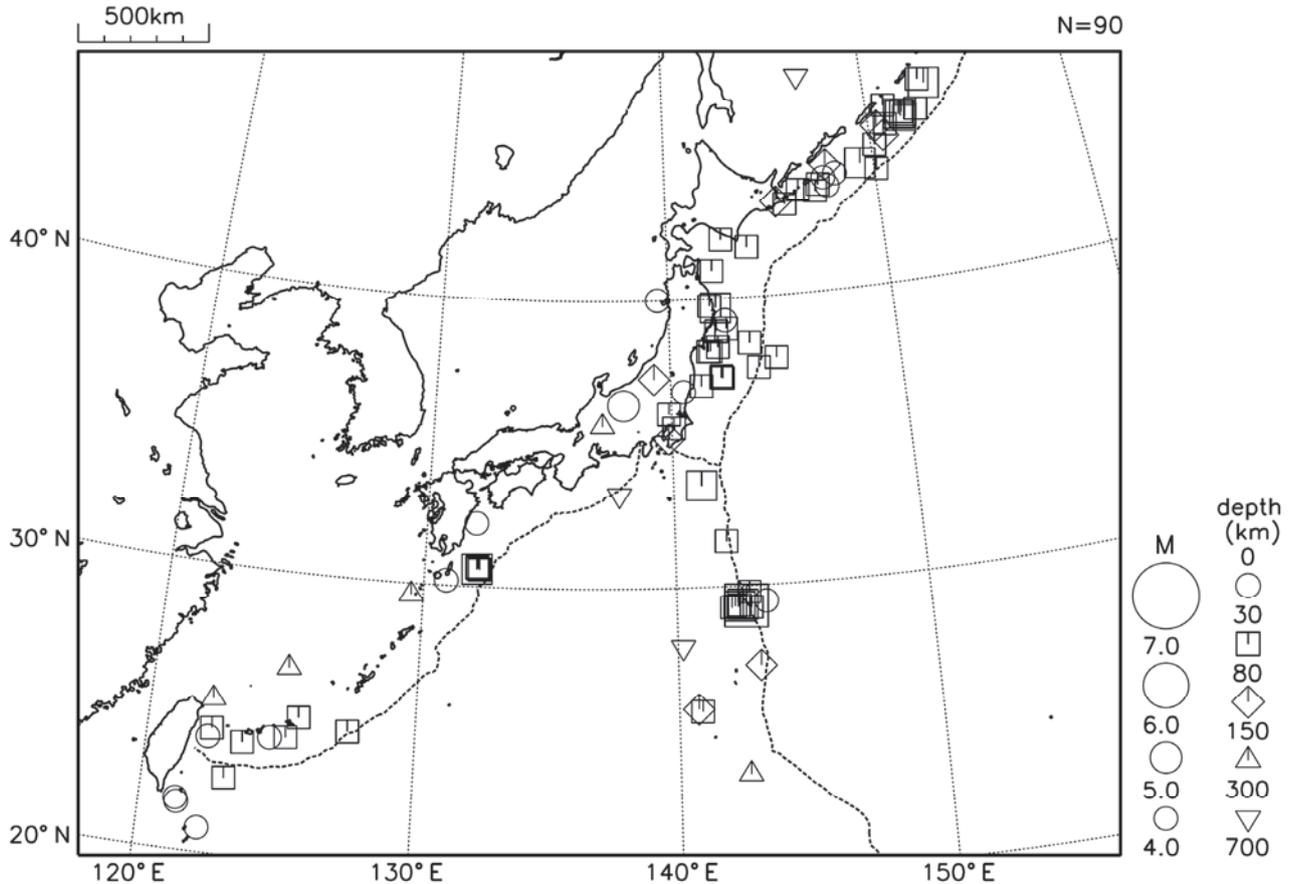


図 1 平成 29 年 12 月に日本及びその周辺で発生した M4.0 以上の地震の震央分布図

平成 29 年 (2017 年) 12 月に日本国内で震度 4 以上を観測した地震の回数は 3 回 (11 月は 4 回)、日本及びその周辺で発生した M4.0 以上の地震の回数は 90 回 (11 月は 84 回) であった (図 1)。

12 月中に発生した主な地震を表 1、M3.0 以上の地震の震央を図 2、震度 4 以上を観測した地震の震度分布図を図 3 に示す。12 月中に震度 5 弱以上を観測した地震及び津波を観測した地震はなかった (11 月も震度 5 弱以上を観測した地震及び津波を観測した地震はなかった)。

表 1 平成 29 年 12 月に日本及びその周辺で発生した主な地震（注 1）（注 2）（注 3）

No.	震源時 月 日 時 分	震央地名	M	M _w (注 4)	M H S T (注 5)	最大震度・被害状況等（注 6）	掲載 ページ
1	12 2 0 12	茨城県南部	4.4	4.3	・ ・ S ・	4：栃木県 下野市田中* 真岡市石島*	4、9
2	12 6 0 13	長野県中部	5.3	5.0	・ ・ S ・	4：長野県 大町市八坂* 大町市美麻* 筑北村西条* など 1 県 14 地点 緊急地震速報（警報）を発表	4、10
3	12 6 0 22	茨城県北部	4.5	4.4	・ ・ ・ ・	3：茨城県 常陸太田市大中町* 高萩市安良川* 福島県 矢祭町戸塚*	11
4	12 16 2 58	岩手県沖	5.5	—	・ ・ S ・	4：岩手県 遠野市青笹町* 八幡平市田頭* 野田村野田*	4、7
5	12 21 12 0	鳥島近海	6.0	5.7	M ・ ・ ・	震度 1 以上を観測した地点はなし	17
6	12 27 22 5	東京湾（注 7）	4.5	4.6	・ ・ ・ ・	3：埼玉県 草加市高砂* 神奈川県 横浜保土ヶ谷区上菅田町* 横浜港北区日吉本町*	12

（注 1）主な地震とは、図 1 の領域内で発生した①M6.0 以上、②震度 4 以上、③内陸 M4.5 以上かつ震度 3、④海域 M5.0 以上かつ震度 3、⑤その他注目した地震を指す。

（注 2）震源時、震央地名、マグニチュードは再調査後、修正することがある。

（注 3）空欄については、複数の地震による活動のため、記載していない場合がある。

（注 4）M_w欄の「—」はM_wが求められていないことを示す。

（注 5）M H S T の各項目について、M: M6.0 以上の地震、H: 被害を伴った地震、S: 震度 4 以上を観測した地震、T: 津波を観測した地震、として該当項目にそれぞれの記号を記した。

（注 6）最大震度の観測点名にある*印は地方公共団体もしくは国立研究開発法人防災科学技術研究所の震度観測点であることを表す。被害状況について出典の記載がないものは総務省消防庁による。

（注 7）情報発表に用いた震央地名は「千葉県北西部」である。

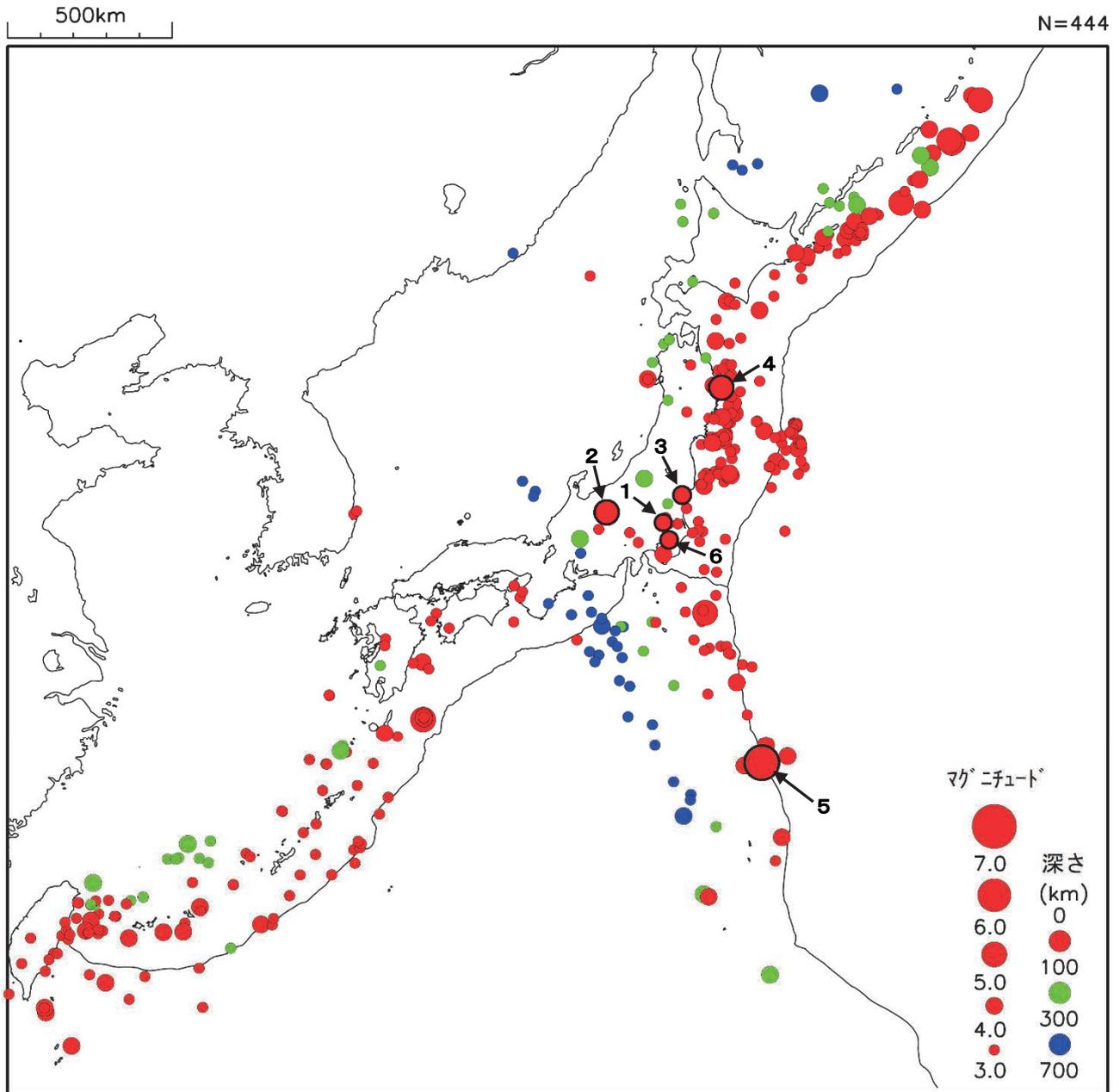
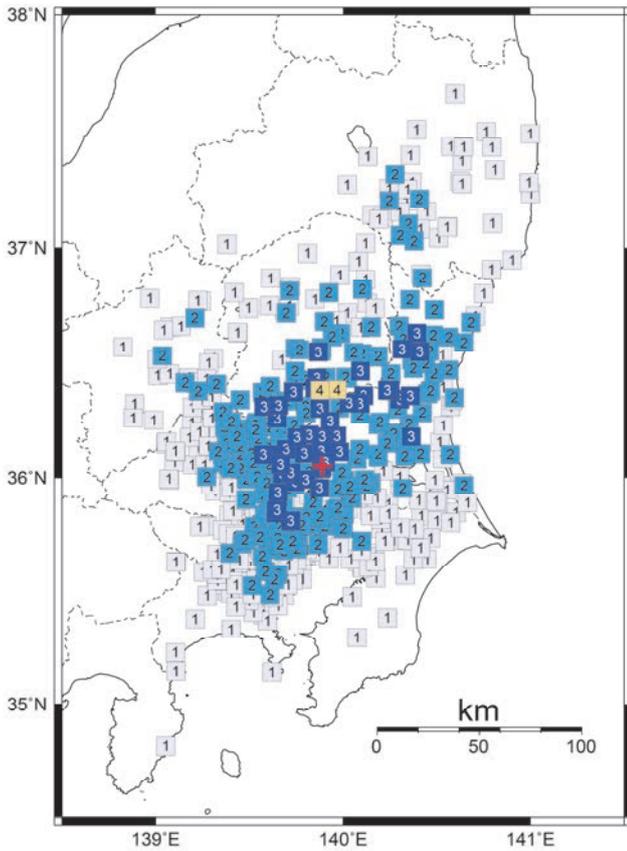
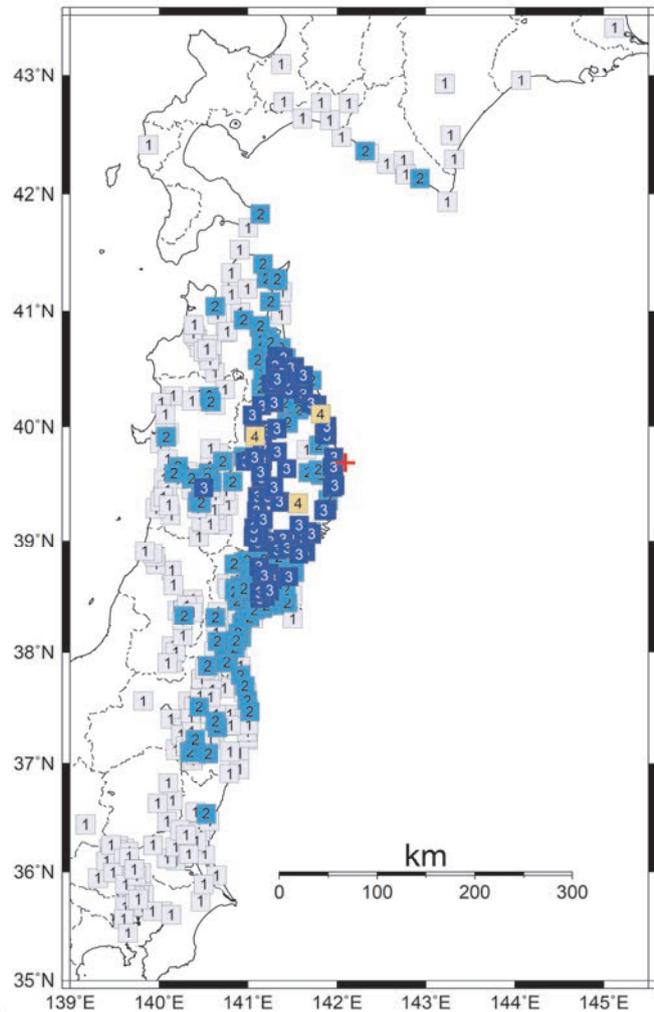


図2 平成 29 年 12 月に日本及びその周辺で発生した M3.0 以上の地震の震央分布図
(図中の数字は表 1 の番号に対応)

1 12月2日00時12分 茨城県南部
(M4.4、深さ43km、最大震度4)



4 12月16日02時58分 岩手県沖
(M5.5、深さ52km、最大震度4)



2 12月6日00時13分 長野県中部
(M5.3、深さ10km、最大震度4)

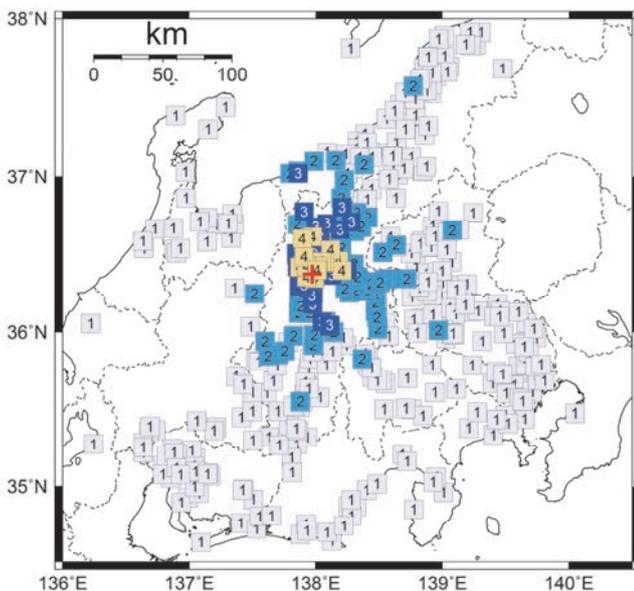


図3 震度分布図（各図の左上の数字は表1、図2の番号に対応する。+印は震央を示す。）

※その他の地震の震度分布図については、気象庁HPの震度データベース
(<http://www.data.jma.go.jp/svd/eqdb/data/shindo/index.php>) をご覧ください。

○北海道地方の地震活動

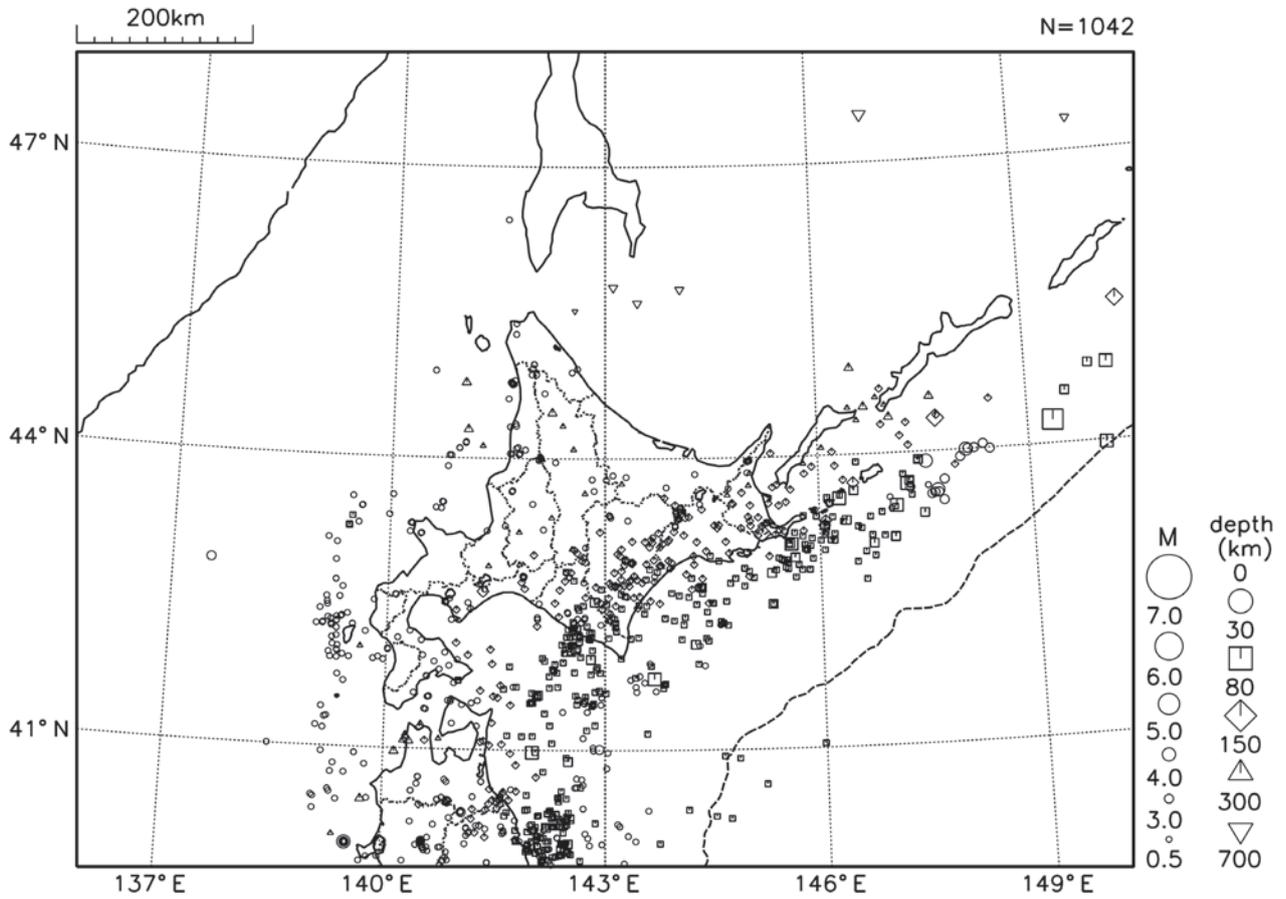


図4 北海道地方の震央分布図 (2017年12月1日~12月31日、 $M \geq 0.5$)

[概況]

12月に北海道地方で震度1以上を観測した地震は21回(11月は16回)であった。
12月中、特に目立った活動はなかった。

○東北地方の地震活動

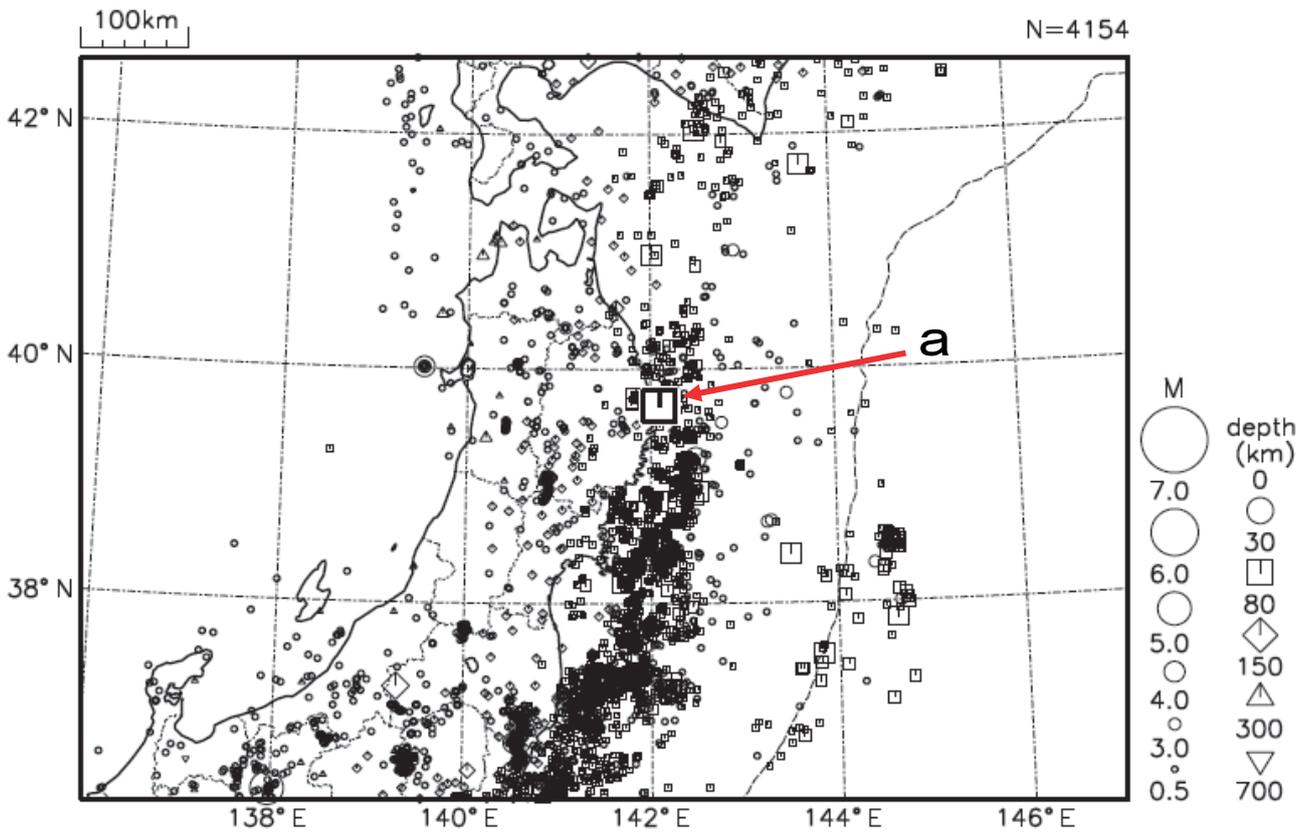


図5 東北地方の震央分布図 (2017年12月1日~12月31日、M \geq 0.5)

[概況]

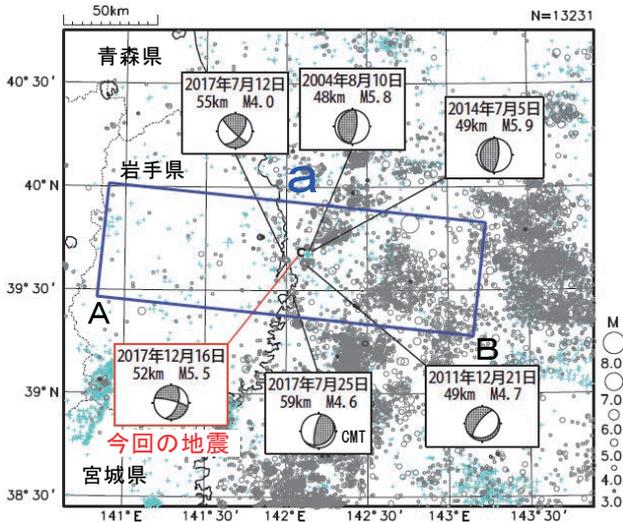
12月に東北地方で震度1以上を観測した地震は39回(11月は48回)であった。
12月中の主な活動は次のとおりである。

16日02時58分に岩手県沖の深さ52kmでM5.5の地震(図5中のa)が発生し、岩手県で最大震度4を観測したほか、北海道から関東地方にかけて震度3~1を観測した(p4、7参照)。

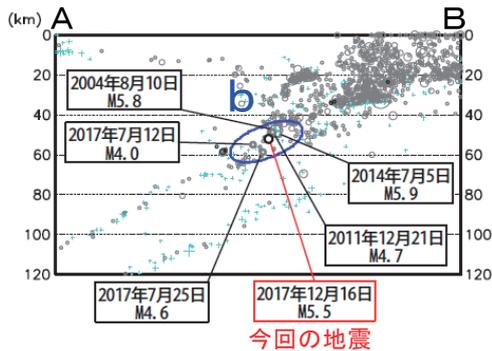
12 月 16 日 岩手県沖の地震

震央分布図

(1997 年 10 月 1 日～2017 年 12 月 31 日、
深さ 0～120km、 $M \geq 3.0$)
2011 年 3 月 10 日以前に発生した地震を+、
2011 年 3 月 11 日以降に発生した地震を薄い○、
2017 年 12 月に発生した地震を濃い○で表示

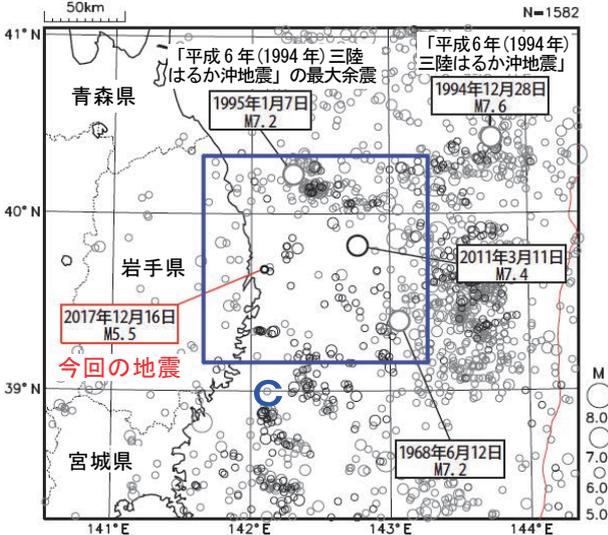


領域 a 内の断面図 (A-B 投影)



震央分布図

(1923 年 1 月 1 日～2017 年 12 月 31 日、
深さ 0～120km、 $M \geq 5.0$)
2011 年 3 月 11 日以降の地震を濃く表示

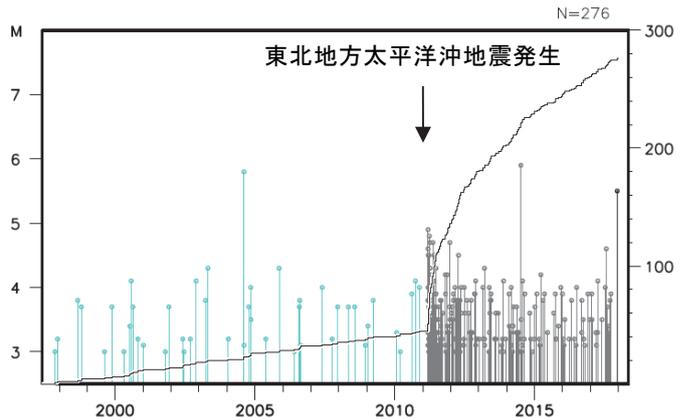


2017 年 12 月 16 日 02 時 58 分に岩手県沖の深さ 52km で M5.5 の地震 (最大震度 4) が発生した。この地震は、発震機構が東北東-西南西方向に圧力軸を持つ横ずれ断層型で、太平洋プレート内部で発生した。

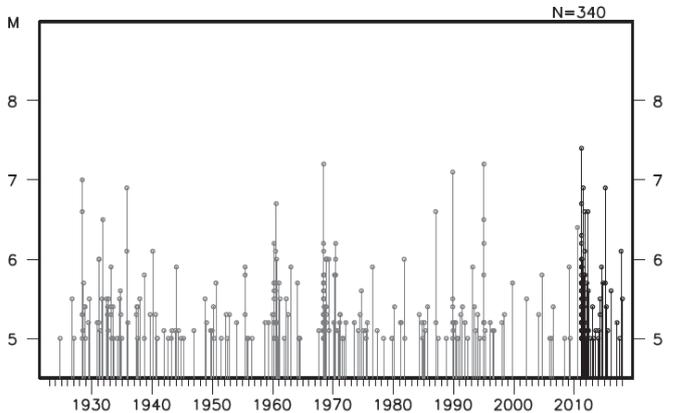
1997 年 10 月以降の活動をみると、今回の地震の震源付近 (領域 b) では、M5.0 を超える地震が 3 回発生しており、「平成 23 年 (2011 年) 東北地方太平洋沖地震 (以下、東北地方太平洋沖地震)」の発生以降に地震活動が活発化している。

1923 年 1 月以降の活動をみると、今回の地震の震央周辺 (領域 c) では、1995 年 1 月 7 日に「平成 6 年 (1994 年) 三陸はるか沖地震」の最大余震 (M7.2、最大震度 5) が発生し、負傷者 96 人、住家全壊 17 棟等の被害が生じる (被害は「日本被害地震総覧」による) など、M7.0 以上の地震が 5 回発生している。

領域 b 内の M-T 図及び回数積算図



領域 c 内の M-T 図



○関東・中部地方の地震活動

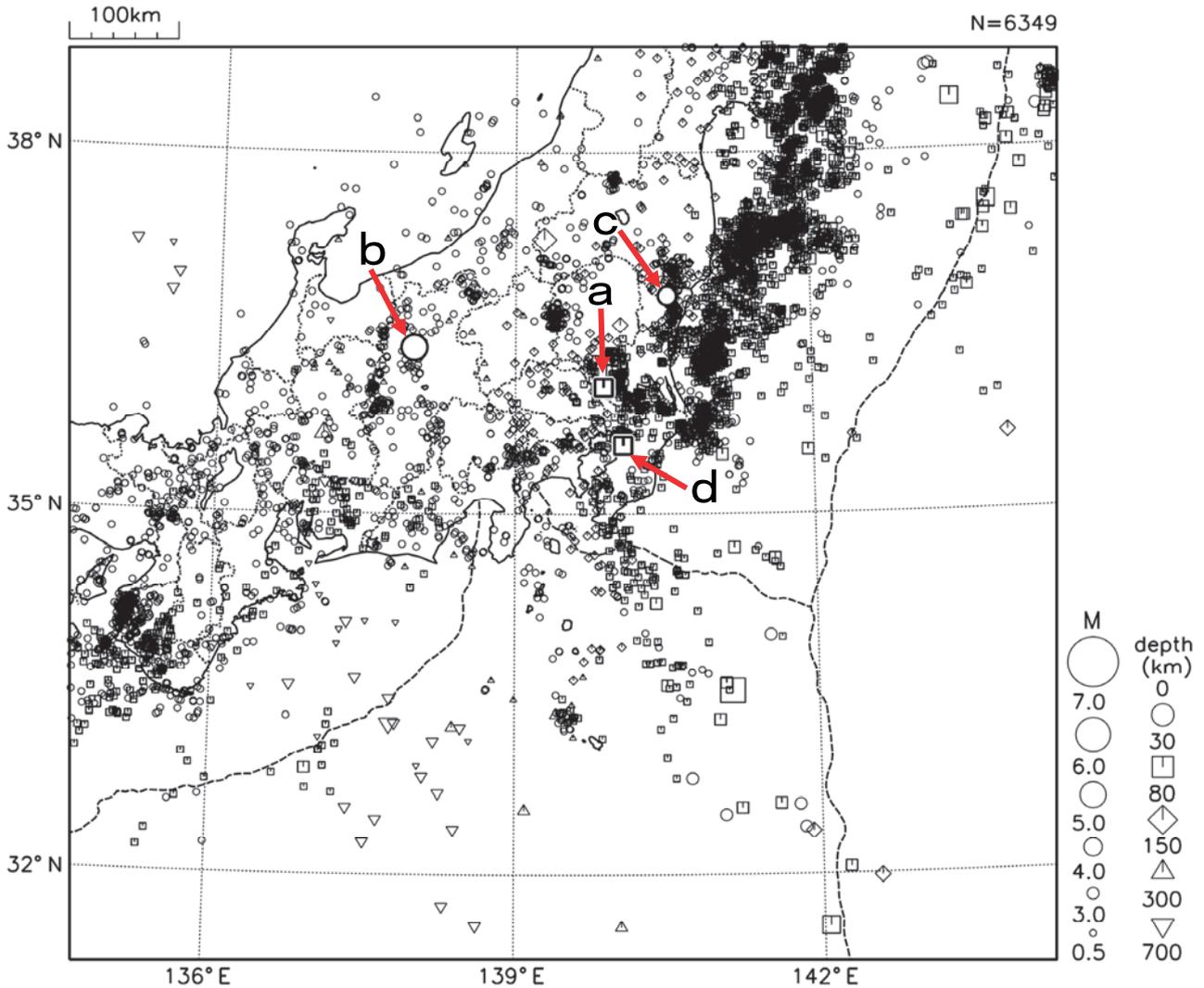


図6 関東・中部地方の震央分布図 (2017年12月1日~12月31日、M \geq 0.5)

[概況]

12月に関東・中部地方(三重県を含む)で震度1以上を観測した地震は39回(11月は55回)であった。12月中の主な活動は次のとおりである。

2日00時12分に茨城県南部の深さ43kmでM4.4の地震(図6中のa)が発生し、栃木県真岡市、下野市で震度4を観測したほか、関東地方及び福島県、静岡県で震度3~1を観測した(p4、9参照)。

27日22時05分に東京湾の深さ69kmでM4.5の地震(図6中のd)が発生し、埼玉県草加市、神奈川県横浜市で震度3を観測したほか、関東地方、山梨県及び静岡県で震度2~1を観測した(p12参照)。

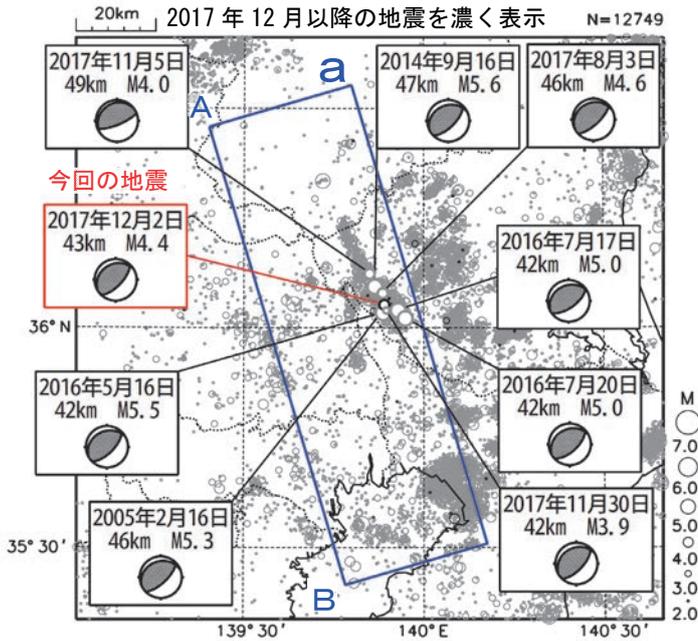
6日00時13分に長野県中部の深さ10kmでM5.3の地震(図6中のb)が発生し、長野県で震度4を観測したほか、中部地方、関東地方及び滋賀県で震度3~1を観測した(p4、10参照)。

6日00時22分に茨城県北部の深さ8kmでM4.5の地震(図6中のc)が発生し、茨城県常陸太田市、高萩市、矢祭町で震度3を観測したほか、宮城県、福島県及び関東地方で震度2~1を観測した(p11参照)。

12 月 2 日 茨城県南部の地震

震央分布図

(1997 年 10 月 1 日~2017 年 12 月 31 日、
深さ 0~100km、 $M \geq 2.0$)

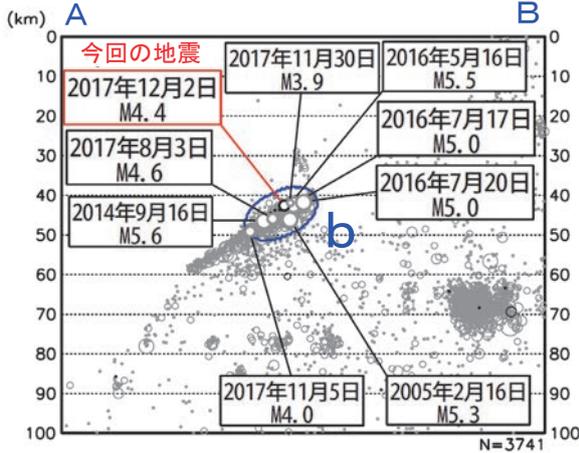


2017 年 12 月 2 日 00 時 12 分に茨城県南部の深さ 43km で M4.4 の地震 (最大震度 4) が発生した。この地震は、発震機構が北西-南東方向に圧力軸を持つ逆断層型で、フィリピン海プレートと陸のプレートの境界で発生した。今回の地震の震源付近で、11 月 5 日と 30 日に、それぞれ M4.0 と M3.9 の地震 (いずれも最大震度 3) の地震が発生している。

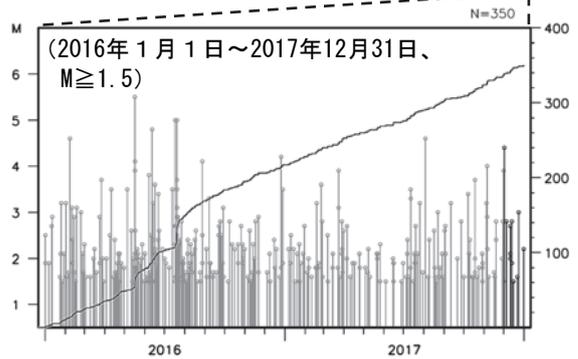
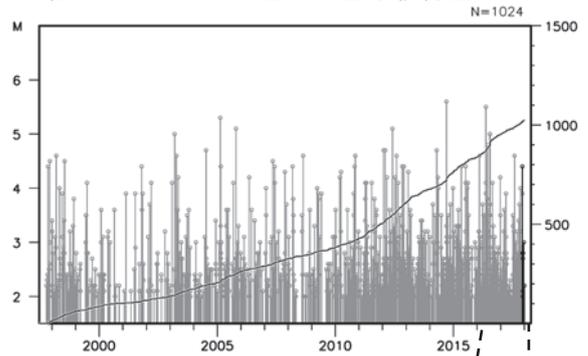
1997 年 10 月以降の活動をみると、今回の地震の震源付近 (領域 b) は、活動が活発な領域で、M5.0 以上の地震がしばしば発生しており、今回の地震の発生場所の近くでは、2014 年 9 月 16 日に M5.6 の地震 (最大震度 5 弱) が発生している。また、最近では、2016 年 7 月 17 日と 20 日にいずれも M5.0 の地震 (いずれも最大震度 4) が発生している。

1923 年 1 月以降の活動をみると、今回の地震の震央周辺 (領域 c) では、M6.0 程度の地震が時々発生している。

領域 a 内の断面図 (A-B 投影)

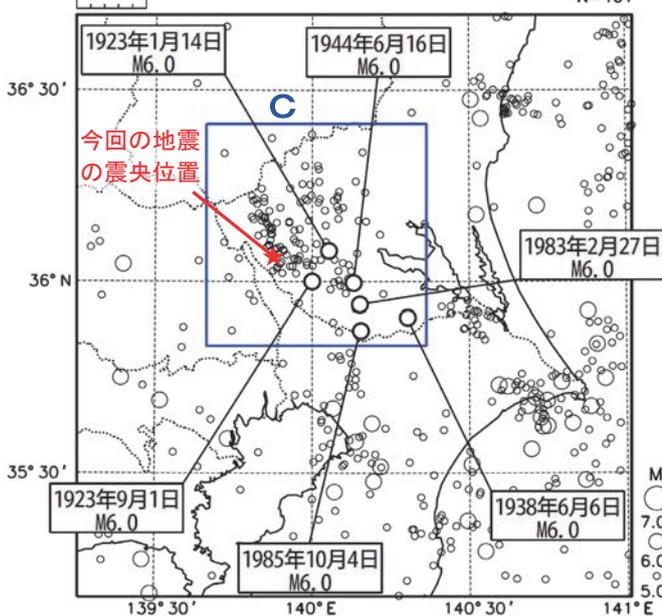


領域 b 内の M-T 図及び回数積算図

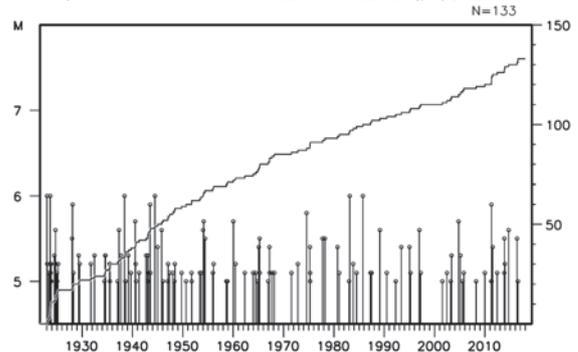


震央分布図

(1923 年 1 月 1 日~2017 年 12 月 31 日、
深さ 0~100km、 $M \geq 5.0$)

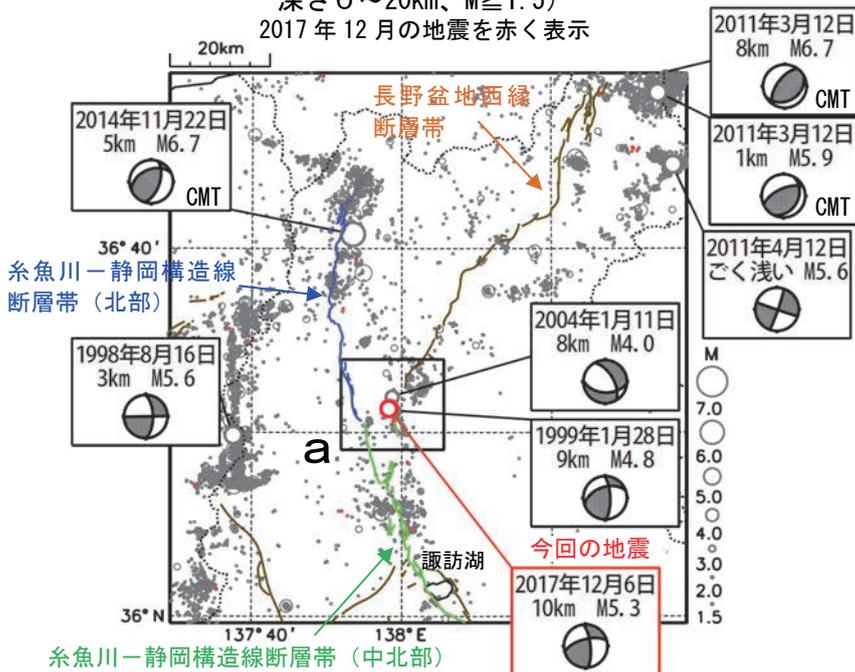


領域 c 内の M-T 図及び回数積算図



12 月 6 日 長野県中部の地震

震央分布図
(1997 年 10 月 1 日～2017 年 12 月 31 日、
深さ 0～20km、 $M \geq 1.5$)
2017 年 12 月の地震を赤く表示

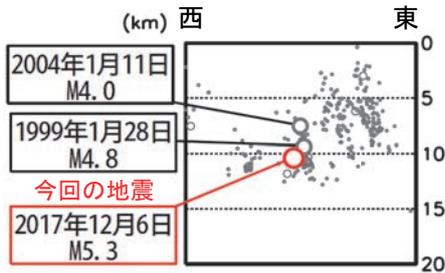


2017 年 12 月 6 日 00 時 13 分に長野県中部の深さ 10km で $M 5.3$ の地震 (最大震度 4) が発生した。この地震は、地殻内で発生した。発震機構は西北西-東南東方向に圧力軸を持つ横ずれ断層型である。

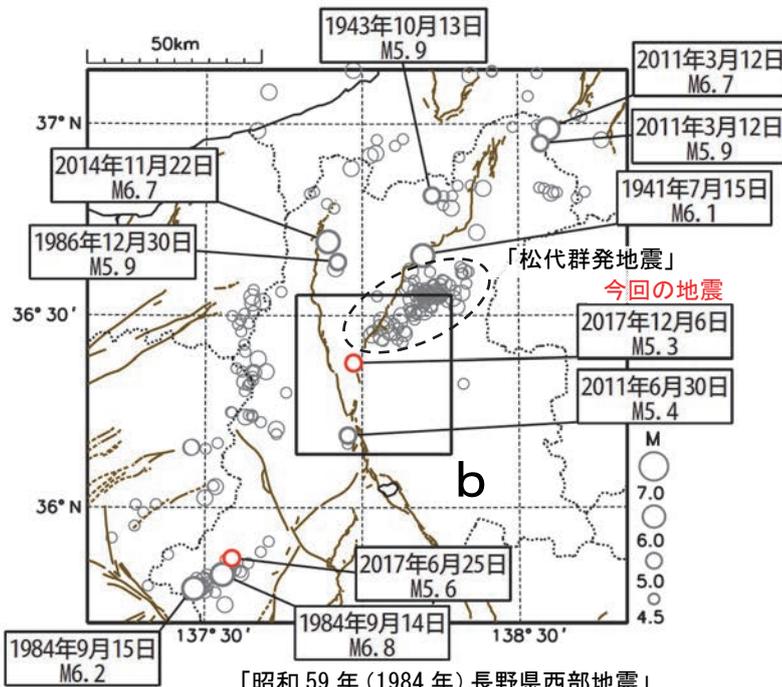
今回の地震は糸魚川-静岡構造線断層帯 (中北部) の北端部付近に位置している。1997 年 10 月以降の活動をみると、今回の地震の震源付近 (領域 a) では、 $M 3.0 \sim 4.0$ 程度の地震がしばしば発生しており、今回の地震の発生場所の近くで、1999 年 1 月 28 日に $M 4.8$ の地震 (最大震度 4、住家一部破損 3 棟などの被害 (総務省消防庁による))、2004 年 1 月 11 日に $M 4.0$ の地震 (最大震度 4) が発生している。

青、緑、茶色の線は地震調査研究推進本部の長期評価による活断層を示す

領域 a 内の断面図 (東西投影)

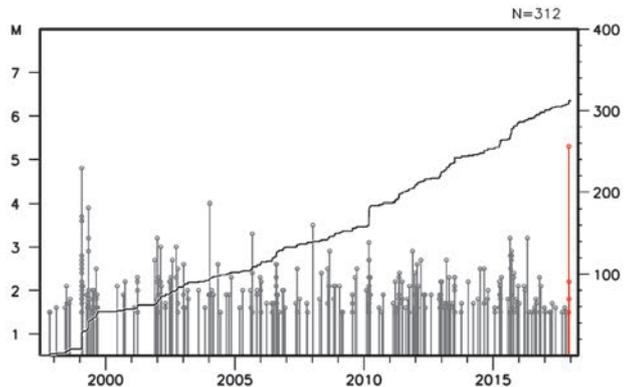


震央分布図
(1923 年 1 月 1 日～2017 年 12 月 31 日、
深さ 0～40km、 $M \geq 4.5$)
2017 年の地震を赤く表示



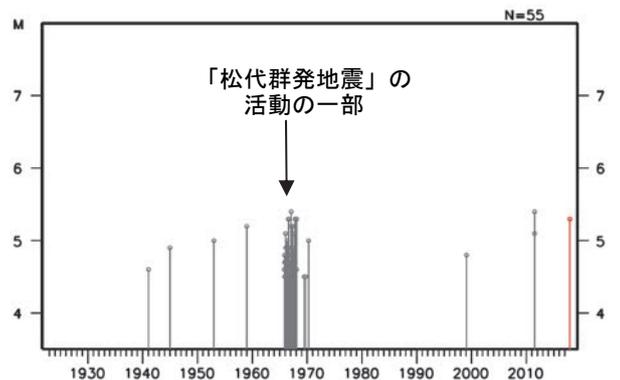
「昭和 59 年 (1984 年) 長野県西部地震」

領域 a 内の M-T 図及び回数積算図



1923 年 1 月以降の活動をみると、今回の地震の震央の周辺 (領域 b) では、震央の北東側で「松代群発地震」が発生しているほか、 $M 5.0$ 程度の地震が時々発生している。

領域 b 内の M-T 図

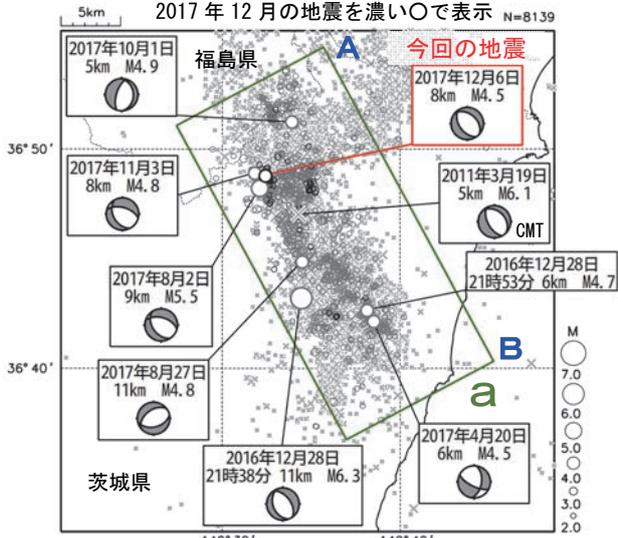


12 月 6 日 茨城県北部の地震

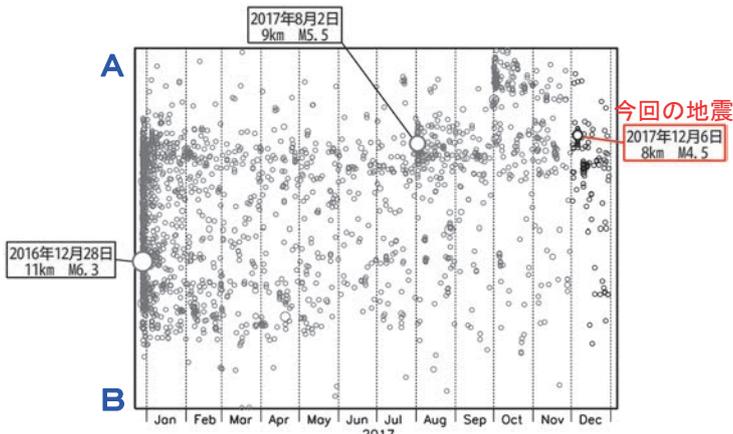
震央分布図

(2011 年 1 月 1 日~2017 年 12 月 31 日、
深さ 0 ~ 20km、 $M \geq 2.0$)

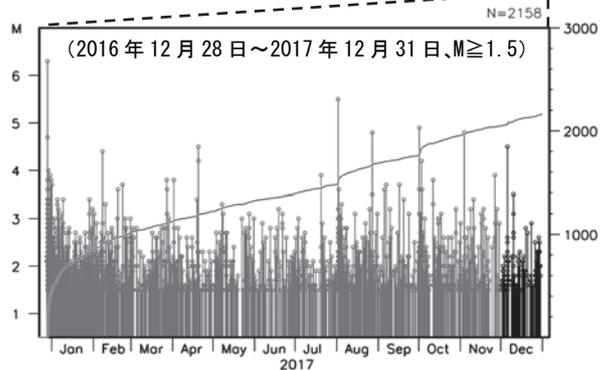
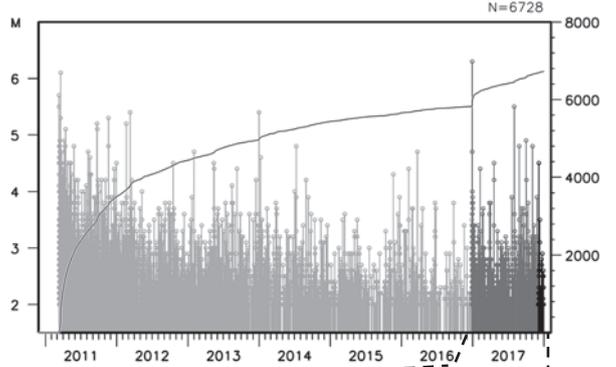
2016 年 12 月 27 日までの地震を薄い×で表示
2016 年 12 月 28 日から 2017 年 11 月 30 日の地震を薄い○で表示
2017 年 12 月の地震を濃い○で表示 N=8139



領域 a 内の時空間分布図 (A-B 投影)
(2016 年 12 月 28 日~2017 年 12 月 31 日、 $M \geq 1.5$)



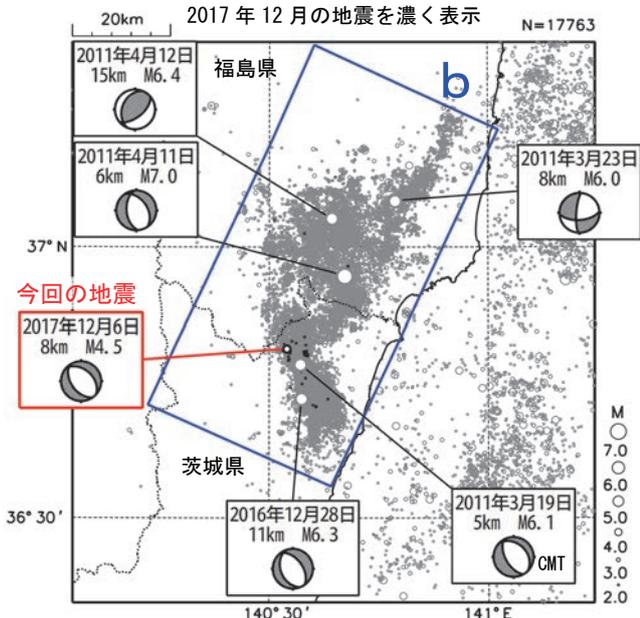
領域 a 内の M-T 図及び回数積算図



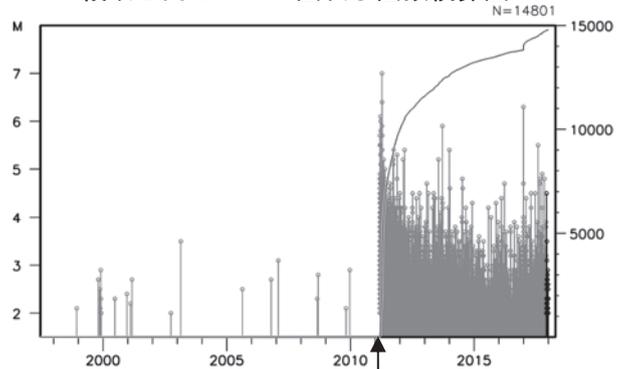
震央分布図

(1997 年 10 月 1 日~2017 年 12 月 31 日、
深さ 0 ~ 30km、 $M \geq 2.0$)

2017 年 12 月の地震を濃く表示 N=17763



領域 b 内の M-T 図及び回数積算図

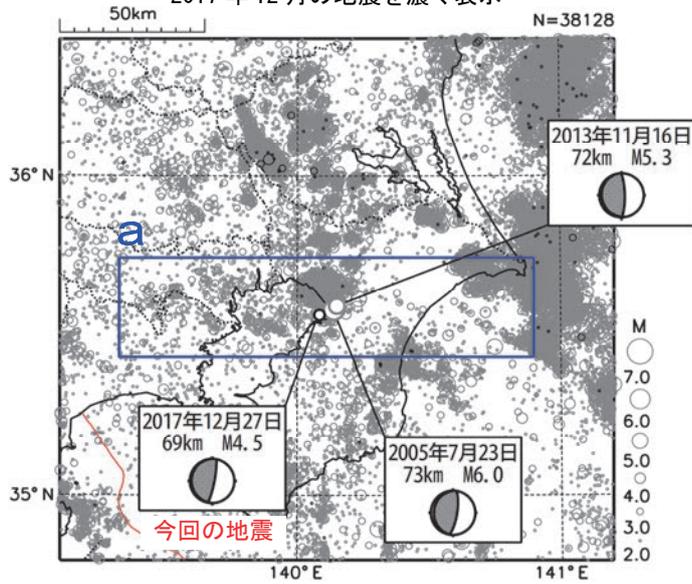


東北地方太平洋沖地震発生

12 月 27 日 東京湾の地震

※この地震の情報発表に用いた震央地名は〔千葉県北西部〕である。

震央分布図
(1997 年 10 月 1 日～2017 年 12 月 31 日、
深さ 0～150km、 $M \geq 2.0$)
2017 年 12 月の地震を濃く表示

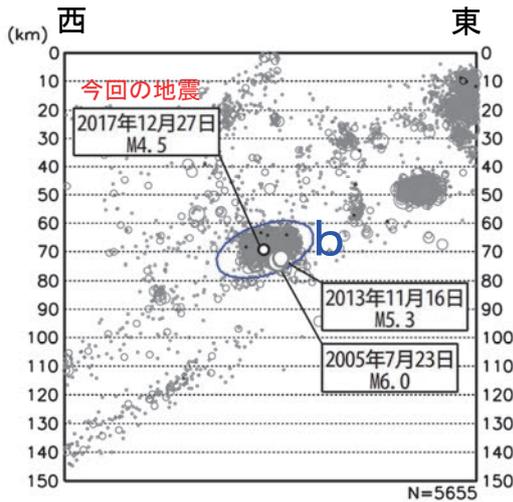


2017 年 12 月 27 日 22 時 05 分に東京湾の深さ 69km で $M 4.5$ の地震 (最大震度 3) が発生した。この地震は発震機構が東西方向に圧力軸を持つ逆断層型で、太平洋プレートとフィリピン海プレートの境界で発生した。

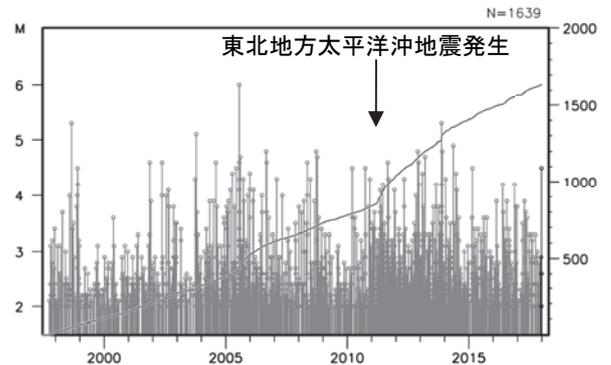
1997 年 10 月以降の活動をみると、今回の地震の震源付近 (領域 b) は、 $M 5.0$ 以上の地震が時々発生するなど地震活動が活発な領域であり、東北地方太平洋沖地震の発生以降、地震活動がより活発になっている。最近では、2005 年 7 月 23 日に発生した $M 6.0$ の地震 (最大震度 5 強) により、負傷者 38 人、住家一部破損 12 棟などの被害が生じた (総務省消防庁による)。

1923 年 1 月以降の活動を見ると、今回の地震の震央周辺 (領域 c) では、 $M 6.0$ 程度の地震が時々発生している。このうち、1980 年 9 月 25 日に発生した $M 6.0$ の地震 (最大震度 4) では、死者 2 人、負傷者 73 人などの被害が生じた (「日本被害地震総覧」による)。

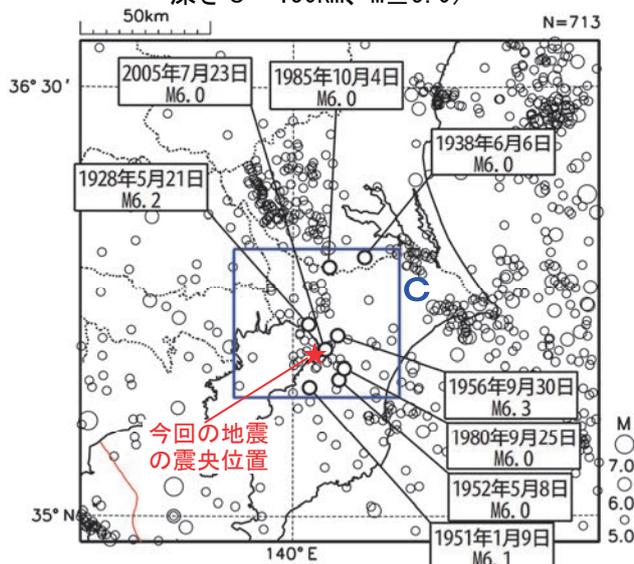
領域 a 内の断面図 (東西投影)



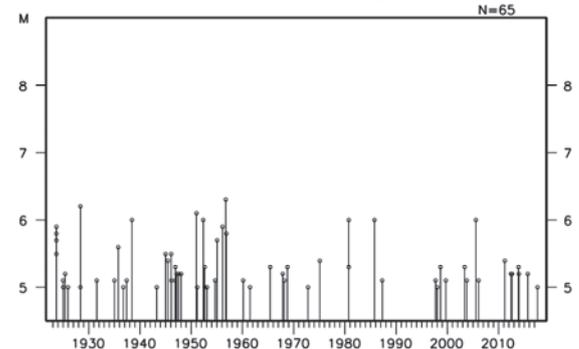
領域 b 内の M-T 図及び回数積算図



震央分布図
(1923 年 1 月 1 日～2017 年 12 月 31 日、
深さ 0～150km、 $M \geq 5.0$)



領域 c 内の M-T 図



○近畿・中国・四国地方の地震活動

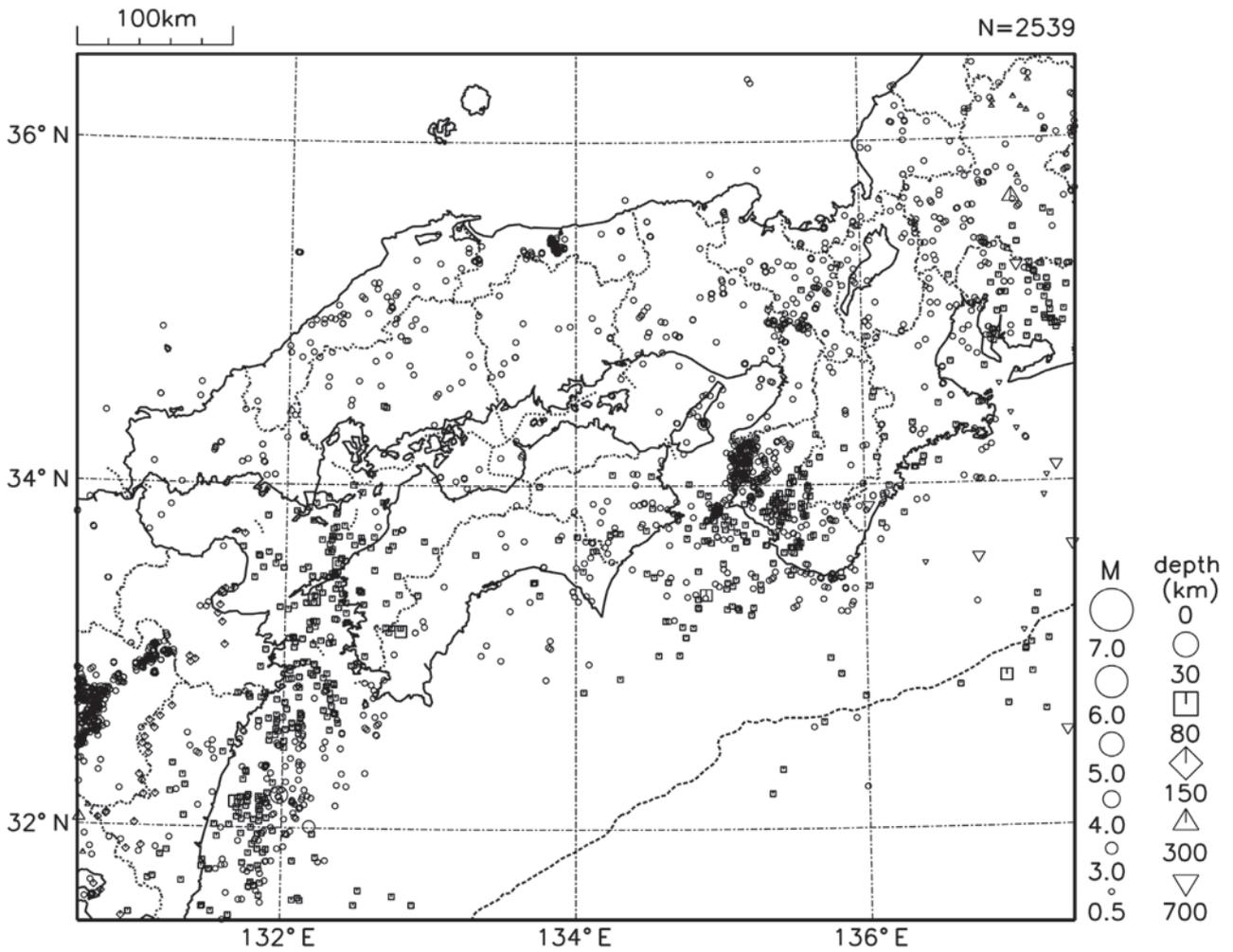


図7 近畿・中国・四国地方の震央分布図 (2017年12月1日~12月31日、 $M \geq 0.5$)

[概況]

12月に近畿・中国・四国地方で震度1以上を観測した地震は21回(11月は7回)であった。12月中、特に目立った活動はなかった。

○九州地方の地震活動

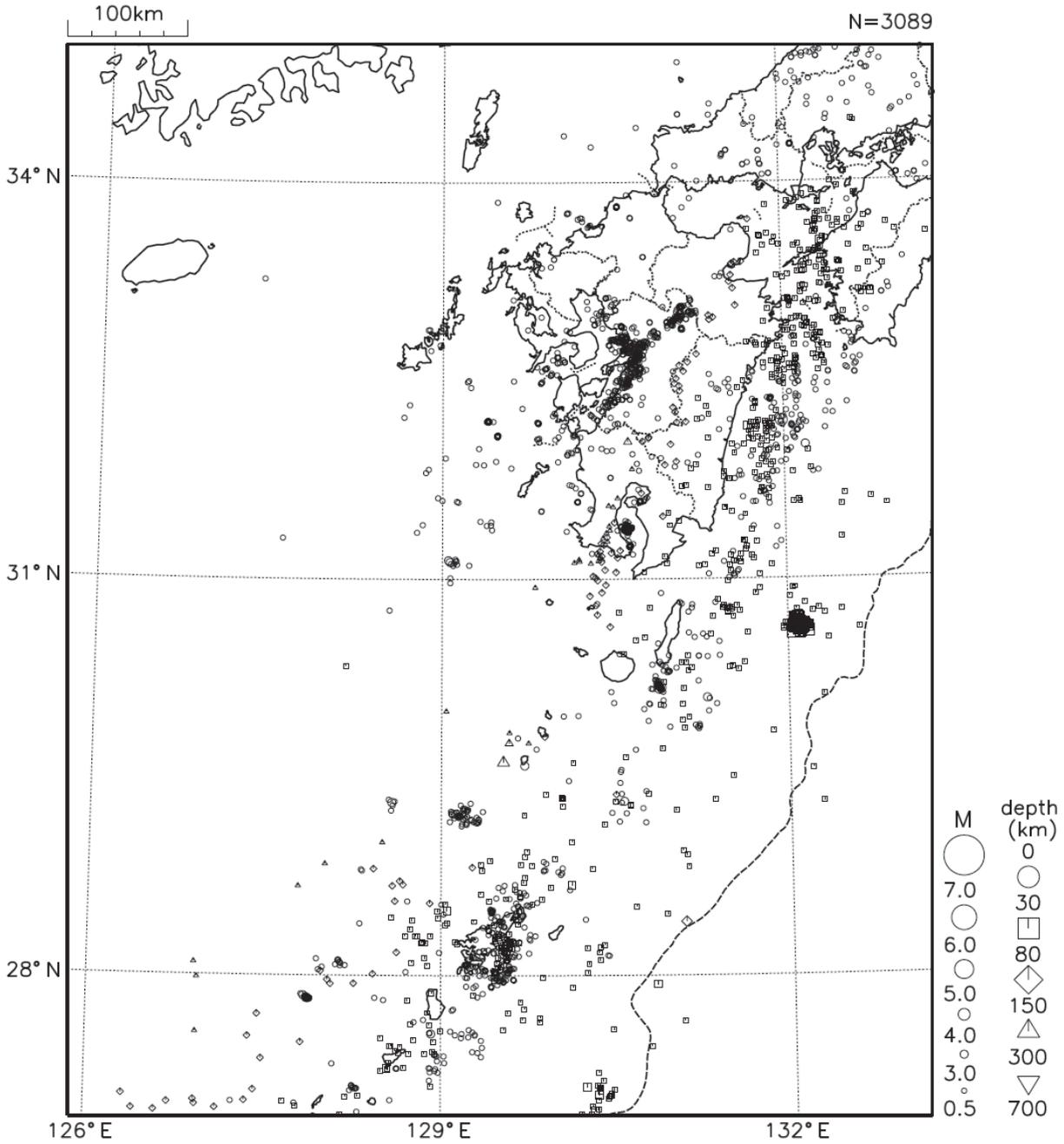


図8 九州地方の震央分布図 (2017年12月1日~12月31日、 $M \geq 0.5$)

[概況]

12月に九州地方で震度1以上を観測した地震は29回(11月は34回)であった。12月中、特に目立った活動はなかった。

○沖縄地方の地震活動

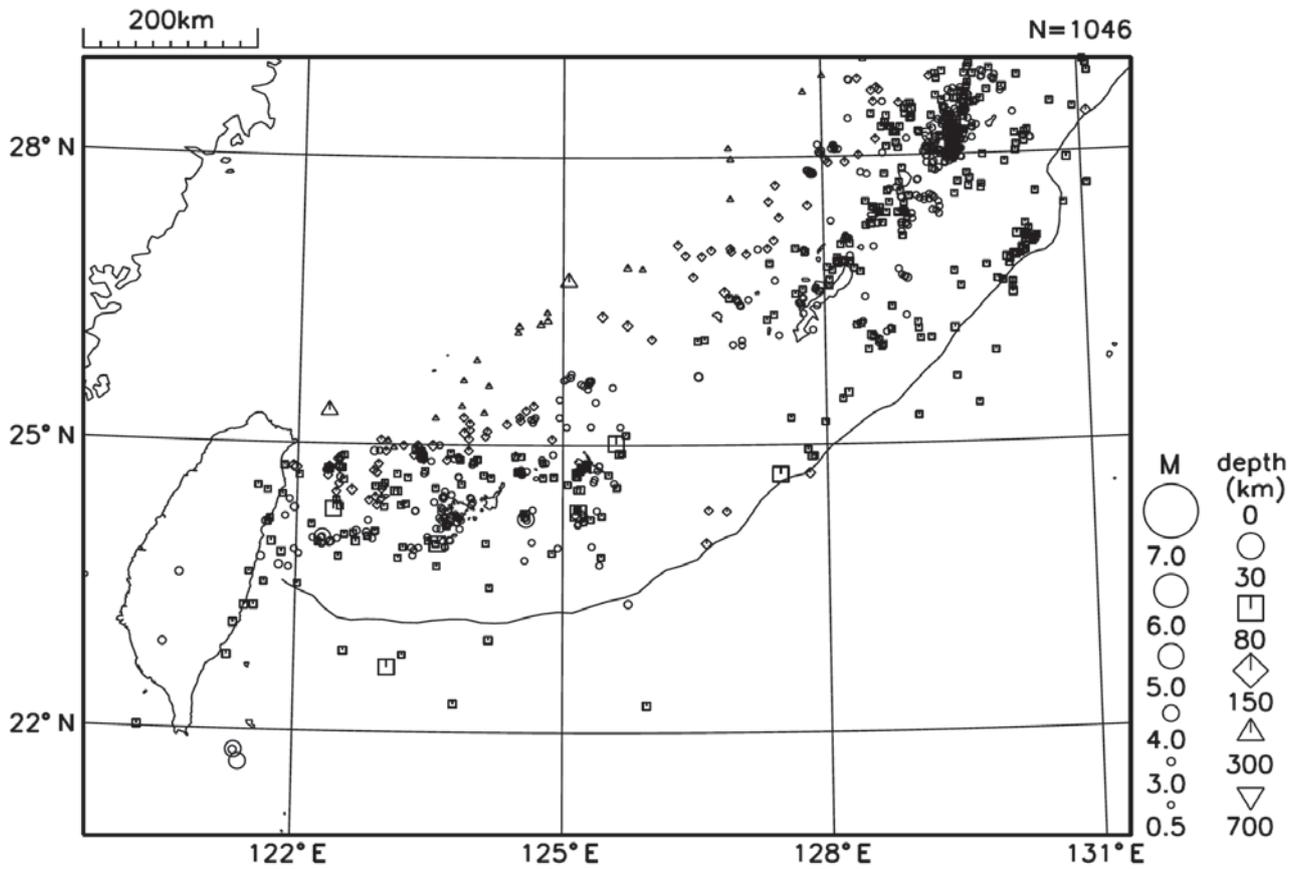


図9 沖縄地方の震央分布図 (2017年12月1日~12月31日、M \geq 0.5)

[概況]

12月に沖縄地方で震度1以上を観測した地震は7回(11月は5回)であった。
12月中、特に目立った活動はなかった。

○その他の地域の地震活動

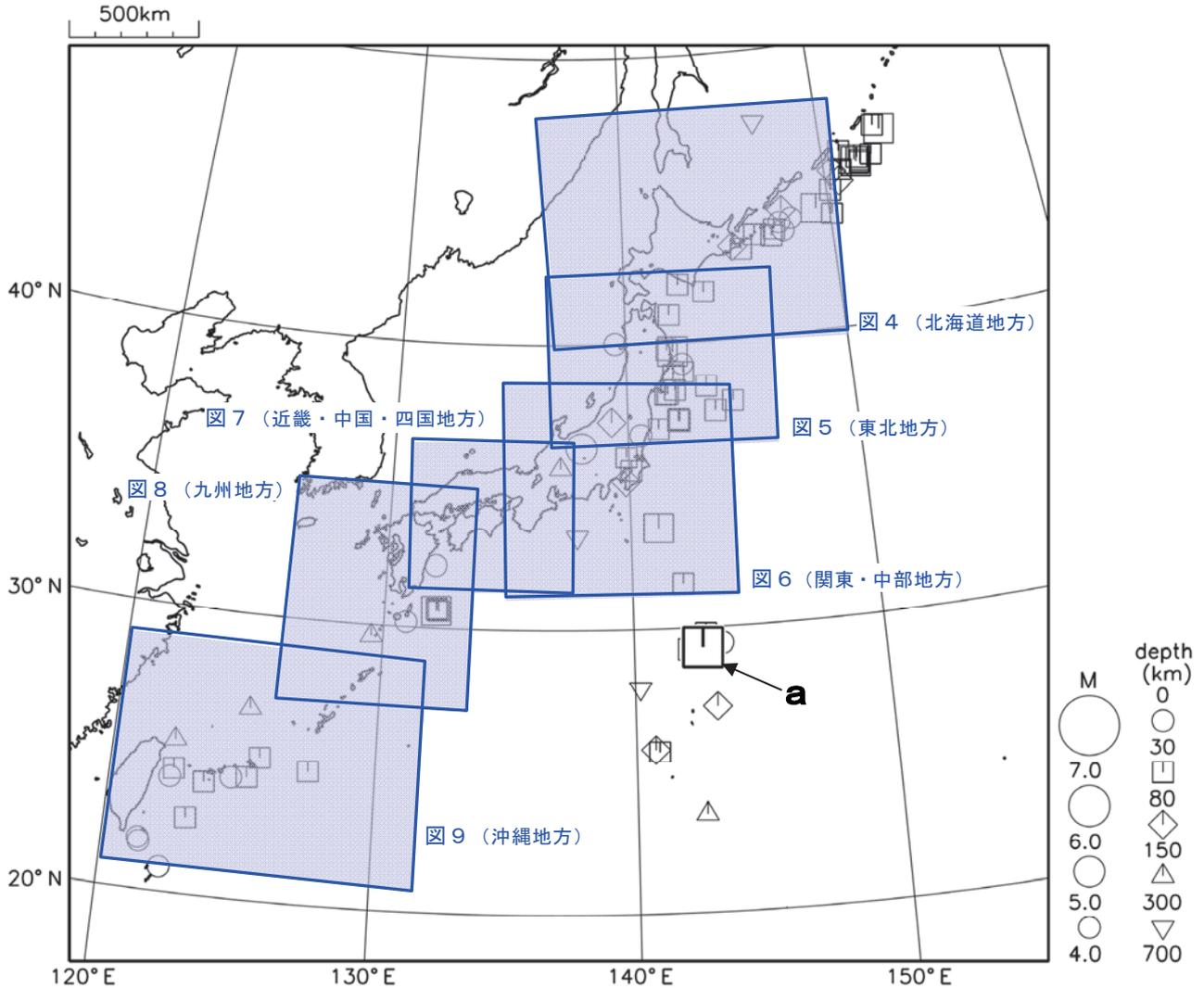


図 10 日本周辺で発生した主な地震の震央分布図 (2017 年 12 月 1 日~12 月 31 日、 $M \geq 4.0$)

[概況]

12 月に日本周辺で発生した $M6.0$ 以上の地震は 1 回 (11 月は 2 回) であった。
12 月中、図 4 ~ 9 の領域外で発生した主な地震活動は次のとおりである。

21 日 12 時 00 分に鳥島近海の深さ 10 km (CMT 解による) で $M6.0$ の地震 (図 10 中の a) が発生した (p 17 参照)。

●南海トラフ周辺の地殻活動

南海トラフ沿いの地震活動

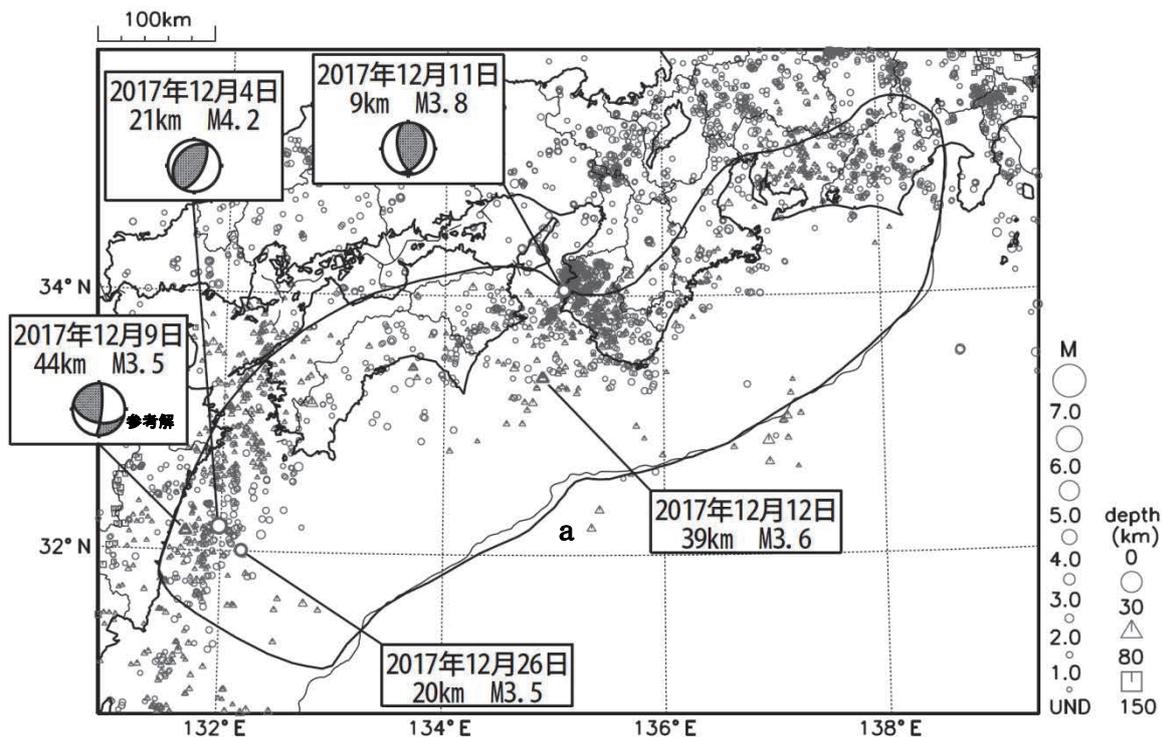


図1 震央分布図（2017年12月1日～12月31日、深さ0～150km、Mすべて、図中の領域aは、南海トラフ巨大地震の想定震源域）
 ※図中の吹き出しは、領域a内のM3.5以上、それ以外の陸域M5.0以上・海域M6.0以上とその他の主な地震

○南海トラフ巨大地震の想定震源域およびその周辺：M3.5以上の地震及びその他の主な地震

月/日	時:分	震央地名	深さ (km)	M	最大震度	発生場所
12/4	16:54	日向灘	21	4.2	2	フィリピン海プレートと陸のプレートの境界
12/9	04:21	日向灘	44	3.5	1	フィリピン海プレート内部
12/11	05:39	紀伊水道	9	3.8	3	地殻内
12/12	11:13	四国沖	39	3.6	1	フィリピン海プレート内部
12/26	20:34	日向灘	20	3.5	—	

○深部低周波地震（微動）活動期間

四国	紀伊半島	東海
12月2日～5日	12月1日～3日	<u>11月25日～12月5日</u>
12月7日		12月7日
12月14日	12月16日	
12月30日		

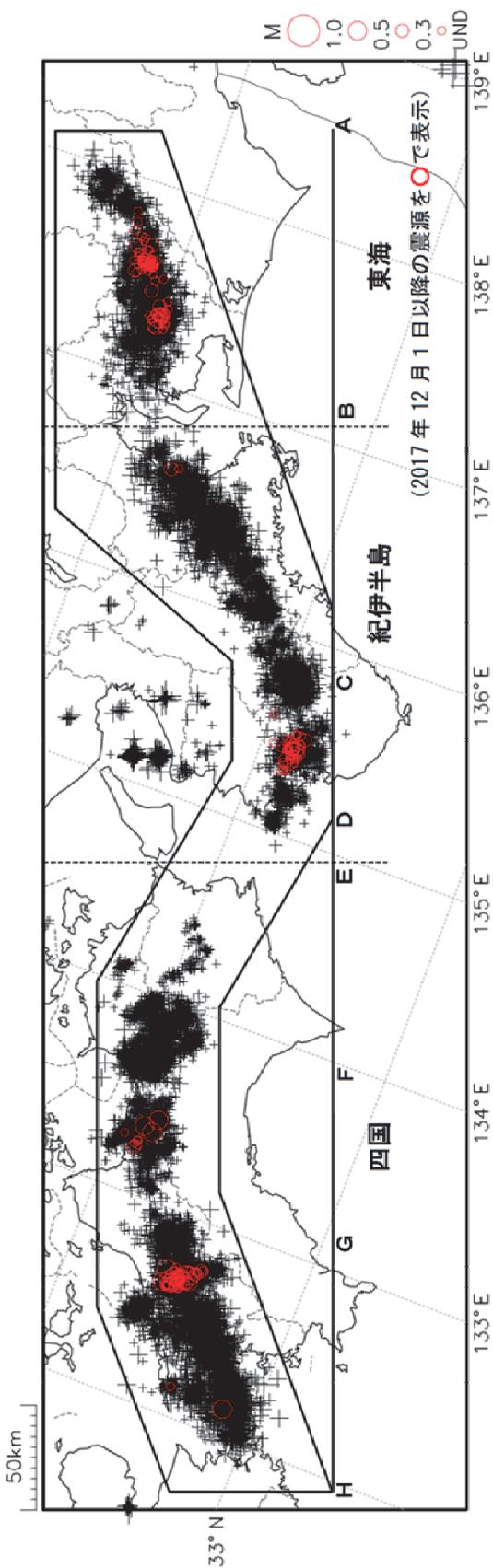
※深部低周波地震（微動）活動期間は特定の場所での一連の活動期間を記載する。

※深部低周波地震（微動）活動と同期してひずみ変化が観測された活動（期間）に下線を付している。

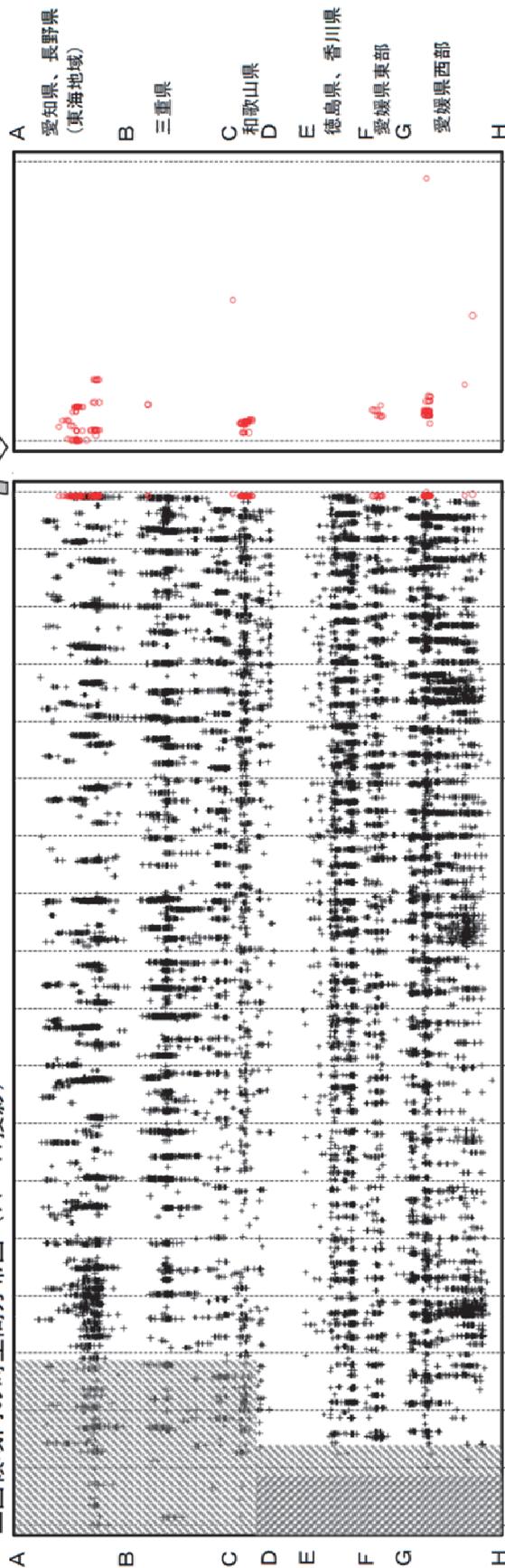
※深部低周波地震（微動）活動の地域は、次頁で示している。

深部低周波地震活動 (2000 年 1 月 1 日 ~ 2017 年 12 月 31 日)

深部低周波地震は、「短期的ゆっくりに密接に関連する現象とみられており、プレート境界の状態の変化を監視するために、その活動を監視している。



上図領域内の時空間分布図 (A-H 投影)



2000 2001 2002 2003 2004 2005 2006 2007 2008 2009 2010 2011 2012 2013 2014 2015 2016 2017
 ※時空間分布図中、網掛けした期間は現在と比較して十分な検知能力がなかったことを示す。

気象庁作成

「最近の南海トラフ周辺の地殻活動」について

平成 29 年 12 月 25 日に気象庁において第 2 回南海トラフ沿いの地震に関する評価検討会、第 380 回地震防災対策強化地域判定会（定例）を開催し、気象庁は「最近の南海トラフ周辺の地殻活動」として次の内容の南海トラフ地震に関連する情報（定例）を発表した。これに関連する資料を p 21～p 47 に掲載する。

現在のところ、南海トラフ沿いの大規模地震の発生の可能性が平常時と比べて相対的に高まったと考えられる特段の変化は観測されていません。

1. 地震の観測状況

主な深部低周波地震（微動）として、1 1 月 1 5 日から 1 2 月 5 日にかけて、奈良県から愛知・長野県境付近において、1 1 月 2 2 日から 3 0 日頃にかけて四国東部において、プレート境界付近を震源とする深部低周波地震（微動）を観測しました。

2. 地殻変動の観測状況

G N S S 観測等によると、御前崎、潮岬及び室戸岬のそれぞれの周辺では長期的な沈降傾向が継続しています。

また、1 1 月 1 5 日から 1 2 月 5 日にかけて、三重県、愛知県、静岡県及び長野県の複数のひずみ観測点及び G N S S 観測点でわずかな地殻変動を観測しました。

3. 地殻活動の評価

上記観測結果を総合的に判断すると、南海トラフ地震の想定震源域ではプレート境界の固着状況に特段の変化を示すようなデータは今のところ得られていません。

一方、上記の奈良県から愛知・長野県境付近で発生した深部低周波地震（微動）、ひずみ観測点及び G N S S 観測点で観測した地殻変動は、想定震源域のプレート境界深部において発生した「短期的ゆっくりすべり」に起因すると推定しています。

以上のように、現在のところ、南海トラフ沿いの大規模地震の発生の可能性が平常時と比べて相対的に高まったと考えられる特段の変化は観測されていません。

気象庁では、大規模地震の切迫性が高いと指摘されている南海トラフ周辺の地震活動や地殻変動等の状況を定期的に評価するため、南海トラフ沿いの地震に関する評価検討会、地震防災対策強化地域判定会を毎月開催して委員の意見提供等を受け、現在の状況を「最近の南海トラフ周辺の地殻活動」として取りまとめ南海トラフ地震に関連する情報（定例）を発表している。

【「最近の南海トラフ周辺の地殻活動」についての頁で使われる用語】

・「想定震源域」

南海トラフ沿いの大規模地震発生時に、フィリピン海プレートと陸のプレートの境界が破壊されると想定される領域。「想定震源域」全体もしくは一部が破壊されると考えられている。

・「クラスタ」、「クラスタ除去」

地震は時間空間的に群（クラスタ：cluster）をなして起きることが多くある。「本震とその後に起きる余震」、「群発地震」などが典型的なクラスタで、余震活動等の影響を取り除いて地震活動全体の推移を見ることを「クラスタ除去」と言う。例えば、相互の震央間の距離が 3 km 以内で、相互の発生時間差が 7 日以内の地震群をクラスタとして扱い、その中の最大の地震をクラスタに含まれる地震の代表とし、地震が 1 つ発生したと扱う。

・「長期的ゆっくりすべり（長期的スロースリップ）」

想定震源域の深部で、フィリピン海プレートと陸のプレートの境界が数ヶ月～数年間かけてゆっくりとすべる現象で、数年～十年程度の間隔で繰り返し発生していると考えられている。例えば、東海地域では、前々回は 2000 年秋頃～2005 年夏頃にかけて発生し、前回は 2013 年はじめ頃から 2017 年はじめ頃にかけて発生した。

・「深部低周波地震（微動）」

深さ約 30km～40km で発生する、通常の地震より長周期の波が卓越する地震を「深部低周波地震」と言う。長野県南部～日向灘にかけては帯状につながる深部低周波地震の震央分布が見られる。深部低周波微動は、P 波や S 波が明瞭ではなく震動が継続するもので、現象的には深部低周波地震と同じであるが、解析手法に違いがあるため、深部低周波地震が観測されない場合にも観測されることがある。

・「短期的ゆっくりすべり（短期的スロースリップ）」

「短期的ゆっくりすべり」は、長期的ゆっくりすべりが発生する領域のさらに深部の、深部低周波地震（微動）の発生領域とほぼ同じ領域でのフィリピン海プレートと陸のプレートの境界のすべりと考えられている。数日～1 週間程度継続する「短期的ゆっくりすべり（短期的スロースリップ）」が観測されるときは、ほぼ同時に深部低周波地震（微動）活動が観測されることが多い。短期的ゆっくりすべりは、数ヶ月から 1 年程度の間隔で繰り返し発生している。

注）地震活動および地殻活動の解析には Hirose et al. (2008)* によるフィリピン海プレートと陸のプレートの境界データを使用している。

* Hirose, F., J. Nakajima, and A. Hasegawa (2008), Three-dimensional seismic velocity structure and configuration of the Philippine Sea slab in southwestern Japan estimated by double-difference tomography, J. Geophys. Res., 113, B09315, doi:10.1029/2007JB005274.

平成 29 年 11 月 1 日～12 月 16 日の主な地震活動

○南海トラフ巨大地震の想定震源域およびその周辺の地震活動：

【最大震度 3 以上を観測した地震もしくは M3.5 以上の地震及びその他の主な地震】

月/日	時:分	震央地名	深さ (km)	M	最大 震度	発生場所
11/3	13:49	和歌山県北部	8	3.5	3	地殻内
11/15	23:22	日向灘	22	3.7	1	
12/4	16:54	日向灘	21	4.2	2	フィリピン海プレートと陸のプレートの境界
12/9	04:21	日向灘	44	3.5	1	フィリピン海プレート内部
12/11	05:39	紀伊水道	9	3.8	3	地殻内
12/12	11:13	四国沖	39	3.6	1	フィリピン海プレート内部

○深部低周波地震（微動）活動期間

四国	紀伊半島	東海
11 月 3 日～5 日		
11 月 7 日		
11 月 10 日～13 日		
	11 月 15 日～23 日	
11 月 21 日		
11 月 26 日～30 日		11 月 25 日～12 月 5 日
12 月 2 日～5 日	12 月 1 日～3 日	
12 月 7 日		12 月 7 日
12 月 14 日	12 月 16 日	

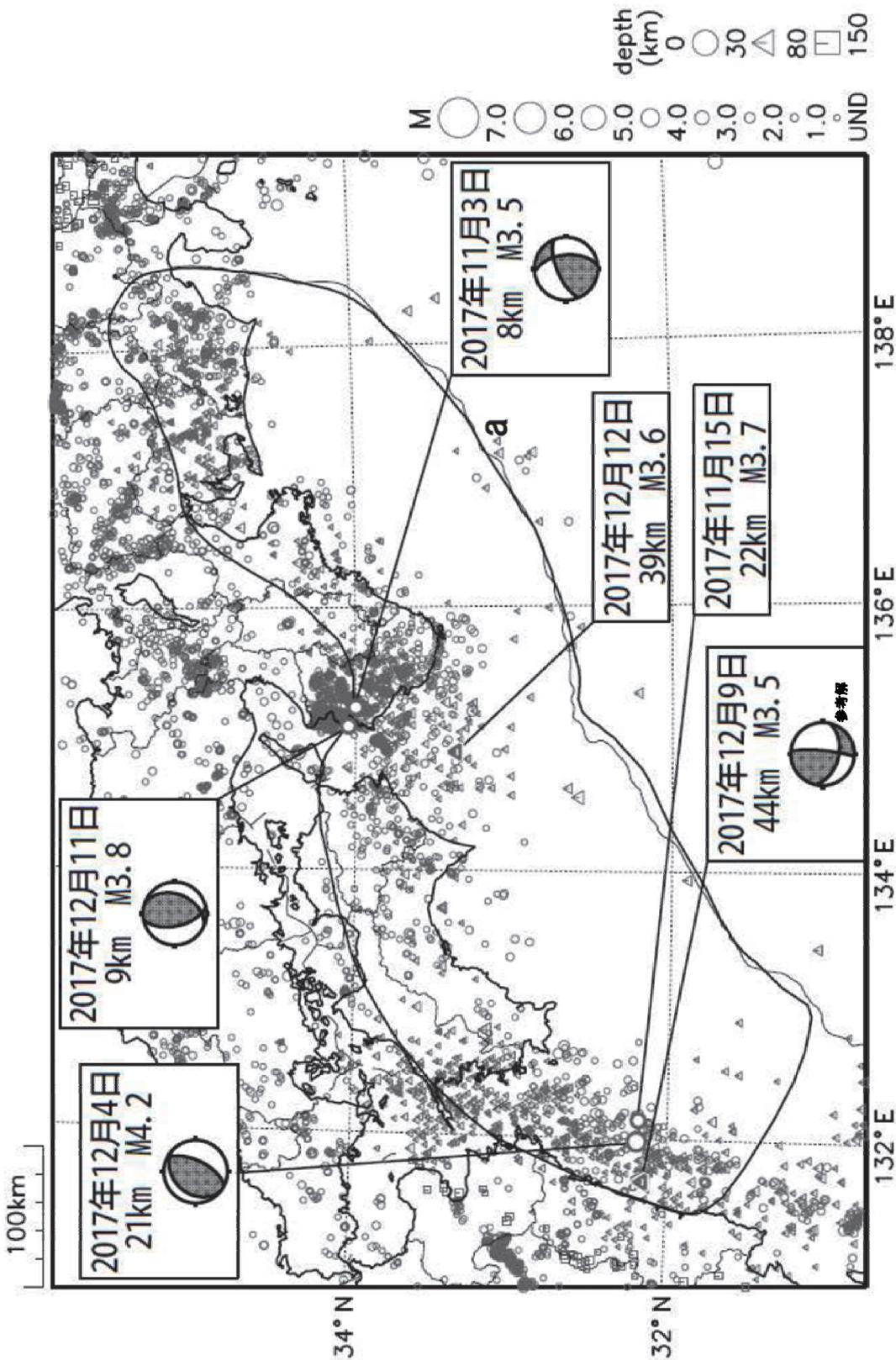
※深部低周波地震（微動）活動期間は特定の場所での一連の活動期間を記載する。

※深部低周波地震（微動）活動と同期してひずみ変化が観測された活動（期間）を赤字で示している。

※深部低周波地震（微動）活動の地域は、次々頁の震央分布図に示している。

気象庁作成

南海トラフ沿いとその周辺の広域地震活動(2017年11月1日～2017年12月16日)

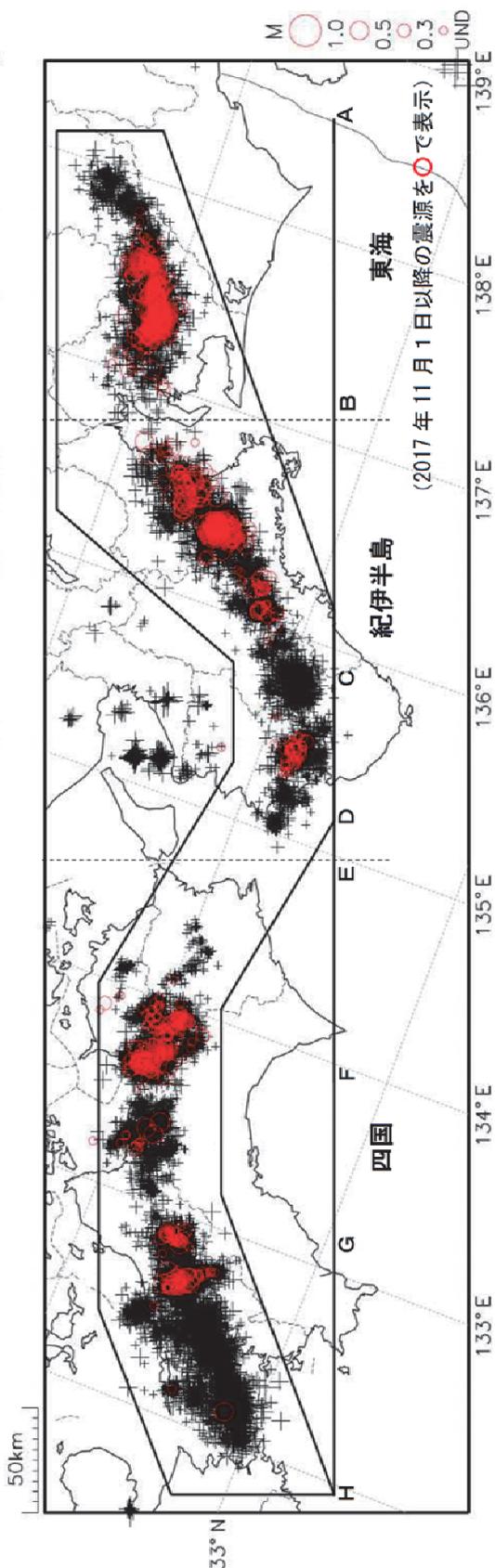


図中の吹き出しは、南海トラフ巨大地震の想定震源域(領域a内)で最大震度3以上を観測した地震もしくはM3.5以上の地震、それ以外(領域a内以外)の陸域M5.0以上・海域M6.0以上とその他の他の主な地震

気象庁作成

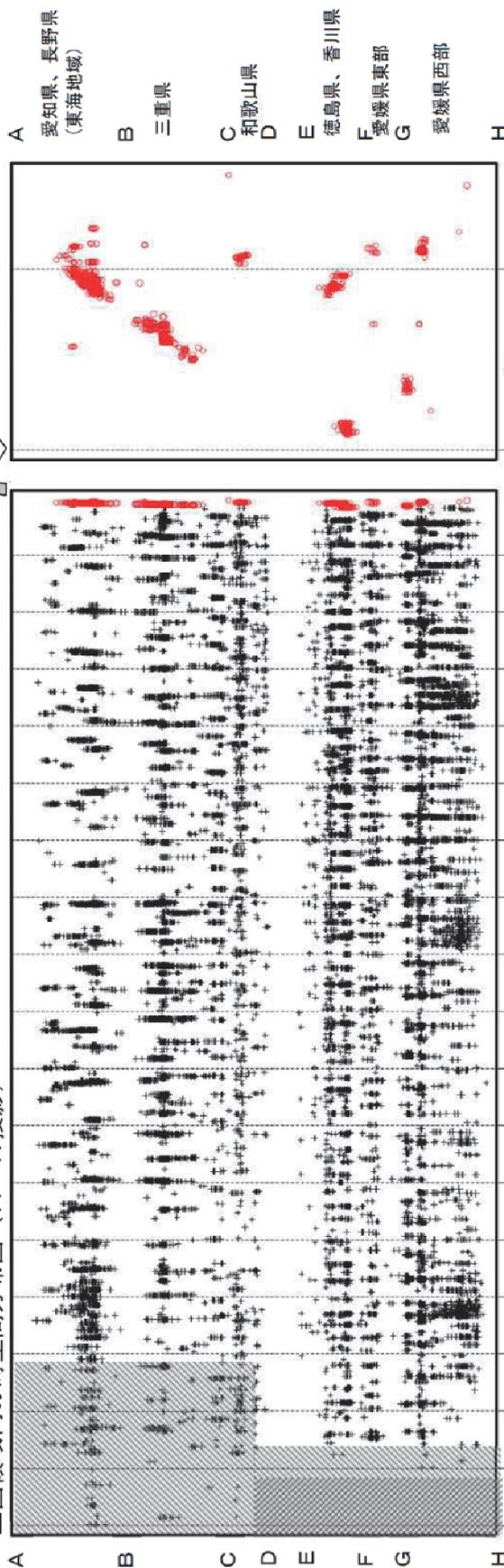
深部低周波地震活動 (2000 年 1 月 1 日～2017 年 12 月 16 日)

深部低周波地震は、「短期的ゆっくりすべり」に密接に関連する現象とみられており、プレート境界の状態の変化を監視するために、その活動を監視している。



上図領域内の時空間分布図 (A-H 投影)

(2017 年 11 月 1 日～2017 年 12 月 16 日)



気象庁作成

四国の深部低周波微動活動状況 (2017 年 11 ~ 12 月)



● 四国東部において 11 月 22 ~ 30 日頃に、やや活発な微動活動。

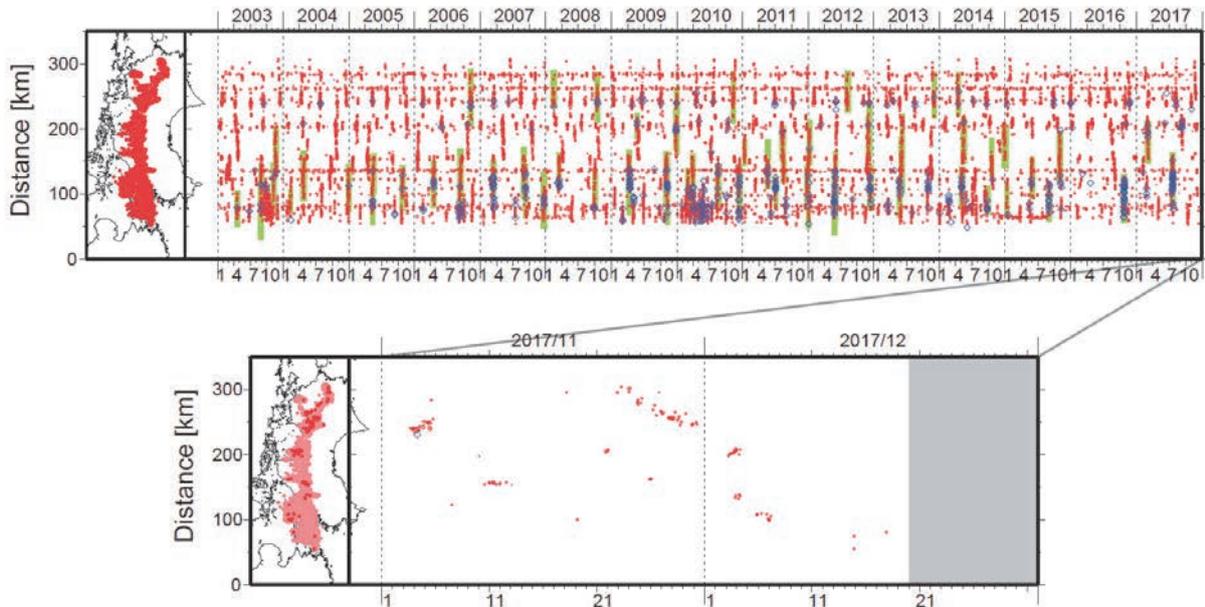


図 1. 四国における 2003 年 1 月 ~ 2017 年 12 月 19 日までの深部低周波微動の時空間分布 (上図). 赤丸はエンベロープ相関・振幅ハイブリッド法 (Maeda and Obara, 2009) およびクラスタ処理 (Obara et al., 2010) によって 1 時間毎に自動処理された微動分布の重心である. 青菱形は周期 20 秒に卓越する超低周波地震 (Ito et al., 2007) である. 黄緑色太線は、これまでに検出された短期的スロースリップイベント (SSE) を示す. 下図は 2017 年 11 月を中心とした期間の拡大図である. 11 月後半以降については、11 月 22 ~ 30 日頃に徳島県付近でやや活発な活動が発生し、西方向への活動域の移動がみられた. また、12 月 3 ~ 4 日頃には愛媛県東部において、12 月 5 ~ 7 日頃には愛媛県西部において、それぞれ小規模な活動がみられた. 11 月 21 ~ 22 日頃には愛媛県東部において、11 月 25 ~ 26 日頃には愛媛県中部において、12 月 3 ~ 4 日頃には愛媛県西部において、それぞれごく小規模な活動がみられた.

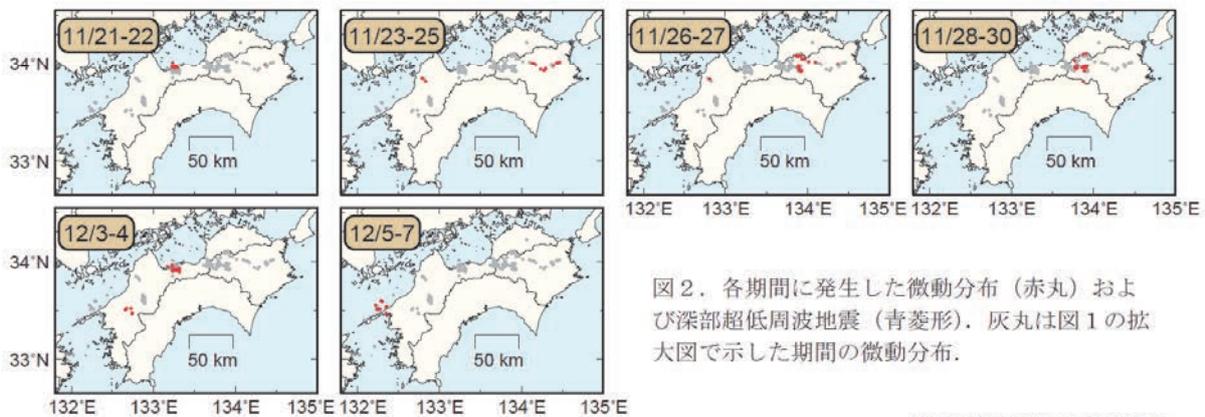


図 2. 各期間に発生した微動分布 (赤丸) および深部超低周波地震 (青菱形). 灰丸は図 1 の拡大図で示した期間の微動分布.

防災科学技術研究所資料

紀伊半島から愛知・長野県境付近にかけての 深部低周波地震（微動）活動と短期的ゆっくりすべり

11月15日から12月5日にかけて、奈良県から愛知・長野県境付近を震央とする深部低周波地震（微動）を観測した。11月15日に奈良県と三重県の県境付近で始まった深部低周波地震（微動）の活動領域は次第に北東へ移動し、伊勢湾まで広がった。その後、11月25日夜からは愛知県で活動が見られ、活動域は次第に北東へ移動した。

深部低周波地震（微動）活動とほぼ同期して、三重県、愛知県、静岡県、長野県に設置されている複数のひずみ計で変化を観測した。

これらは、プレート境界深部において発生した短期的ゆっくりすべりに起因すると推定される。短期的ゆっくりすべりの断層の中心も、深部低周波地震（微動）の活動域の移動と同期して、北東へ移動した。

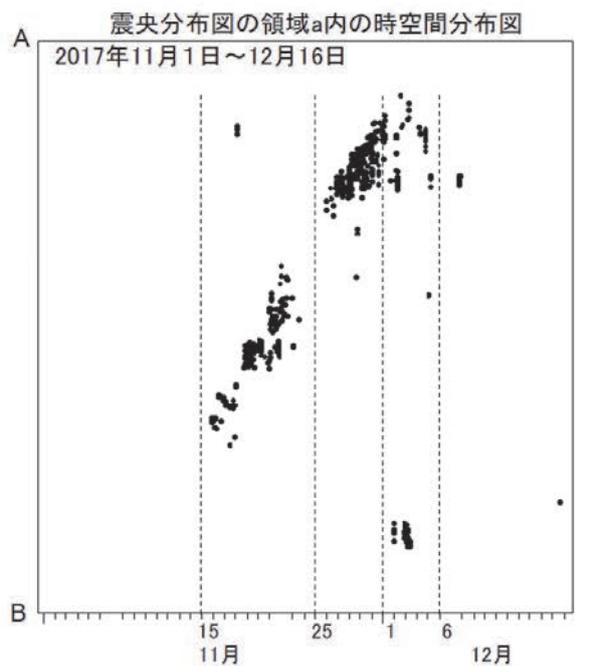
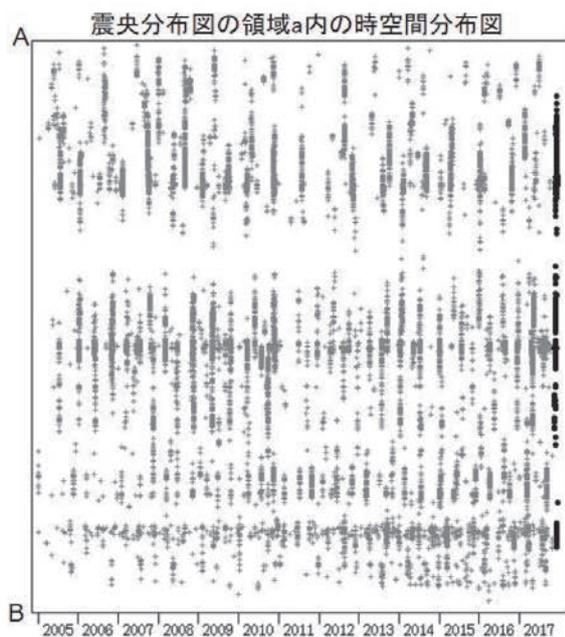
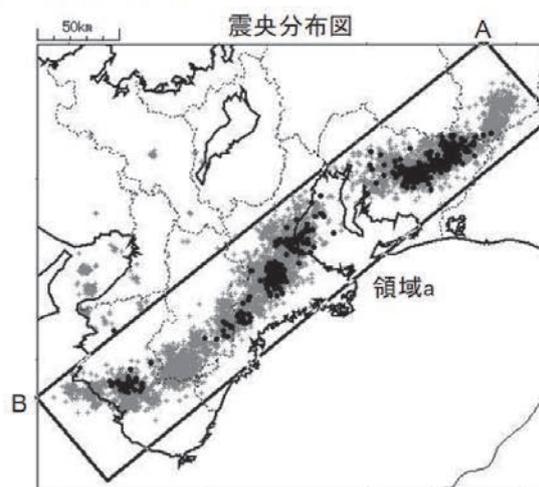
また、12月1日から3日にかけて、和歌山県を震央とする深部低周波地震（微動）を観測した。ひずみ計では特段の変化は観測していない。

深部低周波地震（微動）活動

2005年1月1日～2017年12月16日
深さ0～60km、M全て

灰色：2005年1月1日～2017年10月31日
黒色：2017年11月1日～12月16日

※活動期間が長く、また広範囲であるため、本頁では11月1日以降の活動を一色で表示している。次頁に、11月15日から12月7日にかけての紀伊半島から愛知・長野県境付近の活動を、紀伊半島から伊勢湾の活動、愛知県から長野県の活動に分けて、活動域・活動期間の詳細を示す。



気象庁作成

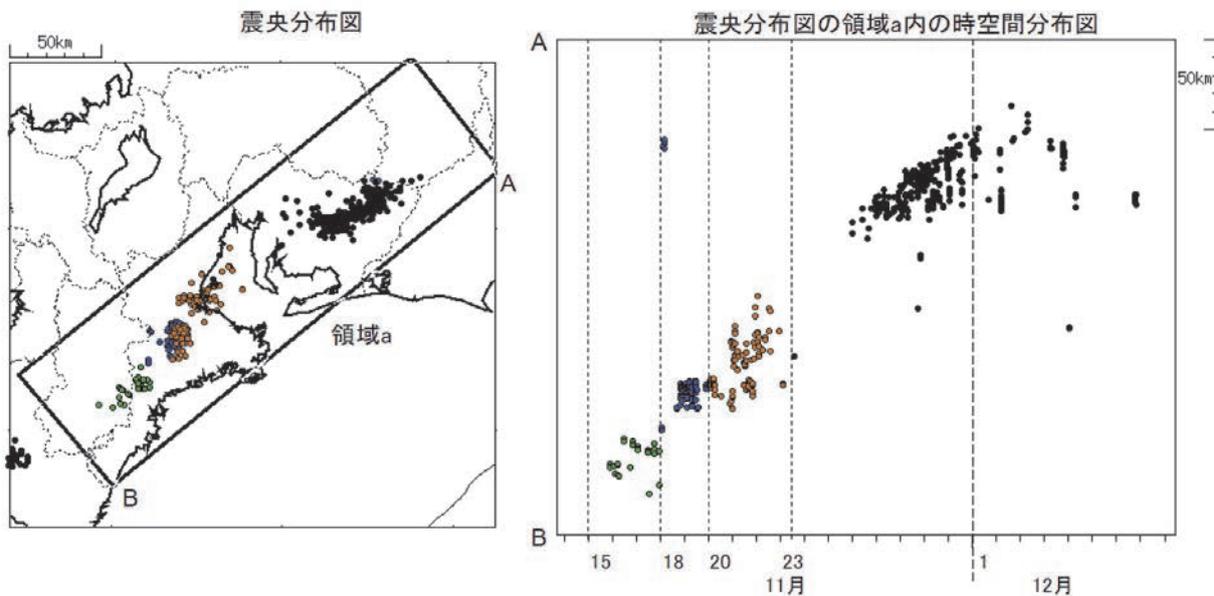
深部低周波地震(微動)活動 (活動場所・期間ごとに色分けで表示)

11月15日から11月23日12時の奈良県から伊勢湾にかけての活動の詳細

2017年11月14日～2017年12月8日

緑色:11月15日～11月17日、青色:11月18日～11月19日、橙色:11月20日～11月23日12時

黒色:11月23日12時～12月8日

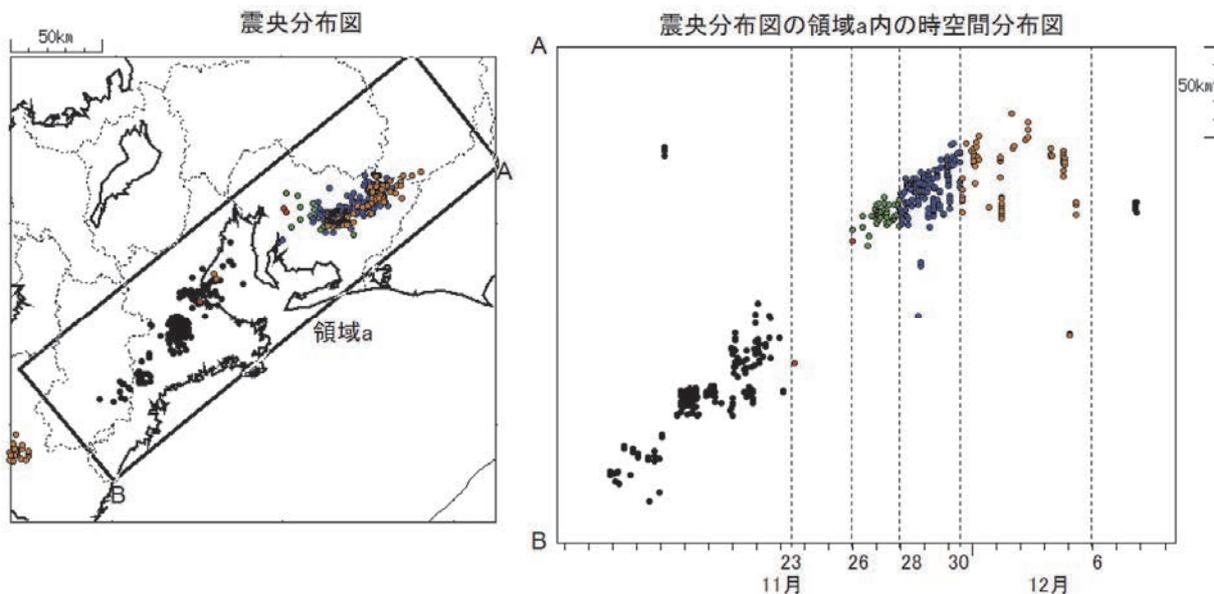


11月23日12時から12月5日の愛知県から長野県にかけての活動の詳細

2017年11月14日～2017年12月8日

黒色:11月14日～11月23日12時、赤色:11月23日12時～11月25日、緑色:11月26日～11月27日

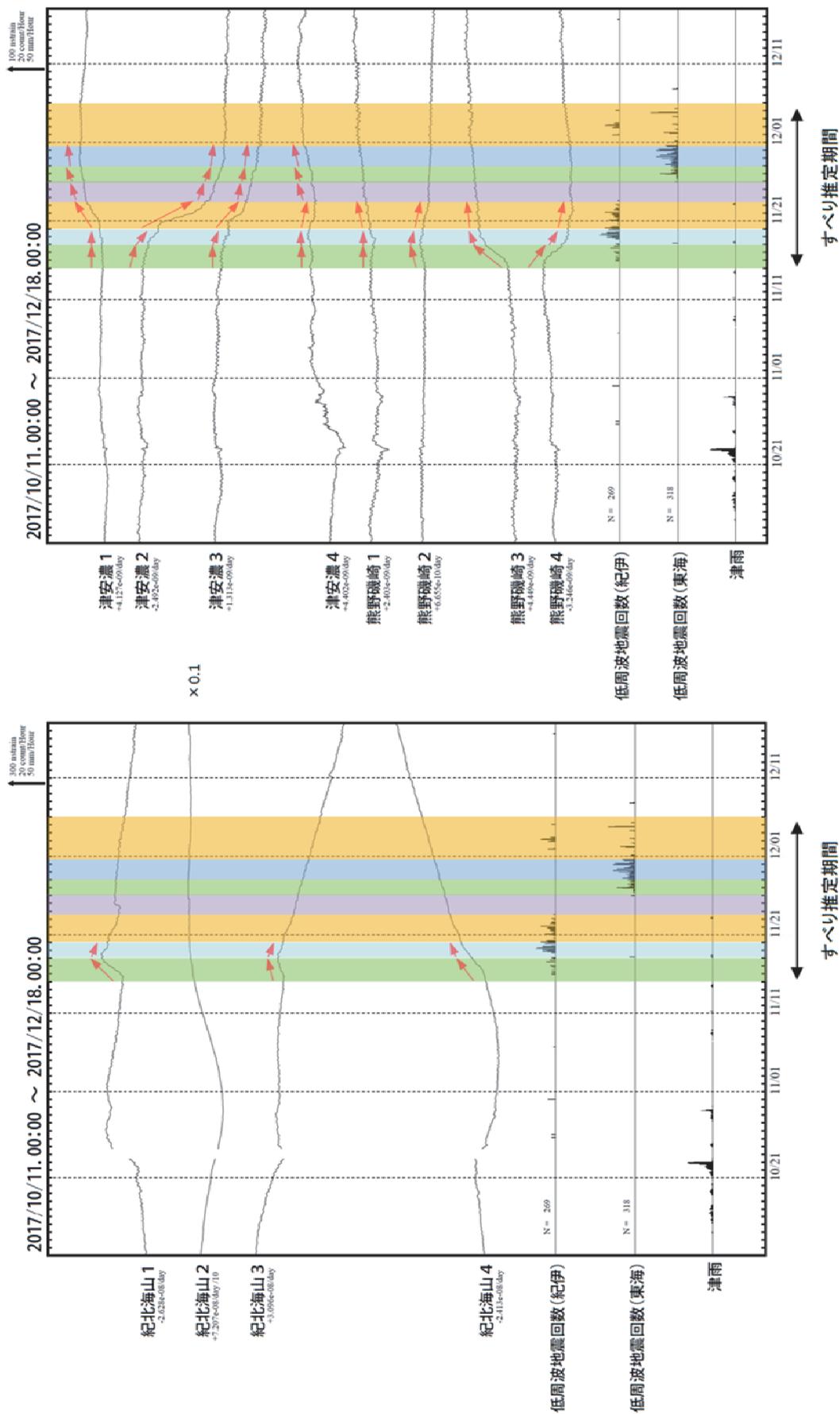
青色:11月28日～11月30日12時、橙色:11月30日12時～12月5日、黒色:12月6日～12月8日



気象庁作成

三重県から愛知県にかけて発生した短期的ゆっくりすべり

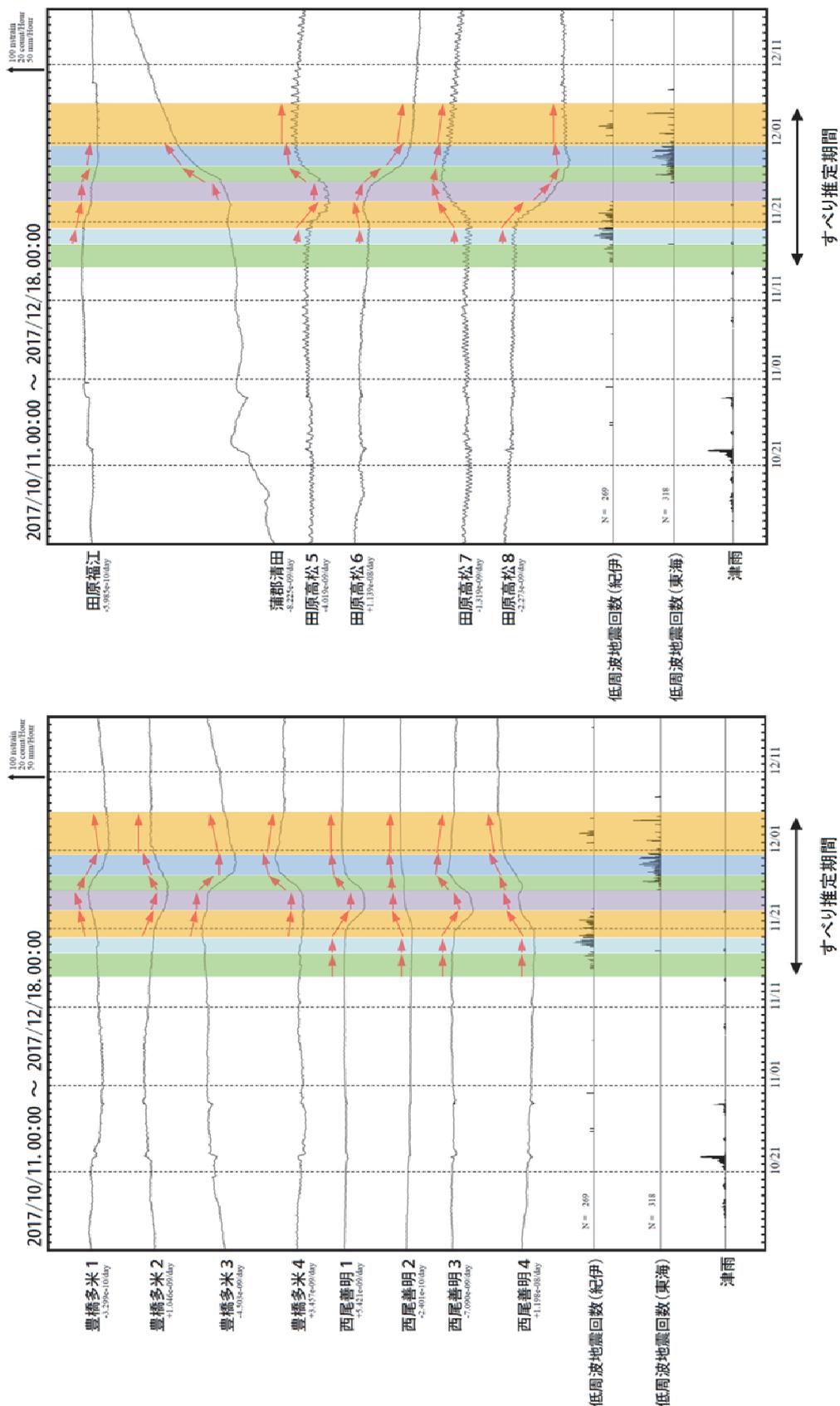
三重県から長野県にかけて観測されたひずみ変化



紀北海山、津安濃及び熊野磯崎は産業技術総合研究所のひずみ計である。
 なお、紀北海山2はノイズが大きいため、他の成分に比べて1/10の縮尺で表示している。

三重県から愛知県にかけて発生した短期的ゆっくりすべり

三重県から長野県にかけて観測されたひずみ変化

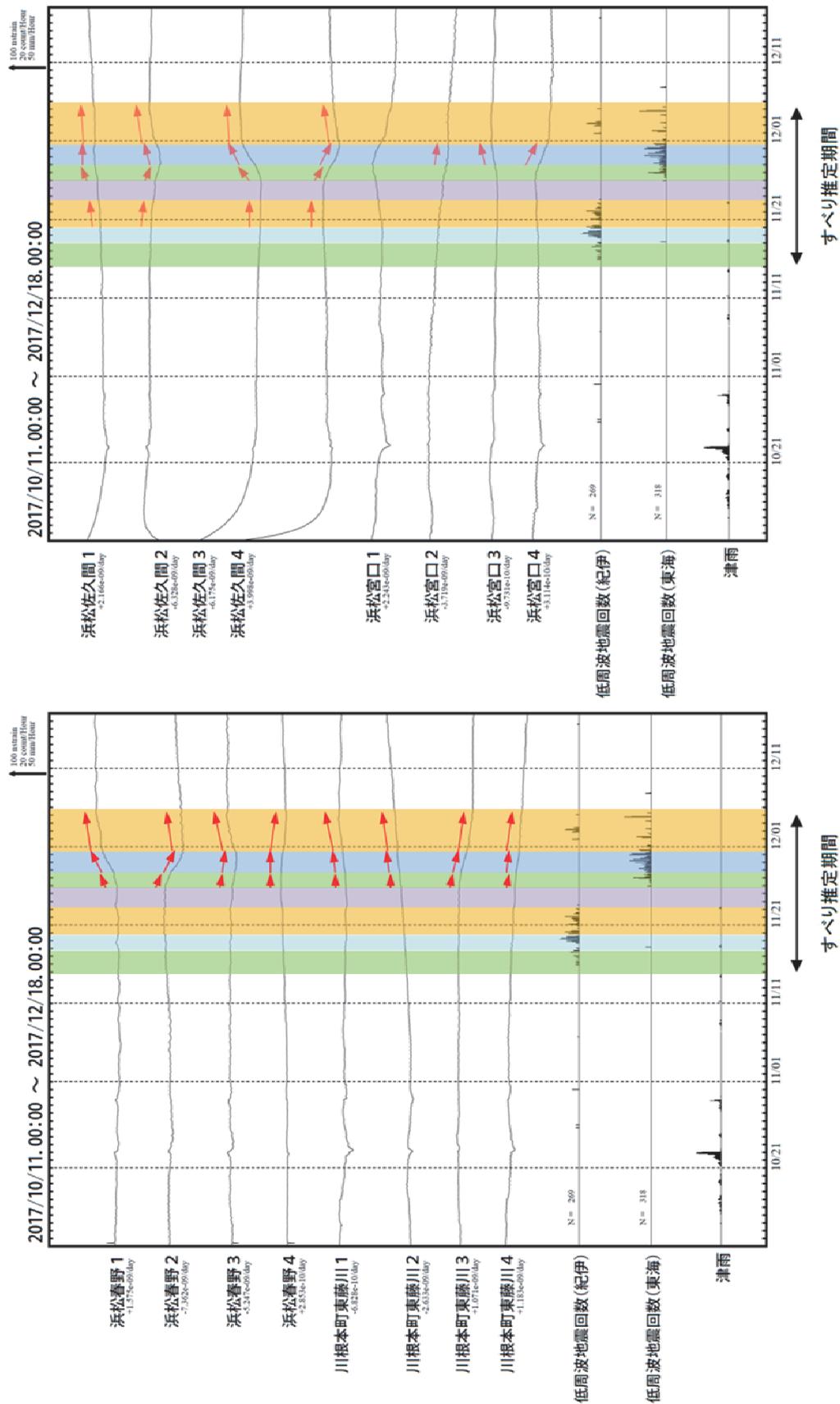


豊橋多米及び西尾善明は産業技術総合研究所のひずみ計である。

気象庁作成

三重県から愛知県にかけて発生した短期的ゆっくりすべり

三重県から長野県にかけて観測されたひずみ変化

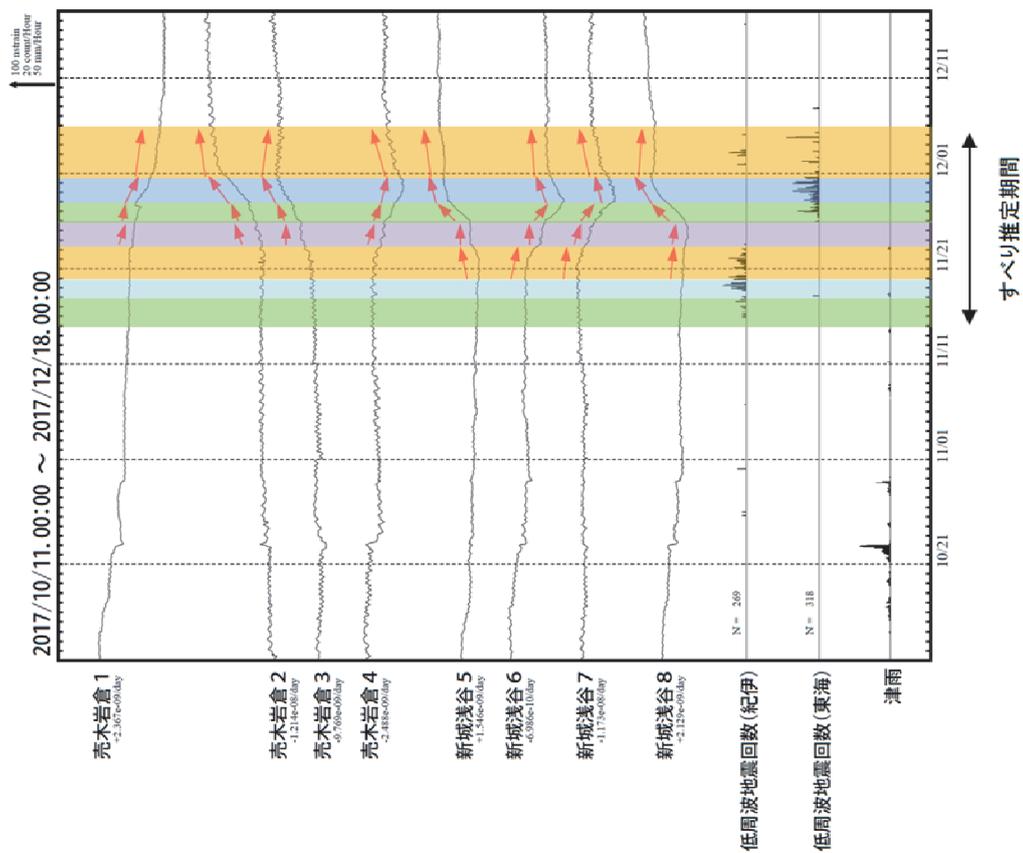


浜松善野及び川根本町東藤川は静岡県県のひずみ計である。

気象庁作成

三重県から愛知県にかけて発生した短期的ゆっくりすべり

三重県から長野県にかけて観測されたたひびきみ変化



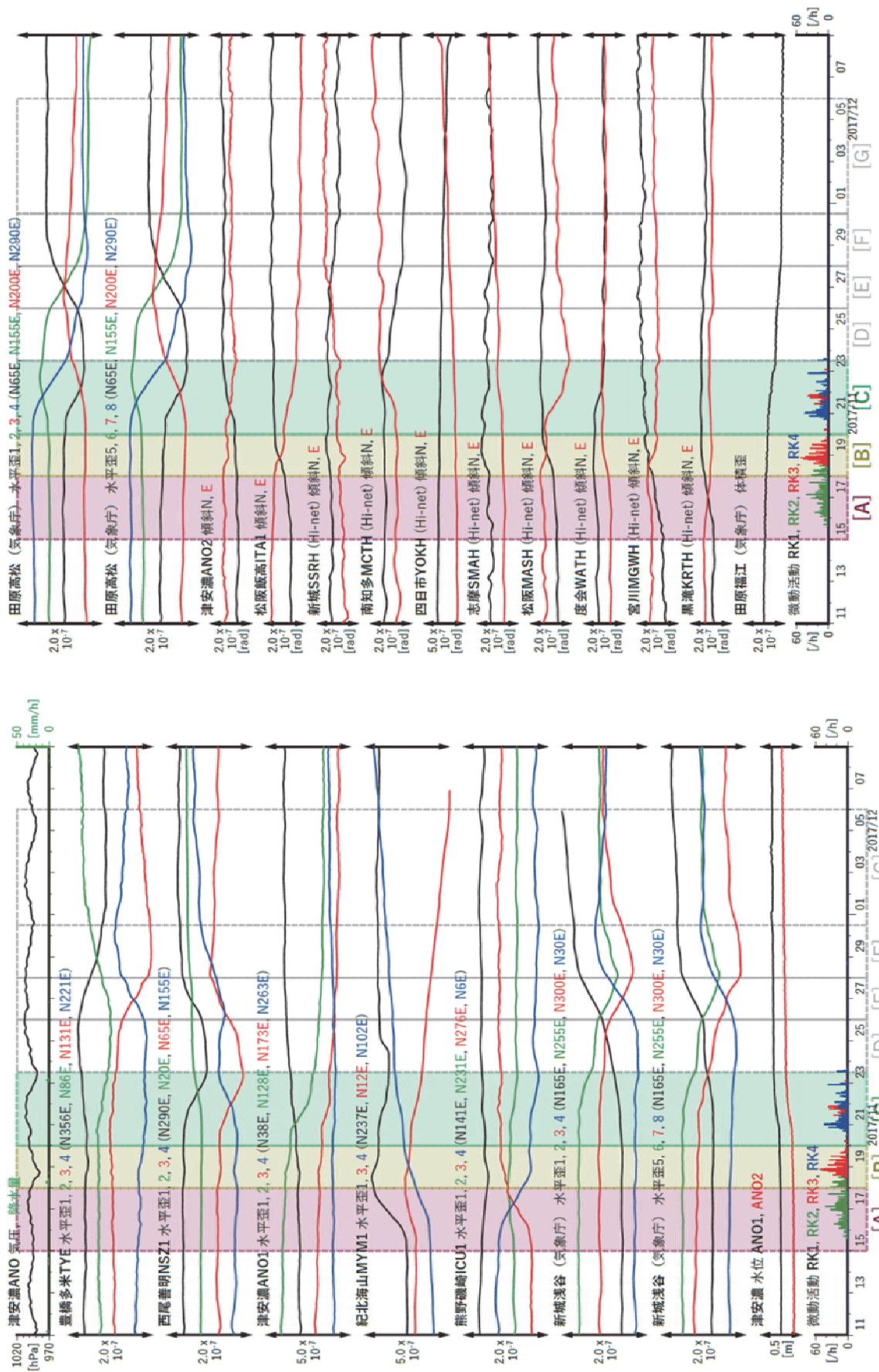
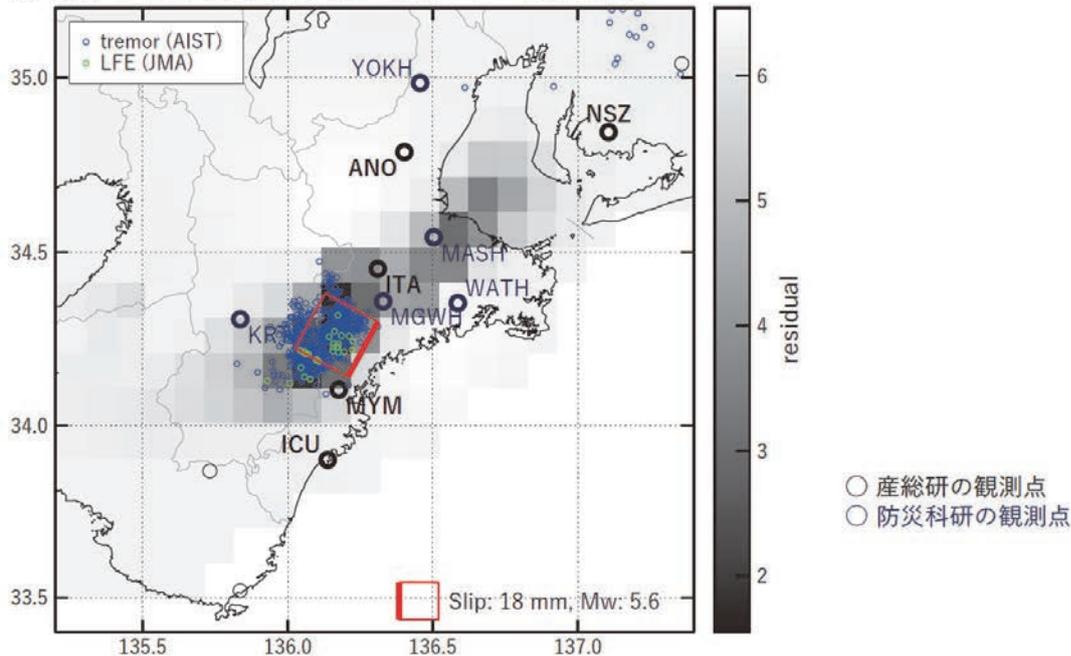


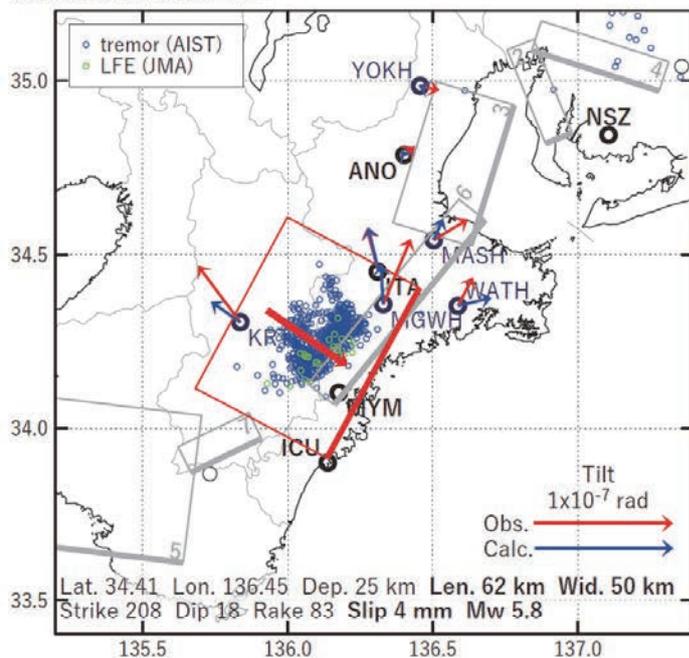
図2 紀伊半島・東海地方における歪・傾斜・傾斜・地下水観測結果(1) (2017/11/11 00:00 - 2017/12/09 00:00 (JST))

[A] 2017/11/15-17

(a) 断層の大きさを固定した場合の断層モデルと残差分布



(b1) 推定した断層モデル



(b2) 主歪

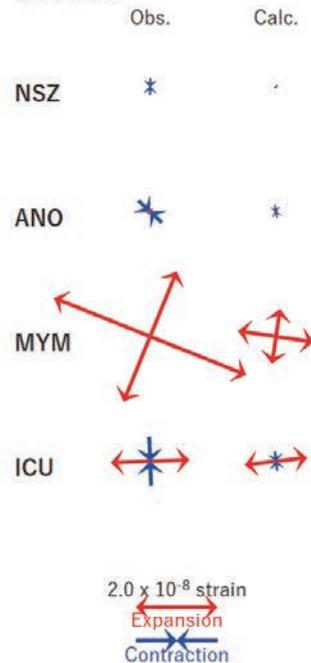


図4 2017/11/15-17の歪・傾斜変化(図2[A])を説明する断層モデル。

(a) プレート境界面に沿って20 x 20 kmの矩形断層面を移動させ、各位置で残差の総和を最小にするすべり量を選んだときの、対応する残差の総和の分布。赤色矩形が残差の総和が最小となる断層面の位置。

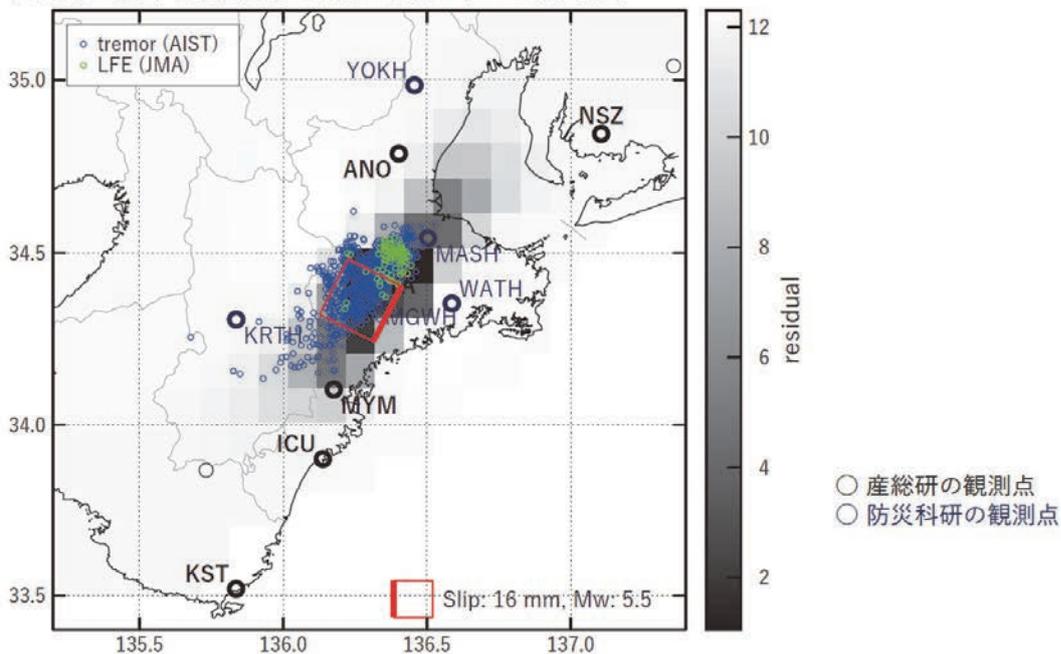
(b1) (a)の断層面付近をグリッドサーチして推定した断層面(赤色矩形)と断層パラメータ。灰色矩形は最近周辺で発生した短期的SSEの推定断層面。

2: 2017/03/28-04/03 (Mw5.8), 3: 2017/05/04-08 (Mw5.5), 4: 2017/05/17-19 (Mw5.5), 5: 2017/07/25-28 (Mw5.6), 6: 2017/08/02-06 (Mw5.6), 7: 2017/09/03-05 (Mw5.5)

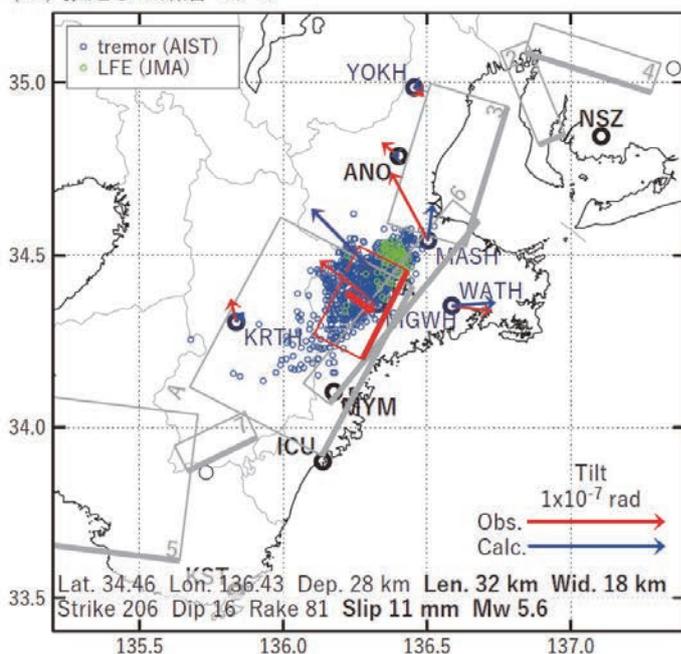
(b2) 主歪の観測値と(b1)に示した断層モデルから求めた計算値との比較。

[B] 2017/11/18-19

(a) 断層の大きさを固定した場合の断層モデルと残差分布



(b1) 推定した断層モデル



(b2) 主歪

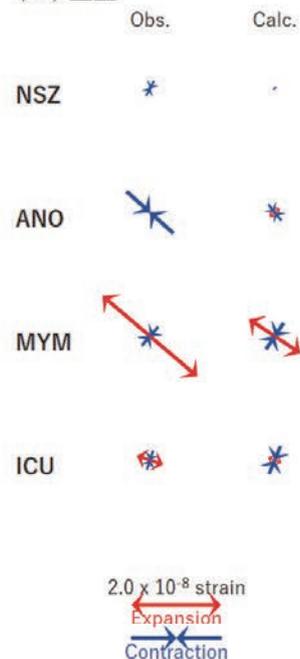


図5 2017/11/18-19の歪・傾斜変化（図2[B]）を説明する断層モデル。

(a) プレート境界面に沿って20 x 20 kmの矩形断層面を移動させ、各位置で残差の総和を最小にするすべり量を選んだときの、対応する残差の総和の分布。赤色矩形が残差の総和が最小となる断層面の位置。

(b1) (a)の断層面付近をグリッドサーチして推定した断層面（赤色矩形）と断層パラメータ。灰色矩形は最近周辺で発生した短期的SSEの推定断層面。

2: 2017/03/28-04/03 (Mw5.8), 3: 2017/05/04-08 (Mw5.5), 4: 2017/05/17-19 (Mw5.5), 5: 2017/07/25-28 (Mw5.6), 6: 2017/08/02-06 (Mw5.6), 7: 2017/09/03-05 (Mw5.5), A: 2017/11/15-17 (Mw5.8)

(b2) 主歪の観測値と(b1)に示した断層モデルから求めた計算値との比較。

[C] 2017/11/20-23AM

(a) 断層の大きさを固定した場合の断層モデルと残差分布

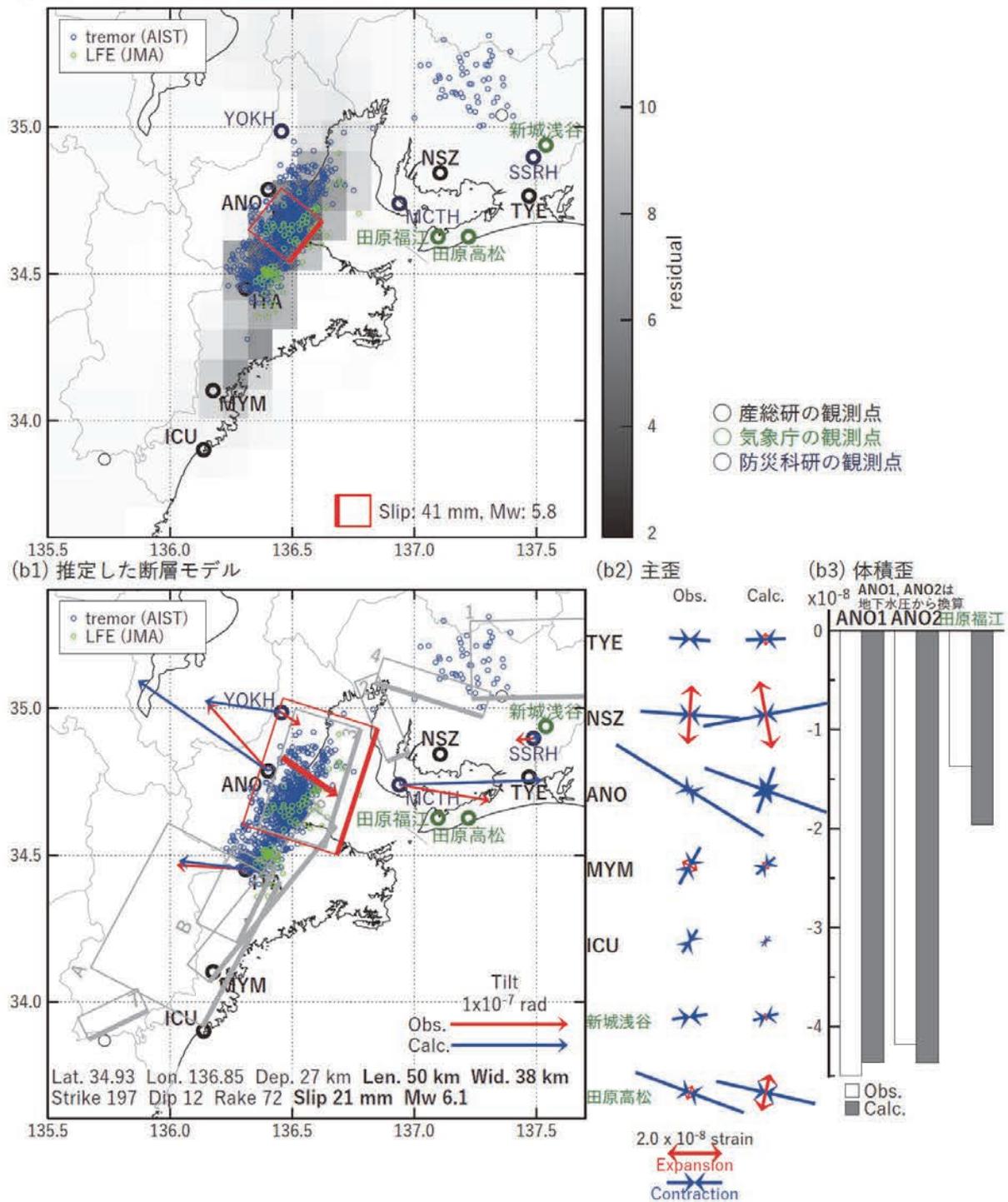
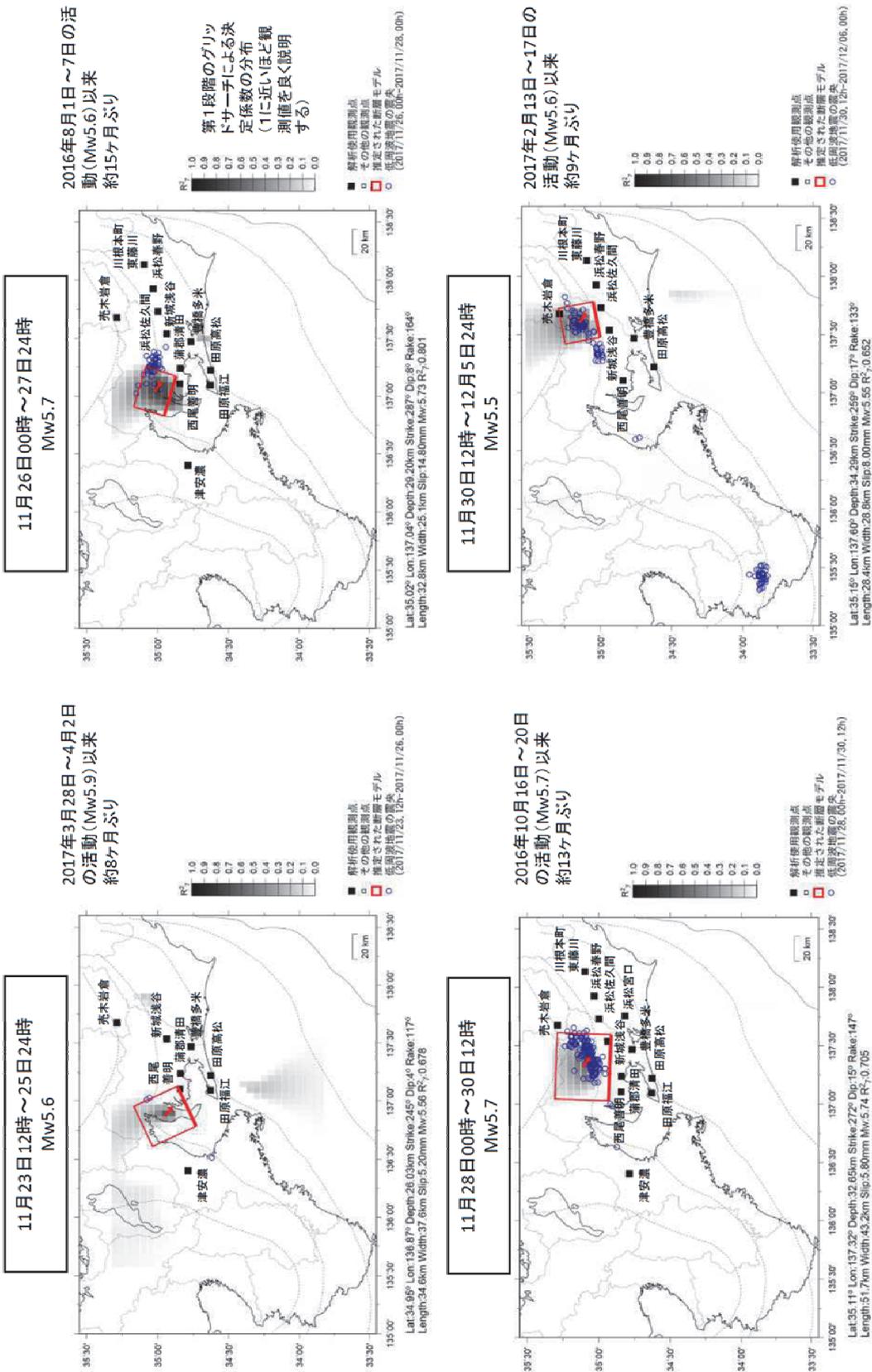


図6 2017/11/20-23AMの歪・傾斜・地下水変化（図2[C]）を説明する断層モデル。

- (a) プレート境界面に沿って20 x 20 kmの矩形断層面を移動させ、各位置で残差の総和を最小にするすべり量を選んだときの、対応する残差の総和の分布。赤色矩形が残差の総和が最小となる断層面の位置。
- (b1) (a)の断層面付近をグリッドサーチして推定した断層面（赤色矩形）と断層パラメータ。灰色矩形は最近周辺で発生した短期的SSEの推定断層面。
 1: 2017/02/13PM-17 (Mw5.8), 2: 2017/03/28-04/03 (Mw5.8), 3: 2017/05/04-08 (Mw5.5), 4: 2017/05/17-19 (Mw5.5),
 6: 2017/08/02-06 (Mw5.6), 7: 2017/09/03-05 (Mw5.5), A: 2017/11/15-17 (Mw5.8), B: 2017/11/18-19 (Mw5.6)
- (b2) 主歪の観測値と(b1)に示した断層モデルから求めた計算値との比較。
- (b3) 体積歪の観測値と(b1)に示した断層モデルから求めた計算値との比較。

伊勢湾から愛知県にかけて発生した短期的ゆっくりすべり

ひずみ変化から推定される断層モデル



観測されたひずみ変化のうち、赤矢印を付した観測点での変化量を元にすべり推定を行った。

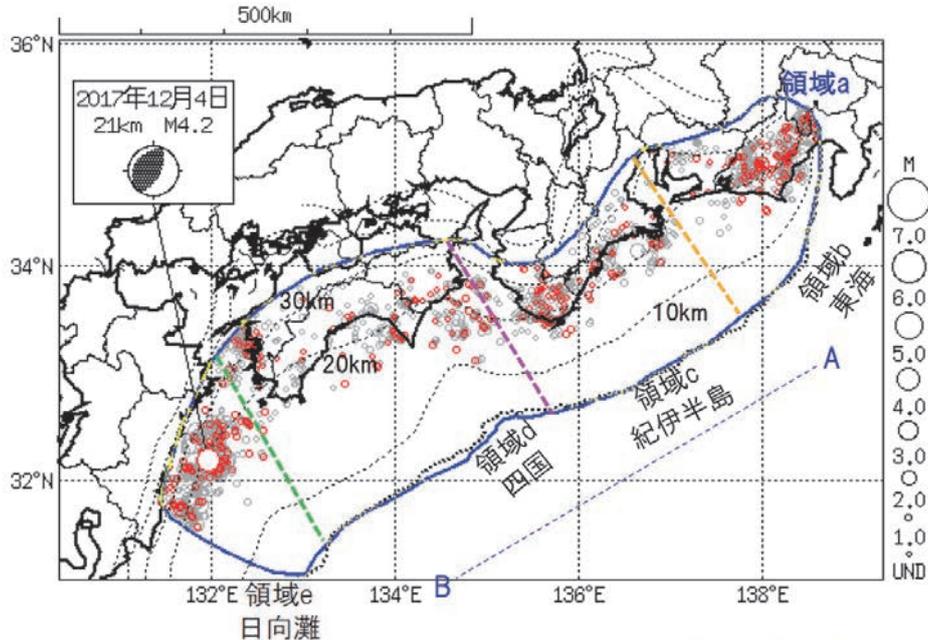
断層モデルの推定は、産総研の解析方法(板場ほか、2012)を参考に以下の2段階で行う。
 ・断層サイズを20km×20kmに固定し、位置を0.05度単位でグリッドサーチにより推定する。
 ・その位置を中心にして、他の断層パラメータの最適解を求める。

気象庁作成

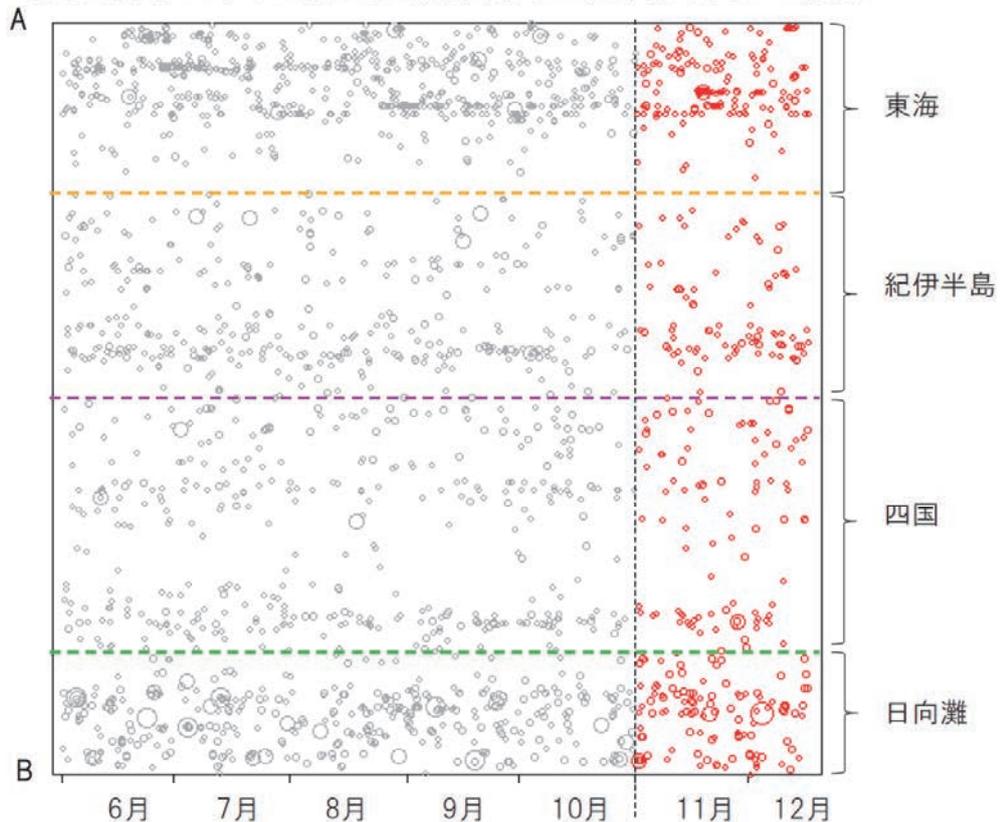
プレート境界とその周辺の地震活動

Hirose et al.(2008)によるフィリピン海プレート上面の深さから±6km未満の地震を表示している。

震央分布図
(2017年6月1日～2017年12月16日、M全て、2017年11月以降の地震を赤く表示)



領域a(南海トラフ巨大地震の想定震源域)内の時空間分布図(A-B投影)



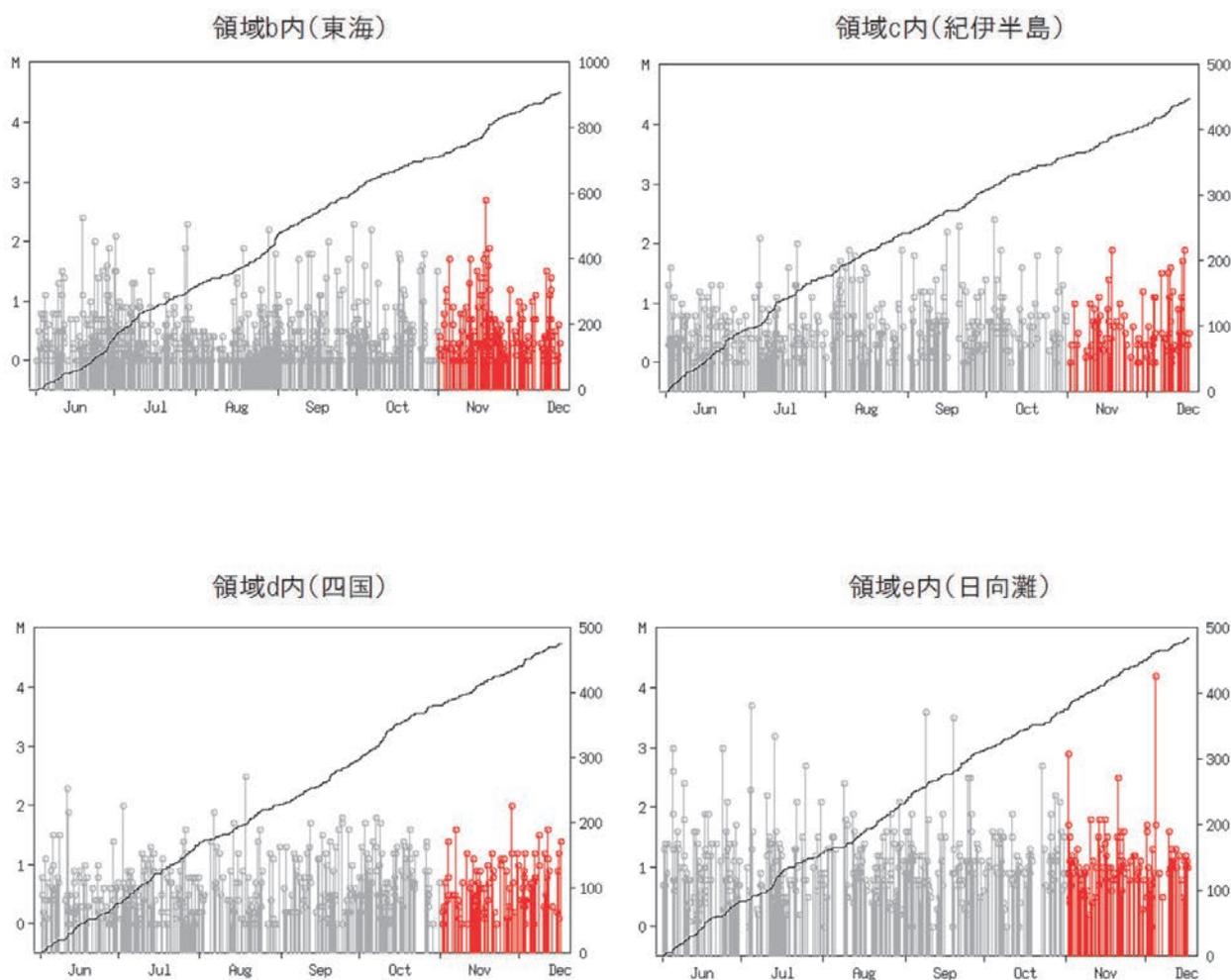
・震央分布図中の点線は、Hirose et al.(2008)によるフィリピン海プレート上面の深さを示す。
・今期間の地震のうち、M3.2以上の地震で想定南海トラフ地震の発震機構解と類似の型に吹き出しを付している。

気象庁作成

プレート境界とその周辺の地震活動

Hirose et al.(2008)によるフィリピン海プレート上面の深さから±6km未満の地震を表示している。

震央分布図の各領域内のMT図・回数積算図

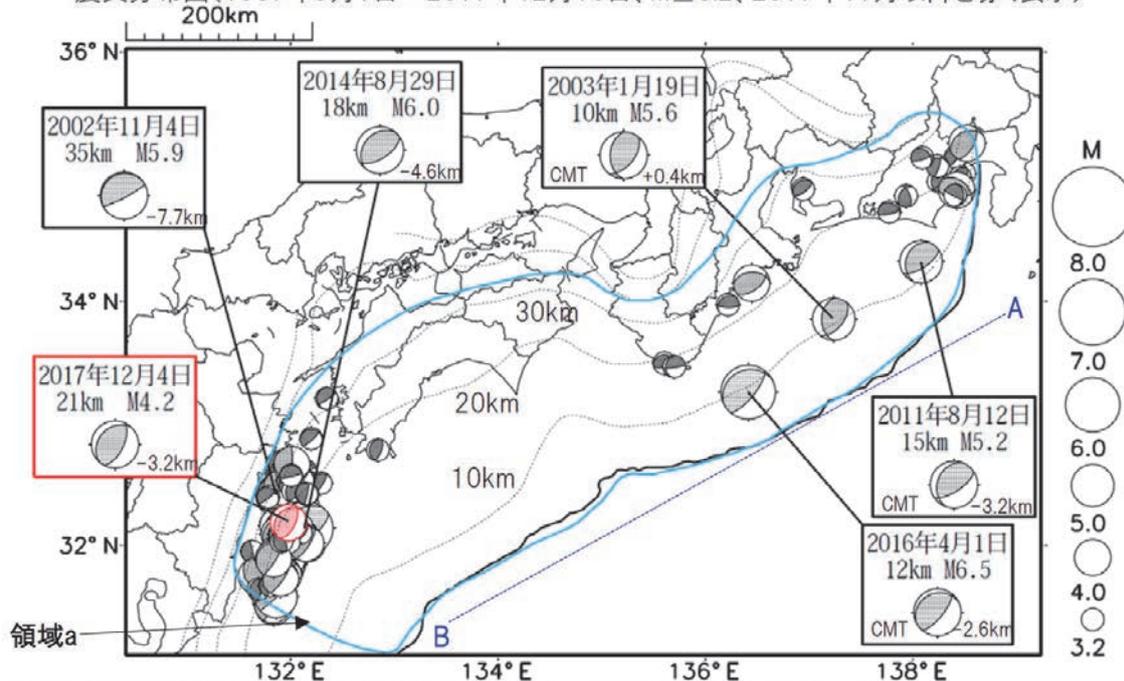


※回数積算図は参考として表記している。M全ての地震を表示していることから、検知能力未満の地震も表示しているため、回数積算図の傾きと実際の地震活動の活発化・静穏化とは必ずしも一致しないことがある。

気象庁作成

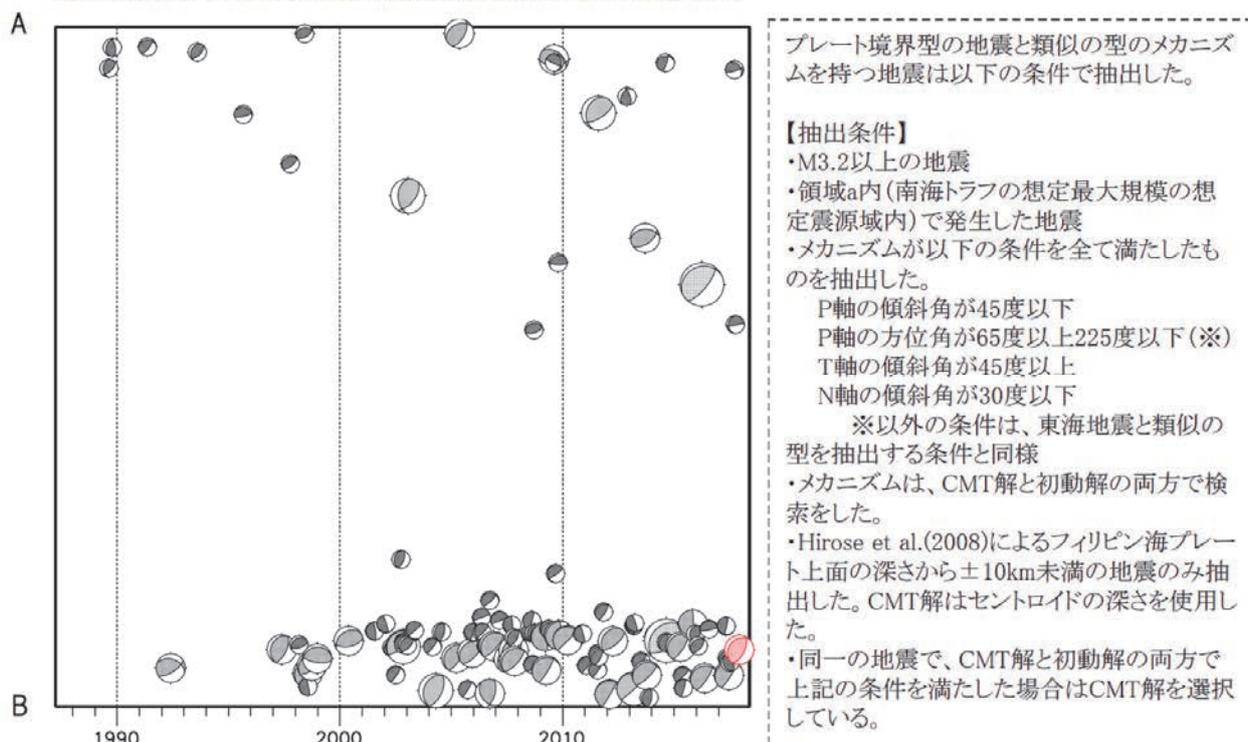
想定南海トラフ地震の発震機構解と類似の型の地震

震央分布図(1987年9月1日~2017年12月16日、M \geq 3.2、2017年11月以降を赤く表示)



- ・震央分布図中の点線は、Hirose et al.(2008)によるフィリピン海プレート上面の深さを示す。
- ・今期間に発生した地震(赤)、日向灘のM5.5以上、その他の地域のM5.0以上の地震に吹き出しを付けている。
- ・吹き出しの右下の数値は、フィリピン海プレート上面の深さからの差を示す。+は浅い、-は深いことを示す。
- ・吹き出しに「CMT」と表記した地震は、発震機構解と深さはCMT解による。Mは気象庁マグニチュードを表記している。

領域a(南海トラフ巨大地震の想定震源域)内の時空間分布図



気象庁作成

南海トラフ巨大地震の想定震源域とその周辺の地震活動指数

2017年12月16日

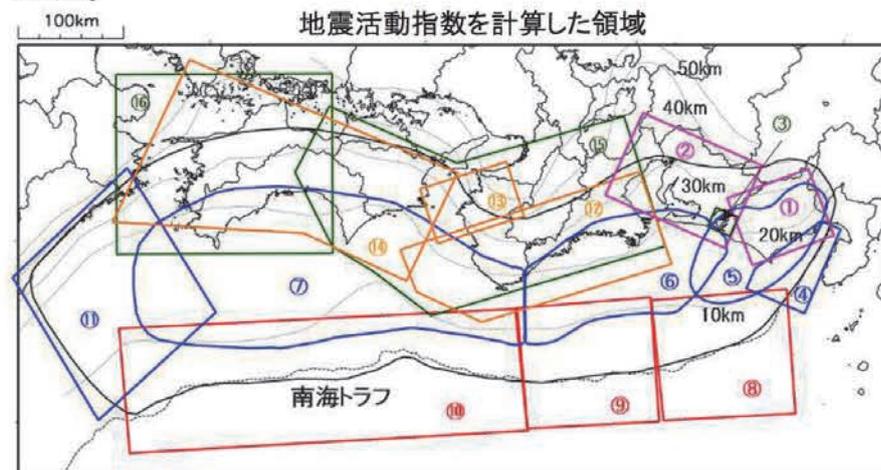
領域	①静岡県 中西部		②愛知県		③浜名湖 周辺	④駿河 湾	⑤東海	⑥東南 海	⑦南海
	地	プ	地	プ	プ	全	全	全	全
地震活動指数	4	6	5	3	1	4	5	4	7
平均回数	16.1	18.4	26.4	13.6	13.1	13.5	18.2	19.8	21.6
MLしい値	1.1		1.1		1.1	1.4	1.5	2.0	2.0
クラス タ除去	距離		3km		3km	10km	10km	10km	10km
	日数		7日		7日	10日	10日	10日	10日
対象期間	60日	90日	60日	30日	360日	180日	90日	360日	90日
深さ	0～ 30km	0～ 60km	0～ 30km	0～ 60km	0～ 60km	0～ 60km	0～ 60km	0～ 100km	0～ 100km

領域	南海トラフ沿い		⑪日向 灘	⑫紀伊 半島	⑬和歌 山	⑭四国	⑮紀伊半 島	⑯四国	
	⑧東側	⑩西側							
	全	全	全	地	地	地	プ	プ	
地震活動指数	3	4	4	2	4	4	4	5	
平均回数	11.5	15.1	20.6	23.1	42.6	30.1	27.5	28.0	
MLしい値	2.5	2.5	2.0	1.5	1.5	1.5	1.5	1.5	
クラス タ除去	距離		10km	10km	10km	3km	3km	3km	3km
	日数		10km	10日	10日	7日	7日	7日	7日
対象期間	720日	360日	60日	120日	60日	90日	30日	30日	
深さ	0～ 100km	0～ 100km	0～ 100km	0～ 20km	0～ 20km	0～ 20km	20～ 100km	20～ 100km	

* 基準期間は、全領域1997年10月1日～2017年12月16日

* 領域欄の「地」は地殻内、「プ」はフィリピン海プレート内で発生した地震であることを示す。ただし、震源の深さから便宜的に分類しただけであり、厳密に分離できていない場合もある。「全」は浅い地震から深い地震まで全ての深さの地震を含む。

* ⑨の領域(三重県南東沖)は、2004年9月5日以降の地震活動の影響で、地震活動指数を正確に計算できないため、掲載していない。



地震活動指数と地震数

地震回数の指数化		
指数	確率 (%)	地震数
8	1	多い
7	4	やや多い
6	10	
5	15	
4	40	ほぼ平常
3	15	
2	10	やや少ない
1	4	
0	1	少ない

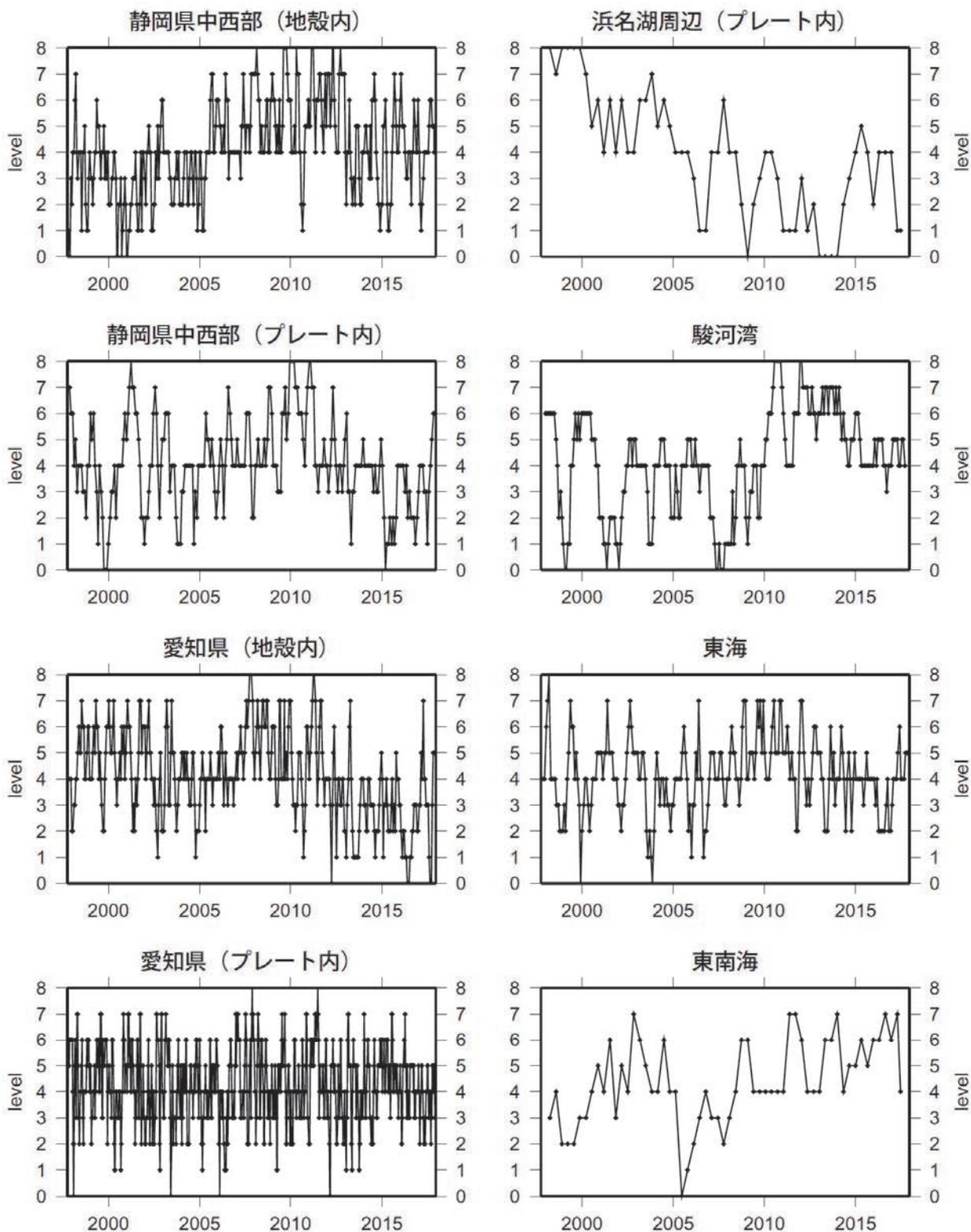
* 黒色実線は、南海トラフ巨大地震の想定震源域を示す。

* Hirose et al.(2008)によるプレート境界の等深線を破線で示す。

気象庁作成

地震活動指数一覧

2017年12月16日

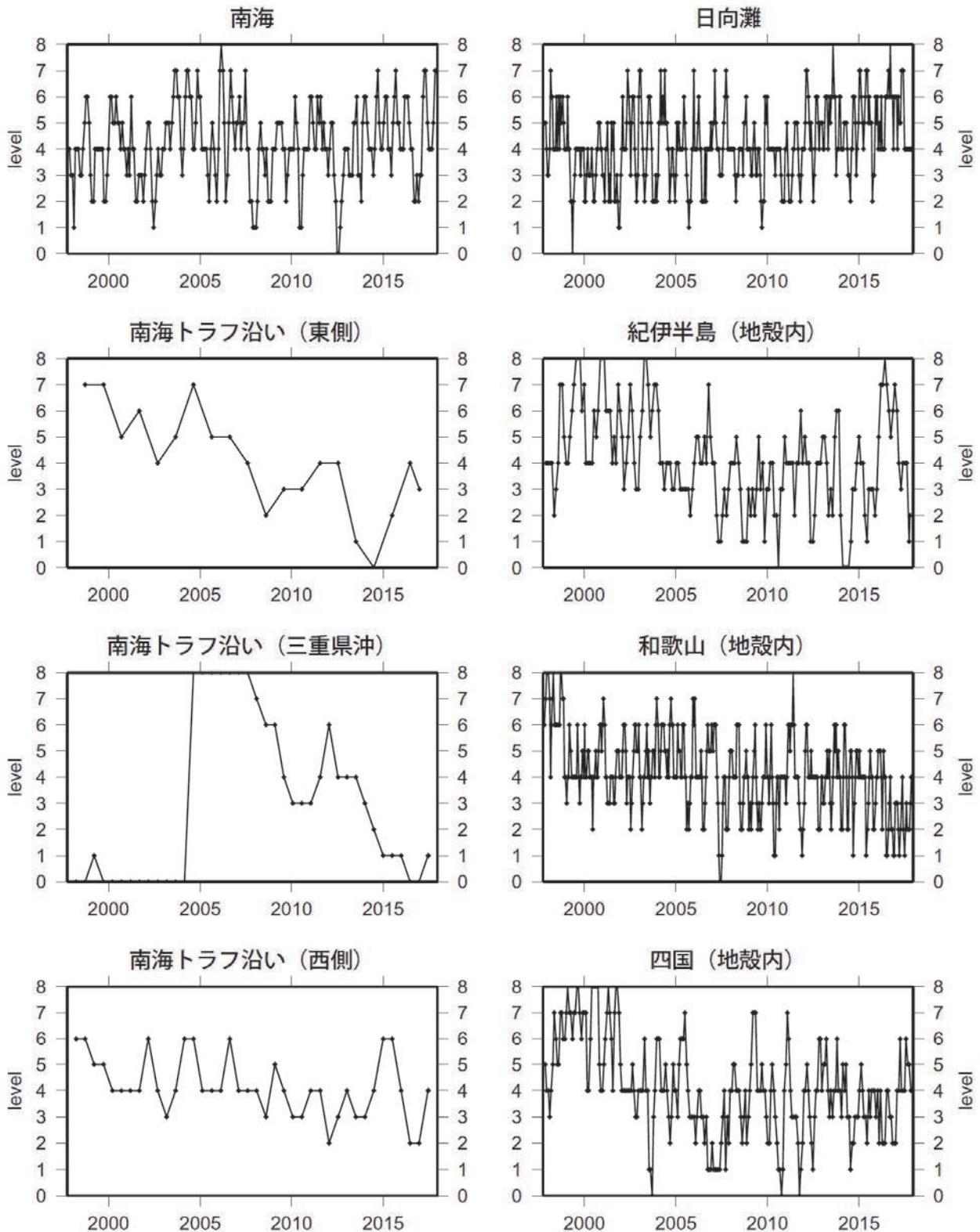


活動指数	0	1	2	3	4	5	6	7	8
確率 (%)	1	4	10	15	40	15	10	4	1
地震数	少	←		平常	→		多		

気象庁作成

地震活動指数一覧

2017年12月16日

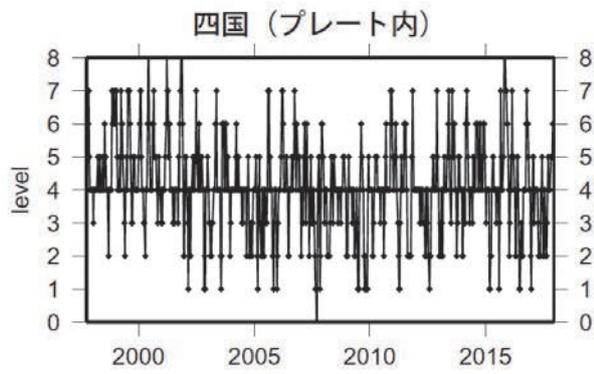
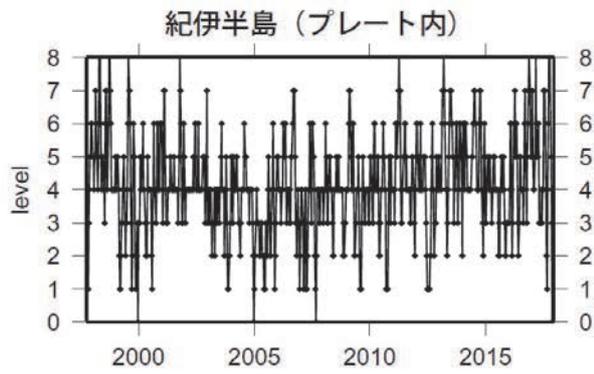


活動指数	0	1	2	3	4	5	6	7	8
確率 (%)	1	4	10	15	40	15	10	4	1
地震数	少		← 平常				→		多

気象庁作成

地震活動指数一覧

2017年12月16日



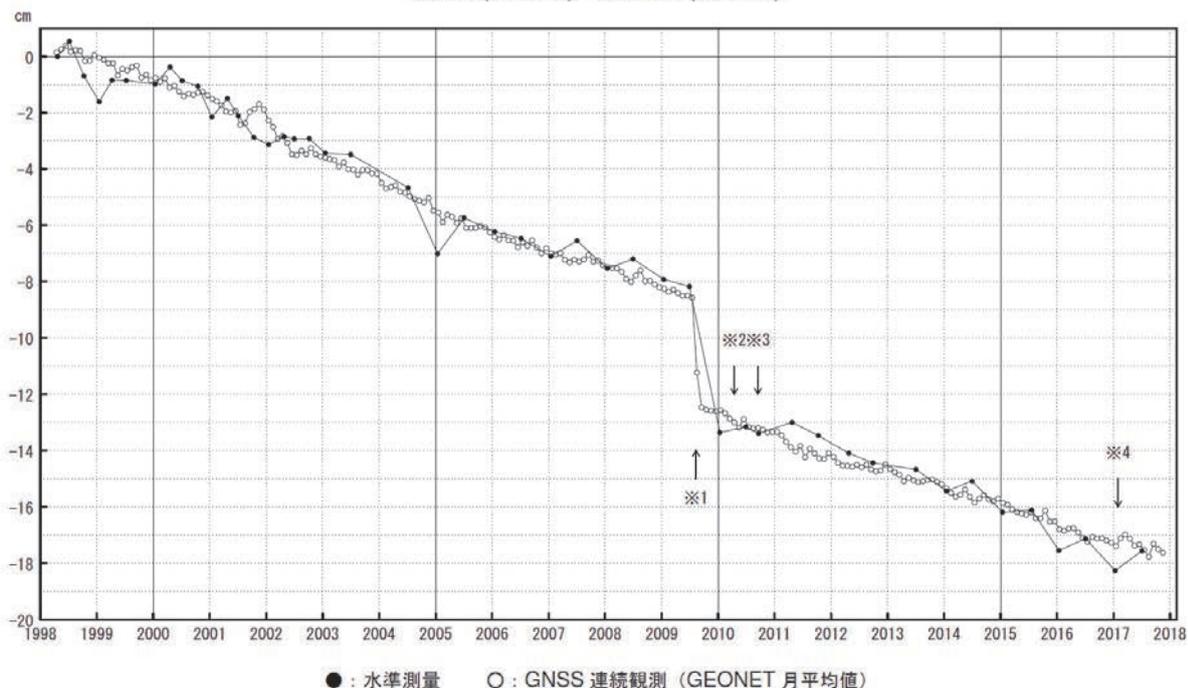
活動指数	0	1	2	3	4	5	6	7	8
確率 (%)	1	4	10	15	40	15	10	4	1
地震数	少	← 平常		→		多			

気象庁作成

御前崎 電子基準点の上下変動 水準測量と GNSS 連続観測

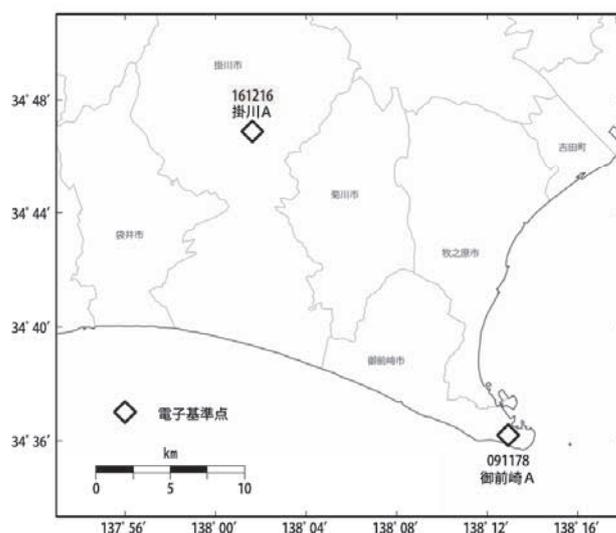
掛川に対して、御前崎が沈降する長期的な傾向が続いている。

掛川 A (161216) - 御前崎 A (091178)



・ 最新のプロット点は 11/01~11/25 の平均。

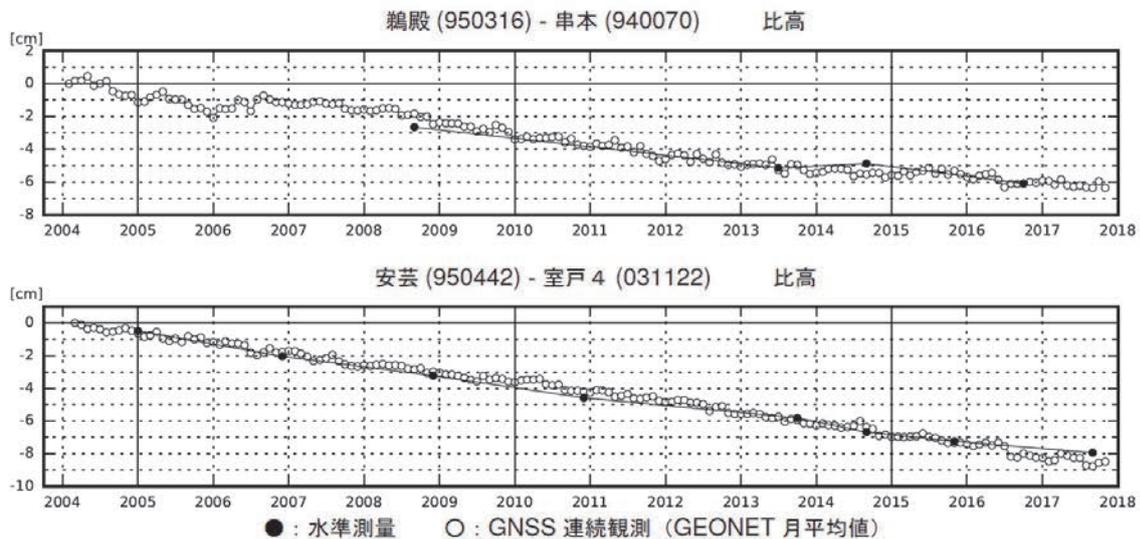
- ※1 電子基準点「御前崎」は 2009 年 8 月 11 日の駿河湾の地震 (M6.5) に伴い、地表付近の局所的な変動の影響を受けた。
- ※2 2010 年 4 月以降は、電子基準点「御前崎」をより地盤の安定している場所に移転し、電子基準点「御前崎 A」とした。上記グラフは電子基準点「御前崎」と電子基準点「御前崎 A」のデータを接続して表示している。
- ※3 水準測量の結果は移転後初めて変動量が計算できる 2010 年 9 月から表示している。
- ※4 2017 年 1 月 30 日以降は、電子基準点「掛川」は移転し、電子基準点「掛川 A」とした。上記グラフは電子基準点「掛川」と電子基準点「掛川 A」のデータを接続して表示している。



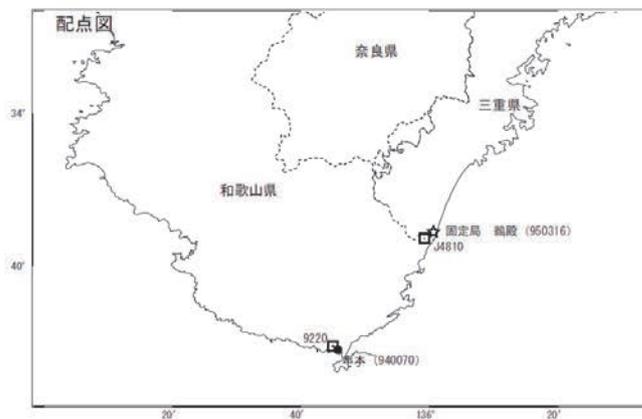
国土地理院

紀伊半島及び室戸岬周辺 電子基準点の上下変動

潮岬周辺及び室戸岬周辺の長期的な沈降傾向が続いている。

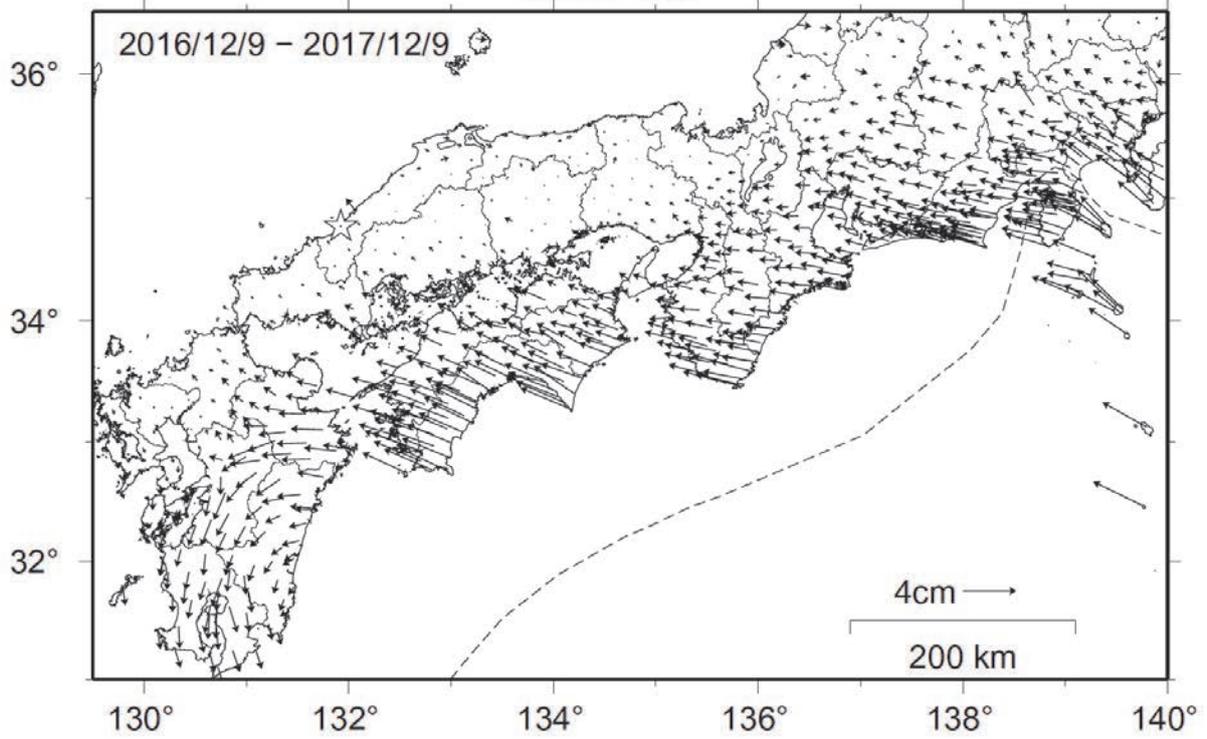


- ・ 最新のプロット点は 11/1～11/25 の平均。
- ・ 水準測量による結果については、最寄りの一等水準点の結果を表示している。

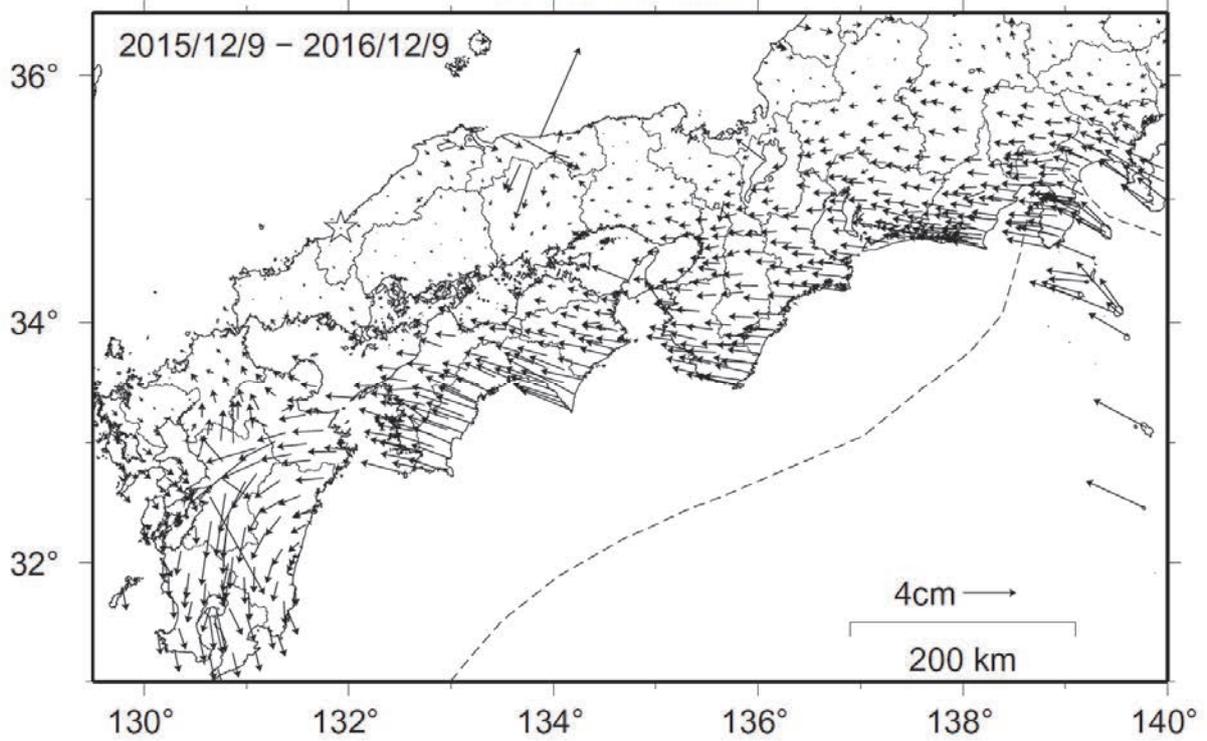


南海トラフ沿いの水平地殻変動【固定局：三隅】

【最近 1 年間】



【1年前の1年間】



国土地理院

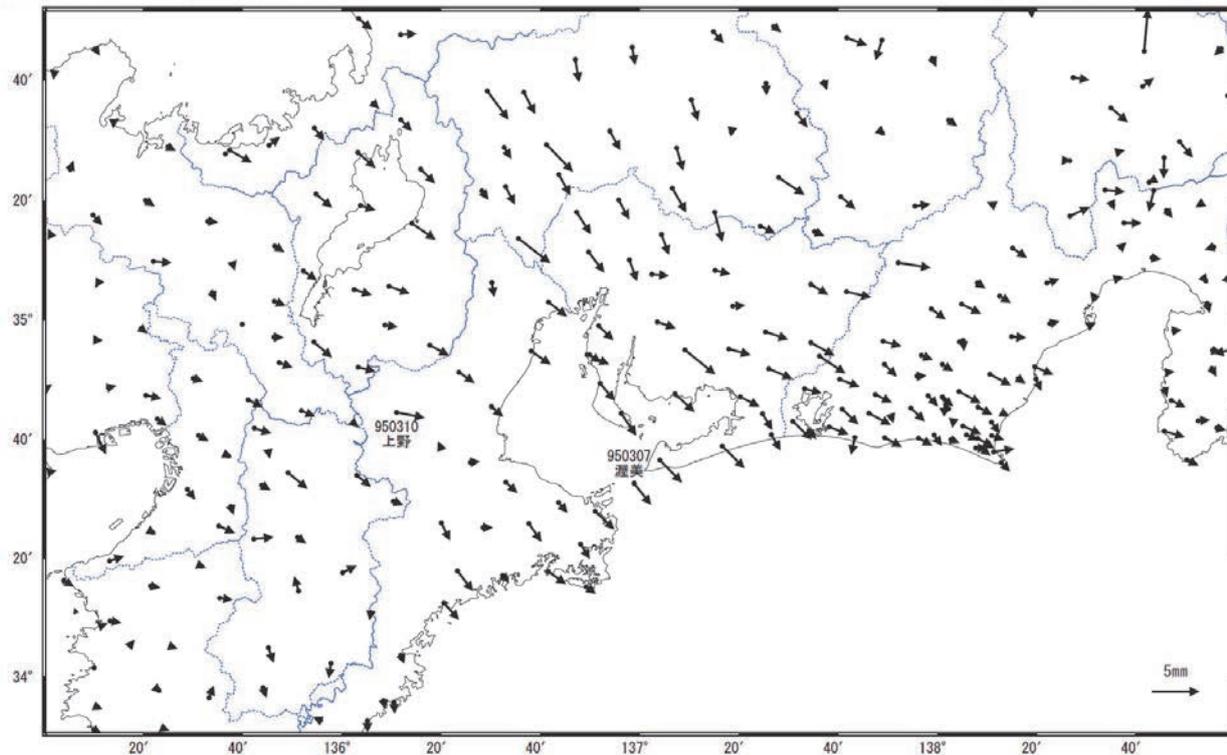
東海地方の非定常的な地殻変動（1）

伊勢湾・三河湾周辺でわずかな地殻変動が見られる。

地殻変動(水平) (一次トレンド・年周成分・半年周成分除去)

基準期間: 2017/10/31~2017/11/14 [F3: 最終解]
比較期間: 2017/12/06~2017/12/18 [R3: 速報解]

計算期間: 2007/01/01~2011/03/10



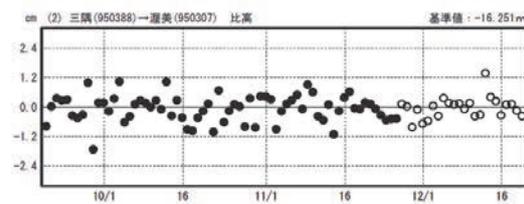
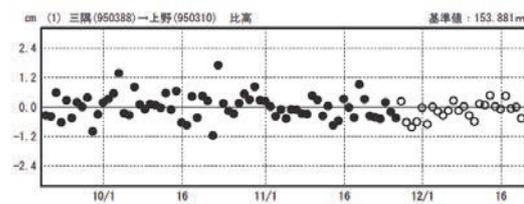
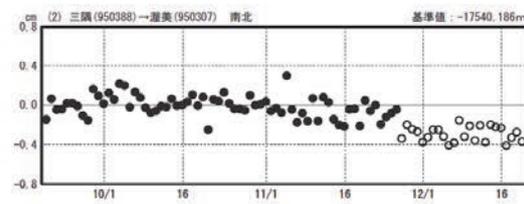
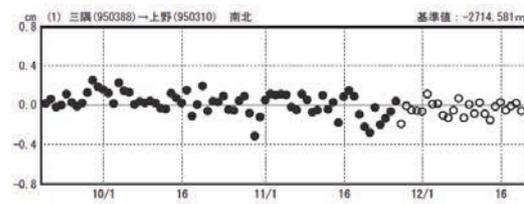
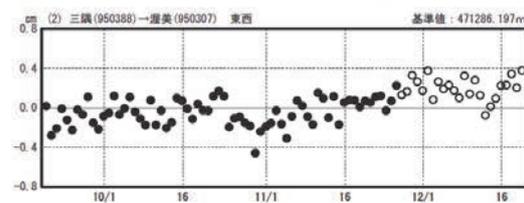
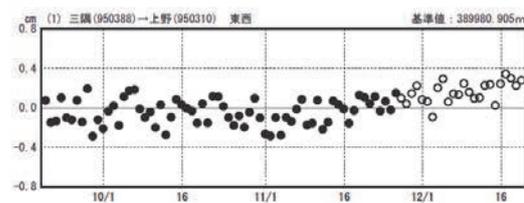
☆ 固定局: 三隅 (950388)

1次トレンド・年周成分・半年周成分除去後グラフ

期間: 2017/09/19~2017/12/19 JST

期間: 2017/09/19~2017/12/19 JST

計算期間: 2007/01/01~2011/03/10

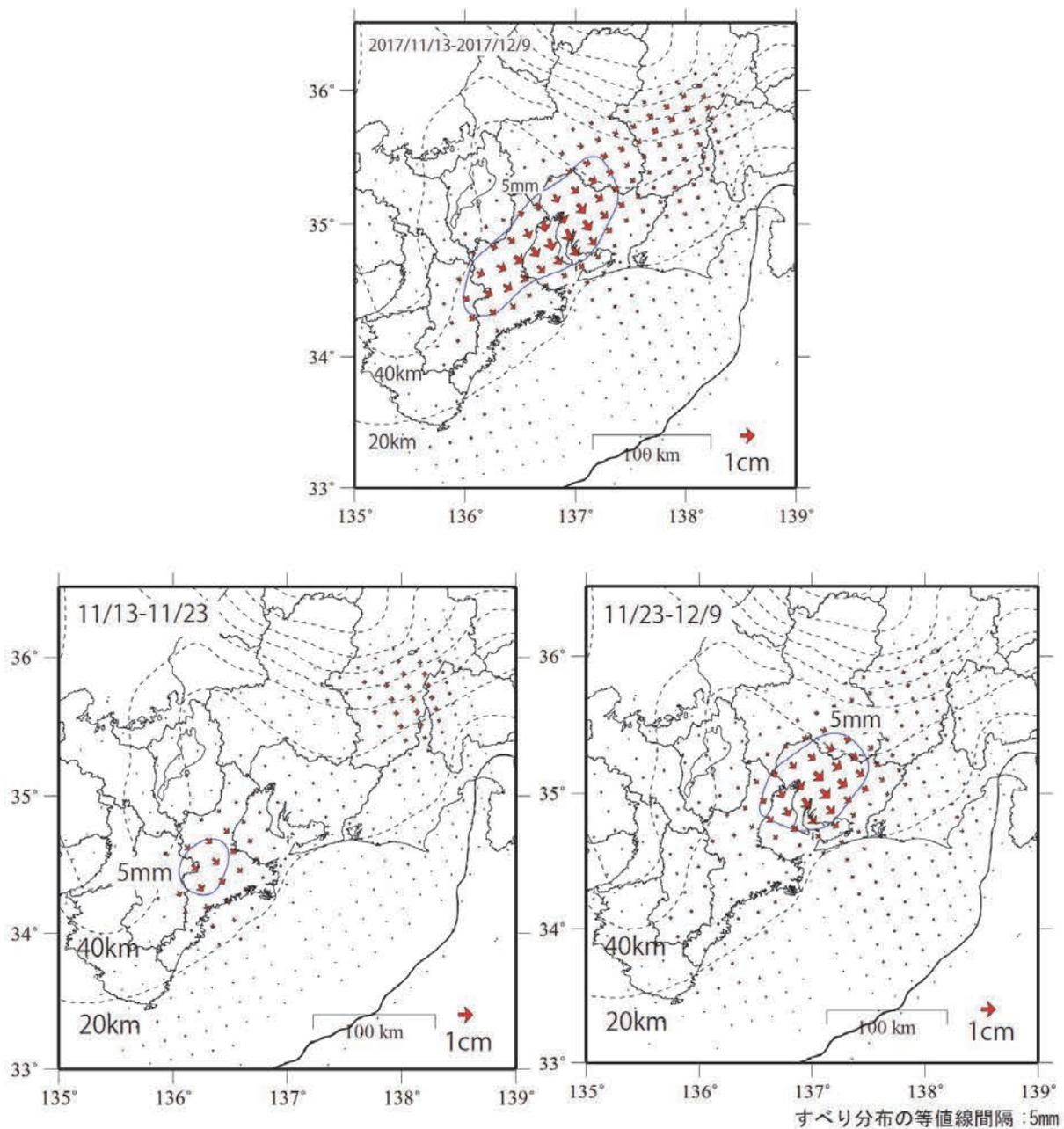


●— [F3: 最終解] ○— [R3: 速報解]

国土地理院

東海地方の非定常的な地殻変動（2）

非定常地殻変動から推定されるプレート境界面上のすべり分布



※黒破線はプレート境界（Hirose et al., 2008）の等深線を示す。

- ・ GNSS 連続観測の結果から非定常地殻変動時系列データを作成し、時間依存のインバージョンを適用した。
- ・ 解析では、空間スムージングのハイパーパラメータは最適化し、時間方向のハイパーパラメータは、最適値よりも時間方向のスムージングが大きくなるように調整している。
- ・ 非定常地殻変動時系列：2008～2011年から推定した一次トレンド及び2012～2016年で推定した周期成分を元の時系列データから除去した時系列。

国土地理院

● 日本の主な火山活動

霧島山（新燃岳）では、火山性地震が 2 日に 201 回発生するなど、4 日まではやや多い状態で経過した。また、浅い場所を震源とする低周波地震は時々発生している。火山性微動は 2017 年 11 月 30 日以降、観測されていない。GNSS 連続観測では、2017 年 7 月頃から霧島山を挟む基線の伸びが継続している。このことから、霧島山の深い場所でマグマが蓄積されていると考えられるので、火山活動に注意が必要である。弾道を描いて飛散する大きな噴石が火口から概ね 2 km まで、火砕流が概ね 1 km まで達する可能性があるため、火口から概ね 2 km の範囲では警戒が必要である。

桜島の昭和火口では、噴火が 1 回発生した。南岳山頂火口では、ごく小規模な噴火が時々発生した。始良カルデラ（鹿児島湾奥部）の地下深部へのマグマ供給が継続しており、今後も噴火活動が継続すると考えられる。昭和火口及び南岳山頂火口から概ね 2 km の範囲では、噴火に伴う弾道を描いて飛散する大きな噴石及び火砕流に警戒が必要である。

口永良部島では、火山性地震が概ね多い状態で経過し、火山ガス（二酸化硫黄）の放出量は 2014 年 8 月の噴火前よりもやや多い状態で経過していることから、引き続き噴火の可能性がある。新岳火口から概ね 2 km の範囲では、噴火に伴う弾道を描いて飛散する大きな噴石及び火砕流に警戒が必要である。向江浜地区から新岳の南西にかけての火口から海岸までの範囲では、火砕流に警戒が必要である。

西之島では、噴火活動が 2013 年から 2015 年まで継続した後、休止期間を挟んで 2017 年 4 月に再開した経緯を踏まえると、今後も噴火が再開する可能性が考えられる。火口から概ね 1.5 km の範囲では噴火に伴う弾道を描いて飛散する大きな噴石に警戒が必要である。

浅間山では、山頂火口直下のごく浅い所を震源とする体に感じない火山性地震の活動は、2017 年 11 月頃から徐々に低下しているが、火山ガス（二酸化硫黄）の放出量はやや多い状態で、微弱な火映が観測されるなど、火山活動はやや活発な状態で経過している。今後も火口周辺に影響を及ぼす小規模な噴火が発生する可能性があるため、山頂火口から概ね 2 km の範囲では、噴火に伴う弾道を描いて飛散する大きな噴石に警戒が必要である。

諏訪之瀬島の御岳火口では、ごく小規模な噴火が時々発生した。今後も火口周辺に影響を及ぼす程度の噴火が発生すると予想されるので、火口から概ね 1 km の範囲では、噴火に伴う弾道を描いて飛散する大きな噴石に警戒が必要である。

霧島山（えびの高原（硫黄山）周辺）では、硫黄山付近で 17 日から 21 日にかけて微小な地震を含む火山性地震がやや増加し、22 日は振幅の小さな浅い低周波地震が発生した。23 日に気象庁機動調査班が実施した現地調査では、硫黄山東側の熱異常域のわずかな広がりを確認したが、その他の熱異常域に特段の変化は認められなかった。GNSS 連続観測では、2017 年 7 月頃から霧島山を挟む基線の伸びが継続している。このことから、霧島山の深い場所でマグマが蓄積されていると考えられるので、火山活動に注意が必要である。硫黄山火口内の活発な噴気域及び熱異常域とその周辺の概ね 100 m の範囲では、噴気孔からの高温の土砂や噴気、熱水等の規模の小さな噴出現象に十分注意が必要である。また、火山ガスにも注意が必要である。

表 1 12 月 31 日現在の火山現象に関する特別警報・警報・予報等の発表状況
 （※印のついた火山は火山現象に関する海上警報も発表中）

特別警報・警報・予報	噴火警戒レベル及びキーワード	該当火山
火口周辺警報	レベル 3（入山規制）	霧島山（新燃岳）、桜島、口永良部島
	入山危険	西之島※
	レベル 2（火口周辺規制）	浅間山、諏訪之瀬島
	火口周辺危険	硫黄島※
噴火警報（周辺海域）	周辺海域警戒	ベヨネース列岩※、福徳岡ノ場※
噴火予報	レベル 1（活火山であることに留意）	アトサヌプリ、雌阿寒岳、十勝岳、樽前山、倶多楽、有珠山、北海道駒ヶ岳、恵山、岩木山、秋田焼山、岩手山、秋田駒ヶ岳、蔵王山、吾妻山、安達太良山、磐梯山、那須岳、日光白根山、草津白根山、新潟焼山、焼岳、御嶽山、白山、富士山、箱根山、伊豆東部火山群、伊豆大島、三宅島、鶴見岳・伽藍岳、九重山、阿蘇山、雲仙岳、霧島山（えびの高原（硫黄山）周辺）、霧島山（御鉢）、薩摩硫黄島
	活火山であることに留意	上記以外の火山

*噴火警戒レベルは、その活用が地域防災計画等で予め定められており、レベル毎の防災対応がキーワードで示されている。

[凡例]
 火山名
 （噴火警戒レベル、キーワード）
 レベル対象外火山はキーワードのみ
 ※印のついた火山は火山現象に関する海上警報も発表中



図 1 12 月 31 日現在、火山現象に関する特別警報、警報及び火山現象に関する海上警報発表中の火山

表 2 平成 29 年 12 月の火山現象に関する特別警報、警報、予報及び情報等の発表履歴

火山名	特別警報、警報及び予報の状況	発表した火山現象に関する特別警報・警報・予報・情報		概要
		種類、号数等	発表日時	
霧島山 (新燃岳)	火口周辺警報 (噴火警戒レベル 3、入山規制)	解説情報 第 46 号～56 号	1 日、2 日、3 日、 4 日、8 日、11 日、 15 日、18 日、22 日、 25 日、28 日 16 時 00 分	2 日に増加した火山性地震の状況。 噴煙、火山性地震・微動等火山活動の状況。 現地調査による火山ガス等の状況。
桜島	火口周辺警報 (噴火警戒レベル 3、入山規制)	解説情報 第 97 号～105 号	1 日、4 日、8 日、 11 日、15 日、18 日、 22 日、25 日、28 日 16 時 00 分	噴火の状況。噴煙、火山性地震・微動等火山活動の状況。 現地調査による火山ガス等の状況。
口永良部島	火口周辺警報 (噴火警戒レベル 3、入山規制)	解説情報 第 97 号～106 号	1 日 16 時 00 分 1 日 17 時 10 分 4 日、8 日、11 日、 15 日、18 日、22 日、 25 日、28 日 16 時 00 分	噴煙、火山性地震等火山活動の状況。 現地調査による火山ガス等の状況。
浅間山	火口周辺警報 (噴火警戒レベル 2、火口周辺規制)	解説情報 第 96 号～104 号	1 日、4 日、8 日、 11 日、15 日、18 日、 22 日、25 日、29 日 16 時 00 分	噴煙、火山性地震・微動等火山活動の状況。 現地調査による火山ガス等の状況。
北海道 駒ヶ岳	噴火予報(噴火警戒 レベル 1、活火山で あることに留意)	解説情報(臨時) 第 6 号～11 号	1 日、2 日、3 日、 4 日、5 日、6 日 16 時 00 分	火山性地震等火山活動の状況。 現地調査による噴気、熱活動等の状況。
		火山活動解説資料	27 日 18 時 40 分	
白山	噴火予報(噴火警戒 レベル 1、活火山で あることに留意)	解説情報(臨時) 第 4 号～9 号	1 日、2 日、3 日、 4 日、5 日、6 日 16 時 00 分	噴気、火山性地震等火山活動の状況。
霧島山(えび の高原(硫黄 山)周辺)	噴火予報(噴火警戒 レベル 1、活火山で あることに留意)	解説情報(臨時) 第 64 号～67 号	22 日 15 時 30 分 23 日 16 時 15 分 24 日 16 時 00 分 25 日 16 時 10 分	17 日から 21 日にかけて増加した火山性地 震、地殻変動等火山活動の状況。 現地調査による噴気、熱活動、地殻変動等 の状況。
		火山活動解説資料	25 日 17 時 30 分	

注) 表中、解説情報とは「火山の状況に関する解説情報」のことである。霧島山(新燃岳)、桜島、口永良部島、諏訪之瀬島においては、毎日 02 時から 3 時間毎に 8 回降灰予報(定時)を発表している。

各火山の 12 月の活動解説

【北海道地方】

十勝岳とからだけ [噴火予報（噴火警戒レベル 1、活火山であることに留意）]

11 日 15 時 23 分頃に、振幅が小さく継続時間の短い火山性微動を観測した。噴煙の状況、空振及び地殻変動に変化はなかった。

火山活動は概ね静穏に経過している。

一方、ここ数年、山体浅部の膨張、大正火口の噴煙量増加、地震増加、火山性微動の発生、発光現象及び地熱域¹⁾の拡大などを確認しており、長期的にみると十勝岳の火山活動は高まる傾向にあるので、今後の火山活動の推移に注意が必要である。

樽前山たるまえざん [噴火予報（噴火警戒レベル 1、活火山であることに留意）]

火山活動は概ね静穏に経過しており、火口周辺に影響を及ぼす噴火の兆候は認められない。

一方、山頂溶岩ドーム周辺では、1999 年以降、高温の状態が続いているので、突発的な火山ガス等の噴出に注意が必要である。

北海道駒ヶ岳ほっかいどうこまがたけ [噴火予報（噴火警戒レベル 1、活火山であることに留意）]

山頂の浅い所を震源とする規模の小さな地震が 11 月 26 日に増加し、11 月 27 日以降は概ね少なくなっているものの、1 日に 6 回観測された日が 12 月中に 3 日あるなど以前の状態には戻っていない。

5 日に実施した現地調査では、2017 年 5 月 22 日や 7 月 27 日と比較して昭和 4 年火口と明治火口の地熱域や噴気の状況に特段の変化はなかった。

地震活動以外の表面現象や地殻変動に変化はみられないが、火山活動の推移に引き続き留意が必要である。

なお、以下に挙げる火山では、火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しており、噴火の兆候は認められない。

アトサヌプリ [噴火予報（噴火警戒レベル 1、活火山であることに留意）]

雌阿寒岳めあかんだけ [噴火予報（噴火警戒レベル 1、活火山であることに留意）]

大雪山たいせつざん [噴火予報（活火山であることに留意）]

倶多楽くつたら [噴火予報（噴火警戒レベル 1、活火山であることに留意）]

有珠山うすざん [噴火予報（噴火警戒レベル 1、活火山であることに留意）]

恵山えざん [噴火予報（噴火警戒レベル 1、活火山であることに留意）]

【東北地方】

秋田駒ヶ岳あきたこまがたけ [噴火予報（噴火警戒レベル 1、活火山であることに留意）]

火山性地震はやや多い状態で経過したが、その他の観測データには特段の変化はみられず、火山活動に活発化の兆候は認められない。

女岳めだけでは地熱活動が続いている。また、地震活動がやや多い状態で経過したので、今後の火山活動の推移に注意が必要である。

蔵王山ざおうざん [噴火予報（噴火警戒レベル 1、活火山であることに留意）]

火山活動に特段の変化はなかった。

蔵王山では、2013 年から 2015 年にかけて火山活動の高まりがみられた。その後も火山性地震や火山性微動が時々発生しているので、今後の火山活動の推移に注意が必要である。

吾妻山あづまやま [噴火予報（噴火警戒レベル 1、活火山であることに留意）]

火山活動に特段の変化はなかった。

大穴火口付近での熱活動は継続しているので、今後の火山活動の推移に注意が必要である。

入山する際には、火山ガスに注意が必要である。また、大穴火口付近で噴出現象が突発的に発生する可能性があることに留意が必要である。

なお、以下に挙げる火山では、火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しており、噴火の兆候は認められない。

岩木山いわきざん [噴火予報（噴火警戒レベル 1、活火山であることに留意）]

八甲田山はっこうだざん [噴火予報（活火山であることに留意）]

十和田とわだ [噴火予報（活火山であることに留意）]

秋田焼山あきたやけやま [噴火予報（噴火警戒レベル 1、活火山であることに留意）]

岩手山いわてざん [噴火予報（噴火警戒レベル 1、活火山であることに留意）]

鳥海山ちようかいざん [噴火予報（活火山であることに留意）]

栗駒山くりこまやま [噴火予報（活火山であることに留意）]

安達太良山あだたらやま [噴火予報（噴火警戒レベル 1、活火山であることに留意）]

磐梯山ばんだいざん [噴火予報（噴火警戒レベル 1、活火山であることに留意）]

【関東・中部地方及び伊豆・小笠原諸島】**草津白根山 [噴火予報（噴火警戒レベル 1、活火山であることに留意）]**

奥山田監視カメラ（湯釜の北約 1.5km）による観測では、引き続き湯釜北側噴気地帯の噴気孔から噴気が認められた。湯釜からの噴気は認められなかった。東京工業大学の監視カメラ（湯釜火口内）では、火口内に噴気は認められず、その他の状況にも特段の変化は認められない。

湯釜火口及び水釜火口周辺の熱活動の高まった状態が継続している。引き続き湯釜火口から概ね 500m の範囲に影響を及ぼすごく小規模な火山灰等の噴出の可能性があるため注意が必要である。また、ところどころで火山ガスの噴出がみられ、周辺の窪地や谷などでは滞留した火山ガスが高濃度になることがあるため、注意が必要である。

浅間山 [火口周辺警報（噴火警戒レベル 2、火口周辺規制）]

火山活動はやや活発な状態で経過している。

山頂火口からの白色の噴煙は火口縁上概ね 400m 以下で経過した。山頂火口では、2016 年 12 月末頃から夜間に高感度の監視カメラで確認できる程度の微弱な火映²⁾を時々観測した。

11 日、18 日及び 26 日に実施した現地調査では、火山ガス（二酸化硫黄）の放出量³⁾は、1 日あたり 700～1,000 トン（11 月：400～800 トン）と、やや多い状態が続いている。

山頂火口直下のごく浅い所を震源とする体を感じない火山性地震は、概ねやや少ない状態で経過した。

塩野山の傾斜計⁴⁾で 2016 年 12 月頃からみられている北または北西上がりの緩やかな変化は、継続している。国土地理院の GNSS⁵⁾連続観測によると、浅間山西部の一部の基線で 2017 年秋頃からわずかな伸びがみられる。

今後も火口周辺に影響を及ぼす小規模な噴火が発生する可能性があるため、山頂火口から概ね 2km の範囲では、噴火に伴う弾道を描いて飛散する大きな噴石⁶⁾に警戒が必要である。また、風下側では降灰及び風の影響を受ける小さな噴石⁶⁾に注意が必要である。

新潟焼山 [噴火予報（噴火警戒レベル 1、活火山であることに留意）]

噴煙活動及び地震活動は、低下している。

しかしながら、これまでに噴気活動の活発化を繰り返しているため、今後の活動の推移には注意が必要である。

弥陀ヶ原 [噴火予報（活火山であることに留意）]

監視カメラによる観測では、地獄谷からの噴気の高さは概ね 200m 以下で経過した。

弥陀ヶ原近傍を震源とする火山性地震の発生回数は少なく、地震活動は低調に経過している。

立山地獄谷では熱活動が活発な状態が続いている。2012 年 6 月以降の観測で噴気の拡大・活発化や温度の上昇傾向が確認されているため、今後の火山活動の推移に注意が必要である。また、この付近では火山ガスに注意が必要である。

焼岳 [噴火予報（噴火警戒レベル 1、活火山であることに留意）]

北陸地方整備局が設置している焼岳北監視カメラ（焼岳の北北西約 4 km）による観測では、北峰付近の噴気孔からの噴気の高さは概ね 80m 以下で経過した。同局設置の焼岳南西斜面監視カメラ（焼岳の西南西約 2.5km）による観測では、岩坪谷上部の噴気孔からの噴気の高さは概ね 80m 以下で経過した。黒谷火口からの噴気は観測されなかった。

8 月上旬に、規模は小さいながらも低周波地震⁷⁾とともに噴気が観測されたことから、今後の火山活動の推移に注意が必要である。

御嶽山 [噴火予報（噴火警戒レベル 1、活火山であることに留意）]

2014 年の噴火後は、噴火の発生はない。噴煙活動や山頂直下付近の地震活動は緩やかな低下が続いており、火山活動の静穏化の傾向が続いている。

一方、2014 年に噴火が発生した火口列の一部の噴気孔では、引き続き噴気が勢いよく噴出している。状況によっては、火山灰等のごく小規模な噴出が突発的に発生する可能性がある。

噴気活動の活発な噴気孔から概ね 500m の範囲では、突発的な火山灰等のごく小規模な噴出に注意が必要である。

箱根山 [噴火予報（噴火警戒レベル 1、活火山であることに留意）]

大涌谷監視カメラによる観測では、大涌谷の火口や噴気孔及び温泉供給施設から引き続き噴気が勢いよく噴出している。宮城野監視カメラ（大涌谷の東北東約 3 km）及び小塚山北東監視カメラ（大涌谷の北北東約 3 km）による観測では、大涌谷の噴気の高さは概ね 300m で経過しており、状況に変化はない。早雲地獄の噴気は少ない状態が続いており、噴気の高さは概ね 100 m で経過した。

地震活動は低調で、顕著な地殻変動は観測されていないが、大涌谷周辺の想定火口域では、噴気活動が活発なところがある。大涌谷周辺の

想定火口域では、噴気や火山ガスに引き続き注意が必要である。

伊豆大島いずのおおしま [噴火予報（噴火警戒レベル 1、活火山であることに留意）]

15 日に実施した現地調査では、三原山山頂火口内及びその周辺で噴気が引き続き確認された。また、そのほか、三原山山頂周辺の噴気温度に特段の変化は認められない。

地殻変動観測によると、短期的な膨張と収縮を繰り返しながら、長期的には地下深部へのマグマ供給によると考えられる島全体の膨張傾向が続いている。また、短期的な膨張がみられる時期に、地震活動が活発化することがある。

三宅島みやけしま [噴火予報（噴火警戒レベル 1、活火山であることに留意）]

山頂火口からの噴煙の高さは、概ね 400m 以下で経過した。

6 日に実施した現地調査では、火山ガス（二酸化硫黄）の放出量は 1 日あたり数十トン以下であった。

7 日に気象庁が、11 日に産業技術総合研究所と合同で実施した現地調査では、主火口内及びその周辺で引き続き高温領域が認められた。火口内の地形、噴気や高温領域の分布に特段の変化は認められなかった。

火山性地震は少ない状態で経過している。震源は山頂火口直下に分布しており、これまでと比べて特段の変化は認められない。火山性微動は観測されていない。

主火口における噴煙活動が継続していることから、火口内では噴出現象が突発的に発生する可能性があるため、山頂火口内⁸⁾ 及び主火口から 500m 以内では火山灰噴出に警戒が必要である。また、火山ガスの放出がわずかながら継続していることから、風下にあたる地域では火山ガスに注意が必要である。

ベヨネース列岩べよねース [噴火警戒（周辺海域警戒）及び火山現象に関する海上警報]

海上保安庁が 11 日に実施した上空からの観測では、明神礁付近の海水面に、変色水、気泡、浮遊物、低温部等は確認されなかった。

海上保安庁、第三管区海上保安本部によるこれまでの観測で、明神礁付近では火山活動によるとみられる変色水や気泡が時々観測されている。今後、小規模な海底噴火が発生する可能性があるため、明神礁付近及び周辺海域では海底噴火に警戒が必要である。また、周辺海域では海底噴火による浮遊物（軽石等）に注意が必要である。

西之島にしのおしま [火口周辺警報（入山危険）及び火山現象に関する海上警報]

気象衛星ひまわりの観測によると、西之島付近の地表面温度は 2017 年 7 月頃から徐々に低下し、8 月頃からは周囲とほとんど変わらない状態となっている。

8 月 11 日以降山頂火口からの噴火は確認されていない。しかし、噴火活動が 2013 年から 2015 年まで継続した後、休止期間を挟んで 2017 年 4 月に再開した経緯を踏まえると、今後も噴火が再開する可能性が考えられる。火口から概ね 1.5km の範囲では噴火に伴う弾道を描いて飛散する大きな噴石に警戒が必要である。

硫黄島いおうとう [火口周辺警報（火口周辺危険）及び火山現象に関する海上警報]

火山性地震はやや少ない状態で経過している。GNSS 連続観測によると、地殻変動は隆起及び停滞を繰り返している。

阿蘇台東監視カメラ（阿蘇台陥没孔の東北東約 900m）による観測では、島西部の阿蘇台陥没孔からの噴気の高さは概ね 80m 以下で経過し、島北西部の井戸ヶ浜からは噴気は観測されていない。

硫黄島の島内は全体に地温が高く、多くの噴気地帯や噴気孔があり、過去には各所で小規模な噴火が発生している。火山活動はやや活発な状態で推移しており、火口周辺に影響を及ぼす噴火が発生すると予想されるので、従来から小規模な噴火が発生した地点（ミリオンダラーホール（旧噴火口）等）及びその周辺では噴火に警戒が必要である。

福德岡ノ場ふくとくおかのぼ [噴火警戒（周辺海域警戒）及び火山現象に関する海上警報]

11 日に海上保安庁が実施した上空からの観測で、福德岡ノ場でごく薄い緑色の変色水を確認した。

海上保安庁、第三管区海上保安本部、海上自衛隊及び気象庁によるこれまでの観測によると、福德岡ノ場付近の海面には長期にわたり火山活動によるとみられる変色水等が確認されるなど、活動はやや活発な状態で経過している。

今後も小規模な海底噴火が発生すると予想されるので、周辺海域では海底噴火に警戒が必要である。また、周辺海域では海底噴火による浮遊物（軽石等）に注意が必要である。

なお、以下に挙げる火山では、火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しており、噴火の兆候は認められない。

那須岳 [噴火予報（噴火警戒レベル 1、活火山であることに留意）]

日光白根山 [噴火予報（噴火警戒レベル 1、活火山であることに留意）]

乗鞍岳 [噴火予報（活火山であることに留意）]

白山 [噴火予報（噴火警戒レベル 1、活火山であることに留意）]

富士山 [噴火予報（噴火警戒レベル 1、活火山であることに留意）]

伊豆東部火山群 [噴火予報（噴火警戒レベル 1、活火山であることに留意）]

新島 [噴火予報（活火山であることに留意）]

神津島 [噴火予報（活火山であることに留意）]

八丈島 [噴火予報（活火山であることに留意）]

青ヶ島 [噴火予報（活火山であることに留意）]

【九州地方及び南西諸島】

九重山 [噴火予報（噴火警戒レベル 1、活火山であることに留意）]

硫黄山付近では、噴煙が最高で噴気孔上 400 m まで上がった（11 月：100m）。赤外熱映像装置による観測では、熱異常域において温度の高い状態が続いている。

火山性地震は少ない状態で経過したが、6 月頃から B 型地震⁹⁾ が時折発生しており、わずかに火山活動が高まっている可能性がある。今後の火山活動の推移に留意が必要である。

阿蘇山 [噴火予報（噴火警戒レベル 1、活火山であることに留意）]

振幅の小さな火山性地震が、概ね多い状態で経過した。

火山ガス（二酸化硫黄）の放出量は、1 日あたり 600～1,100 トンと概ねやや少ない状態で経過した（11 月：800～1,400 トン）。

白色の噴煙が最高で火口縁上 600m まで上がった。

中岳第一火口の現地調査では、火口内で引き続き緑色の湯だまり¹⁰⁾を確認した。湯だまり量は、中岳第一火口底の 10 割と前月（11 月：10 割）から変化はなかった。また、中岳第一火口底南西側及び南側火口壁では、白色の噴煙が噴出しているのを確認した。

赤外熱映像装置による観測では、湯だまりの表面温度は、60～69℃と前月（11 月：52～65℃）と比べて特段の変化は認められなかった。

傾斜計及び GNSS 連続観測では、火山活動に伴う特段の変化は認められない。

火口周辺に影響を及ぼす噴火の兆候は認めら

れないが、火口内では土砂や火山灰が噴出する可能性がある。また、火口付近では火山ガスに注意が必要である。

雲仙岳 [噴火予報（噴火警戒レベル 1、活火山であることに留意）]

13～15 日に実施した現地調査では平成新山の一部から弱い噴煙が認められ、赤外熱映像装置による観測では、平成新山の複数の箇所にて熱異常域が認められたが、前回（2016 年 11 月 7～9 日）と比較して特段の変化は認められなかった。また、立岩の峰噴気地帯の噴気温度は 38～67℃と前回（2016 年 11 月 7～8 日：26～65℃）と比較して特段の変化は認められなかった。

火山活動に特段の変化はないが、長期的には 2010 年頃から普賢岳から平成新山直下の深さ¹¹⁾ 1～2 km を震源とする火山性地震が時々発生しているため、今後の火山活動の推移に留意が必要である。

霧島山（えびの高原（硫黄山）周辺） [噴火予報（噴火警戒レベル 1、活火山であることに留意）]

硫黄山付近では、17 日から 21 日にかけて微小な地震を含む火山性地震がやや増加し、22 日には振幅の小さな浅い低周波地震が発生した。

23 日に気象庁機動調査班（JMA-MOT）が実施した現地調査では、硫黄山東側の熱異常域のわずかな広がりを確認したが、その他の熱異常域にて特段の変化は認められなかった。

GNSS 連続観測では、2017 年 7 月頃から霧島山を挟む基線の伸びが継続している。このことから、霧島山の深い場所でマグマが蓄積されていると考えられるため、火山活動に注意が必要である。

硫黄山火口内の活発な噴気域及び熱異常域とその周辺の概ね 100m の範囲では、噴気孔からの高温の土砂や噴気、熱水等の規模の小さな噴出現象に十分注意が必要である。また、火山ガスにも注意が必要である。

霧島山（新燃岳） [火口周辺警報（噴火警戒レベル 3、入山規制）]

新燃岳では、2017 年 10 月 17 日を最後に噴火は発生していない。

火山性地震は、2 日には 201 回発生するなど、4 日まではやや多い状態で経過した。また、浅い場所を震源とする低周波地震は時々発生している。火山性微動は 11 月 30 日以降、観測されていない。

監視カメラによる観測では、白色の噴煙が火口縁上概ね 200m 以下で経過し、最高で 14 日に

300mまで上がった。

5日、13日及び26日に実施した現地調査では、引き続き新燃岳の西側斜面の割れ目付近及び割れ目の下方の噴気の状態や熱異常域の分布に特段の変化は認められなかった。

5日、13日及び21日に実施した現地調査では、火山ガス（二酸化硫黄）の放出量は1日あたり100トン以下で、2017年10月23日以降と同程度であった。

傾斜計では、10月16日以降、特段の変化は認められない。

GNSS連続観測では、2017年7月頃から霧島山を挟む基線の伸びが継続している。このことから、霧島山の深い場所でマグマが蓄積されていると考えられるので、火山活動に注意が必要である。

弾道を描いて飛散する大きな噴石が火口から概ね2kmまで、火砕流¹²⁾が概ね1kmまで達する可能性がある。そのため、火口から概ね2kmの範囲では警戒が必要である。

風下側では火山灰だけでなく小さな噴石（火山れき¹³⁾）が遠方まで風に流されて降るおそれがあるため注意が必要である。

また、爆発的噴火¹⁴⁾に伴う大きな空振による窓ガラスの破損や降雨時の土石流にも注意が必要である。

地元自治体等が発表する火山ガスの情報にも留意が必要である。

さくらじま **桜島【火口周辺警報（噴火警戒レベル3、入山規制）】**

桜島では、噴火活動が継続している。

昭和火口では、4日18時45分に噴火が発生し、噴煙が火口縁上1,400mまで上がり、弾道を描いて飛散する大きな噴石が7合目（昭和火口より200～300m）まで達した。爆発的噴火¹⁴⁾は発生しなかった。

南岳山頂火口では、ごく小規模な噴火が時々発生し、25日04時14分の噴火では噴煙が火口縁上800mまで上がり、弾道を描いて飛散する大きな噴石が9合目（南岳山頂火口より300～500m）まで達した。この噴火により、桜島島内に設置している伸縮計¹⁵⁾及び傾斜計では、山体が収縮、沈降する変動が観測された。

14日には鹿児島地方气象台でかすかに感じる程度の臭気が認められた。

11日、20日及び25日に実施した現地調査では、火山ガス（二酸化硫黄）の放出量は1日あたり1,000～1,800トン（11月：400～1,400トン）とやや多い状態であった。

火山性地震の月回数は545回で、前月（11月：142回）より増加した。

火山性微動の継続時間は、月合計1時間38分

で、前月（11月：4時間54分）より減少した。

GNSS連続観測では、始良カルデラ（鹿児島湾奥部）の地下深部の膨張が続いている。桜島島内では、2017年10月頃からわずかに山体の収縮がみられていたが、12月頃から停滞している。

始良カルデラの地下深部へのマグマ供給が継続しており、今後も噴火活動が継続すると考えられる。

昭和火口及び南岳山頂火口から概ね2kmの範囲では、噴火に伴う弾道を描いて飛散する大きな噴石及び火砕流に警戒が必要である。

風下側では火山灰だけでなく小さな噴石（火山れき¹³⁾）が遠方まで風に流されて降るため注意が必要である。爆発的噴火に伴う大きな空振によって窓ガラスが割れるなどのおそれがあるため注意が必要である。また、降雨時には土石流に注意が必要である。

まつまいおうじま **薩摩硫黄島【噴火予報（噴火警戒レベル1、活火山であることに留意）】**

白色の噴煙が最高で火口縁上900mまで上がった（11月：700m）。

14日に海上自衛隊第1航空群の協力により上空からの観測を実施した。硫黄岳山頂火口内の状況は噴煙により確認できなかった。火口周辺や山腹からは前回（2月21日）の観測と同様、噴煙が上がっているのを確認したが、火口周辺の状況に特段の変化は認められなかった。

火山活動に特段の変化はないが、硫黄岳山頂火口では噴煙活動が続いているので、火山灰等が噴出する可能性がある。また、火口付近では火山ガスに注意が必要である。

くちのえらぶじま **口永良部島【火口周辺警報（噴火警戒レベル3、入山規制）】**

火山性地震の月回数は331回（11月：484回）と減少したが、2017年11月以降、概ね多い状態が続いている。微小な火山性地震も2017年6月頃から多い状態で経過しており、火山活動がやや高まった状態であると考えられる。火山性微動は2016年9月以降観測されていない。

白色の噴煙が最高で火口縁上600m（11月：700m）まで上がった。

6日及び20日から21日にかけて山麓から実施した現地調査では、これまでの観測と同様に新岳火口及び新岳火口西側割れ目付近から白色の噴煙が上がっており、火口周辺の地形や噴煙の状況に特段の変化は認められなかった。また、赤外熱映像装置による観測では、新岳火口の西側割れ目付近の熱異常域の温度は低下した状態が続いており、特段の変化は認められなかった。

14日に海上自衛隊第1航空群の協力により実

施した上空からの観測では、新岳火口から白色の噴煙が上がっているのを確認した。また、火口西側の割れ目付近からも白色の噴煙が上がっているのを確認した。前回（2016年5月31日）の観測と比べて、火口周辺の状況に特段の変化は認められなかった。

東京大学大学院理学系研究科、京都大学防災研究所、屋久島町及び気象庁が実施した現地調査では、火山ガス（二酸化硫黄）の放出量は1日あたり30～500トン（11月：100～400トン）と2014年8月の噴火前（1日あたり概ね100トン以下）よりも概ねやや多い状態で経過している。2017年4月以降は、1日あたり400トン以上が時々観測されるなど、わずかに増加している。

傾斜計及びGNSS連続観測では、火山活動によると考えられる特段の変化は認められなかった。

新岳火口から概ね2kmの範囲では、噴火に伴う弾道を描いて飛散する大きな噴石及び火砕流に警戒が必要である。向江浜地区から新岳の南西にかけての火口から海岸までの範囲では、火砕流に警戒が必要である。

風下側では、火山灰だけでなく小さな噴石が遠方まで風に流されて降るおそれがあるため注意が必要である。

諏訪之瀬島すわのせしま [火口周辺警報（噴火警戒レベル2、火口周辺規制）]

御岳火口おたけでは、ごく小規模な噴火が時々発生したが、爆発的噴火¹⁴⁾は発生しなかった（11月：爆発的噴火5回）。

噴煙は、最高で火口縁上700m（11月：2,000m）まで上がった。

同火口では、概ね期間を通して夜間に高感度の監視カメラで火映を観測した。

十島村役場諏訪之瀬島出張所によると、火口から南南西約4kmの集落で、8～9日、11～13日、26～30日に鳴動が確認された。また、8日夜に集落から実施した現地調査では、断続的な鳴動とともに、肉眼で確認できる程度の火映を観測した。10日朝には、集落でうっすら積もる程度の降灰を確認した。

2日に諏訪之瀬島の東側海上より実施した赤外熱映像装置による観測では、前回（2017年3月22日）の観測と同様、御岳火口周辺及び火口北側斜面、東側海岸線上部に熱異常域が認められた。

14日に海上自衛隊第1航空隊の協力により実施した上空からの観測では、御岳火口内の状況は噴煙により確認できなかったが、2016年5月31日の観測と比較して、火口周辺の状況に特段の変化は認められなかった。

今後も火口周辺に影響を及ぼす程度の噴火が発生すると予想されるので、火口から概ね1kmの範囲では、噴火に伴う弾道を描いて飛散する大きな噴石に警戒が必要である。風下側では火山灰だけでなく小さな噴石が遠方まで風に流されて降るおそれがあるため注意が必要である。

なお、以下に挙げる火山では、火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しており、噴火の兆候は認められない。

つるみだけ がらんだけ
鶴見岳・伽藍岳 [噴火予報（噴火警戒レベル1、活火山であることに留意）]

きりしまやま おほち
霧島山（御鉢） [噴火予報（噴火警戒レベル1、活火山であることに留意）]

- 1) 赤外熱映像装置による。赤外熱映像装置による。赤外熱映像装置は物体が放射する赤外線を感じて温度分布を測定する測器である。熱源から離れた場所から測定することができる利点があるが、測定距離や大気等の影響で実際の熱源の温度よりも低く測定される場合がある。
- 2) 赤熱した溶岩や高温の火山ガス等が、噴煙や雲に映って明るく見える現象。
- 3) 火口から放出される火山ガスには、マグマに溶けていた水蒸気や二酸化硫黄、硫化水素など様々な成分が含まれており、これらのうち、二酸化硫黄はマグマが浅部へ上昇するとその放出量が増加する。気象庁では、二酸化硫黄の放出量を観測し、火山活動の評価に活用している。
- 4) 火山活動による山体の傾きを精密に観測する機器。火山体直下へのマグマの貫入等により変化が観測されることがある。
- 5) GNSS（Global Navigation Satellite Systems）とは、GPSをはじめとする衛星測位システム全般を示す呼称である。
- 6) 噴石については、大きさによる風の影響の程度の違いによって飛散範囲が大きく異なる。本文中「大きな噴石」とは、「風の影響を受けず弾道を描いて飛散する大きな噴石」のことであり、「小さな噴石」とは、それより小さく「風に流されて降る小さな噴石」のことである。
- 7) 低周波地震は、相が不明瞭なため震源が求まるものは少数だが、火口周辺の比較的浅い場所で発生するものと、火山体等の深い部分で発生するものがある。火口周辺の比較的浅い場所で発生するものは、火道内のガスの移動やマグマの発泡などにより発生すると考えられているものもある。火山によっては、過去の事例から、火山活動が活発化すると多発する傾向がある事が知られている。一方、火山体の深い場所で発生するものは、発生原因はよくわかっていないが、何らかの地下深部のマグマ活動と関連していると考えられている。
- 8) 山頂火口内とは、雄山山頂にある火口及び火口縁から海岸方向に約100mまでの範囲を指す。
- 9) 火山性地震のうち、相が不明瞭で、比較的周期が長く、火口周辺の比較的浅い場所で発生する地震で、火道内のガスの移動やマグマの発泡などにより発生すると考えられている。
- 10) 活動静穏期中の御岳第一火口には、地下水などを起源とする約40～60℃の緑色の湯がたまっており、これを湯だまりと呼んでいる。火山活動が活発化するにつれ、湯だまり温度が上昇・噴湯して湯量の減少や濁りがみられ、その過程で土砂を噴き上げる土砂噴出現象等が起り始めることが知られている。

- 11) 海拔 0 m からの深さを示す。
- 12) 火砕流とは、火山灰や岩塊、火山ガスや空気が一体となって急速に山体を流下する現象である。火砕流の速度は時速数十 km から時速百 km 以上、温度は数百℃にも達することがある。
- 13) 霧島山・桜島では「火山れき」の用語が地元で定着していると考えられることから、付加表現している。
- 14) 霧島山・諏訪之瀬島では、火道内の爆発による地震を伴い、火口周辺の観測点で一定基準以上の空気の振動を観測した噴火を爆発的噴火としている。桜島では、火道内の爆発による地震を伴い、爆発音、体を感じる空気の振動、噴石の火口外への飛散、または、气象台や島内の観測点で一定基準以上の空気の振動のいずれかを観測した噴火を爆発的噴火としている。
- 15) 火山活動による地殻の伸び縮みを観測する機器。マグマ溜まりや火道内の圧力増加によって生じる火口周辺の変化が観測されることがある。

資料 1 全国の火山現象に関する特別警報・警報・予報の発表状況のまとめ（平成 29 年 12 月 31 日現在）

(1) 主な活火山

噴火警報、火口周辺警報及び噴火予報の発表履歴欄には、平成 19 年 12 月 1 日の警報及び予報の発表と噴火警戒レベルの運用開始からの経過を示す。この表では、主な活火山として、警報を発表している、または常時観測を行っている火山を示している。また、ここで示すレベルは噴火警戒レベルである。

	火山名	特別警報、警報及び予報の発表状況	特別警報、警報及び予報の発表履歴
北海道地方	アトサヌプリ	噴火予報（レベル 1、活火山であることに留意）	2007年12月1日 噴火予報（平常） 2016年3月23日 噴火予報（レベル 1、活火山であることに留意）
	雌阿寒岳	噴火予報（レベル 1、活火山であることに留意）	2007年12月1日 噴火予報（平常） 2008年9月29日 火口周辺警報（火口周辺危険） 2008年10月17日 噴火予報（平常） 2008年11月17日 火口周辺警報（火口周辺危険） 2008年12月16日 火口周辺警報（レベル 2、火口周辺規制） 2009年4月10日 噴火予報（レベル 1、平常） 2015年7月28日 火口周辺警報（レベル 2、火口周辺規制） 2015年11月13日 噴火予報（レベル 1、活火山であることに留意）
	大雪山	噴火予報（活火山であることに留意）	2007年12月1日 噴火予報（平常）
	十勝岳	噴火予報（レベル 1、活火山であることに留意）	2007年12月1日 噴火予報（平常） 2008年12月16日 噴火予報（レベル 1、平常） 2014年12月16日 火口周辺警報（レベル 2、火口周辺規制） 2015年2月24日 噴火予報（レベル 1、平常）
	樽前山	噴火予報（レベル 1、活火山であることに留意）	2007年12月1日 噴火予報（レベル 1、平常）
	倶多楽	噴火予報（レベル 1、活火山であることに留意）	2007年12月1日 噴火予報（平常） 2015年10月1日 噴火予報（レベル 1、活火山であることに留意）
	有珠山	噴火予報（レベル 1、活火山であることに留意）	2007年12月1日 噴火予報（平常） 2008年6月9日 噴火予報（レベル 1、平常）
	北海道駒ヶ岳	噴火予報（レベル 1、活火山であることに留意）	2007年12月1日 噴火予報（レベル 1、平常）
東北地方	恵山	噴火予報（レベル 1、活火山であることに留意）	2007年12月1日 噴火予報（平常） 2016年3月23日 噴火予報（レベル 1、活火山であることに留意）
	岩木山	噴火予報（レベル 1、活火山であることに留意）	2007年12月1日 噴火予報（平常） 2016年7月26日 噴火予報（レベル 1、活火山であることに留意）
	八甲田山	噴火予報（活火山であることに留意）	2007年12月1日 噴火予報（平常）
	十和田	噴火予報（活火山であることに留意）	2007年12月1日 噴火予報（平常）
	秋田焼山	噴火予報（レベル 1、活火山であることに留意）	2007年12月1日 噴火予報（平常） 2013年7月25日 噴火予報（レベル 1、平常）
	岩手山	噴火予報（レベル 1、活火山であることに留意）	2007年12月1日 噴火予報（レベル 1、平常）
	秋田駒ヶ岳	噴火予報（レベル 1、活火山であることに留意）	2007年12月1日 噴火予報（平常） 2009年10月27日 噴火予報（レベル 1、平常）
	鳥海山	噴火予報（活火山であることに留意）	2007年12月1日 噴火予報（平常）
	栗駒山	噴火予報（活火山であることに留意）	2007年12月1日 噴火予報（平常）
	蔵王山	噴火予報（レベル 1、活火山であることに留意）	2007年12月1日 噴火予報（平常） 2015年4月13日 火口周辺警報（火口周辺危険） 2015年6月16日 噴火予報（活火山であることに留意） 2016年7月26日 噴火予報（レベル 1、活火山であることに留意）
	吾妻山	噴火予報（レベル 1、活火山であることに留意）	2007年12月1日 噴火予報（レベル 1、平常） 2014年12月12日 火口周辺警報（レベル 2、火口周辺規制） 2016年10月18日 噴火予報（レベル 1、活火山であることに留意）
	安達太良山	噴火予報（レベル 1、活火山であることに留意）	2007年12月1日 噴火予報（平常） 2009年3月31日 噴火予報（レベル 1、平常）
磐梯山	噴火予報（レベル 1、活火山であることに留意）	2007年12月1日 噴火予報（平常） 2009年3月31日 噴火予報（レベル 1、平常）	
関東・中部地方	那須岳	噴火予報（レベル 1、活火山であることに留意）	2007年12月1日 噴火予報（平常） 2009年3月31日 噴火予報（レベル 1、平常）
	日光白根山	噴火予報（レベル 1、活火山であることに留意）	2007年12月1日 噴火予報（平常） 2016年12月6日 噴火予報（レベル 1、活火山であることに留意）
	草津白根山	噴火予報（レベル 1、活火山であることに留意）	2007年12月1日 噴火予報（レベル 1、平常） 2009年4月10日 噴火予報（レベル 1、平常）切替 2014年6月3日 火口周辺警報（レベル 2、火口周辺規制） 2017年6月7日 噴火予報（レベル 1、活火山であることに留意）

	火山名	特別警報、警報及び予報の発表状況	特別警報、警報及び予報の発表履歴
関東・中部地方	浅間山	火口周辺警報 (レベル2、火口周辺規制)	2007年12月1日 噴火予報(レベル1、平常) 2008年8月8日 火口周辺警報(レベル2、火口周辺規制) 2009年2月1日 火口周辺警報(レベル3、入山規制) 2009年2月3日 火口周辺警報(レベル3、入山規制)切替 2009年4月7日 火口周辺警報(レベル2、火口周辺規制) 2010年4月15日 噴火予報(レベル1、平常) 2015年6月11日 火口周辺警報(レベル2、火口周辺規制)
	新潟焼山	噴火予報(レベル1、活火山であることに留意)	2007年12月1日 噴火予報(平常) 2011年3月31日 噴火予報(レベル1、平常)
	弥陀ヶ原	噴火予報(活火山であることに留意)	2007年12月1日 噴火予報(平常)
	焼岳	噴火予報(レベル1、活火山であることに留意)	2007年12月1日 噴火予報(平常) 2011年3月31日 噴火予報(レベル1、平常)
	乗鞍岳	噴火予報(活火山であることに留意)	2007年12月1日 噴火予報(平常)
	御嶽山	噴火予報(レベル1、活火山であることに留意)	2007年12月1日 噴火予報(平常) 2008年3月31日 噴火予報(レベル1、平常) 2014年9月27日 火口周辺警報(レベル3、入山規制) 2014年9月28日 火口周辺警報(レベル3、入山規制)切替 2015年1月19日 火口周辺警報(レベル3、入山規制)切替 2015年3月31日 火口周辺警報(レベル3、入山規制)切替 2015年6月26日 火口周辺警報(レベル2、火口周辺規制) 2017年8月21日 噴火予報(レベル1、活火山であることに留意)
	白山	噴火予報(レベル1、活火山であることに留意)	2007年12月1日 噴火予報(平常) 2015年9月2日 噴火予報(レベル1、活火山であることに留意)
	富士山	噴火予報(レベル1、活火山であることに留意)	2007年12月1日 噴火予報(レベル1、平常)
	箱根山	噴火予報(レベル1、活火山であることに留意)	2007年12月1日 噴火予報(平常) 2009年3月31日 噴火予報(レベル1、平常) 2015年5月6日 火口周辺警報(レベル2、火口周辺規制) 2015年6月30日 火口周辺警報(レベル3、入山規制) 2015年9月11日 火口周辺警報(レベル2、火口周辺規制) 2015年11月20日 噴火予報(レベル1、活火山であることに留意)
	伊豆東部火山群	噴火予報(レベル1、活火山であることに留意)	2007年12月1日 噴火予報(平常) 2011年3月31日 噴火予報(レベル1、平常)
伊豆・小笠原諸島	伊豆大島	噴火予報(レベル1、活火山であることに留意)	2007年12月1日 噴火予報(レベル1、平常)
	新島	噴火予報(活火山であることに留意)	2007年12月1日 噴火予報(平常)
	神津島	噴火予報(活火山であることに留意)	2007年12月1日 噴火予報(平常)
	三宅島	噴火予報(レベル1、活火山であることに留意)	2007年12月1日 火口周辺警報(火口周辺危険) 2008年3月31日 火口周辺警報(レベル2、火口周辺規制) 2015年6月5日 噴火予報(レベル1、活火山であることに留意)
	八丈島	噴火予報(活火山であることに留意)	2007年12月1日 噴火予報(平常)
	青ヶ島	噴火予報(活火山であることに留意)	2007年12月1日 噴火予報(平常)
	ベヨネース列岩	噴火警報(周辺海域警戒)	2007年12月1日 噴火予報(平常) 2017年3月24日 噴火警報(周辺海域警戒)
	西之島	火口周辺警報(入山危険)	2007年12月1日 噴火予報(平常) 2013年11月20日 火口周辺警報(火口周辺危険) 2014年6月3日 火口周辺警報(入山危険) 2014年6月11日 火口周辺警報(入山危険)切替 2015年2月24日 火口周辺警報(入山危険)切替 2016年2月17日 火口周辺警報(入山危険)切替 2016年8月17日 火口周辺警報(火口周辺危険) 2017年2月14日 噴火予報(活火山であることに留意) 2017年4月20日 火口周辺警報(入山危険)
	硫黄島	火口周辺警報(火口周辺危険)	2007年12月1日 火口周辺警報(火口周辺危険)
	福徳岡ノ場	噴火警報(周辺海域警戒)	2007年12月1日 噴火警報(周辺海域警戒)

	火山名	特別警報、警報及び予報の発表状況	特別警報、警報及び予報の発表履歴
九州地方・南西諸島	鶴見岳・伽藍岳	噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）	2007年12月1日 噴火予報（平常） 2016年7月26日 噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）
	九重山	噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）	2007年12月1日 噴火予報（レベル1、平常）
	阿蘇山	噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）	2007年12月1日 噴火予報（レベル1、平常） 2011年5月16日 火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2011年6月20日 噴火予報（レベル1、平常） 2013年9月25日 火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2013年10月11日 噴火予報（レベル1、平常） 2013年12月27日 火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2014年3月12日 噴火予報（レベル1、平常） 2014年8月30日 火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2015年9月14日 火口周辺警報（レベル3、入山規制） 2015年11月24日 火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2016年10月8日 火口周辺警報（レベル3、入山規制） 2016年12月20日 火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2017年2月7日 噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）
	雲仙岳	噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）	2007年12月1日 噴火予報（レベル1、平常）
	霧島山（えびの高原（硫黄山）周辺）	噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）	2007年12月1日 噴火予報（平常） 2014年10月24日 火口周辺警報（火口周辺危険） 2015年5月1日 噴火予報（平常） 2016年2月28日 火口周辺警報（火口周辺危険） 2016年3月29日 噴火予報（活火山であることに留意） 2016年12月6日 噴火予報（レベル1、活火山であることに留意） 2016年12月12日 火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2017年1月13日 噴火予報（レベル1、活火山であることに留意） 2017年5月9日 火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2017年10月31日 噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）
	霧島山（新燃岳）	火口周辺警報（レベル3、入山規制）	2007年12月1日 噴火予報（レベル1、平常） 2008年8月22日 火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2008年10月29日 噴火予報（レベル1、平常） 2010年3月30日 火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2010年4月16日 噴火予報（レベル1、平常） 2010年5月6日 火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2011年1月26日 火口周辺警報（レベル3、入山規制） 2011年1月31日 火口周辺警報（レベル3、入山規制）切替 2011年2月1日 火口周辺警報（レベル3、入山規制）切替 2011年3月22日 火口周辺警報（レベル3、入山規制）切替 2012年6月26日 火口周辺警報（レベル3、入山規制）切替 2013年10月22日 火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2017年5月26日 噴火予報（レベル1、活火山であることに留意） 2017年10月5日 火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2017年10月11日 火口周辺警報（レベル3、入山規制） 2017年10月15日 火口周辺警報（レベル3、入山規制）切替 2017年10月31日 火口周辺警報（レベル3、入山規制）切替
	霧島山（御鉢）	噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）	2007年12月1日 噴火予報（レベル1、平常）

	火山名	特別警報、警報及び予報の発表状況	特別警報、警報及び予報の発表履歴
九州地方・南西諸島	桜島	火口周辺警報 (レベル 3、入山規制)	2007年12月 1 日 火口周辺警報 (レベル 2、火口周辺規制) 2008年 2 月 3 日 火口周辺警報 (レベル 3、入山規制) 2008年 2 月20日 火口周辺警報 (レベル 2、火口周辺規制) 2008年 4 月 8 日 火口周辺警報 (レベル 3、入山規制) 2008年 7 月14日 火口周辺警報 (レベル 2、火口周辺規制) 2008年 7 月28日 火口周辺警報 (レベル 3、入山規制) 2008年 8 月28日 火口周辺警報 (レベル 2、火口周辺規制) 2009年 2 月 2 日 火口周辺警報 (レベル 3、入山規制) 2009年 2 月19日 火口周辺警報 (レベル 2、火口周辺規制) 2009年 3 月 2 日 火口周辺警報 (レベル 3、入山規制) 2009年 3 月10日 火口周辺警報 (レベル 3、入山規制) 切替 2009年 4 月24日 火口周辺警報 (レベル 2、火口周辺規制) 2009年 7 月19日 火口周辺警報 (レベル 3、入山規制) 2010年 9 月30日 火口周辺警報 (レベル 2、火口周辺規制) 2010年10月13日 火口周辺警報 (レベル 3、入山規制) 2012年 3 月12日 火口周辺警報 (レベル 3、入山規制) 切替 2012年 3 月21日 火口周辺警報 (レベル 3、入山規制) 切替 2015年 8 月15日 噴火警報 (レベル 4、避難準備) 2015年 9 月 1 日 火口周辺警報 (レベル 3、入山規制) 2015年11月25日 火口周辺警報 (レベル 2、火口周辺規制) 2016年 2 月 5 日 火口周辺警報 (レベル 3、入山規制)
	薩摩硫黄島	噴火予報 (レベル 1、活火山であることに留意)	2007年12月 1 日 火口周辺警報 (レベル 2、火口周辺規制) 2012年11月29日 噴火予報 (レベル 1、平常) 2013年 6 月 4 日 火口周辺警報 (レベル 2、火口周辺規制) 2013年 7 月10日 噴火予報 (レベル 1、平常) 2017年 1 月 5 日 火口周辺警報 (レベル 2、火口周辺規制) 2017年 2 月24日 噴火予報 (レベル 1、活火山であることに留意)
	口永良部島	火口周辺警報 (レベル 3、入山規制)	2007年12月 1 日 火口周辺警報 (レベル 2、火口周辺規制) 2008年 1 月25日 噴火予報 (レベル 1、平常) 2008年 9 月 4 日 火口周辺警報 (レベル 2、火口周辺規制) 2008年10月27日 火口周辺警報 (レベル 3、入山規制) 2009年 3 月18日 火口周辺警報 (レベル 2、火口周辺規制) 2009年 8 月 4 日 噴火予報 (レベル 1、平常) 2009年 9 月27日 火口周辺警報 (レベル 2、火口周辺規制) 2009年10月30日 噴火予報 (レベル 1、平常) 2011年12月15日 火口周辺警報 (レベル 2、火口周辺規制) 2012年 1 月20日 噴火予報 (レベル 1、平常) 2014年 8 月 3 日 火口周辺警報 (レベル 3、入山規制) 2014年 8 月 7 日 火口周辺警報 (レベル 3、入山規制) 切替 2015年 5 月29日 噴火警報 (レベル 5、避難) 2015年10月21日 噴火警報 (レベル 5、避難) 切替 2016年 6 月14日 火口周辺警報 (レベル 3、入山規制)
	諏訪之瀬島	火口周辺警報 (レベル 2、火口周辺規制)	2007年12月 1 日 火口周辺警報 (レベル 2、火口周辺規制)

（２）その他の活火山

以下の活火山では平成 19 年 12 月 1 日に噴火予報（平常）を発表した（但し、*印の活火山では、活火山として選定された平成 23 年 6 月 7 日に噴火予報（平常）を、**印の活火山では、活火山として選定された後の平成 29 年 12 月 5 日に噴火予報（活火山であることに留意）を発表）。その後、いずれも火山活動に特段の変化はなく、予報事項に変更はない。

	火 山 名
北海道地方	知床硫黄山、羅臼岳、天頂山*、摩周、雄阿寒岳*、丸山、利尻山、恵庭岳、羊蹄山、ニセコ、渡島大島、茂世路岳、散布山、指臼岳、小田萌山、択捉焼山、択捉阿登佐岳、ベルタルベ山、ルルイ岳、爺爺岳、羅臼山、泊山
東北地方	恐山、八幡平、鳴子、肘折、沼沢、燧ヶ岳
関東・中部地方	高原山、男体山**、赤城山、榛名山、横岳、妙高山、アカンダナ山
伊豆・小笠原諸島	利島、御蔵島、須美寿島、伊豆鳥島、孀婦岩、海形海山、海德海山、噴火浅根、北福德堆、南日吉海山、日光海山
中国・九州地方 及び南西諸島	三瓶山、阿武火山群、由布岳、福江火山群、米丸・住吉池、若尊、池田・山川、開聞岳、口之島、中之島、硫黄鳥島、西表島北北東海底火山

注) 平成 27 年 5 月 18 日から（平常）は（活火山であることに留意）に変更している。

世界の主な地震

平成 29 年 (2017 年) 12 月に世界で発生したマグニチュード (M) 6.0 以上または被害を伴った地震の震央分布を図 1 に示す。また、その震源要素等を表 1 に示す。

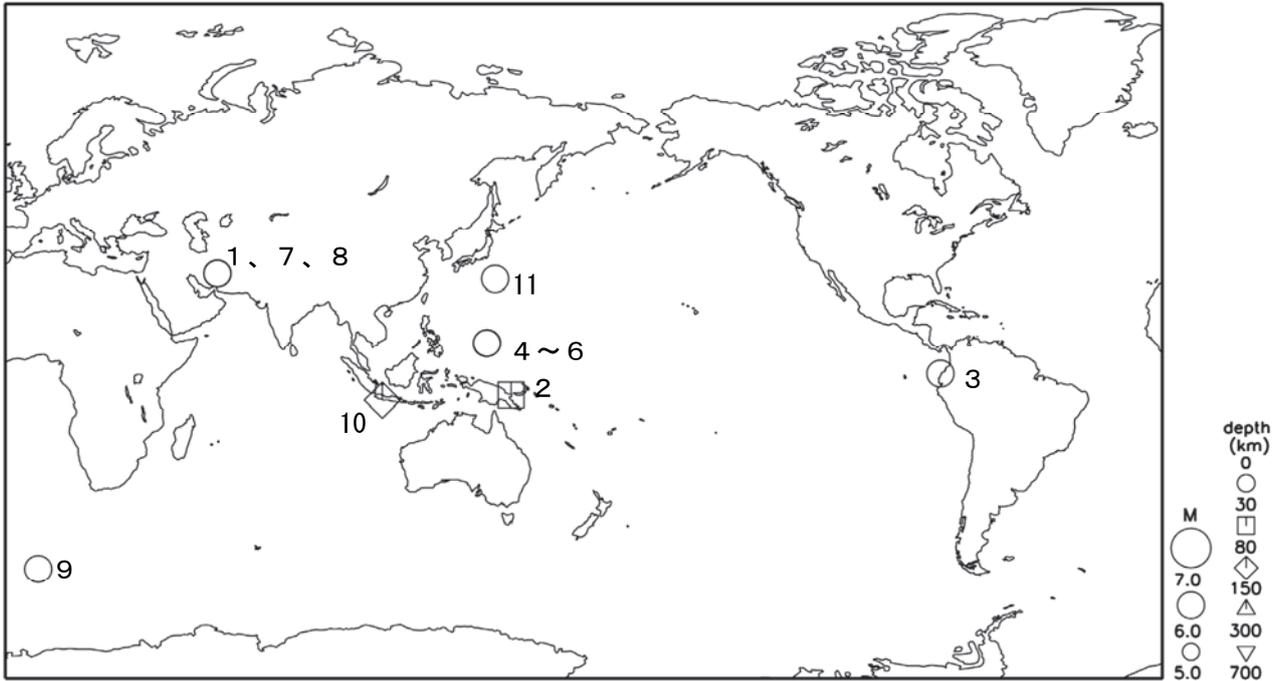


図 1 平成 29 年 (2017 年) 12 月に世界で発生した M6.0 以上または被害を伴った地震の震央分布

表 1 平成 29 年 (2017 年) 12 月に世界で発生した M6.0 以上または被害を伴った地震の震源要素等

番号	地震発生時刻	緯度	経度	深さ (km)	mb	Mj	Mw	震央地名	備考 (被害状況など)	北西	遠地
1	01日11時32分	N30° 44.6'	E057° 18.8'	9			6.1	イラン北部			
2	01日11時49分	S06° 6.8'	E147° 37.7'	40			6.0	ニューギニア東部			
3	03日20時19分	S00° 29.4'	W080° 18.6'	16			6.2	エクアドル沿岸付近			
4	08日09時22分	N10° 7.0'	E140° 13.2'	13			6.4	カロリン諸島西部			
5	08日18時51分	N10° 0.5'	E140° 7.9'	20			6.4	カロリン諸島西部			
6	10日00時14分	N10° 5.4'	E140° 12.5'	10			6.1	カロリン諸島西部			
7	12日17時43分	N30° 43.2'	E057° 16.2'	10			6.0	イラン北部			
8	13日06時41分	N30° 49.4'	E057° 17.2'	8			6.0	イラン北部			
9	14日03時03分	S54° 13.1'	E002° 10.1'	10			6.5	ブーベ島付近			
10	16日01時47分	S07° 44.1'	E108° 1.4'	92			6.5	インドネシア、ジャワ島			
11	21日12時00分	N29° 18.5'	E142° 43.0'	10*		6.0	(5.7)	島島近海			

- ・震源要素は米国地質調査所(USGS)ホームページの” Earthquake Archive Search & URL Builder” (<http://earthquake.usgs.gov/earthquakes/search/>) による (2018 年 1 月 4 日現在)。ただし、日本付近で発生した地震の震源要素、Mj の欄に記載したマグニチュード、Mw の欄に括弧を付して記載したモーメントマグニチュードは、気象庁による。
- ・被害状況は、出典のないものは OCHA (UN Office for the Coordination of Humanitarian Affairs : 国連人道問題調整事務所)、国内は、総務省消防庁による。
- ・地震発生時刻は日本時間 [日本時間 = 協定世界時 + 9 時間] である。
- ・「北西」欄の○印は、気象庁が北西太平洋域に提供している北西太平洋津波情報 (NWPTA) (地震・火山月報 (防災編) 2005 年 5 月号参照) を発表したことを表す。
- ・「遠地」欄の○印は、気象庁が「遠地地震に関する情報」を発表したことを表す。
- ・深さに「*」を付したものは、気象庁による CMT 解のセントロイドの深さを表す。

● 世界の主な火山活動

平成 29 年（2017 年）12 月に噴火が報告された主な火山（日本を除く）*は以下のとおり。

シベルチ（Sheveluch） ロシア（図中 A） 標高 3,283m

噴火が続くシベルチでは、12 月 5 日に噴煙が海拔 10.5km まで上がる爆発的噴火が発生した。

ベズィミアニ（Bezymianny） ロシア（図中 B） 標高 2,882m

12 月 20 日に発生した爆発的噴火では、火山灰を含む噴煙が海拔 15km まで上がり、北東に広がった。

アグン（Agung） インドネシア（図中 C） 標高 2,995m

アグンでは、噴火が継続した。12 月 25 日現在、避難者数は 71,045 人となった。

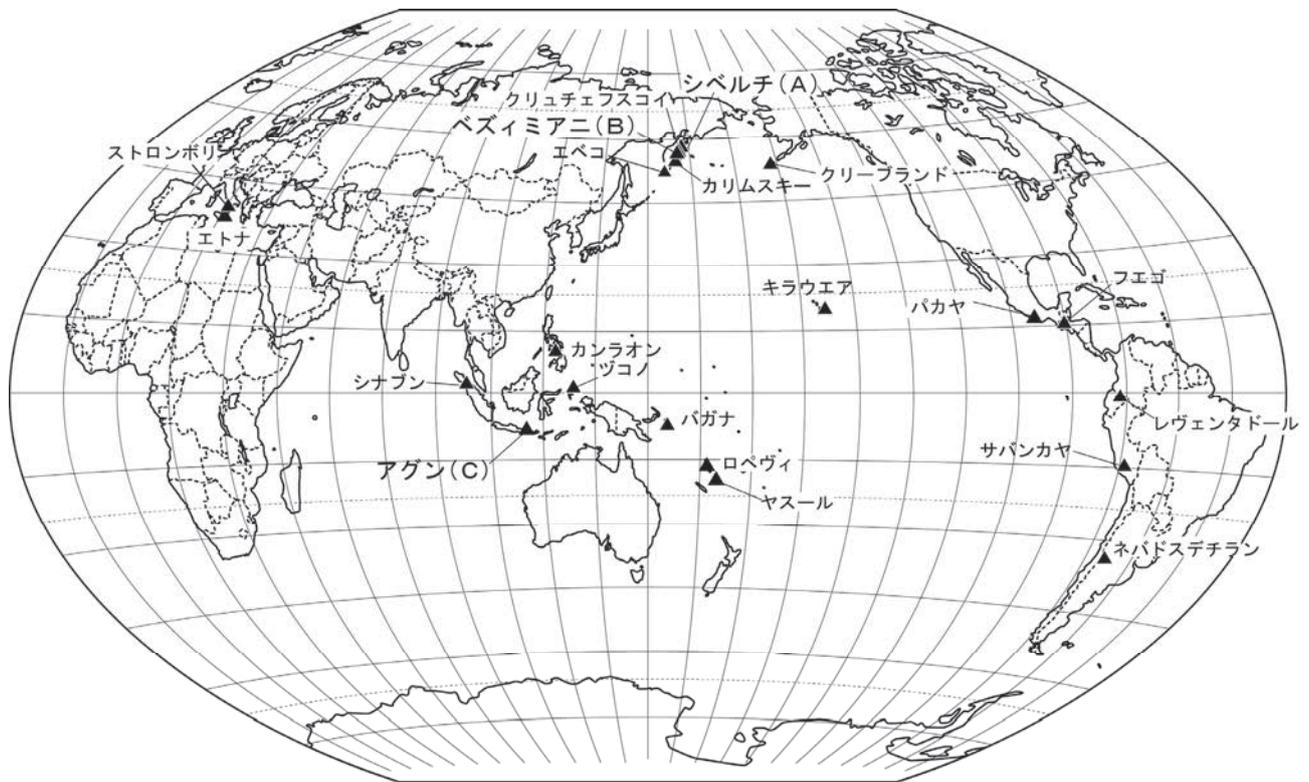


図 平成 29 年（2017 年）12 月に噴火した主な火山（日本を除く）*

* 米国スミソニアン自然史博物館のホームページ “Global Volcanism Program | Smithsonian / USGS Weekly Volcanic Activity Report” (http://www.volcano.si.edu/reports_weekly.cfm) による。日付は全て現地時間。火山名の読み方は、原則として気象庁：「火山観測指針（参考編）」による。

●付録

付録 1. 震度 1 以上を観測した地震の表

※ 震度データは、震度データベース検索 [気象庁ホームページ: <http://www.data.jma.go.jp/svd/eqdb/data/shindo/index.php>] で確認できる。震源要素及び震度は再調査後、修正することがある。確定した震源要素は地震月報 (カタログ編) [気象庁ホームページ: <http://www.data.jma.go.jp/svd/eqev/data/bulletin/index.html>] に掲載する。

※ 震度データは都道府県別に掲載し、各観測点の末尾に計測震度 (平成 25 年 12 月 地震・火山月報 (防災編) の付録 2 参照) を記す。なお、* のついている地点は、地方公共団体もしくは国立研究開発法人防災科学技術研究所の震度観測点、(注) を付した地震については、近接した地域でほぼ同時刻に発生した地震であるため震度の分離ができないことを示す。震源の深さの後に 'D' を付した地震は、その深さに仮定して震源決定していることを示す。また、本文中で震源の深さに CMT 解による深さを採用している場合があり、本表の震源決定による深さと異なる場合がある。震度 3 以上を観測した地震については、震源要素を **太字** で表示する。

地震番号	震源時 日時分	震央地名 各地の震度 (計測震度)	緯度	経度	深さ	規模
1	1 03 05	網走地方 北海道 1 斜里町ウトロ香川* = 0.8	43° 57.7' N	144° 59.7' E	6km	M: 2.5
2	1 03 33	福島県会津 福島県 1 喜多方市熱塩加納町* = 0.9	37° 46.9' N	139° 58.2' E	8km	M: 2.9
3	1 03 48	北海道東方沖 北海道 2 根室市瑠瑠瑠* = 1.6 1 根室市落石東* = 1.4 別海町常盤 = 0.9 標津町北 2 条* = 0.8	43° 27.4' N	147° 05.4' E	71km	M: 4.3
4	2 00 12	茨城県南部 栃木県 4 下野市田中* = 3.6 真岡市石島* = 3.5 3 下野市笹原* = 3.2 下野市石橋* = 3.1 宇都宮市明保野町 = 2.9 栃木市旭町 = 2.8 栃木市岩舟町静* = 2.8 栃木市藤岡町藤岡* = 2.6 佐野市高砂町* = 2.6 益子町益子 = 2.5 2 鹿沼市晃望台* = 2.4 茂木町茂木* = 2.4 野木町丸林* = 2.4 真岡市田町* = 2.3 真岡市荒町* = 2.3 宇都宮市旭* = 2.2 足利市大正町* = 2.2 栃木市西方町本城* = 2.2 鹿沼市今宮町* = 2.1 小山市神鳥谷* = 2.1 宇都宮市中里町* = 2.1 壬生町通町* = 2.1 栃木市万町* = 2.1 上三川町しらさぎ* = 2.0 芳賀町祖母井* = 2.0 宇都宮市中岡本町* = 2.0 栃木市大平町富田* = 2.0 小山市中央町* = 2.0 栃木市都賀町家中* = 2.0 佐野市葛生東* = 1.9 高根沢町石末* = 1.9 大田原市湯津上* = 1.8 佐野市田沼町* = 1.8 宇都宮市塙田* = 1.8 市貝町市塙* = 1.7 日光市今市本町* = 1.7 那須烏山市中央 = 1.7 矢板市本町* = 1.6 日光市鬼怒川温泉大原* = 1.5 茂木町北高岡天矢場* = 1.5 1 塩谷町玉生* = 1.4 鹿沼市口栗野* = 1.4 栃木さくら市氏家* = 1.4 日光市芹沼* = 1.3 日光市中鉢石町* = 1.3 佐野市中町* = 1.3 那須烏山市大金* = 1.3 栃木那珂川町馬頭* = 1.3 栃木さくら市喜連川* = 1.2 那須町寺子* = 1.1 那須塩原市塩原庁舎* = 1.1 栃木那珂川町小川* = 1.1 日光市瀬川 = 1.0 日光市足尾町中才* = 1.0 日光市日蔭* = 1.0 日光市藤原* = 1.0 日光市足尾町通洞* = 0.9 日光市湯元* = 0.9 那須塩原市あたご町* = 0.8 那須烏山市役所* = 0.8 大田原市黒羽田町 = 0.7 那須塩原市鍋掛* = 0.6 日光市中宮祠 = 0.5 3 坂東市馬立* = 3.2 笠間市石井* = 3.0 筑西市舟生 = 3.0 茨城古河市下大野* = 3.0 坂東市山* = 2.9 常総市新石下* = 2.8 坂東市役所* = 2.8 笠間市笠間* = 2.8 常陸大宮市野口* = 2.7 筑西市門井* = 2.7 水戸市内原町* = 2.7 茨城古河市仁連* = 2.7 常陸大宮市北町* = 2.6 笠間市中央* = 2.6 結城市結城* = 2.6 坂東市岩井 = 2.6 土浦市藤沢* = 2.6 八千代町菅谷* = 2.5 境町旭町* = 2.5 常陸大宮市山方* = 2.5 桜川市岩瀬* = 2.5 桜川市羽田* = 2.5 小美玉市小川* = 2.5 下妻市本城町* = 2.5 2 石岡市柿岡 = 2.4 石岡市八郷* = 2.4 下妻市鬼怒* = 2.4 つくばみらい市福田* = 2.4 笠間市下郷* = 2.3 城里町石塚* = 2.3 小美玉市上玉里* = 2.3 五霞町小福田* = 2.3 筑西山下中山* = 2.3 桜川市真壁* = 2.3 茨城古河市長谷町* = 2.3 常陸大宮市上小瀬* = 2.2 常総市水海道諏訪町* = 2.2 土浦市常名 = 2.2 取手市寺田* = 2.2 つくば市天王台* = 2.2 那珂市瓜連* = 2.2 かすみがうら市上土田* = 2.2 石岡市若宮* = 2.1 つくば市小荊* = 2.1 大子町池田* = 2.1 東海村東海* = 2.0 那珂市福田* = 2.0 日立市十王町友部* = 2.0 茨城鹿嶋市鉢形 = 1.9 水戸市金町 = 1.9 守谷市大柏* = 1.9 牛久市城中町* = 1.9 城里町阿波山* = 1.9 つくば市研究学園* = 1.9 常陸大宮市高部* = 1.8 日立市助川小学校* = 1.8 茨城町小堤* = 1.8 土浦市田中* = 1.8 水戸市千波町* = 1.8 城里町徳蔵* = 1.8 常陸太田市大中町* = 1.8 つくばみらい市加藤* = 1.8 常陸太田市町屋町 = 1.7 小美玉市堅倉* = 1.7 常陸太田市高柿町* = 1.7 牛久市中央* = 1.6 稲敷市江戸崎甲* = 1.6 常陸太田市町田町* = 1.6 常陸大宮市中富町 = 1.6 かすみがうら市大和田* = 1.6 ひたちなか市南神敷台* = 1.6 鉾田市汲上* = 1.6 行方市玉造* = 1.5 1 日立市役所* = 1.4 高萩市安良川* = 1.4 ひたちなか市東石川* = 1.4 龍ヶ崎市役所* = 1.3 取手市井野* = 1.3 取手市藤代* = 1.3 鉾田市造谷* = 1.3 美浦村受領* = 1.2 阿見町中央* = 1.2 行方市麻生* = 1.2 鉾田市鉾田 = 1.2 稲敷市須賀津* = 1.1 高萩市本町* = 1.0 ひたちなか市山ノ上町 = 1.0 利根町布川 = 1.0 稲敷市伊佐津* = 1.0 稲敷市結佐* = 1.0 神栖市溝口* = 1.0 茨城鹿嶋市宮中* = 0.9 行方市山田* = 0.9 潮来市辻* = 0.9 北茨城市磯原町* = 0.9 稲敷市役所* = 0.9 常陸太田市金井町* = 0.9 潮来市堀之内 = 0.8 大洗町磯浜町* = 0.8 河内町源清田* = 0.6 3 久喜市下早見 = 3.2 加須市騎西* = 3.1 さいたま浦和区高砂 = 3.0 久喜市栗橋* = 2.9 春日部市粕壁* = 2.7 春日部市金崎* = 2.7 宮代町笠原* = 2.7 久喜市鷲宮* = 2.6 さいたま見沼区堀崎* = 2.6 川口市中青木分室* = 2.5 さいたま南区別所* = 2.5 白岡市千駄野* = 2.5 2 上尾市本町* = 2.4 さいたま岩槻区本丸* = 2.4 加須市大根* = 2.3 羽生市東* = 2.3 久喜市青葉* = 2.3 久喜市菖蒲* = 2.3 桶川市上日出谷* = 2.3 さいたま北区宮原* = 2.3 行田市南河原* = 2.2 加須市三俣* = 2.2 加須市北川辺* = 2.2 東松山市松葉町* = 2.2 川口市青木* = 2.2 鴻巣市中央* = 2.1 幸手市東* = 2.1 杉戸町清地* = 2.1 熊谷市江南* = 2.0 春日部市谷原新田* = 2.0 北本市本町* = 2.0 蓮田市黒浜* = 2.0 さいたま大宮区天沼町* = 2.0 さいたま中央区下落合* = 2.0 さいたま桜区道場* = 2.0 さいたま浦和区常盤* = 2.0 さいたま緑区中尾* = 2.0 さいたま西区指扇* = 1.9 鴻巣市川里* = 1.9 熊谷市桜町 = 1.9 吉見町下細谷* = 1.9 草加市高砂* = 1.9 蕨市中央* = 1.9 戸田市上戸田* = 1.9	36° 03.1' N	139° 53.4' E	43km	M: 4.4

地震 番号	震源時 日時分	震央地名 各地の震度 (計測震度)	緯度	経度	深さ	規模
		三郷市中央*1.9 行田市本丸*1.8 さいたま大宮区大門*1.8 志木市中宗岡*1.8 八潮市中央*1.8 吉川市吉川*1.8 伊奈町小室*1.8 熊谷市妻沼*1.7 滑川町福田*1.7 川越市新宿町*1.7 川島町下八ツ林*1.6 朝霞市本町*1.6 和光市広沢*1.6 鴻巣市吹上富士見*1.6 熊谷市宮町*1.6 川口市三ツ和*1.5 新座市野火止*1.5 東松山市市ノ川*1.5 ときがわ町桃木*1.5				
		1 川越市旭町=1.4 越谷市越ヶ谷*1.4 富士見市鶴馬*1.4 坂戸市千代田*1.4 松伏町松伏*1.4 長瀨町野上下郷*1.3 嵐山町杉山*1.3 ときがわ町玉川*1.2 埼玉三芳町藤久保*1.2 越生町越生*1.2 深谷市岡部*1.2 深谷市川本*1.2 狭山市入間川*1.1 鶴ヶ島市三ツ木*1.1 熊谷市大里*1.1 鳩山町大豆戸=1.1 埼玉美里町木部*1.1 小川町大塚*1.0 ふじみ野市福岡*1.0 秩父市近戸町*1.0 入間市豊岡*0.9 毛呂山町中央*0.9 深谷市仲町*0.9 所沢市北有楽町*0.9 深谷市花園*0.8 ふじみ野市大井*0.7 本庄市本庄*0.7 皆野町皆野*0.7 長瀨町本野上*0.7 東秩父村御堂*0.7 秩父市上町=0.6 埼玉神川町下阿久原*0.5				
		千葉県				
		3 野田市鶴奉*2.5 2 野田市東宝珠花*2.3 鎌ヶ谷市新鎌ヶ谷*2.1 柏市柏*2.0 柏市旭町=1.8 柏市大島田*1.7 白井市復*1.7 松戸市根本*1.6 松戸市西馬橋*1.6 八千代市大和田新田*1.5 習志野市鷺沼*1.5				
		1 芝山町小池*1.4 千葉花見川区花島町*1.4 船橋市湊町*1.4 流山市平和台*1.4 香取市役所*1.2 千葉美浜区ひび野=1.2 成田市中台*1.2 我孫子市我孫子*1.2 浦安市日の出=1.2 印西市大森*1.2 印西市笠神*1.1 栄町安食台*1.1 千葉中央区都町*1.1 千葉稲毛区園生町*1.1 千葉若葉区小倉台*1.1 成田国際空港=1.0 千葉佐倉市海隣寺町*1.0 多古町多古=1.0 香取市仁良*1.0 山武市埴谷*1.0 千葉中央区中央港=0.9 市川市南八幡*0.9 市原市姉崎*0.9 香取市佐原平田=0.9 香取市佐原諏訪台*0.9 香取市岩部*0.9 香取市羽根川*0.8 山武市松尾町富士見台=0.8 浦安市猫実*0.8 印西市美瀬*0.8 千葉美浜区稲毛海岸*0.8 四街道市鹿渡*0.7 千葉中央区千葉市役所*0.7 富里市七栄*0.7 千葉緑区おゆみ野*0.7 東金市日吉台*0.7 神崎町神崎本宿*0.7 長南町長南*0.7 酒々井町中央台*0.6 成田市松子*0.6 君津市久留里市場*0.5				
		福島県				
		2 白河市表郷*2.2 白河市大信*1.9 矢祭町東館*1.7 玉川村小高*1.7 白河市東*1.6 棚倉町棚倉中居野=1.6 須賀川市岩瀬支所*1.5				
		1 白河市新白河*1.4 泉崎村泉崎*1.3 矢祭町戸塚*1.3 浅川町浅川*1.3 白河市郭内=1.3 須賀川市八幡山*1.3 鏡石町不時沼*1.3 西郷村熊倉*1.2 いわき市三和町=1.2 須賀川市八幡町*1.1 矢吹町一本木*1.1 古殿町松川新桑原*1.1 田村市常葉町*1.0 田村市都路町*1.0 田村市大越町*1.0 檜葉町北田*1.0 小野町中通*0.9 いわき市平梅本*0.9 郡山市湖南町*0.9 本宮市本宮*0.9 鮫川村赤坂中野*0.8 川内村上川内早渡*0.8 古殿町松川横川=0.8 天栄村下松本*0.7 葛尾村落合落合*0.7 小野町小野新町*0.7 田村市船引町=0.7 いわき市錦町*0.7 郡山市朝日=0.7 福島広野町下北迫大谷地原*0.7 石川町長久保*0.7 いわき市小名浜=0.6 浪江町幾世橋=0.6 天栄村湯本支所*0.6 檜枝岐村上河原*0.6 川俣町五百田*0.5				
		群馬県				
		2 館林市美園町*2.4 群馬明和町新里*2.4 板倉町板倉=2.2 大泉町日の出*2.2 千代田町赤岩*2.1 館林市城町*1.8 前橋市堀越町*1.7 太田市西本町*1.7 沼田市利根町*1.6 桐生市元宿町*1.6 渋川市赤城町*1.6 伊勢崎市西久保町*1.5				
		1 みどり市大間々町*1.4 前橋市粕川町*1.3 桐生市新里町*1.3 太田市浜町*1.3 太田市粕川町*1.3 沼田市西倉内町=1.2 太田市大原町*1.2 片品村東小川=1.1 片品村鎌田*1.1 沼田市下久屋町*1.0 沼田市白沢町*1.0 前橋市富士見町*1.0 桐生市黒保根町*1.0 伊勢崎市東町*1.0 渋川市吹屋*1.0 高崎市吉井町吉井川*0.9 桐生市織姫町=0.9 前橋市鼻毛石町*0.8 みどり市東町*0.8 みどり市笠懸町*0.8 伊勢崎市今泉町*0.8 太田市新田金井町*0.7 藤岡市鬼石*0.6 富岡市七日市=0.6 みなかみ町鹿野沢*0.6 東吾妻町原町=0.6 伊勢崎市境*0.6 安中市安中*0.5 吉岡町下野田*0.5 渋川市伊香保町*0.5				
		東京都				
		2 東京文京区大塚*2.0 東京中野区中野*2.0 東京板橋区高島平*1.9 東京練馬区豊玉北*1.9 東京足立区伊興*1.9 調布市西つつじヶ丘*1.9 小平市小川町*1.9 東京新宿区上落合*1.8 東京中野区江古田*1.8 東京千代田区大手町=1.7 東京渋谷区本町*1.7 東京杉並区桃井*1.7 東京杉並区高井戸*1.7 東京北区神谷*1.7 東京板橋区相生町*1.7 東京練馬区光が丘*1.7 西東京市中町*1.7 東京足立区神明南*1.6 東京北区西ヶ原*1.5 東京新宿区百人町*1.5 東京文京区本郷*1.5 東京江戸川区中央=1.5 日野市神明*1.5 国分寺市戸倉=1.5 清瀬市中里*1.5				
		1 東京品川区平塚*1.4 東京葛飾区立石*1.4 三鷹市野崎*1.4 東村山市本町*1.4 東大和市中央*1.4 多摩市関戸*1.4 東京千代田区富士見*1.3 東京世田谷区三軒茶屋*1.3 東京世田谷区成城*1.3 東京荒川区東尾久*1.3 東京目黒区中央町*1.2 東京豊島区南池袋*1.2 東京練馬区東大泉*1.2 武蔵野市緑町*1.2 町田市忠生*1.2 町田市森野*1.2 小金井市本町*1.2 国分寺市本多*1.2 東京港区海岸=1.2 東京江東区森下*1.2 東京府中市朝日町*1.1 狛江市和泉本町*1.1 東京中央区勝どき*1.1 東京台東区東上野*1.1 東京品川区北品川*1.1 東京板橋区板橋*1.1 八王子市堀之内*1.1 東京江戸川区船堀*1.0 東京府中市寿町*1.0 武蔵村山市本町*1.0 稲城市東長沼*1.0 東京中央区築地*1.0 東京中央区日本橋兜町*1.0 東京港区芝公園*1.0 東京港区白金*1.0 東京世田谷区世田谷*1.0 東京世田谷区中町*1.0 東京江東区越中島*0.9 瑞穂町箱根ヶ崎*0.9 青梅市日向和田*0.9 東京国際空港=0.9 東京大田区本羽田*0.9 東京大田区多摩川*0.9 東京杉並区阿佐谷=0.9 東京足立区千住中居町*0.9 東京葛飾区金町*0.9 東京江戸川区鹿骨*0.9 東京千代田区麴町*0.9 東京新宿区西新宿=0.8 東京足立区中央本町*0.8 東京墨田区吾妻橋*0.8 調布市小島町*0.7 清瀬市中清戸*0.7 東京墨田区東向島*0.7 東京品川区広町*0.7 東京墨田区横川=0.6 東京荒川区荒川*0.6 東京江東区東陽*0.6 八王子市大横町=0.6 青梅市東青梅=0.6 東京江東区青海=0.5 東京江東区枝川*0.5				
		神奈川県				
		2 横浜神奈川区神大寺*2.0 川崎宮前区宮前平*1.8 横浜港北区日吉本町*1.7 横浜緑区十日市場町*1.5 川崎中原区小杉町*1.5				
		1 横浜旭区川井宿町*1.4 横浜青葉区榎が丘*1.4 横浜青葉区市ヶ尾町*1.4 川崎川崎区宮前町*1.4 川崎宮前区野川*1.4 相模原緑区久保沢*1.4 相模原緑区橋本*1.4 横浜神奈川区広台太田町*1.3				

地震 番号	震源時 日時分	震央地名 各地の震度 (計測震度)	緯度	経度	深さ	規模
5	2 05 48	山梨県 静岡県 浦河沖 北海道	42° 02.2' N	142° 30.3' E	67km	M: 4.9
		横浜保土ヶ谷区上菅田町*1.3 横浜旭区上白根町*1.3 相模原中央区水郷田名*1.3 相模原南区相模大野*1.3 相模原緑区大島*1.3 川崎中原区小杉陣屋*1.2 相模原緑区中野*1.2 横浜鶴見区末広町*1.1 横浜中区山手町*1.1 横浜戸塚区鳥が丘*1.1 横浜瀬谷区三ツ境*1.1 横浜都筑区池辺町*1.1 綾瀬市深谷*1.1 相模原中央区上溝*1.1 横浜中区山吹町*1.0 横浜磯子区洋光台*1.0 横浜旭区今宿東町*1.0 横浜瀬谷区中屋敷*1.0 座間市緑ヶ丘*1.0 横浜港北区綱島西*0.9 川崎高津区下作延*0.9 川崎多摩区登戸*0.9 川崎麻生区片平*0.9 大和市下鶴間*0.9 愛川町角田*0.9 清川村煤ヶ谷*0.9 横浜港南区丸山台東部*0.8 相模原南区磯部*0.8 横浜泉区岡津町*0.7 三浦市城山町*0.7 川崎麻生区万福寺*0.6 茅ヶ崎市茅ヶ崎=0.5 秦野市首屋=0.5 箱根町湯本*0.5 湯河原町中央=0.5 1 上野原市役所*0.7 上野原市上野原=0.6 1 東伊豆町奈良本*0.9 3 新ひだか町三石旭町*3.2 浦河町潮見=3.2 函館市新浜町*3.1 安平町追分柏が丘*3.1 新冠町北星町*2.9 函館市泊町*2.8 南幌町栄町*2.7 新ひだか町静内山手町=2.7 新ひだか町静内御幸町*2.6 浦河町築地*2.6 むかわ町松風*2.6 千歳市若草*2.5 札幌厚別区もみじ台*2.5 むかわ町穂別*2.5 厚真町鹿沼=2.5 安平町早来北進*2.5 2 江別市緑町*2.4 恵庭市京町*2.4 札幌東区元町*2.3 札幌南区真駒内*2.3 北広島市共栄*2.3 厚真町京町*2.3 浦河町野深=2.3 平取町振内*2.2 新ひだか町静内御園=2.2 日高地方日高町門別*2.1 札幌北区太平*2.1 札幌白石区北郷*2.1 函館市川汲町*2.1 登別市桜木町*2.1 千歳市支笏湖温泉*2.1 千歳市北栄=2.0 三笠市幸町*2.0 長沼町中央*2.0 新篠津村第4 7線*1.9 白老町大町=1.9 様似町栄町*1.9 幕別町忠類錦町*1.9 江別市高砂町=1.9 胆振伊達市大滝区本町*1.9 室蘭市寿町*1.9 岩見沢市栗沢町東本町*1.8 平取町本町*1.8 浦幌町桜町*1.8 札幌北区新琴似*1.8 函館市尾札部町=1.8 新千歳空港=1.8 栗山町松風*1.7 小樽市勝納町=1.7 札幌北区篠路*1.7 十勝大樹町生花*1.7 苫小牧市旭町*1.7 更別村更別*1.6 胆振伊達市梅本=1.6 広尾町並木通=1.6 札幌清田区平岡*1.6 札幌豊平区月寒東*1.6 帯広市東4条=1.6 帯広市東6条*1.6 十勝清水町南4条=1.6 鹿部町宮浜*1.6 札幌手稲区前田*1.6 当別町白樺*1.5 芽室町東2条*1.5 苫小牧市末広町=1.5 十勝池田町西1条*1.5 えりも町えりも岬*1.5 新得町2条*1.5 白老町緑丘*1.5 石狩市聚富=1.5 広尾町白樺通=1.5 1 札幌西区琴似*1.4 七飯町本町*1.4 渡島森町砂原*1.4 由仁町新光*1.4 登別市鉦山=1.4 新ひだか町静内農屋*1.4 豊頃町茂岩本町*1.4 本別町北2丁目=1.4 十勝大樹町東本通*1.4 美瑛市西3条*1.3 余市町浜中町*1.3 本別町向陽町*1.3 月形町円山公園*1.3 釧路市音別町中園*1.3 岩見沢市5条=1.3 美瑛市西5条=1.3 えりも町目黒*1.3 音更町元町*1.3 釧路市阿寒町中央*1.2 洞爺湖洞爺町*1.2 函館市日ノ浜町*1.2 岩見沢市鳥が丘*1.2 札幌中央区南4条*1.2 鹿追町東町*1.2 足寄町南1条*1.2 札幌中央区北2条=1.2 長万部町平里*1.2 夕張市若菜=1.2 豊浦町大岸*1.2 洞爺湖町栄町*1.2 幕別町本町*1.1 石狩市花川=1.1 恵庭市漁平=1.1 小樽市花園町*1.1 七飯町桜町=1.1 岩見沢市北村赤川*1.0 京極町京極*1.0 岩内町清住*1.0 中札内村東2条*1.0 芦別市旭町=1.0 渡島森町御幸町=1.0 函館市美原=1.0 壮瞥町滝之町*1.0 喜茂別町喜茂別*1.0 余市町朝日町=0.9 日高地方日高町日高*0.9 平取町仁世宇=0.9 渡島森町上台町*0.9 占冠村中央*0.8 土幌町土幌*0.8 上土幌町上土幌*0.8 福島町福島*0.8 南富良野町役場*0.8 白糠町西1条*0.8 増毛町岩尾*0.7 標津町北2条*0.7 赤井川村赤井川*0.7 上土幌町清水谷*0.7 幕別町忠類明和=0.7 石狩市厚田*0.7 渡島北斗市本町*0.7 北竜町竜西=0.6 厚沢部町木間内*0.6 標茶町塘路*0.6 滝川市大町=0.6 石狩市浜益*0.6 別海町常盤=0.6 釧路市音別町尺別=0.6 富良野市若松町=0.5 3 東通村砂子又沢内*2.7 2 階上町道仏*2.3 大間町大間*2.2 東通村砂子又蒲谷地=2.1 野辺地町田沢沢*1.8 むつ市金谷*1.8 むつ市大畑町中島*1.8 むつ市金曲=1.7 三沢市桜町*1.6 野辺地町野辺地*1.6 佐井村佐井*1.6 横浜町林ノ脇*1.5 風間浦村易国間*1.5 外ヶ浜町蟹田*1.5 1 平内町小湊=1.4 八戸市湊町=1.4 八戸市南郷*1.4 七戸町森ノ上*1.4 三戸町在府小路町*1.3 五戸町古館=1.3 五戸町倉石中市*1.3 青森南部町平*1.3 むつ市川内町*1.3 東通村白糠*1.3 八戸市内丸*1.2 東北町上北南*1.2 青森南部町苔米地*1.2 佐井村長後*1.2 青森南部町沖田面*1.1 横浜町寺下*1.1 むつ市大畑町奥薬研=1.1 東通村尻屋*1.1 六ヶ所村尾駈=1.1 七戸町七戸*1.0 おいらせ町中下田*1.0 東北町塔ノ沢山*1.0 青森市浪岡*0.9 六戸町犬落瀬*0.8 おいらせ町上明堂*0.8 十和田市西十二番町*0.7 十和田市奥瀬*0.7 五所川原市金木町*0.7 つがる市稲垣町*0.7 藤崎町西豊田*0.7 藤崎町水木*0.7 十和田市西二番町*0.6 六ヶ所村出戸=0.6 田舎館村田舎館*0.6 平内町東田沢*0.5 岩手県 1 久慈市枝成沢=1.2 二戸市浄法寺町*1.1 軽米町軽米*1.1 盛岡市薮川*0.9 岩手洋野町種市=0.6 久慈市川崎町=0.5 二戸市福岡=0.5 八幡平市田頭*0.5				
6	2 06 03	富山県東部 長野県	36° 30.4' N	137° 39.6' E	1km	M: 2.9
		1 大町市役所=0.6				
7	2 08 17	茨城県南部 茨城県	36° 11.5' N	139° 58.5' E	51km	M: 3.4
		1 桜川市羽田*1.3 笠間市笠間*1.2 筑西市門井*1.2 桜川市岩瀬*1.2 笠間市石井*1.0 坂東市役所*0.9 下妻市本城町*0.8 水戸市内原町*0.8 土浦市藤沢*0.7 石岡市柿岡=0.7 笠間市下郷*0.7 土浦市常名=0.7 水戸市金町=0.6 筑西市下中山*0.6 取手市寺田*0.6 つくば市研究学園*0.6 つくば市小茎*0.6 常陸大宮市北町*0.5 日立市助川小学校*0.5 つくば市天王台*0.5 栃木県 1 真岡市石島*1.4 下野市笹原*1.3 小山市神鳥谷*0.9 宇都宮市明保野町=0.9 真岡市田町*0.6 下野市石橋*0.6 益子町益子=0.5 栃木市旭町=0.5 栃木市大平町富田*0.5				

地震 番号	震源時 日 時 分	震央地名 各地の震度 (計測震度)	緯度	経度	深さ	規模
8	2 14 33	千葉県 1 野田市鶴奉*=0.9 高知県西部 33° 09.0' N 132° 47.7' E 33km M: 3.1 愛媛県 1 西予市明浜町*=0.5				
9	2 15 20	宮城県沖 38° 09.3' N 141° 17.7' E 66km M: 3.3 宮城県 1 登米市中田町=0.6				
10	2 16 40	鹿児島県薩摩地方 31° 52.2' N 130° 42.2' E 8km M: 1.0 鹿児島県 1 霧島市横川町中ノ*=0.5				
11	3 00 17	秋田県内陸南部 39° 30.6' N 140° 25.4' E 7km M: 1.6 秋田県 1 大仙市神宮寺*=0.6				
12	3 01 17	茨城県沖 36° 02.8' N 141° 04.3' E 41km M: 3.7 茨城県 1 笠間市石井*=0.7 水戸市金町=0.5 千葉県 1 香取市仁良*=0.6 銚子市川口町=0.5				
13	3 04 29	鹿児島県薩摩地方 31° 14.9' N 130° 38.0' E 8km M: 2.2 鹿児島県 1 指宿市十町*=0.8				
14	3 05 38	兵庫県南東部 34° 56.5' N 135° 21.4' E 13km M: 2.8 京都府 1 亀岡市安町=0.5 大阪府 1 能勢町今西*=1.3 能勢町役場*=0.9 兵庫県 1 三田市下深田=0.5				
15	3 11 21	奄美大島近海 27° 33.5' N 128° 55.1' E 18km M: 3.1 鹿児島県 1 伊仙町伊仙*=1.0				
16	3 21 00	和歌山県北部 34° 15.3' N 135° 23.9' E 7km M: 2.2 和歌山県 1 紀の川市桃山町元*=0.5				
17	4 16 39	茨城県北部 36° 50.7' N 140° 32.1' E 103km M: 3.4 福島県 1 棚倉町棚倉中居野=0.7 浅川町浅川*=0.5 茨城県 1 日立市助川小学校*=0.6 笠間市石井*=0.6				
18	4 16 42	宮城県沖 38° 57.1' N 142° 31.3' E 41km M: 4.4 岩手県 2 山田町大沢*=2.1 一関市室根町*=1.7 1 一関市千厩町*=1.4 釜石市中妻町*=1.3 平泉町平泉*=1.3 大船渡市大船渡町=1.2 住田町世田米*=1.2 釜石市只越町=1.0 矢巾町南矢幅*=1.0 宮古市川井*=1.0 宮古市五月町*=0.9 奥州市水沢区佐倉河*=0.9 奥州市胆沢区*=0.9 一関市花泉町*=0.9 宮古市田老*=0.9 一関市東山町*=0.9 一関市藤沢町*=0.8 大槌町小鍬*=0.8 陸前高田市高田町*=0.8 北上市相去町*=0.8 遠野市青笹町*=0.8 遠野市宮守町*=0.8 山田町八幡町=0.8 宮古市鉾ヶ崎=0.8 大船渡市猪川町=0.8 北上市柳原町=0.7 奥州市水沢区大鐘町=0.7 花巻市大迫町=0.6 盛岡市山王町=0.6 大船渡市盛町*=0.5 金ヶ崎町西根*=0.5 宮古市長沢=0.5 宮城県 2 気仙沼市赤岩=1.6 気仙沼市笹が陣*=1.5 1 気仙沼市唐桑町*=1.2 栗原市若柳*=1.2 石巻市桃生町*=1.0 栗原市栗駒=0.9 南三陸町志津川=0.9 登米市迫町*=0.8 登米市中田町=0.6 宮城加美町中新田*=0.5 大崎市古川大崎=0.5 岩沼市桜*=0.5				
19	4 16 54	日向灘 32° 11.4' N 131° 58.8' E 21km M: 4.2 宮崎県 2 宮崎都農町役場*=1.9 1 日南市南郷町南町*=1.4 宮崎市松橋*=1.3 宮崎美郷町田代*=1.1 西都市上の宮*=0.9 宮崎市霧島=0.9 宮崎市田野町体育館*=0.8 新富町上富田=0.8 延岡市天神小路=0.7 日向市大王谷運動公園=0.7 門川町本町*=0.7 日向市東郷町山陰*=0.7 西都市聖陵町*=0.6 日南市吾田東*=0.5 小林市真方=0.5 鹿児島県 1 鹿屋市新栄町=0.5				
20	4 17 09	静岡県西部 34° 52.4' N 137° 56.9' E 12km M: 2.5 静岡県 1 掛川市長谷*=0.9				
21	4 21 24	熊本県熊本地方 32° 48.7' N 130° 37.4' E 6km M: 2.2 熊本県 1 熊本西区春日=0.8				
22	5 16 25	福島県沖 37° 03.7' N 141° 11.4' E 49km M: 3.9 福島県 2 川内村上川内早渡*=2.3 川内村下川内=1.7 福島広野町下北迫大谷地原*=1.7 田村市都路町*=1.6 1 檜葉町北田*=1.4 いわき市三和町=1.3 川内村上川内小山平*=1.3 田村市常葉町*=1.2 浪江町幾世橋=1.1 福島広野町下北迫苗代替*=1.0 白河市新白河*=0.9 富岡町本岡*=0.9 川俣町五百田*=0.8 双葉町両竹*=0.6 田村市船引町=0.6 大熊町野上*=0.5				
23	5 22 08	栃木県南部 36° 34.2' N 140° 03.6' E 109km M: 3.5 福島県 1 棚倉町棚倉中居野=0.5 茨城県 1 ひたちなか市南神敷台*=1.0 ひたちなか市東石川*=0.8 水戸市内原町*=0.7 日立市助川小学校*=0.7 常陸大宮市北町*=0.7 笠間市笠間*=0.6 常陸大宮市山方*=0.6 笠間市石井*=0.5				

地震 番号	震源時 日時分	震央地名 各地の震度 (計測震度)	緯度	経度	深さ	規模
24	6 00 13	長野県中部 長野県	36° 22.6' N	137° 58.3' E	10km	M: 5.3
		4 大町市八坂* = 4.3 大町市美麻* = 4.3 筑北村西条* = 4.3 生坂村役場* = 4.2 麻績村麻* = 4.0 筑北村坂北* = 4.0 長野池田町池田* = 3.7 筑北村坂井* = 3.7 安曇野市明科* = 3.6 松本市会田* = 3.6 小川村高府* = 3.6 千曲市杭瀬下* = 3.6 坂城町坂城* = 3.5 上田市上田古戦場公園 = 3.5 3 長野市大岡* = 3.4 松本市丸の内* = 3.4 安曇野市豊科* = 3.4 松川村役場* = 3.3 大町市役所* = 3.3 青木村田沢青木* = 3.3 大町市大町図書館* = 3.3 長野市信州新町新町* = 3.2 松本市美須々* = 3.1 松本市沢村* = 3.1 安曇野市穂高支所* = 3.0 安曇野市穂高福祉センター* = 3.0 上田市役所* = 3.0 千曲市上山田温泉* = 2.9 千曲市戸倉* = 2.9 松本市寿* = 2.9 長野市中条* = 2.9 長野市豊野町豊野* = 2.8 諏訪市湖岸通り* = 2.8 安曇野市堀金* = 2.8 小谷村中小谷* = 2.8 諏訪市高島* = 2.7 岡谷市幸町* = 2.6 長野市鬼無里* = 2.6 長野市戸隠* = 2.5 長野市箱清水 = 2.5 信濃町柏原東裏* = 2.5 2 東御市県* = 2.4 中野市豊津* = 2.3 飯綱町牟礼* = 2.3 上田市上武石* = 2.3 上田市真田町長* = 2.2 小海町豊里* = 2.2 軽井沢町追分* = 2.2 御代田町御代田* = 2.2 山形村役場* = 2.2 安曇野市三郷* = 2.2 小諸市文化センター* = 2.1 長野市松代* = 2.0 茅野市葛井公園* = 2.0 佐久市中込* = 2.0 佐久市甲* = 2.0 飯綱町芋川* = 2.0 松本市梓川梓* = 2.0 上田市上丸子* = 2.0 立科町芦田* = 2.0 長野高山村高井* = 2.0 東御市大日向* = 2.0 小諸市小諸消防署* = 2.0 長野市鶴賀緑町* = 1.9 軽井沢町長倉* = 1.9 須坂市須坂* = 1.9 下諏訪町役場* = 1.9 佐久市下小田切* = 1.9 白馬村北城* = 1.9 長和町古町* = 1.9 山ノ内町消防署* = 1.9 佐久市望月* = 1.8 塩尻市広丘高出* = 1.8 木曾町日義* = 1.8 松本市奈川* = 1.7 塩尻市櫛川保育園* = 1.7 長野高森町下市田* = 1.7 朝日村小野沢* = 1.7 辰野町中央 = 1.6 佐久徳町畑* = 1.6 木曾町開田高原西野* = 1.6 木曾町三岳* = 1.6 長野南牧村海ノ口* = 1.6 箕輪町中箕輪* = 1.5 木曾町新開* = 1.5 山ノ内町平穏 = 1.5 1 小布施町小布施* = 1.4 塩尻市木曾平沢* = 1.4 泰阜村役場* = 1.4 木祖村藪原* = 1.4 王滝村役場* = 1.4 中野市三好町* = 1.3 栄村北信* = 1.3 飯田市高羽町 = 1.3 中川村大草* = 1.3 長野川上村大深山* = 1.2 飯田市内郷黒田* = 1.2 南箕輪村役場* = 1.2 大鹿村大河原* = 1.2 佐久市白田* = 1.1 富士見町落合* = 1.1 原村役場* = 1.1 佐久徳町高野町* = 1.1 伊那市高遠町荊口 = 1.1 木曾町福島* = 1.1 阿智村清内路* = 1.0 飯山市飯山福寿町* = 1.0 木島平村往郷* = 1.0 下條村陸沢* = 0.9 喬木村役場* = 0.9 上松町駅前通り* = 0.9 北相木村役場* = 0.9 飯田市大久保町* = 0.9 伊那市下新田* = 0.9 伊那市長谷溝口* = 0.9 飯島町飯島 = 0.9 王滝村鈴ヶ沢* = 0.8 南相木村見上* = 0.8 飯田市南信濃* = 0.8 伊那市高遠町西高遠* = 0.8 松川町元大島* = 0.8 売木村役場* = 0.8 泰阜村梨久保 = 0.8 豊丘村神稲* = 0.8 野沢温泉村豊郷* = 0.8 平谷村役場* = 0.7 大桑村長野* = 0.7 駒ヶ根市赤須町* = 0.6 宮田村役場* = 0.6 天龍村平岡* = 0.6 栄村小赤沢* = 0.5 南木曾町読書小学校* = 0.5 新潟県 3 糸魚川市大野* = 2.6 2 糸魚川市青海* = 2.3 糸魚川市一の宮 = 2.2 糸魚川市能生* = 1.9 上越市牧区柳島* = 1.9 上越市中ノ俣 = 1.7 妙高市関川* = 1.6 上越市中郷区藤沢* = 1.5 長岡市小島谷* = 1.5 1 十日町市松代* = 1.3 上越市名立区名立大町* = 1.3 長岡市寺泊教ヶ曾根* = 1.3 十日町市上山* = 1.3 燕市秋葉町* = 1.2 燕市分水桜町* = 1.2 新潟西蒲区役所 = 1.2 上越市木田* = 1.2 上越市三和区井ノ口* = 1.2 妙高市田町* = 1.2 長岡市小国町法坂* = 1.2 刈羽村割町新田* = 1.2 阿賀町鹿瀬中学校* = 1.1 新潟西蒲区巻甲* = 1.1 妙高市関山* = 1.1 十日町市千歳町* = 1.1 上越市安塚区安塚* = 1.1 出雲崎町米田 = 1.1 南魚沼市六日町 = 1.1 上越市板倉区針* = 1.1 上越市大手町 = 1.0 長岡市上岩井* = 1.0 長岡市山古志竹沢* = 1.0 長岡市中之島* = 1.0 上越市頸城区百間町* = 1.0 上越市吉川区原之町* = 1.0 上越市蒲川原区釜淵* = 0.9 長岡市与板町与板* = 0.9 三条市新堀* = 0.9 上越市清里区荒牧* = 0.9 十日町市松之山* = 0.9 出雲崎町川西* = 0.9 南魚沼市塩沢庁舎* = 0.9 南魚沼市塩沢小学校* = 0.8 弥彦村矢作* = 0.8 阿賀野市岡山町* = 0.8 阿賀野市姥ヶ橋* = 0.8 三条市西裏館* = 0.8 新潟中央区美咲町 = 0.8 新潟西区寺尾東* = 0.8 柏崎市中央町* = 0.8 佐渡市小木町* = 0.8 加茂市幸町* = 0.8 見附市昭和町* = 0.8 長岡市浦* = 0.8 新潟北区葛塚* = 0.7 新潟南区白根* = 0.7 妙高市栄町* = 0.7 新発田市乙次* = 0.7 柏崎市高柳町岡野町* = 0.7 柏崎市西山町池浦* = 0.6 上越市大島区岡* = 0.6 田上町原ヶ崎新田* = 0.6 津南町下船渡* = 0.6 長岡市東川口* = 0.6 上越市柿崎区柿崎* = 0.6 上越市大潟区土底浜* = 0.6 阿賀野市山崎* = 0.6 小千谷市城内 = 0.5 群馬県 2 安中市松井田町* = 2.0 沼田市下久屋町* = 1.8 嬭恋村大前* = 1.5 中之条町日影 = 1.5 1 草津町草津* = 1.4 安中市安中* = 1.4 沼田市白沢町* = 1.3 富岡市妙義町* = 1.3 富岡市七日市 = 1.2 神流町生利* = 1.2 渋川市赤城町* = 1.2 沼田市西倉内町 = 1.1 長野原町長野原* = 1.1 高崎市足門町* = 1.0 群馬高山村中山* = 1.0 高崎市箕郷町* = 1.0 群馬上野村川和* = 0.9 甘楽町小幡* = 0.9 高崎市新町* = 0.9 東吾妻町奥田* = 0.9 高崎市高松町* = 0.9 神流町神ヶ原* = 0.9 渋川市村上* = 0.8 東吾妻町原町 = 0.8 藤岡市鬼石* = 0.8 片品村東小川 = 0.8 伊勢崎市今泉町* = 0.8 高崎市吉井町吉井川* = 0.7 渋川市伊香保町* = 0.7 玉村町下新田* = 0.7 みなかみ町鹿沢* = 0.7 高崎山下室田* = 0.7 中之条町中之条町* = 0.6 東吾妻町本宿* = 0.6 みなかみ町布施* = 0.6 下仁田町下小坂* = 0.5 前橋市富士見町* = 0.5 高崎市倉渕町* = 0.5 埼玉県 2 小鹿野町役場両神庁舎* = 1.7 1 さいたま大宮区天沼町* = 1.3 秩父市中津川* = 1.2 秩父市熊木町* = 1.2 秩父市上町 = 1.2 秩父市近戸町* = 1.2 埼玉美里町木部* = 1.1 横瀬町横瀬* = 1.0 小鹿野町小鹿野* = 1.0 長瀨町野上下郷* = 0.9 熊谷市大里* = 0.8 鴻巣市吹上富士見* = 0.8 さいたま緑区中尾* = 0.8 深谷市川本* = 0.7 春日部市谷原新田* = 0.7 川島町下八ツ林* = 0.7 宮代町笠原* = 0.7 行田市本丸* = 0.7 加須市三俣* = 0.7 秩父市荒川* = 0.7 和光市広沢* = 0.6 毛呂山町中央* = 0.6 さいたま西区指扇* = 0.6 行田市南河原* = 0.6 埼玉神川町下阿久原* = 0.6 深谷市花園* = 0.5 さいたま見沼区堀崎* = 0.5 久喜市下早見 = 0.5 山梨県 2 山梨北杜市長坂町* = 2.2 1 甲斐市下今井* = 1.3 山梨北杜市明野町* = 1.3 富士河口湖町長浜* = 1.3 山梨北杜市高根町* = 1.2 山梨北杜市大泉町* = 1.2 忍野村忍草* = 1.2 山梨北杜市健康ランド須玉* = 1.1 山梨北杜市役所* = 1.1 甲府市飯田 = 1.0 甲斐市島上条* = 1.0 韮崎市水神* = 0.9 身延町大磯小磯 = 0.9 大月市大月 = 0.7 上野原市上野原 = 0.7 丹波山村丹波* = 0.7 富士河口湖町船津 = 0.6 甲州市塩山上於曾* = 0.5				

地震番号	震源時 日時分	震央地名 各地の震度 (計測震度)	緯度	経度	深さ	規模		
25	6 00 22	岐阜県	2 高山市奥飛騨温泉郷栃尾* =1.8 1 高山市上宝町本郷* =1.1 輪之内町四郷* =1.0 瑞穂市別府* =1.0 海津市平田町* =1.0 大垣市墨俣町* =0.9 高山市高根町* =0.8 中津川市かべの木町* =0.8 岐阜市柳津町* =0.8 中津川市本町* =0.7 中津川市川上* =0.7 中津川市付知町* =0.7 恵那市上矢作町* =0.7 海津市海津町* =0.7 中津川市加子母* =0.6 恵那市長島町* =0.6 下呂市萩原町* =0.5 土岐市泉町* =0.5 土岐市肥田* =0.5 可児市広見* =0.5					
		千葉県	1 市原市姉崎* =0.6					
		東京都	1 東京北区神谷* =1.1 東京足立区伊興* =1.1 小平市小川町* =0.9 東京江東区森下* =0.9 東京千代田区大手町* =0.8 東京足立区千住中居町* =0.8 東京品川区平塚* =0.7 青梅市日向和田* =0.7 東京世田谷区成城* =0.6 東京板橋区高島平* =0.6 調布市西つつじヶ丘* =0.6 東大和市中央* =0.6 東京千代田区麴町* =0.5 日野市神明* =0.5					
		神奈川県	1 横浜港北区日吉本町* =1.4 横浜戸塚区鳥が丘* =1.2 綾瀬市深谷* =1.2 清川村煤ヶ谷* =1.2 横浜中区山手町* =1.1 横浜瀬谷区三ツ境* =1.0 川崎宮前区野川* =0.9 茅ヶ崎市茅ヶ崎* =0.8 川崎中原区小杉町* =0.6 川崎麻生区万福寺* =0.6 秦野市曾屋* =0.5					
		富山県	1 氷見市加納* =1.2 滑川市寺家町* =1.0 舟橋村仏生寺* =1.0 小矢部市泉町* =1.0 南砺市城端* =1.0 南砺市蛇喰* =1.0 射水市橋下条* =1.0 富山市八尾町福島* =0.9 上市町稗田* =0.9 射水市加茂中部* =0.9 富山市新桜町* =0.7 富山市石坂* =0.6 立山町吉峰* =0.6 南砺市天池* =0.5					
		石川県	1 金沢市西念* =1.4 輪島市鳳至町* =1.2 能登町宇出津* =1.2 珠洲市正院町* =1.1 津幡町加賀爪* =1.1 金沢市弥生* =0.9 七尾市本府中町* =0.6					
		福井県	1 福井市豊島* =0.6					
		静岡県	1 袋井市浅名* =1.3 浜松天竜区佐久間町* =1.3 富士市吉永* =1.2 牧之原市静波* =1.2 静岡菊川市赤土* =1.1 浜松北区三ヶ日町* =1.1 浜松北区細江町* =1.1 藤枝市岡部町岡部* =1.0 伊豆の国市長岡* =0.9 焼津市宗高* =0.9 静岡清水区千歳町* =0.9 藤枝市岡出町* =0.8 袋井市新屋* =0.8 富士市大淵* =0.7 焼津市本町* =0.7 静岡駿河区曲金* =0.7 磐田市福田* =0.7 伊豆市中伊豆グラウンド* =0.7 伊豆の国市四日町* =0.7 湖西市吉美* =0.6 御前崎市池新田* =0.6 西伊豆町宇久須* =0.5					
		愛知県	1 名古屋南区鳴尾* =1.2 新城市作手高里繩手上* =1.1 名古屋熱田区一番* =1.1 豊田市小坂町* =1.1 名古屋北区萩野通* =1.0 名古屋西区八筋町* =1.0 名古屋瑞穂区塩入町* =1.0 日進市蟹甲町* =1.0 東郷町春木* =1.0 飛島村竹之郷* =1.0 名古屋港区金城ふ頭* =0.9 知立市弘法* =0.9 愛知みよし市三好町* =0.9 名古屋千種区日和町* =0.8 名古屋港区善進本町* =0.8 名古屋守山区下志段味* =0.8 豊田市小坂本町* =0.8 蟹江町蟹江本町* =0.8 清須市西枇杷島町花咲* =0.8 あま市甚目寺* =0.8 新城市矢部* =0.7 新城市作手高里松風呂* =0.7 豊根村富山* =0.7 豊田市長興寺* =0.7 北名古屋市西之保* =0.7 長久手市岩作城の内* =0.7 名古屋中区市役所* =0.6 半田市東洋町* =0.6 安城市横山町* =0.6 清須市須ヶ口* =0.6 名古屋名東区名東本町* =0.5 豊橋市向山* =0.5 高浜市稗田町* =0.5 田原市福江町* =0.5					
		滋賀県	1 彦根市城町* =0.8					
				茨城県北部	36° 48.7' N	140° 32.4' E	8km	M: 4.5
				福島県	3 矢祭町戸塚* =2.8 2 いわき市錦町* =2.4 矢祭町東館* =2.1 古殿町松川新桑原* =1.6 田村市都路町* =1.5 1 白河市表郷* =1.4 玉川村小高* =1.4 いわき市小名浜* =1.4 白河市東* =1.3 鏡石町不時沼* =1.3 棚倉町棚倉中居野* =1.2 浅川町浅川* =1.2 中島村滑津* =1.2 いわき市平梅本* =1.2 浪江町幾世橋* =1.1 古殿町松川横川* =1.1 白河市郭内* =1.1 石川町長久保* =1.1 檜葉町北田* =1.1 泉崎村泉崎* =1.0 小野町中通* =1.0 二本松市油井* =1.0 白河市新白河* =1.0 福島広野町下北迫大谷地原* =1.0 相馬市中村* =0.9 田村市常葉町* =0.9 福島広野町下北迫苗代替* =0.9 郡山市朝日* =0.9 いわき市三和町* =0.9 いわき市平四ツ波* =0.9 田村市大越町* =0.9 田村市滝根町* =0.8 富岡町本岡* =0.8 川内村下川内* =0.8 郡山市湖南町* =0.8 塙町塙* =0.8 鮫川村赤坂中野* =0.8 小野町小野新町* =0.8 田村市船引町* =0.8 須賀川市八幡山* =0.8 川俣町五百田* =0.7 川内村上川内早渡* =0.7 郡山市開成* =0.7 須賀川市岩瀬支所* =0.7 本宮市白岩* =0.7 二本松市針道* =0.7 本宮市本宮* =0.6 須賀川市八幡町* =0.6 天栄村下松本* =0.6 飯館村伊丹沢* =0.6 福島伊達市梁川町* =0.6 福島伊達市霊山町* =0.6 葛尾村落合落合* =0.5 大玉村南小屋* =0.5 二本松市金色* =0.5 福島市五老内町* =0.5 大熊町野上* =0.5 棚倉町棚倉館ヶ丘* =0.5			
				茨城県	3 常陸太田市大中町* =2.7 高萩市安良川* =2.5 2 日立市助川小学校* =2.3 日立市十王町友部* =2.3 北茨城市磯原町* =2.3 常陸太田市金井町* =2.0 高萩市本町* =1.9 日立市役所* =1.8 ひたちなか市南神敷台* =1.7 常陸大宮市北町* =1.7 常陸太田市高柿町* =1.6 ひたちなか市東石川* =1.6 東海村東海* =1.6 大子町池田* =1.6 常陸太田市町田町* =1.6 常陸大宮市山方* =1.6 土浦市常名* =1.6 笠間市笠間* =1.5 常陸太田市町屋町* =1.5 常陸大宮市上小瀬* =1.5 笠間市石井* =1.5 1 笠間市中央* =1.4 那珂市福田* =1.4 水戸市内原町* =1.3 城里町石塚* =1.3 小美玉市上玉里* =1.3 水戸市千波町* =1.2 那珂市瓜連* =1.2 つくば市小荊* =1.2 常総市新石下* =1.2 水戸市金町* =1.2 常陸大宮市野口* =1.1 小美玉市小川* =1.1 小美玉市堅倉* =1.1 土浦市藤沢* =1.1 筑西市門井* =1.1 かすみがうら市上土田* =1.1 常陸大宮市中富町* =1.1 常総市水海道諏訪町* =1.1 常陸大宮市高部* =1.1 つくば市天王台* =1.0 つくば市研究学園* =1.0 茨城鹿嶋市鉢形* =1.0 笠間市下郷* =1.0 城里町阿波山* =1.0 かすみがうら市大和田* =1.0 桜川市羽田* =1.0 石岡市柿岡* =1.0 取手市寺田* =1.0 石岡市若宮* =0.9 牛久市城中町* =0.9 茨城町小堤* =0.9 土浦市田中* =0.8 大洗町磯浜町* =0.8 銚田市汲上* =0.8 坂東市山* =0.8 稲敷市江戸崎甲* =0.8 筑西市舟生* =0.8 桜川市岩瀬* =0.7 桜川市真壁* =0.7 阿見町中央* =0.7 坂東市役所* =0.7 石岡市八郷* =0.6 牛久市中央* =0.6 銚田市銚田* =0.6 茨城鹿嶋市宮中* =0.6 美浦村受領* =0.6 五霞町小福田* =0.6 城里町徳蔵* =0.5 銚田市造谷* =0.5			
				宮城県	1 岩沼市桜* =1.2 石巻市大街道南* =0.8 大河原町新南* =0.7 角田市角田* =0.7 山元町浅生原* =0.6 亙理町下小路* =0.6 松島町高城* =0.6			
				栃木県	1 大田原市湯津上* =1.3 那須町寺子* =1.1 宇都宮市明保野町* =1.1 芳賀町祖母井* =1.1			

地震 番号	震源時 日 時 分	震央地名 各地の震度 (計測震度)	緯度	経度	深さ	規模
		日光市中鉢石町*=1.0 那須烏山市中央=1.0 宇都宮市中里町*=0.9 市貝町市塙*=0.9 栃木那珂川町馬頭*=0.9 栃木那珂川町小川*=0.9 茂木町茂木*=0.8 栃木市旭町=0.7 日光市今市本町*=0.7 大田原市黒羽田町=0.6 鹿沼市今宮町*=0.6 真岡市田町*=0.5				
		群馬県 1 沼田市利根町*=0.6 渋川市赤城町*=0.5 埼玉県 1 宮代町笠原*=1.0 春日部市谷原新田*=0.8 春日部市金崎*=0.6 さいたま岩槻区本丸*=0.5 千葉県 1 野田市鶴泰*=0.8 野田市東宝珠花*=0.7 柏市旭町=0.6 香取市仁良*=0.5				
26	6 02 43	沖縄本島近海 鹿児島県 1 知名町瀬利覚=1.0 与論町茶花*=0.7	27° 17.7' N	128° 32.7' E	39km	M: 3.4
27	6 10 47	熊本県熊本地方 熊本県 2 熊本中央区大江*=2.2 益城町木山=1.7 熊本東区佐土原*=1.7 熊本西区春日=1.6 1 宇城市豊野町*=1.4 菊陽町久保田*=1.3 嘉島町上島*=1.3 菊池市旭志*=1.3 合志市御代志*=1.3 大津町引水*=1.2 合志市竹迫*=1.1 宇城市松橋町=1.1 玉名市天水町*=1.0 熊本南区城南町*=1.0 熊本北区植木町*=1.0 玉名市横島町*=0.9 熊本南区富合町*=0.9 和水町江田*=0.9 宇城市不知火町*=0.8 御船町御船*=0.8 玉東町木葉*=0.7 宇土市新小路町=0.6 山鹿市鹿央町*=0.6 山鹿市老人福祉センター*=0.6 熊本美里町馬場*=0.5	32° 46.7' N	130° 44.9' E	10km	M: 3.2
28	6 16 40	岩手県沖 岩手県 1 一関市室根町*=0.9 盛岡市藪川*=0.7 一関市千厩町*=0.6 住田町世田米*=0.6 八幡平市田頭*=0.5 山田町大沢*=0.5 宮城県 1 南三陸町志津川=0.6	39° 14.6' N	142° 29.1' E	28km	M: 4.2
29	7 05 47	宮城県沖 岩手県 2 一関市千厩町*=1.7 一関市藤沢町*=1.5 住田町世田米*=1.5 1 一関市東山町*=1.4 一関市室根町*=1.3 大船渡市大船渡町=1.1 一関市大東町=0.9 一関市花泉町*=0.9 奥州市衣川区*=0.8 奥州市前沢区*=0.7 一関市川崎町*=0.6 奥州市胆沢区*=0.5 大船渡市猪川町=0.5 宮城県 2 女川町女川浜*=1.6 涌谷町新町裏=1.5 1 栗原市若柳*=1.4 石巻市桃生町*=1.4 名取市増田*=1.3 塩竈市旭町*=1.3 東松島市矢本*=1.3 石巻市大街道南*=1.2 登米市東和町*=1.2 登米市石越町*=1.1 登米市津山町*=1.1 南三陸町志津川=1.1 大崎市鹿島台*=1.1 栗原市金成*=1.1 仙台宮城野区苦竹*=1.1 石巻市北上町*=1.1 登米市中田町=1.1 栗原市高清水*=1.1 登米市豊里町*=1.1 東松島市小野*=1.1 南三陸町歌津*=1.0 岩沼市桜*=1.0 栗原市瀬峰*=1.0 大衡村大衡*=1.0 気仙沼市笹が陣*=0.9 栗原市栗駒=0.9 石巻市泉町=0.9 栗原市志波姫*=0.9 宮城美里町北浦*=0.9 大崎市古川大崎=0.9 大崎市松山*=0.9 登米市南方町*=0.9 大崎市古川三日町=0.7 登米市米山町*=0.7 気仙沼市唐桑町*=0.7 登米市迫町*=0.7 松島町高城=0.7 大郷町粕川*=0.7 大崎市古川北町*=0.6 石巻市鮎川浜*=0.6 宮城川崎町前川*=0.6 石巻市前谷地*=0.6 栗原市築館*=0.6 気仙沼市赤岩=0.5 蔵王町円田*=0.5	38° 20.0' N	141° 53.5' E	63km	M: 3.9
30	7 11 21	青森県東方沖 青森県 1 階上町道仏*=1.4 八戸市内丸*=0.9 八戸市湊町=0.9 青森南部町苦米地*=0.7	40° 31.3' N	141° 37.4' E	112km	M: 3.4
31	7 12 43	岩手県沖 青森県 1 階上町道仏*=1.0 岩手県 1 野田村野田*=1.2	40° 10.4' N	142° 02.3' E	15km	M: 3.4
32	7 15 38	北海道東方沖 北海道 1 根室市落石東*=1.0 根室市瑠瑠瑁*=0.6	43° 35.7' N	147° 40.7' E	9km	M: 4.3
33	7 17 50	熊本県熊本地方 熊本県 2 宇城市小川町*=1.7 宇城市豊野町*=1.7 1 甲佐町豊内*=1.4 熊本美里町馬場*=1.1 熊本美里町永富*=1.0 氷川町島地*=1.0 氷川町宮原*=1.0 八代市東陽町*=0.9 宇城市松橋町=0.8 山都町下馬尾*=0.8 熊本西区春日=0.8 八代市泉支所*=0.7 御船町御船*=0.6 宇城市不知火町*=0.6 宇土市新小路町=0.5	32° 35.4' N	130° 44.4' E	8km	M: 2.9
34	7 18 36	岐阜県飛騨地方 岐阜県 1 飛騨市河合町角川*=1.3 飛騨市神岡町東町*=0.7 飛騨市古川町*=0.5 高山市上宝町本郷*=0.5 飛騨市宮川町*=0.5 飛騨市神岡町殿=0.5	36° 22.2' N	137° 13.4' E	7km	M: 2.7
35	7 22 04	熊本県熊本地方 熊本県 2 甲佐町豊内*=2.0 宇城市豊野町*=1.9 宇城市小川町*=1.7 熊本美里町永富*=1.6 山都町下馬尾*=1.6 熊本美里町馬場*=1.5 1 八代市東陽町*=1.2 八代市泉支所*=1.2 宇城市松橋町=1.2 御船町御船*=1.1 八代市泉町=1.0 宇城市不知火町*=1.0 氷川町島地*=1.0 宇土市新小路町=0.9 氷川町宮原*=0.9 八代市坂本町*=0.6 熊本西区春日=0.5	32° 35.4' N	130° 44.2' E	8km	M: 3.1
36	8 04 24	根室半島南東沖 北海道 1 根室市落石東*=1.1 浜中町霧多布*=1.0	43° 06.2' N	145° 34.7' E	49km	M: 3.4
37	8 07 59	福島県沖 福島県 1 白河市新白河*=0.8	37° 11.8' N	141° 26.6' E	28km	M: 3.8

地震 番号	震源時 日時分	震央地名 各地の震度 (計測震度)	緯度	経度	深さ	規模
38	8 12 44	与那国島近海 沖縄県 1 与那国町役場*1.2 与那国町久部良=0.8 与那国町祖納=0.6	24° 19.0' N	122° 24.6' E	69km	M: 4.6
39	9 04 21	日向灘 宮崎県 1 西都市上の宮*1.3 宮崎都農町役場*0.9 宮崎美郷町田代*0.8 西都市聖陵町*0.6 小林市真方=0.6 門川町本町*0.5 椎葉村総合運動公園*0.5	32° 09.0' N	131° 40.8' E	44km	M: 3.5
40	10 00 23	熊本県阿蘇地方 熊本県 1 南阿蘇村中松=1.0	32° 59.1' N	131° 05.9' E	11km	M: 2.6
41	10 04 57	岐阜県飛騨地方 岐阜県 1 高山市奥飛騨温泉郷栢尾*1.1	36° 14.7' N	137° 31.4' E	3km	M: 1.4
42	10 07 54	日向灘 宮崎県 1 宮崎市田野町体育館*0.9	31° 45.0' N	131° 30.6' E	44km	M: 2.9
43	10 11 45	茨城県北部 茨城県 2 常陸太田市大中町*1.6 1 日立市助川小学校*0.8 北茨城市磯原町*0.6 ひたちなか市南神敷台*0.6 土浦市常名=0.6	36° 48.1' N	140° 35.2' E	6km	M: 3.5
44	10 12 08	千葉県東方沖 千葉県 1 大網白里市大網*1.0	35° 30.0' N	140° 27.0' E	34km	M: 2.5
45	10 19 42	有明海 熊本県 1 玉名市天水町*1.4	32° 49.5' N	130° 34.7' E	3km	M: 2.4
46	10 21 51	西表島付近 沖縄県 1 竹富町船浮=0.7	23° 57.9' N	123° 35.3' E	33km	M: 4.0
47	10 22 23	岩手県沖 青森県 岩手県 1 階上町道仏*0.6 1 宮古市田老*0.8	39° 58.3' N	142° 24.7' E	38km	M: 3.8
48	11 01 41	宮城県沖 岩手県 宮城県 1 一関市千厩町*0.9 一関市室根町*0.7 大船渡市猪川町=0.6 1 気仙沼市笹が陣*0.6	38° 51.8' N	142° 02.1' E	46km	M: 3.2
49	11 05 39	紀伊水道 和歌山県 3 湯浅町青木*3.0 2 和歌山広川町広*2.3 由良町里*1.8 有田市箕島=1.7 海南市下津*1.6 和歌山日高町高家*1.6 有田市初島町*1.6 有田川町下津野*1.5 1 日高川町土生*1.4 御坊市薮=1.3 紀美野町下佐々*1.1 有田川町中井原*0.8 和歌山市一番丁*0.6 田辺市中辺路町近露=0.6	34° 02.6' N	135° 05.5' E	9km	M: 3.8
50	11 23 56	網走地方 北海道 1 斜里町ウトロ香川*1.1	43° 57.6' N	144° 59.6' E	5km	M: 2.7
51	12 01 52	福島県沖 福島県 2 田村市大越町*1.9 1 川内村上川内早渡*1.4 浪江町幾世橋=1.4 玉川村小高*1.2 双葉町両竹*1.2 福島広野町下北迫大谷地原*1.2 いわき市三和町=1.1 田村市常葉町*0.9 檜葉町北田*0.9 川内村上川内小山平*0.9 田村市都路町*0.7 郡山市湖南町*0.7 田村市船引町=0.6 白河市新白河*0.6 富岡町本岡*0.6 須賀川市八幡山*0.5 天栄村下松本*0.5 白河市郭内=0.5 浅川町浅川*0.5 茨城県 1 日立市助川小学校*0.7 北茨城市磯原町*0.7 笠間市石井*0.6 常陸大宮市山方*0.6 常陸大宮市上小瀬*0.6 日立市十王町友部*0.5	37° 00.6' N	141° 19.2' E	49km	M: 4.1
52	12 02 33	秋田県沖 秋田県 1 男鹿市船川*0.8 男鹿市男鹿中=0.7 男鹿市角間崎*0.7 秋田市八橋運動公園*0.7 井川町北川尻*0.5	40° 00.8' N	139° 31.2' E	10km	M: 3.7
53	12 11 13	四国沖 和歌山県 高知県 1 上富田町朝来*0.6 1 東洋町生見*0.6	33° 21.9' N	134° 53.8' E	39km	M: 3.6
54	12 12 47	岩手県沿岸北部 青森県 2 階上町道仏*1.8 1 青森南部町苦米地*1.0 八戸市南郷*0.9 八戸市内丸*0.9 八戸市湊町=0.6 岩手県 2 普代村銅屋*2.0 遠野市青笹町*1.8 宮古市田老*1.6 野田村野田*1.5 田野畑村田野畑=1.5 1 宮古市川井*1.4 久慈市川崎町=1.4 盛岡市藪川*1.4 宮古市茂市*1.3 久慈市枝成沢=1.2 田野畑村役場*1.1 遠野市宮守町*1.1 一関市室根町*1.1 山田町大沢*1.0 盛岡市洪民*1.0 釜石市中妻町*1.0 岩泉町岩泉*0.9 岩手洋野町種市=0.9 一関市千厩町*0.9 釜石市只越町=0.9 葛巻町消防分署*0.8 八幡平市田頭*0.8 矢巾町南矢幅*0.8 花巻市大迫総合支所*0.8	39° 45.4' N	141° 50.1' E	58km	M: 4.0

地震 番号	震源時 日時分	震源地名 各地の震度 (計測震度)	緯度	経度	深さ	規模
		住田町世田米*0.8 久慈市長内町*0.8 岩手洋野町大野*0.8 軽米町軽米*0.7 大船渡市大船渡町*0.7 山田町八幡町*0.7 葛巻町葛巻元木*0.7 宮古市五月町*0.7 宮古市区界*0.7 大船渡市猪川町*0.6 盛岡市山王町*0.6 葛巻町役場*0.6 岩泉町大川*0.6 宮古市鉾ヶ崎*0.5 北上市柳原町*0.5 九戸村伊保内*0.5 一関市大東町*0.5 宮古市長沢*0.5 花巻市大迫町*0.5 花巻市石鳥谷町*0.5 宮城県 1 気仙沼市唐桑町*0.6				
55	13 01 28	熊本県熊本地方 熊本県 1 玉名市中尾*1.1 玉名市岱明町*1.0 玉名市横島町*0.9	32° 54.3' N	130° 34.9' E	10km	M: 2.7
56	13 04 24	奈良県 奈良県 2 吉野町上市*1.6 1 高取町観覚寺*1.4 宇陀市大宇陀迫間*1.2 桜井市初瀬*1.1 宇陀市菟田野松井*0.8 東吉野村小川*0.8	34° 25.5' N	135° 52.6' E	10km	M: 2.9
57	13 07 34	宮城県沖 宮城県 2 石巻市桃生町*1.8 女川町女川浜*1.6 1 涌谷町新町裏*1.4 石巻市鮎川浜*1.1 大崎市鹿島台*0.9 宮城美里町北浦*0.9 登米市東和町*0.8 宮城川崎町前川*0.8 石巻市大街道南*0.8 東松島市矢本*0.8 東松島市小野*0.8 栗原市栗駒*0.7 気仙沼市笹が陣*0.7 仙台泉区将監*0.7 石巻市相野谷*0.6 登米市中田町*0.6 石巻市北上町*0.6 松島町高城*0.6 石巻市泉町*0.5 石巻市前谷地*0.5 岩沼市桜*0.5 栗原市金成*0.5 七ヶ浜町東宮浜*0.5 岩手県 1 一関市室根町*0.8 一関市藤沢町*0.8 一関市千厩町*0.8 一関市花泉町*0.7 一関市東山町*0.5	38° 11.7' N	141° 47.1' E	54km	M: 4.0
58	13 08 11	岩手県内陸南部 岩手県 1 奥州市衣川区*0.5 宮城県 1 栗原市栗駒*0.8	39° 03.9' N	140° 51.2' E	7km	M: 3.0
59	13 12 38	トカラ列島近海 鹿児島県 1 鹿児島十島村諏訪之瀬島*0.9 鹿児島十島村悪石島*0.9	29° 35.3' N	129° 42.8' E	14km	M: 3.0
60	14 01 42	熊本県熊本地方 熊本県 1 熊本西区春日*0.6	32° 42.0' N	130° 35.1' E	13km	M: 2.4
61	14 06 58	奄美大島近海 鹿児島県 2 瀬戸内町西古見*1.6 1 瀬戸内町加計呂麻島*0.8	28° 29.3' N	129° 03.0' E	62km	M: 3.8
62	14 07 19	熊本県熊本地方 熊本県 1 八代市坂本町*0.5	32° 23.0' N	130° 37.4' E	6km	M: 2.0
63	14 20 20	茨城県南部 茨城県 1 土浦市常名*0.6 つくば市小茎*0.5 かすみがうら市上土田*0.5 小美玉市小川*0.5 水戸市内原町*0.5 栃木県 1 宇都宮市明保野町*0.7 群馬県 1 桐生市元宿町*0.5 埼玉県 1 加須市大利根*0.6	36° 02.2' N	139° 51.6' E	60km	M: 3.4
64	14 21 12	宮城県沖 岩手県 1 大船渡市猪川町*1.4 一関市室根町*1.4 一関市千厩町*1.1 陸前高田市高田町*1.0 一関市藤沢町*0.8 釜石市中妻町*0.7 大船渡市大船渡町*0.7 花巻市大迫町*0.6 釜石市只越町*0.6 大船渡市盛町*0.5 遠野市宮守町*0.5 一関市大東町*0.5 宮城県 1 気仙沼市赤岩*1.1 気仙沼市唐桑町*1.1 気仙沼市笹が陣*0.9 登米市東和町*0.9 南三陸町志津川*0.9 気仙沼市本吉町津谷*0.8	38° 55.0' N	141° 55.9' E	51km	M: 3.8
65	15 11 42	千葉県南部 茨城県 2 取手市井野*1.7 坂東市岩井*1.5 1 笠間市下郷*1.2 稲敷市伊佐津*1.1 筑西市舟生*1.0 取手市寺田*0.9 利根町布川*0.7 石岡市柿岡*0.7 埼玉県 2 さいたま大宮区天沼町*1.7 草加市高砂*1.7 杉戸町清地*1.7 川口市中青木分室*1.6 宮代町笠原*1.6 さいたま緑区中尾*1.5 1 川口市青木*1.4 春日部市谷原新田*1.4 さいたま岩槻区本丸*1.4 八潮市中央*1.3 さいたま南区別所*1.3 狭山市入間川*1.3 さいたま見沼区堀崎*1.1 和光市広沢*1.1 富士見市鶴馬*1.1 さいたま北区宮原*1.1 三郷市中央*1.0 戸田市上戸田*1.0 さいたま中央区下落合*1.0 さいたま浦和区高砂*0.9 久喜市下早見*0.9 幸手市東*0.8 久喜市青葉*0.8 白岡市千駄野*0.8 さいたま大宮区大門*0.8 加須市大利根*0.8 春日部市金崎*0.8 朝霞市本町*0.8 川口市三ツ和*0.7 志木市中宗岡*0.7 熊谷市大里*0.7 蕨市中央*0.7 新座市野火止*0.6 さいたま桜区道場*0.6 埼玉三芳町藤久保*0.6 越谷市越ヶ谷*0.6 埼玉美里町木部*0.6 ふじみ野市福岡*0.6 川島町下八ツ林*0.5 加須市騎西*0.5 上尾市本町*0.5 久喜市菖蒲*0.5 久喜市鷺宮*0.5 千葉県 2 木更津市富士見*2.4 南房総市岩糸*2.2 長南町長南*2.1 鴨川市横渚*2.1 君津市久留里市場*2.0 館山市長須賀*2.0 市原市姉崎*1.9 南房総市白浜町白浜*1.9	35° 11.0' N	139° 50.9' E	96km	M: 4.4

地震番号	震源時 日時分	震央地名 各地の震度 (計測震度)	緯度	経度	深さ	規模
		<p>館山市北条*=1.8 一宮町一宮=1.8 大多喜町大多喜*=1.7 南房総市千倉町瀬戸*=1.7 勝浦市墨名=1.7 いすみ市岬町長者*=1.6 南房総市富浦町青木*=1.6 大網白里市大網*=1.6 千葉中央区都町*=1.6 南房総市谷向*=1.6 鴨川市八色=1.6 睦沢町下之郷*=1.6 八街市八街*=1.5 千葉中央区中央港=1.5 いすみ市国府台*=1.5</p> <p>1 東金市日吉台*=1.4 長生村本郷*=1.4 千葉花見川区花島町*=1.4 千葉美浜区ひび野=1.4 柏市柏*=1.4 市原市国分寺台中央*=1.4 印西市大森*=1.4 勝浦市新官*=1.4 富津市下飯野*=1.4 茂原市道表*=1.3 東金市東岩崎*=1.3 木更津市太田=1.3 白子町関*=1.3 千葉中央区千葉市役所*=1.3 鋸南町下佐久間*=1.3 いすみ市大原*=1.3 長柄町桜谷*=1.2 山武市殿台*=1.2 袖ヶ浦市坂戸市場*=1.2 流山市平和台*=1.2 東金市東新宿=1.2 白井市復*=1.2 千葉緑区おゆみ野*=1.2 南房総市和田町*=1.1 山武市埴谷*=1.1 八千代市大和田新田*=1.1 浦安市日の出=1.1 浦安市猫実*=1.1 九十九里町片貝*=1.1 千葉若葉区小倉台*=1.1 鴨川市天津*=1.1 船橋市湊町*=1.1 野田市鶴奉*=1.1 鴨川市内浦=1.0 千葉稲毛区園生町*=1.0 長柄町大津倉=1.0 多古町多古=1.0 千葉美浜区稲毛海岸*=1.0 千葉佐倉市海隣寺町*=1.0 習志野市鷺沼*=1.0 鎌ヶ谷市新鎌ヶ谷*=0.9 南房総市上堀=0.9 君津市久保*=0.9 御宿町須賀*=0.9 山武市松尾町富士見台=0.8 山武市蓮沼二*=0.8</p> <p>2 東京千代田区大手町=1.8 東京北区神谷*=1.8 東京練馬区豊玉北*=1.7 東京足立区神明南*=1.6 国分寺市本多*=1.6 東京荒川区東尾久*=1.5 東京練馬区東大泉*=1.5 伊豆大島町波浮港*=1.5</p> <p>1 東京港区海岸=1.4 東京北区西ヶ原*=1.4 東京練馬区光が丘*=1.4 東京江戸川区中央=1.4 東京足立区伊興*=1.3 東京品川区平塚*=1.3 東京大田区本羽田*=1.3 東京板橋区高島平*=1.2 東京葛飾区立石*=1.2 東京世田谷区三軒茶屋*=1.2 東京目黒区中央町*=1.1 東京大田区多摩川*=1.1 東京世田谷区世田谷*=1.1 東京世田谷区成城*=1.1 東京渋谷区本町*=1.1 東京江戸川区船堀*=1.1 西東京市中町*=1.1 三鷹市野崎*=1.0 調布市西つつじヶ丘*=1.0 町田市忠生*=1.0 日野市神明*=1.0 東京中野区中野*=1.0 東京足立区中央本町*=1.0 東京品川区北品川*=1.0 東京足立区千住中居町*=0.9 東京国際空港=0.9 東京葛飾区金町*=0.9 東京千代田区富士見*=0.9 東京府中市朝日町*=0.9 東京世田谷区中町*=0.9 東京中央区勝どき*=0.9 小金井市本町*=0.9 東京港区白金*=0.9 東京杉並区桃井*=0.9 東京新宿区上落合*=0.9 東京新宿区百人町*=0.8 八王子市堀之内*=0.8 東京江東区森下*=0.8 東京杉並区高井戸*=0.8 東京板橋区板橋*=0.8 国分寺市戸倉=0.8 伊豆大島町差木地=0.8 東京港区芝公園*=0.8 東京大田区大森東*=0.7 東京文京区大塚*=0.7 狛江市和泉本町*=0.7 東京江東区青海=0.7 東京江東区越中島*=0.7 東京千代田区麴町*=0.7 東京江東区亀戸*=0.7 東京中央区日本橋兜町*=0.7 東京府中市寿町*=0.7 東京大田区蒲田*=0.6 東京中野区江古田*=0.6 東京杉並区阿佐谷=0.6 東京江戸川区鹿骨*=0.6 東京豊島区南池袋*=0.6 東京新宿区西新宿=0.6 昭島市田中町*=0.6 東京品川区広町*=0.5 東京江東区東陽*=0.5 東大和市中央*=0.5 東京江東区枝川*=0.5 御蔵島村西川=0.5</p> <p>2 秦野市首屋=2.3 湯河原町中央=2.1 箱根町湯本*=2.0 秦野市平沢*=1.9 藤沢市打戻*=1.7 藤沢市長後*=1.7 厚木市中町*=1.7 愛川町角田*=1.7 川崎中原区小杉町*=1.6 二宮町中里*=1.6 清川村煤ヶ谷*=1.6 横浜港北区日吉本町*=1.6 中井町比奈窪*=1.5 横浜泉区和泉町*=1.5 相模原緑区中野*=1.5</p> <p>1 横浜中区山手町=1.4 横浜保土ヶ谷区上菅田町*=1.4 横浜戸塚区鳥が丘*=1.4 川崎川崎区宮前町*=1.4 川崎川崎区千鳥町*=1.4 川崎中原区小杉陣屋町=1.4 海老名市大谷*=1.4 相模原中央区上溝*=1.4 横浜神奈川区神大寺*=1.3 三浦市城山町*=1.3 座間市緑ヶ丘*=1.3 小田原市荻窪*=1.3 松田町松田惣領*=1.3 山北町山北*=1.3 横須賀市光の丘=1.2 藤沢市朝日町*=1.2 大磯町月京*=1.2 南足柄市関本*=1.2 神奈川大井町金子*=1.2 真鶴町岩*=1.2 相模原中央区水郷田名*=1.2 横浜港南区丸山台東部*=1.1 横浜緑区十日市場町*=1.1 藤沢市辻堂東海岸*=1.1 横浜金沢区白帆*=1.1 茅ヶ崎市茅ヶ崎=1.0 綾瀬市深谷*=1.0 横浜金沢区釜利谷南*=1.0 相模原緑区橋本*=1.0 横浜緑区鴨居*=1.0 川崎宮前区宮前平*=1.0 川崎宮前区野川*=1.0 藤沢市大庭*=1.0 小田原市久野=0.9 横浜旭区今宿東町*=0.9 横浜旭区川井宿町*=0.9 横浜栄区小菅ヶ谷*=0.9 横須賀市坂本町*=0.9 横浜鶴見区末広町*=0.9 横浜磯子区洋光台*=0.9 大和市下鶴間*=0.8 川崎川崎区中島*=0.8 開成町延沢*=0.8 平塚市浅間町*=0.8 鎌倉市御成町*=0.7 相模原緑区久保沢*=0.5</p> <p>2 大月市御太刀*=1.9 富士河口湖町船津=1.6 山中湖村山中*=1.5</p> <p>1 甲州市勝沼町勝沼*=1.4 富士河口湖町長浜*=1.3 都留市上谷*=1.2 上野原市役所*=1.2 山梨市小原西*=1.1 大月市大月=1.1 道志村役場*=1.1 山梨北杜市長坂町*=1.0 富士吉田市下吉田*=1.0 上野原市上野原=0.9 上野原市秋山*=0.9 西桂町小沼*=0.9 山梨市牧丘町窪平*=0.8 甲州市塩山上於曾*=0.8 甲州市大和町初鹿野*=0.8 富士河口湖町勝山*=0.8 丹波山村丹波*=0.8 甲府市古閑町*=0.8 身延町大磯小磯=0.7 笛吹市八代町南*=0.7 甲州市役所*=0.7 富士吉田市上吉田*=0.7 笛吹市春日居町寺本*=0.6 甲州市塩山下於曾=0.5</p> <p>2 東伊豆町奈良本*=2.0 伊豆市中伊豆グラウンド=1.8 熱海市泉*=1.7</p> <p>1 函南町平井*=1.2 伊豆の国市長岡*=1.2 熱海市網代=1.1 伊東市大原=1.1 富士市大淵*=1.0 長泉町中土狩*=1.0 熱海市中央町*=0.9 富士宮市弓沢町=0.9 三島市東本町=0.7</p> <p>1 益子町益子=0.5</p> <p>1 安中市安中*=0.6</p> <p>1 佐久市中込*=0.9 長野南牧村海ノ口*=0.9 茅野市葛井公園*=0.8 佐久穂町畑*=0.8 佐久市下小田切=0.6 長野川上村大深山*=0.5</p>				
66	15 12 41	<p>熊本県熊本地方 熊本県</p> <p>1 八代市坂本町*=0.9 八代市松江城町*=0.5</p>	32° 29.0' N	130° 37.6' E	9km	M: 2.7
67	15 16 04	<p>福島県会津 福島県 茨城県</p> <p>1 檜葉町北田*=0.6 浪江町幾世橋=0.6 福島広野町下北迫大谷地原*=0.5 1 笠間市石井*=0.6</p>	37° 16.9' N	139° 17.4' E	145km	M: 4.1
68	15 17 09	<p>種子島近海 鹿児島県</p> <p>2 南種子町西之*=2.3 屋久島町宮之浦*=1.8 南種子町中之上*=1.7</p>	30° 10.6' N	130° 52.9' E	14km	M: 4.4

地震番号	震源時 日時分	震央地名 各地の震度 (計測震度)	緯度	経度	深さ	規模
69	15 18 56	留萌地方南部 北海道	44° 02.2' N	141° 47.1' E	7km	M: 2.3
70	16 02 58	岩手県沖 岩手県	39° 41.1' N	142° 05.6' E	52km	M: 5.5
		1 中種子町野間*=1.4 南種子町中之下=1.3 鹿屋市新栄町=1.0 錦江町田代支所*=1.0 屋久島町尾之間*=1.0 屋久島町平内=0.7 屋久島町口永良部島池田=0.6				
		1 小平町達布*=0.9				
		4 野田村野田*=3.6 八幡平市田頭*=3.5 遠野市青笹町*=3.5				
		3 宮古市鎌ヶ崎=3.3 釜石市中妻町*=3.3 一戸町高善寺*=3.3 矢巾町南矢幅*=3.3 宮古市田老*=3.2 山田町大沢*=3.1 滝沢市鶴飼*=3.1 釜石市只越町=3.1 盛岡市薮川*=3.0 盛岡市洪民*=3.0 八幡平市叭田*=3.0 普代村銅屋*=3.0 住田町世田米*=3.0 花巻市大迫総合支所*=3.0 奥州市江刺区*=3.0 盛岡市山王町=3.0 八幡平市野駄*=2.9 大船渡市大船渡町=2.9 久慈市川崎町=2.9 遠野市宮守町*=2.9 久慈市枝成沢=2.9 宮古市区界*=2.8 葛巻町葛巻元木=2.8 奥州市胆沢区*=2.8 宮古市五月町*=2.8 花巻市東和町*=2.8 北上市相去町*=2.8 盛岡市馬場町*=2.7 紫波町紫波中央駅前*=2.7 田野畑村役場*=2.7 一関市室根町*=2.7 花巻市大迫町=2.7 奥州市衣川区*=2.6 陸前高田市高田町*=2.6 軽米町軽米*=2.6 一関市千厩町*=2.6 山田町八幡町=2.6 花巻市材木町*=2.6 二戸市浄法寺町*=2.6 奥州市前沢区*=2.5 八幡平市大更=2.5 岩手洋野町大野*=2.5 北上市柳原町=2.5 田野畑村田野畑=2.5 雫石町千刈田=2.5 一関市大東町=2.5 大船渡市猪川町=2.5 一関市東山町*=2.5 岩手町五日市*=2.5 平泉町平泉*=2.5				
		2 久慈市長内町*=2.4 九戸村伊保内*=2.4 花巻市石鳥谷町*=2.4 金ヶ崎町西根*=2.4 奥州市水沢区大鐘町=2.4 奥州市水沢区佐倉河*=2.4 岩泉町岩泉*=2.3 岩手洋野町種市=2.3 大船渡市盛町*=2.3 二戸市福岡=2.3 宮古市茂市*=2.3 宮古市川井*=2.2 一関市花泉町*=2.2 一関市藤沢町*=2.2 大槌町小鏡*=2.2 葛巻町消防分署*=2.1 葛巻町役場*=2.0 雫石町西根上駒木野=2.0 二戸市石切所*=1.9 久慈市山形町*=1.9 西和賀町沢内川舟*=1.8 一関市竹山町*=1.7 宮古市長沢=1.6 一関市川崎町*=1.6				
		1 岩泉町大川*=1.4 西和賀町川尻*=1.4 西和賀町沢内太田*=1.4				
		3 青森南部町平*=3.3 階上町道仏*=3.3 青森南部町苦米地*=3.2 五戸町古館=3.0 八戸市南郷*=2.9 八戸市内丸*=2.9 八戸市湊町=2.8 おいらせ町中下田*=2.7 六戸町犬落瀬*=2.5 三戸町在府小路町*=2.5				
		2 東北町上北南*=2.4 おいらせ町上明堂*=2.4 七戸町森ノ上*=2.3 東通村砂子又沢内*=2.2 五戸町倉石中市*=2.2 野辺地町田狭沢*=2.2 青森南部町沖田面*=2.1 田子町田子*=2.1 十和田市奥瀬*=2.0 三沢市桜町*=2.0 八戸市島守=2.0 野辺地町野辺地*=2.0 平内町小湊=1.9 七戸町七戸*=1.9 十和田市西二番町*=1.8 十和田市西十二番町*=1.8 むつ市大畑町中島*=1.7 横浜町林ノ脇*=1.7 外ヶ浜町蟹田*=1.6 むつ市金曲=1.6 横浜町寺下*=1.5 新郷村戸来*=1.5 東通村砂子又蒲谷地=1.5 東北町塔ノ沢山*=1.5				
		1 東通村白糠*=1.3 青森市花園=1.2 六ヶ所村尾駈=1.2 むつ市川内町*=1.2 青森市浪岡*=1.1 藤崎町西豊田*=1.1 藤崎町水木*=1.1 大間町大間*=1.1 青森市中央*=1.1 平川市猿賀*=1.0 佐井村長後*=1.0 平川市柏木町*=1.0 蓬田村蓬田*=1.0 六ヶ所村出戸=1.0 むつ市脇野沢*=0.9 つがる市木造*=0.9 つがる市稲垣町*=0.9 黒石市市ノ町*=0.9 平内町東田沢*=0.8 板柳町板柳*=0.8 田舎館村田舎館*=0.8 つがる市柏*=0.8 平川市碓ヶ関*=0.7 鶴田町鶴田*=0.6				
		3 気仙沼市赤岩=3.3 気仙沼市唐桑町*=2.9 涌谷町新町裏=2.9 石巻市桃生町*=2.9 宮城美里町木間塚*=2.8 気仙沼市笹が陣*=2.7 栗原市若柳*=2.6 登米市米山町*=2.6 登米市迫町*=2.6 石巻市前谷地*=2.6 登米市中田町=2.5 登米市登米町*=2.5 登米市南方町*=2.5 南三陸町志津川=2.5				
		2 栗原市志波姫*=2.4 東松島市矢本*=2.4 登米市豊里町*=2.3 大崎市古川三日町=2.3 石巻市大街道南*=2.3 石巻市相野谷*=2.3 栗原市築館*=2.2 大崎市松山*=2.2 大崎市鹿島台*=2.2 松島町高城=2.2 栗原市一迫*=2.1 登米市東和町*=2.1 栗原市栗駒=2.1 大崎市古川北町*=2.1 岩沼市桜*=2.0 石巻市北上町*=2.0 名取市増田*=2.0 宮城美里町北浦*=1.9 塩竈市旭町*=1.9 栗原市高清水*=1.9 栗原市金成*=1.9 色麻町四籠*=1.9 亶理町下小路*=1.9 登米市石越町*=1.8 利府町利府*=1.8 丸森町鳥屋*=1.8 宮城加美町中新田*=1.8 栗原市瀬峰*=1.8 仙台宮城野区苦竹*=1.7 石巻市泉町=1.7 角田市角田*=1.7 大崎市古川大崎=1.7 女川町女川浜*=1.7 大衡村大衡*=1.6 蔵王町円田*=1.6 登米市津山町*=1.6 東松島市小野*=1.6 南三陸町歌津*=1.6 石巻市大瓜=1.5 栗原市花山*=1.5 大河原町新南*=1.5 仙台青葉区作並*=1.5 仙台空港=1.5 大郷町粕川*=1.5 栗原市鶯沢*=1.5				
		1 宮城加美町小野田*=1.4 宮城川崎町前川*=1.4 山元町浅生原*=1.4 大崎市岩出山*=1.3 気仙沼市本吉町西川内=1.3 仙台若林区遠見塚*=1.3 仙台区特監*=1.3 七ヶ浜町東宮浜*=1.3 気仙沼市本吉町津谷*=1.3 仙台青葉区雨宮*=1.1 仙台宮城野区五輪=1.1 石巻市雄勝町*=1.1 宮城加美町富崎*=1.1 大崎市三本木*=1.1 仙台太白区山田*=1.0 富谷市富谷*=1.0 仙台青葉区大倉=1.0 村田町村田*=0.9 石巻市鮎川浜*=0.9 大和町吉岡*=0.9 仙台青葉区落合*=0.9 白石市亶理町*=0.8 柴田町船岡=0.8				
		3 大仙市高梨*=2.5				
		2 大仙市刈和野*=2.3 横手市大雄*=2.1 大仙市北長野*=2.1 大仙市大曲花園町*=2.0 秋田市雄和妙法*=1.9 鹿角市花輪*=1.8 秋田市河辺和田*=1.7 大館市桜町*=1.7 大館市比内町扇田*=1.7 横手市大森町*=1.7 大仙市太田町太田*=1.7 井川町北川尻*=1.6 仙北市田沢湖生保内上清水*=1.6 大仙市神宮寺*=1.5 仙北市角館町小勝田*=1.5				
		1 由利本荘市桜小路*=1.4 由利本荘市前郷*=1.4 小坂町小坂砂森*=1.4 秋田美郷町六郷東根=1.4 秋田美郷町土崎*=1.4 仙北市角館町東勝楽丁=1.4 仙北市西木町上松木内*=1.4 大館市早口*=1.3 北秋田市花園町=1.3 北秋田市新田目*=1.3 横手市雄物川町今宿=1.3 仙北市田沢湖生保内宮ノ後*=1.3 由利本荘市岩谷町*=1.3 大館市比内町味噌内=1.3 仙北市西木町上荒井*=1.2 羽後町西馬音内*=1.2 秋田市雄和米木=1.2 横手市中央町*=1.1 横手市山内土湫*=1.1 湯沢市川連町*=1.1 大仙市南外*=1.1 三種町豊岡*=1.1 由利本荘市石脇=1.1 由利本荘市岩城内道川*=1.1 由利本荘市西目町沼田*=1.1 北秋田市米内沢*=1.0 湯沢市沖鶴=1.0 大仙市協和境唐吉岳*=1.0 能代市常盤山谷=0.8 能代市上町*=0.8 藤原町藤原*=0.8 秋田市山王=0.8 横手市平鹿町浅舞*=0.8				

地震 番号	震源時 日時分	震央地名 各地の震度 (計測震度)	緯度	経度	深さ	規模
		湯沢市佐竹町*0.8 東成瀬村椿川*0.8 東成瀬村田子内*0.8 五城目町西磯ノ目=0.7 湯沢市寺沢*0.7 仙北市田沢湖田沢*0.7 由利本荘市尾崎*0.7 八郎瀨町大道*0.7 由利本荘市矢島町矢島町*0.7 横手市安田柳堤地内*0.7 にかほ市平沢*0.7 能代市追分町*0.6 潟上市天王*0.6 由利本荘市鳥海町伏見*0.6 北海道 2 様似町栄町*1.8 新冠町北星町*1.7 函館市新浜町*1.7 1 安平町早来北進*1.4 函館市泊町*1.3 新ひだか町静内山手町=1.2 十勝大樹町東本通*1.1 白糠町西1条*1.1 浦河町潮見=1.1 浦河町野深=1.0 厚真町鹿沼=1.0 浦河町築地*0.9 帯広市東4条=0.9 帯広市東6条*0.9 札幌東区元町*0.8 新ひだか町三石旭町*0.8 むかわ町徳別*0.8 日高地方日高町門別*0.7 苫小牧市末広町=0.7 別海町常盤=0.7 えりも町えりも岬*0.6 千歳市支笏湖温泉*0.5 せたな町北檜山区徳島*0.5 広尾町並木通=0.5 山形県 2 中山町長崎*1.8 1 天童市老野森*1.4 山辺町緑ヶ丘*1.3 河北町谷地=1.2 酒田市亀ヶ崎=1.1 上山市河崎*1.1 東根市中央*1.1 酒田市飛鳥*1.0 村山市中央*1.0 米沢市林泉寺*1.0 酒田市山田*0.9 高島町高島*0.9 寒河江市中央*0.8 米沢市アルカディア=0.7 南陽市三間通*0.7 庄内町狩川*0.7 寒河江市西根*0.7 大江町左沢*0.6 大蔵村肘折*0.6 戸沢村古口*0.5 福島県 2 双葉町両竹*2.0 田村市大越町*1.9 南相馬市鹿島区西町*1.7 田村市滝根町*1.6 本宮市白岩*1.6 相馬市中村*1.6 白河市東*1.5 国見町藤田*1.5 玉川村小高*1.5 古殿町松川新桑原*1.5 いわき市平梅本*1.5 南相馬市小高区*1.5 1 須賀川市八幡山*1.4 二本松市針道*1.4 いわき市三和町=1.4 新地町谷地小屋*1.4 郡山市朝日=1.3 天栄村下松本*1.3 泉崎村泉崎*1.3 浪江町幾世橋=1.3 桑折町東大隅*1.2 川俣町五百田*1.2 鏡石町不時沼*1.2 矢吹町一本木*1.2 浅川町浅川*1.2 檜葉町北田*1.2 富岡町本岡*1.2 川内村上川内早渡*1.2 南相馬市原町区高見町*1.2 南相馬市原町区本町*1.2 福島市五老内町*1.2 郡山市開成*1.2 須賀川市八幡町*1.2 平田村永田*1.1 福島伊達市保原町*1.1 いわき市錦町*1.1 南相馬市原町区三島町=1.1 福島市松木町=1.1 須賀川市岩瀬支所*1.1 福島伊達市霊山町*1.0 いわき市小名浜=1.0 郡山市湖南町*1.0 田村市常葉町*0.9 本宮市本宮*0.9 いわき市平四ツ波*0.9 二本松市油井*0.9 福島広野町下北迫大谷地原*0.9 川内村上川内小山平*0.9 大熊町野上*0.9 田村市都路町*0.8 福島伊達市梁川町*0.8 白河市新白河*0.8 福島広野町下北迫苗代替*0.8 飯館村伊丹沢*0.8 棚倉町棚倉中居野=0.8 石川町長久保*0.8 南相馬市鹿島区栲漕=0.7 大玉村南小屋=0.6 小野町小野新町*0.6 会津坂下町市中三番甲*0.5 田村市船引町=0.5 茨城県 2 常陸太田市金井町*1.8 1 笠間市石井*1.3 笠間市中央*1.3 小美玉市上玉里*1.3 茨城町小堤*1.2 筑西市舟生=1.2 東海村東海*1.1 石岡市柿岡=1.1 つくば市天王台*0.8 鉾田市鉾田=0.6 水戸市金町=0.6 常陸大宮市中富町=0.6 常陸大宮市北町*0.6 土浦市常名=0.6 茨城鹿嶋市鉢形=0.5 栃木県 1 高根沢町石末*1.3 大田原市湯津上*1.2 益子町益子=0.7 那須烏山市中央=0.7 群馬県 1 邑楽町中野*1.0 館林市城町*0.9 群馬明和町新里*0.9 前橋市鼻毛石町*0.7 千代田町赤岩*0.7 板倉町板倉=0.5 埼玉県 1 春日部市谷原新田*1.3 宮代町笠原*1.3 加須市大利根*1.1 加須市三俣*1.0 川島町下八ツ林*1.0 さいたま中央区下落合*1.0 熊谷市大里*0.9 加須市北川辺*0.9 春日部市金崎*0.9 さいたま緑区中尾*0.9 草加市高砂*0.8 毛呂山町中央*0.8 さいたま大宮区天沼町*0.8 行田市本丸*0.7 加須市騎西*0.7 鴻巣市中央*0.7 鴻巣市吹上富士見*0.7 久喜市下早見=0.7 吉見町下細谷*0.7 さいたま見沼区堀崎*0.7 千葉県 1 千葉中央区都町*1.0 千葉美浜区心ひ野=0.9 浦安市日の出=0.9 香取市佐原平田=0.6 多古町多古=0.5 東京都 1 東京荒川区東尾久*1.1 東京北区神谷*0.9 東京足立区神明南*0.8 東京足立区伊興*0.8 東京杉並区高井戸*0.7 東京江東区森下*0.6 神奈川県 1 横浜中区山手町=0.8 川崎宮前区野川*0.7				
71	16 05 57	淡路島付近 兵庫県 3 洲本市山手*2.6 2 南あわじ市広田*2.0 洲本市物部=1.8 1 淡路市久留麻*1.2 淡路市志筑*1.2 洲本市五色町都志*1.0 南あわじ市市*1.0 淡路市郡家*0.8 神戸垂水区日向*0.8 南あわじ市北阿万*0.8 南あわじ市福良=0.7 大阪府 1 泉南市男里*0.9 大阪岬町深日*0.5 奈良県 1 斑鳩町法隆寺西*0.8 徳島県 1 鳴門市鳴門町*0.9	34° 21.6' N	134° 53.4' E	12km	M: 3.6
72	16 22 19	淡路島付近 兵庫県 2 洲本市山手*1.5 1 洲本市物部=1.4 南あわじ市広田*1.4 洲本市五色町都志*0.5	34° 21.6' N	134° 53.4' E	12km	M: 3.0
73	17 00 26	秋田県内陸南部 秋田県 1 大仙市神宮寺*0.6	39° 28.2' N	140° 24.7' E	8km	M: 1.8
74	17 03 50	岩手県沿岸北部 青森県 1 階上町道仏*1.0 岩手県 1 遠野市青笹町*1.3 宮古市茂市*1.2 遠野市宮守町*1.0 宮古市川井*0.8 普代村銅屋*0.8 葛巻町葛巻元木=0.7 花巻市大迫総合支所*0.7 宮古市区界*0.7 宮古市田老*0.7 住田町世田米*0.6 盛岡市藪川*0.6 久慈市枝成沢=0.6 一関市室根町*0.6 葛巻町消防分署*0.5 八幡平市田頭*0.5 田野畑村田野畑=0.5	39° 45.4' N	141° 51.2' E	58km	M: 3.6
75	17 04 05	青森県三八上北地方 青森県 1 青森南部町平*1.0 青森南部町苔米地*0.8 十和田市奥瀬*0.8	40° 21.1' N	141° 04.2' E	10km	M: 3.1

地震 番号	震源時 日 時 分	震央地名 各地の震度 (計測震度)	緯度	経度	深さ	規模
76	17 08 48	山梨県東部・富士五湖 神奈川県 山梨県 静岡県 東京都	35° 31.8' N	139° 01.5' E	22km	M: 3.6
77	17 09 30	根室半島南東沖 北海道	42° 57.6' N	145° 38.7' E	44km	M: 3.5
78	17 14 17	津軽海峡 北海道	41° 40.8' N	140° 56.1' E	10km	M: 2.7
79	17 17 05	小笠原諸島西方沖 東京都	27° 56.6' N	140° 12.2' E	473km	M: 4.8
80	17 20 00	熊本県熊本地方 熊本県	32° 44.0' N	130° 39.5' E	13km	M: 2.7
81	17 20 29	根室半島南東沖 北海道	43° 06.0' N	145° 35.8' E	49km	M: 4.1
82	17 20 53	空知地方北部 北海道	43° 58.8' N	142° 03.9' E	4km	M: 2.6
83	17 21 03	和歌山県北部 和歌山県	34° 14.8' N	135° 10.8' E	5km	M: 2.1
84	18 03 55	宮城県沖 岩手県 宮城県	38° 19.8' N	142° 06.7' E	35km	M: 4.0
85	18 06 09	宮城県沖 岩手県 宮城県	38° 52.5' N	142° 04.7' E	50km	M: 4.4

地震 番号	震源時 日時分	震央地名 各地の震度 (計測震度)	緯度	経度	深さ	規模
		宮城加美町中新田*=1.1 仙台青葉区大倉=1.1 気仙沼市本吉町津谷*=1.0 大衡村大衡*=1.0 石巻市雄勝町*=0.9 多賀城市中央*=0.9 仙台若林区遠見塚*=0.9 宮城加美町小野田*=0.9 利府町利府*=0.9 栗原市花山*=0.9 大崎市岩出山*=0.9 大崎市三本木*=0.8 仙台宮城野区五輪=0.8 仙台空港=0.8 柴田町船岡=0.8 宮城川崎町前川*=0.8 亙理町下小路*=0.8 山元町浅生原*=0.7 七ヶ浜町東宮浜*=0.7 角田市角田*=0.6 石巻市大瓜=0.6 蔵王町円田*=0.6 大和町吉岡*=0.5				
86	18 08 51	青森県 福島県 島根県東部 島根県	35° 17.5' N	133° 02.8' E	12km	M: 2.6
87	18 11 04	福島県沖 福島県	37° 13.4' N	141° 31.2' E	34km	M: 3.8
88	18 14 09	茨城県沖 茨城県	36° 25.3' N	140° 41.7' E	52km	M: 3.4
89	18 19 31	和歌山県北部 和歌山県	34° 14.8' N	135° 10.6' E	5km	M: 2.1
90	19 01 10	長野県南部 長野県 岐阜県	35° 54.9' N	137° 42.5' E	6km	M: 3.0
91	19 03 36	和歌山県北部 和歌山県	34° 02.2' N	135° 11.8' E	4km	M: 2.9
92	19 06 15	和歌山県北部 和歌山県	34° 14.0' N	135° 12.3' E	6km	M: 2.8
93	19 06 54	宮城県沖 宮城県	38° 10.9' N	141° 41.1' E	51km	M: 4.6
		3 女川町女川浜*=2.6 2 登米市豊里町*=2.3 石巻市桃生町*=2.3 塩竈市旭町*=2.3 石巻市鮎川浜*=2.1 石巻市北上町*=2.0 大崎市鹿島台*=2.0 宮城川崎町前川*=2.0 松島町高城=2.0 涌谷町新町裏=2.0 石巻市大街道南*=2.0 名取市増田*=1.9 岩沼市桜*=1.8 仙台泉区将監*=1.8 石巻市雄勝町*=1.7 東松島市小野*=1.7 石巻市泉町=1.7 亙理町下小路*=1.6 仙台宮城野区苦竹*=1.6 七ヶ浜町東宮浜*=1.6 石巻市前谷地*=1.6 柴田町船岡=1.6 仙台宮城野区五輪=1.5 気仙沼市唐桑町*=1.5 大河原町新南*=1.5 大崎市松山*=1.5 気仙沼市笹が陣*=1.5 東松島市矢本*=1.5 登米市東和町*=1.5 1 山元町浅生原*=1.4 仙台若林区遠見塚*=1.4 多賀城市中央*=1.3 利府町利府*=1.3 大郷町粕川*=1.3 蔵王町円田*=1.3 登米市米山町*=1.3 宮城美里町北浦*=1.3 石巻市相野谷*=1.3 栗原市築館*=1.2 栗原市瀬峰*=1.2 栗原市一迫*=1.2 登米市南方町*=1.2 登米市迫町*=1.2 大衡村大衡*=1.2 宮城加美町中新田*=1.2 宮城美里町木間塚*=1.2 大崎市古川三日町=1.2 大崎市古川大崎=1.2 白石市亙理町*=1.2 角田市角田*=1.2 栗原市栗駒=1.2 村田町村田*=1.2 気仙沼市赤岩=1.1 仙台青葉区作並*=1.1 南三陸町志津川=1.1 仙台空港=1.1 登米市中田町=1.1 南三陸町歌津*=1.0 登米市登米町*=1.0 栗原市高清水*=1.0 栗原市金成*=1.0 大崎市古川北町*=1.0 石巻市大瓜=0.9 仙台青葉区大倉=0.9 登米市石越町*=0.9 大崎市三本木*=0.9 仙台太白区山田*=0.9 色麻町四竈*=0.8 栗原市志波姫*=0.8 仙台青葉区雨宮*=0.8 丸森町上滝=0.8 丸森町鳥屋*=0.8 登米市津山町*=0.7 栗原市若柳*=0.7 大和町吉岡*=0.7				
		岩手県				
		福島県				

地震 番号	震源時 日時分	震源地名 各地の震度 (計測震度)	緯度	経度	深さ	規模
		福島広野町下北迫大谷地原*0.9 川内村下川内=0.9 川内村上川内早渡*0.9 玉川村小高*0.9 小野町小野新町*0.9 須賀川市岩瀬支所*0.8 大熊町野上*0.8 福島市飯野町*0.8 いわき市三和町=0.8 白河市新白河*0.7 天栄村下松本*0.7 泉崎村泉崎*0.7 南相馬市原町区本町*0.7 浅川町浅川*0.6 小野町中通*0.6 須賀川市八幡山*0.6 大玉村玉井*0.6 棚倉町棚倉中居野=0.6 郡山市朝日=0.6 鏡石町不時沼*0.5 茨城県 1 笠間市石井*0.6 日立市助川小学校*0.5				
94	19 07 18	愛知県西部 愛知県 1 豊田市小坂本町=0.5 豊田市小坂町*0.5	35° 05.6' N	137° 10.6' E	8km	M: 2.5
95	19 14 36	茨城県北部 茨城県 1 高萩市安良川*0.9 日立市十王町友部*0.8 日立市助川小学校*0.8	36° 42.3' N	140° 36.4' E	9km	M: 2.8
96	19 19 12	秋田県沖 青森県 1 深浦町岩崎*0.8 深浦町深浦岡町=0.5 秋田県 1 秋田市八橋運動公園*1.4 男鹿市角間崎*1.3 井川町北川尻*1.3 男鹿市男鹿中=1.3 男鹿市船川*1.2 潟上市天王*0.8 能代市緑町=0.5	40° 00.7' N	139° 31.4' E	11km	M: 4.1
97	20 02 52	八丈島東方沖 東京都 1 八丈町富士グラウンド*0.9 八丈町三根=0.6	33° 31.8' N	141° 08.7' E	57km	M: 5.0
98	20 04 35	トカラ列島近海 鹿児島県 1 鹿児島十島村小宝島*1.4 鹿児島十島村宝島*1.0	29° 13.4' N	129° 05.9' E	5km	M: 3.5
99	20 04 49	青森県東方沖 青森県 3 八戸市湊町=2.6 2 八戸市内丸*2.2 階上町道仏*2.2 1 野辺地町田狭沢*1.4 青森南部町苫米地*1.4 東通村白糠*1.4 東北町上北南*1.3 野辺地町野辺地*1.2 東通村砂子又沢内*1.2 三戸町在府小路町*1.1 五戸町古館=1.1 東北町塔ノ沢山*1.1 六ヶ所村尾駈=1.0 青森南部町平*1.0 六ヶ所村出戸=1.0 七戸町森ノ上*1.0 横浜町林ノ脇*1.0 八戸市南郷*0.8 十和田市奥瀬*0.8 七戸町七戸*0.8 五戸町倉石中市*0.8 三沢市桜町*0.8 平内町東田沢*0.7 十和田市西十二番町*0.7 むつ市金曲=0.7 青森南部町沖田面*0.7 十和田市西二番町*0.6 東通村砂子又蒲谷地=0.6 おいらせ町中下田*0.5 北海道 1 函館市泊町*0.9 岩手県 1 久慈市枝成沢=1.2 軽米町軽米*1.0 二戸市浄法寺町*0.8 岩手洋野町大野*0.7	40° 58.4' N	142° 00.7' E	57km	M: 4.1
100	20 17 35	有明海 熊本県 2 熊本西区春日=1.5 1 熊本南区富合町*1.2 宇土市新小路町=1.0 上天草市大矢野町=0.9 宇城市松橋町=0.8 宇城市不知火町*0.7 熊本北区植木町*0.6	32° 43.9' N	130° 36.5' E	12km	M: 2.9
101	20 22 40	九州地方南東沖 宮崎県 1 宮崎市松橋*1.2 日南市南郷町南町*1.2 串間市都井*1.2 宮崎美郷町田代*1.2 日南市中央通*1.0 小林市真方=1.0 都城市姫城町*0.9 新富町上富田=0.9 宮崎市霧島=0.9 都城市菖蒲原=0.9 日南市吾田東*0.7 高千穂町三田井=0.7 宮崎市田野町体育館*0.6 日南市油津=0.6 西都市上の宮*0.5 鹿児島県 1 肝付町新富*1.3 霧島市福山町牧之原*1.1 霧島市国分中央*1.0 鹿屋市新栄町=1.0 錦江町田代支所*1.0 三島村竹島*1.0 大崎町仮宿*0.9 鹿児島市東郡元=0.7 志布志市志布志町志布志=0.7 鹿児島市喜入町*0.6	30° 36.5' N	132° 04.3' E	61km	M: 5.2
102	21 11 10	愛知県西部 愛知県 1 一宮市千秋=0.5	35° 15.2' N	136° 50.9' E	13km	M: 2.5
103	21 22 08	千葉県東方沖 千葉県 1 銚子市若宮町*0.7 旭市萩園*0.6	35° 29.5' N	141° 04.7' E	32km	M: 3.7
104	22 00 14	和歌山県北部 和歌山県 1 湯浅町青木*1.1 和歌山広川町広*0.6 有田川町下津野*0.6	34° 02.1' N	135° 11.9' E	4km	M: 2.1
105 (注)	22 06 05 22 06 05	石垣島近海 宮古島近海 沖縄県 1 宮古島市平良池間=1.3 宮古島市城辺福北=1.1 多良間村仲筋*1.1 多良間村塩川=1.0 宮古島市平良下里=1.0 宮古島市城辺福西*1.0 宮古島市平良西里*1.0 宮古島市下地*1.0 竹富町黒島=1.0 宮古島市伊良部長浜*0.8 宮古島市上野支所*0.8 宮古島市上野新里=0.7 宮古島市平良狩俣*0.7 石垣市新栄町*0.6 石垣市登野城=0.6 宮古島市伊良国国仲=0.5	24° 13.7' N 25° 01.1' N	124° 35.0' E 125° 36.2' E	27km 53km	M: 4.7 M: 4.3
106	22 08 13	広島県北部 島根県 1 雲南市掛合町掛合*0.8 広島県 1 庄原市高野町*0.6	34° 54.6' N	132° 56.3' E	12km	M: 2.9
107	22 15 46	伊豆大島近海 千葉県 1 館山市長須賀=0.6	34° 54.2' N	139° 31.8' E	28km	M: 2.9

地震 番号	震源時 日時分	震央地名 各地の震度 (計測震度)	緯度	経度	深さ	規模
108	22 21 44	淡路島付近 兵庫県 徳島県	34° 21.6' N	134° 53.5' E	12km	M: 3.3 2 洲本市山手*=2.2 洲本市物部=1.6 南あわじ市広田*=1.6 1 南あわじ市市*=0.9 南あわじ市福良=0.7 淡路市久留麻*=0.6 南あわじ市北阿万*=0.5 1 鳴門市鳴門町*=0.7
109	23 00 09	岐阜県美濃中西部 愛知県	35° 23.0' N	136° 53.2' E	6km	M: 2.0 1 犬山市五郎丸*=0.5
110	23 19 11	茨城県北部 茨城県	36° 42.3' N	140° 36.4' E	9km	M: 2.9 1 日立市助川小学校*=1.2 高萩市安良川*=1.2
111	23 21 02	茨城県南部 茨城県 栃木県	36° 01.4' N	139° 56.5' E	41km	M: 3.0 1 土浦市常名=0.9 水戸市内原町*=0.8 土浦市藤沢*=0.8 笠間市下郷*=0.7 桜川市羽田*=0.7 石岡市柿岡=0.5 1 栃木市旭町=0.5
112	23 21 54	茨城県沖 茨城県 栃木県	36° 24.9' N	140° 41.2' E	51km	M: 3.8 2 笠間市石井*=2.0 桜川市羽田*=2.0 ひたちなか市南神敷台*=1.9 水戸市金町=1.9 常陸大宮市野口*=1.8 東海村東海*=1.8 筑西市門井*=1.5 1 日立市十王町友部*=1.4 小美玉市堅倉*=1.4 土浦市常名=1.4 石岡市柿岡=1.4 城里町徳蔵*=1.3 水戸市内原町*=1.3 水戸市千波町*=1.3 笠間市笠間*=1.3 ひたちなか市東石川*=1.2 常陸太田市高柿町*=1.2 城里町石塚*=1.2 桜川市真壁*=1.2 常陸大宮市上小瀬*=1.1 那珂市瓜連*=1.1 笠間市下郷*=1.1 かすみがうら市上土田*=1.1 常陸大宮市北町*=1.1 石岡市若宮*=1.0 つくば市研究学園*=1.0 土浦市藤沢*=1.0 かすみがうら市大和田*=1.0 ひたちなか市山ノ上町=1.0 美浦村受領*=0.9 筑西市下中山*=0.9 小美玉市小川*=0.9 那珂市福田*=0.9 小美玉市上玉里*=0.9 鉾田市汲上*=0.9 常陸大宮市山方*=0.9 鉾田市鉾田=0.8 大子町池田*=0.8 稲敷市江戸崎甲*=0.8 日立市助川小学校*=0.8 石岡市八郷*=0.7 常陸太田市町屋町=0.6 行方市玉造*=0.6 茨城町小堤*=0.6 土浦市田中*=0.6 鉾田市造谷*=0.6 笠間市中央*=0.5 行方市麻生*=0.5 1 茂木町茂木*=1.0 真岡市田町*=0.9 真岡市石島*=0.8 益子町益子=0.7 芳賀町祖母井*=0.5
113	23 22 53	留萌地方南部 北海道	44° 02.9' N	141° 47.8' E	5km	M: 2.2 1 小平町達布*=0.9
114	24 10 37	浦河沖 北海道	42° 02.5' N	142° 35.8' E	62km	M: 3.5 1 函館市川汲町*=0.6 新ひだか町三石旭町*=0.6
115	24 15 32	根室半島南東沖 北海道	43° 19.6' N	146° 05.1' E	88km	M: 3.8 1 根室市瑤瑤瑁*=0.7
116	24 19 20	熊本県熊本地方 熊本県	32° 47.4' N	130° 47.6' E	10km	M: 2.5 1 熊本中央区大江*=0.7 熊本西区春日=0.6
117	24 22 19	沖縄本島近海 沖縄県	26° 31.3' N	127° 45.3' E	21km	M: 2.6 1 恩納村恩納*=0.7
118	25 08 49	和歌山県北部 和歌山県	34° 12.1' N	135° 10.0' E	6km	M: 3.0 2 和歌山市一番丁*=1.5 1 和歌山市男野芝丁=1.1 海南市下津*=1.0 有田市初島町*=0.9 湯浅町青木*=0.6
119	26 07 23	福島県沖 宮城県	37° 19.5' N	142° 12.2' E	31km	M: 4.4 1 石巻市桃生町*=1.4 登米市迫町*=0.7 岩沼市桜*=0.6 栗原市築館*=0.6 石巻市大街道南*=0.5 南三陸町志津川=0.5
120	26 11 31	徳島県北部 徳島県	34° 03.8' N	134° 15.2' E	39km	M: 2.7 1 つるぎ町貞光*=0.5
121	26 20 16	根室半島南東沖 北海道	43° 33.0' N	146° 17.0' E	72km	M: 4.0 1 根室市牧の内*=0.8 根室市落石東*=0.6
122	26 21 41	奄美大島近海 鹿児島県	28° 06.9' N	129° 33.3' E	33km	M: 2.9 1 瀬戸内町請島*=0.6
123	27 00 42	福島県会津 福島県	37° 42.0' N	140° 00.0' E	8km	M: 2.7 1 北塩原村北山*=0.8
124	27 20 52	新島・神津島近海 東京都	34° 18.3' N	139° 13.5' E	11km	M: 2.3 1 新島村大原=0.8
125	27 22 05	東京湾 埼玉県	35° 33.9' N	140° 05.0' E	69km	M: 4.5 3 草加市高砂*=2.5 2 八潮市中央*=1.9 朝霞市本町*=1.9 さいたま緑区中尾*=1.8 さいたま大宮区天沼町*=1.7 新座市野火止*=1.7 吉川市吉川*=1.7 宮代町笠原*=1.6 さいたま北区宮原*=1.6 和光市広沢*=1.6

地震 番号	震源時 日時分	震央地名 各地の震度 (計測震度)	緯度	経度	深さ	規模
		久喜市下早見=1.5 川口市中青木分室*=1.5 三郷市中央*=1.5 さいたま南区別所*=1.5 1 加須市騎西*=1.4 川口市三ツ和*=1.4 幸手市東*=1.4 さいたま見沼区堀崎*=1.4 さいたま中央区下落合*=1.4 さいたま浦和高砂=1.4 白岡市千駄野*=1.4 春日部市金崎*=1.3 狭山市入間川*=1.3 埼玉三芳町藤久保*=1.3 加須市大利根*=1.3 鴻巣市中央*=1.3 久喜市鷲宮*=1.3 久喜市青葉*=1.2 越谷市越ヶ谷*=1.2 富士見市鶴馬*=1.2 久喜市栗橋*=1.2 さいたま大宮区大門*=1.2 川口市青木*=1.2 春日部市谷原新田*=1.2 川島町下八ツ林*=1.1 杉戸町清地*=1.1 松伏町松伏*=1.1 さいたま西区指扇*=1.1 所沢市北有楽町*=1.1 さいたま岩槻区本丸*=1.1 上尾市本町*=1.1 久喜市菖蒲*=1.1 入間市豊岡*=1.1 川越市旭町=1.1 戸田市上戸田*=1.0 鴻巣市吹上富士見*=1.0 さいたま桜区道場*=0.9 蕨市中央*=0.9 志木市中宗岡*=0.9 伊奈町小室*=0.9 熊谷市大里*=0.9 桶川市上日出谷*=0.8 熊谷市江南*=0.8 加須市北川辺*=0.7 北本市本町*=0.7 さいたま浦和区常盤*=0.7 ふじみ野市福岡*=0.7 東松山市松葉町*=0.7 鴻巣市川里*=0.7 吉見町下細谷*=0.7 ふじみ野市大井*=0.6 東松山市市ノ川*=0.6 埼玉美里町木部*=0.6 所沢市並木*=0.5 滑川町福田*=0.5 長瀬町野上下郷*=0.5 行田市本丸*=0.5 行田市南河原*=0.5 3 横浜港北区日吉本町*=2.8 横浜保土ヶ谷区上菅田町*=2.5 2 横浜神奈川区神大寺*=2.4 横浜神奈川区広台太田町*=2.3 横浜港南区丸山台東部*=2.3 川崎中原区小杉町*=2.3 大和市下鶴間*=2.3 横浜磯子区洋光台*=2.1 横浜旭区今宿東町*=2.1 横浜鶴見区馬場*=2.1 横浜磯子区磯子*=2.0 横浜旭区川井宿町*=2.0 横浜緑区鴨居*=2.0 横浜瀬谷区中屋敷*=2.0 川崎川崎区宮前町*=2.0 横浜中区山手町*=2.0 横浜緑区十日市場町*=1.9 横浜瀬谷区三ツ境*=1.9 横浜青葉区市ヶ尾町*=1.9 横浜戸塚区鳥が丘*=1.9 相模原中央区上溝*=1.9 横浜鶴見区鶴見*=1.8 横浜鶴見区末広町*=1.8 川崎宮前区野川*=1.8 三浦市城山町*=1.8 清川村煤ヶ谷*=1.8 相模原南区相模大野*=1.8 横浜金沢区白帆*=1.7 横浜金沢区釜利谷南*=1.7 横浜旭区大池町*=1.7 横浜青葉区榎が丘*=1.7 川崎宮前区宮前平*=1.7 茅ヶ崎市茅ヶ崎=1.7 厚木市中町*=1.7 横浜中区山下町*=1.7 横浜中区山吹町*=1.7 相模原緑区橋本*=1.7 横浜旭区上白根町*=1.6 横浜栄区小菅ヶ谷*=1.6 横浜都筑区池辺町*=1.6 川崎川崎区千鳥町*=1.6 川崎麻生区片平*=1.6 藤沢市辻堂東海岸*=1.6 二宮町中里*=1.6 愛川町角田*=1.6 横浜港北区綱島西*=1.6 横浜戸塚区平戸町*=1.6 川崎幸区戸手本町*=1.5 横浜港南区丸山台北部*=1.5 藤沢市長後*=1.5 綾瀬市深谷*=1.5 湯河原町中央=1.5 相模原南区磯部*=1.5 横浜港北区大倉山*=1.5 1 横浜西区浜松町*=1.4 横浜中区日本大通*=1.4 横浜保土ヶ谷区神戸町*=1.4 横浜金沢区寺前*=1.4 横浜戸塚区戸塚町*=1.4 横須賀市光の丘=1.4 藤沢市打戻*=1.4 座間市緑ヶ丘*=1.4 寒川町宮山*=1.4 相模原緑区大島*=1.4 相模原緑区中野*=1.4 横浜西区みなとみらい*=1.3 横浜栄区桂台南*=1.3 横浜泉区岡津町*=1.3 横浜泉区和泉町*=1.3 横浜都筑区茅ヶ崎*=1.3 川崎川崎区中島*=1.3 藤沢市大庭*=1.3 秦野市曾屋=1.3 神奈川大井町金子*=1.3 箱根町湯本*=1.3 川崎中原区小杉陣屋町=1.2 小田原市荻窪*=1.2 中井町比奈窪*=1.2 相模原中央区水郷田名*=1.2 相模原緑区久保沢*=1.2 川崎高津区下作延*=1.1 川崎多摩区登戸*=1.1 逗子市桜山*=1.1 海老名市大谷*=1.1 南足柄市関本*=1.1 松田町松田惣領*=1.1 秦野市平沢*=1.0 横須賀市坂本町*=1.0 横浜南区六ツ川*=1.0 葉山町堀内*=0.9 横浜青葉区美しが丘*=0.9 鎌倉市御成町*=0.9 藤沢市朝日町*=0.9 川崎麻生区万福寺*=0.8 平塚市浅間町*=0.8 大磯町月京*=0.8 小田原市久野=0.8 2 坂東市岩井=1.7 桜川市真壁*=1.5 1 取手市井野*=1.4 つくばみらい市加藤*=1.3 笠間市石井*=1.3 取手市寺田*=1.2 つくばみらい市福田*=1.2 筑西市舟生=1.2 常総市水海道諏訪町*=1.1 小美玉市小川*=1.0 桜川市岩瀬*=1.0 土浦市常名=1.0 牛久市城中町*=1.0 つくば市小茎*=1.0 龍ヶ崎市役所*=0.9 水戸市内原町*=0.9 桜川市羽田*=0.9 笠間市中央*=0.9 土浦市藤沢*=0.9 石岡市柿岡=0.9 守谷市大柏*=0.9 坂東市役所*=0.9 茨城古河市下大野*=0.8 笠間市笠間*=0.8 牛久市中央*=0.8 笠間市下郷*=0.8 小美玉市上玉里*=0.7 つくば市天王台*=0.7 稲敷市江戸崎甲*=0.7 石岡市若宮*=0.7 かすみがうら市上土田*=0.7 筑西市門井*=0.6 利根町布川=0.5 2 千葉中央区都町*=2.0 流山市平和台*=1.9 船橋市湊町*=1.9 木更津市富士見*=1.8 野田市鶴泰*=1.8 市原市姉崎*=1.8 千葉花見川区花島町*=1.7 富津市下飯野*=1.7 鋸南町下佐久間*=1.7 千葉緑区おゆみ野*=1.7 柏市旭町=1.6 千葉稲毛区園生町*=1.6 八千代市大和田新田*=1.6 鎌ヶ谷市新鎌ヶ谷*=1.6 四街道市鹿渡*=1.6 白井市復*=1.6 習志野市鷲沼*=1.6 南房総市岩糸*=1.6 柏市柏*=1.5 千葉若葉区小倉台*=1.5 市川市南八幡*=1.5 1 千葉中央区中央港=1.4 松戸市西馬橋*=1.4 君津市久留里市場*=1.4 千葉中央区千葉市役所*=1.3 千葉美浜区ひび野=1.3 松戸市根本*=1.3 館山市北条*=1.3 南房総市谷向*=1.3 長南町長南*=1.3 野田市東宝珠花*=1.2 柏市大島田*=1.2 浦安市猫実*=1.2 館山市長須賀=1.2 木更津市太田=1.2 鴨川市八色=1.2 鴨川市横渚*=1.2 南房総市白浜町白浜*=1.2 浦安市日の出=1.1 君津市久保*=1.1 南房総市富浦町青木*=1.1 千葉美浜区稲毛海岸*=1.1 千葉佐倉市海隣寺町*=1.1 印西市大森*=1.0 袖ヶ浦市坂戸市場*=1.0 東金市日吉台*=1.0 長柄町大津倉=0.9 山武市埴谷*=0.9 大多喜町大多喜*=0.9 市原市国分寺台中央*=0.8 我孫子市我孫子*=0.8 栄町安食台*=0.7 東金市東新宿=0.6 南房総市上堀=0.5 一宮町一宮=0.5 2 町田市中町*=2.4 東京渋谷区本町*=2.3 東京練馬区豊玉北*=2.3 調布市西つつじヶ丘*=2.2 東京北区西ヶ原*=2.1 東京国際空港=2.1 東京港区海岸=2.1 東京中野区中野*=2.1 東京千代田区大手町=2.0 東京練馬区東大泉*=2.0 東京杉並区桃井*=2.0 八王子市堀之内*=1.9 東京北区神谷*=1.9 東京豊島区南池袋*=1.8 西東京市中町*=1.8 東京大田区本羽田*=1.8 東京世田谷区成城*=1.8 東京足立区神明南*=1.8 東京足立区伊興*=1.8 東京新宿区上落合*=1.7 東京練馬区光が丘*=1.7 東京新宿区百人町*=1.7 東京品川区北品川*=1.7 東京品川区平塚*=1.7 小平市小川町*=1.7 東京中央区築地*=1.7 東京荒川区東尾久*=1.7 東京港区白金*=1.7 町田市忠生*=1.6 稲城市東長沼*=1.6 東京港区南青山*=1.6 東京江東区越中島*=1.6 東京葛飾区立石*=1.6 東京葛飾区金町*=1.6 東京江戸川区中央=1.6 東京江戸川区鹿骨*=1.6 東京大田区多摩川*=1.6 東京板橋区相生町*=1.5 国分寺市戸倉=1.5 東京千代田区麹町*=1.5 東京中央区勝どき*=1.5 東京港区芝公園*=1.5 東京中野区中央*=1.5 東京新宿区西新宿=1.5 調布市小島町*=1.5				

地震 番号	震源時 日時分	震央地名 各地の震度 (計測震度)	緯度	経度	深さ	規模
		1 東京千代田区富士見*1.4 東京文京区大塚*1.4 東京江東区青海=1.4 東京世田谷区世田谷*1.4 東京世田谷区三軒茶屋*1.4 東京杉並区高井戸*1.4 三鷹市野崎*1.4 町田市森野*1.4 日野市神明*1.4 東村山市本町*1.4 狛江市和泉本町*1.4 清瀬市中里*1.4 多摩市関戸*1.4 東京江戸川区船堀*1.3 東京府中市朝日町*1.3 小金井市本町*1.3 国分寺市本多*1.3 東京墨田区東向島*1.3 東京大田区大森東*1.3 東京中野区江古田*1.3 東京足立区千住中居町*1.3 東京江東区枝川*1.2 東京目黒区中央町*1.2 東京板橋区高島平*1.2 東京足立区中央本町*1.2 東京府中市寿町*1.2 東大和市中央*1.2 東京中央区日本橋兜町*1.2 八王子市石川町*1.1 東京江東区森下*1.1 東京品川区広町*1.1 東京世田谷区中町*1.0 東京江東区東陽*1.0 八王子市大横町=1.0 東京江東区亀戸*0.9 東京大田区蒲田*0.9 清瀬市中清戸*0.9 東京杉並区阿佐谷=0.9 東京板橋区板橋*0.9 昭島市田中町*0.9 国立市富士見台*0.8 武蔵野市緑町*0.8 武蔵野市吉祥寺南町*0.8 東京墨田区吾妻橋*0.7 武蔵村山市本町*0.7 多摩市鶴牧*0.7 東京墨田区横川=0.6 青梅市東青梅=0.5 静岡県 2 富士宮市野中*1.9 東伊豆町奈良本*1.8 1 熱海市網代=1.3 伊豆市中伊豆グラウンド=1.3 富士市大淵*1.3 函南町平井*1.2 熱海市泉*1.1 沼津市戸田*1.1 富士宮市弓沢町=1.1 河津町田中*1.0 伊豆の国市長岡*1.0 熱海市中央町*0.7 御殿場市萩原=0.5 静岡清水区蒲原新栄*0.5 栃木県 1 真岡市石島*1.4 宇都宮市明保野町=1.1 佐野市高砂町*1.1 鹿沼市晃望台*1.1 市貝町市塙*1.1 下野市田中*1.0 下野市笹原*0.9 栃木市岩舟町静*0.9 日光市今市本町*0.8 益子町益子=0.8 下野市石橋*0.8 足利市大正町*0.8 真岡市田町*0.6 栃木市旭町=0.6 日光市鬼怒川温泉大原*0.5 群馬県 1 邑楽町中野*1.1 渋川市赤城町*1.1 沼田市白沢町*1.0 千代田町赤岩*0.9 大泉町日の出*0.9 桐生市黒保根町*0.8 太田市西本町*0.8 前橋市粕川町*0.8 片品村東小川=0.7 桐生市元宿町*0.7 桐生市新里町*0.7 館林市美園町*0.6 沼田市西倉内町=0.6 沼田市利根町*0.6 伊勢崎市西久保町*0.6 渋川市吹屋*0.5 みどり市大間々町*0.5 群馬明和町新里*0.5 山梨県 1 富士河口湖町船津=1.1 富士河口湖町長浜*1.0 山梨北杜市長坂町*0.9 大月市御太刀*0.9 都留市上谷*0.8 上野原市役所*0.8 上野原市上野原=0.6 甲府市飯田=0.6 大月市大月=0.5				
126	28 16 52	日高地方西部 北海道	42° 30.4' N	142° 05.3' E	11km	M: 2.7
		1 日高地方日高町門別*0.9				
127	28 22 43	熊本県熊本地方 熊本県	32° 45.5' N	130° 46.9' E	15km	M: 2.9
		1 益城町木山=1.1 山都町下馬尾*0.8 熊本西区春日=0.7 大津町引水*0.6 熊本北区植木町*0.6 菊池市旭志*0.5 菊池市隈府*0.5				
128	29 06 14	十勝沖 北海道	41° 43.9' N	143° 40.4' E	41km	M: 4.8
		2 えりも町えりも岬*2.1 広尾町並木通=1.6 釧路市黒金町*1.6 広尾町白樺通=1.5 1 えりも町目黒*1.4 釧路町別保*1.4 十勝大樹町東本通*1.3 様似町栄町*1.3 標津町北2条*1.3 浦河町潮見=1.2 十勝大樹町生花*1.1 釧路市幸町=1.1 釧路市音別町中園*1.1 別海町本別海*1.0 標茶町塘路*1.0 浦河町築地*1.0 根室市落石東*0.7 足寄町上螺湾=0.7 白糠町西1条*0.7 豊頃町茂岩本町*0.7 弟子屈町弟子屈*0.7 厚岸町真栄*0.6 根室市瑤瑤瑯*0.6 函館市泊町*0.6 えりも町本町=0.6 浦河町野深=0.6 別海町常盤=0.6 新得町2条*0.6 本別町向陽町*0.5 中標津町養老牛*0.5 帯広市東4条=0.5 本別町北2丁目=0.5 青森県 1 階上町道仏*1.2 八戸市内丸*1.1 八戸市湊町=1.0 八戸市南郷*1.0 五戸町古館=1.0 青森南部町平*1.0 青森南部町苦米地*0.9 東通村砂子又沢内*0.9 七戸町森ノ上*0.8 五戸町倉石中市*0.7 岩手県 1 八幡平市田頭*0.7 軽米町軽米*0.7 盛岡市薮川*0.6				
129	29 07 48	千葉県北東部 千葉県	35° 44.3' N	140° 50.9' E	10km	M: 3.5
		2 銚子市若宮町*1.7 1 銚子市川口町=1.3 旭市高生*1.0 旭市萩園*0.9 山武市蓮沼二*0.7 香取市仁良*0.6 旭市二*0.6 山武市蓮沼ハ*0.6 東庄町笹川*0.5				
130	29 11 54	山梨県中・西部 群馬県 埼玉県 山梨県	35° 48.4' N	138° 44.8' E	10km	M: 3.3
		1 群馬上野村川和*0.5 1 秩父市中津川*1.4 1 山梨北杜市長坂町*1.2 丹波山村丹波*1.2 小菅村小菅小学校*1.1 甲州市役所*1.1 甲州市塩山上於曾*1.0 上野原市役所*1.0 上野原市上野原=0.9 大月市大月=0.9 甲州市勝沼町勝沼*0.8 山梨市牧丘町窪平*0.8 甲州市塩山下於曾=0.8 山梨市三富川浦*0.7 甲府市古閑町*0.6 大月市御太刀*0.6 富士河口湖町船津=0.5 山梨市小原西*0.5				
131	29 14 07	択捉島南東沖 北海道	44° 19.9' N	147° 41.3' E	136km	M: 4.5
		1 根室市落石東*0.5				
132	29 20 07	千葉県北東部 千葉県	35° 44.3' N	140° 51.6' E	10km	M: 2.7
		1 銚子市若宮町*0.5				
133	30 05 45	岐阜県飛騨地方 岐阜県	36° 02.9' N	137° 19.8' E	10km	M: 2.7
		1 高山市丹生川町坊方*0.9 高山市高根町*0.6				
134	30 23 34	釧路地方中南部 北海道	43° 13.0' N	145° 11.4' E	87km	M: 4.0
		2 根室市落石東*1.8 浜中町霧多布*1.7 別海町本別海*1.5 1 厚岸町尾幌=1.4 浜中町湯沸=1.4 根室市牧の内*1.4 標茶町塘路*1.3 別海町常盤=1.3				

地震番号	震源時 日時分	震央地名 各地の震度 (計測震度)	緯度	経度	深さ	規模
135	31 06 57	伊予灘 愛媛県	33° 32.7' N	132° 21.6' E	46km	M: 3.4
		1 鉦路市黒金町*=1.3 鉦路市幸町=1.2 根室市瑠瑠瑠*=1.1 厚岸町真栄*=0.9 弟子屈町弟子屈*=0.9 鉦路町別保*=0.8 鶴居村鶴居東*=0.8 中標津町養老牛=0.8 白糠町西1条*=0.7 十勝大樹町生花*=0.6 根室市弥栄=0.6				
136	31 07 11	豊後水道 愛媛県	33° 19.8' N	132° 11.8' E	52km	M: 3.9
		2 伊方町湊浦*=2.0 大洲市肱川町*=1.8 西予市三瓶町*=1.8 西予市明浜町*=1.7 八幡浜市保内町*=1.7 宇和島市三間町*=1.6 1 西予市宇和町*=1.2 八幡浜市五反田*=1.1 西予市野村町=1.0 愛南町船越*=1.0 宇和島市吉田町*=0.9 愛南町柏*=0.9 宇和島市丸穂*=0.9 大洲市長浜*=0.7 大洲市大洲*=0.7 伊方町三崎*=0.7 愛媛鬼北町近永*=0.7 宇和島市津島町*=0.7 松野町松丸*=0.6 内子町内子*=0.5 大分県 2 国東市田深*=1.7 国東市鶴川=1.5 別府市天間=1.5 1 大分市佐賀関*=1.4 大分市舞鶴町*=1.3 豊後高田市香々地*=1.2 姫島村役場*=1.2 臼杵市臼杵*=1.2 国東市国見町伊美*=1.0 国東市安岐町*=1.0 津久見市宮本町*=1.0 豊後大野市千歳町*=1.0 豊後高田市真玉*=0.9 佐伯市蒲江蒲江浦=0.9 佐伯市上浦*=0.9 佐伯市米水津*=0.9 豊後大野市清川町*=0.9 津久見市立花町*=0.8 豊後大野市緒方町*=0.8 豊後大野市大飼町黒松*=0.8 大分市明野北=0.7 佐伯市鶴見*=0.6 別府市鶴見=0.6 別府市上野口町*=0.6 国東市国見町西方寺=0.6 杵築市南杵築*=0.6 佐伯市直川*=0.5 高知県 1 宿毛市桜町*=1.0 山口県 1 防府市西浦*=1.2 山口市秋徳東*=0.9 下松市大手町*=0.7 平生町平生*=0.7 山陽小野田市日の出*=0.6 山口市阿知須*=0.6 光市中央*=0.6 柳井市大島*=0.6 周防大島町東和総合支所*=0.5 周南市桜馬場通り*=0.5 福岡県 1 行橋市今井*=0.9 宮崎県 1 延岡市北浦町古江*=0.8				
137	31 07 26	宮古島近海 沖縄県	24° 54.6' N	125° 38.3' E	49km	M: 3.7
		1 宮古島市城辺福北=0.7 宮古島市上野支所*=0.6				
138	31 12 48	トカラ列島近海 鹿児島県	29° 36.8' N	129° 31.8' E	165km	M: 4.9
		2 奄美市名瀬港町=2.0 天城町平土野*=1.9 瀬戸内町請島*=1.8 瀬戸内町加計呂麻島*=1.8 瀬戸内町西古見=1.7 瀬戸内町与路島*=1.6 宇検村湯湾*=1.5 1 喜界町滝川=1.4 奄美市笠利町里*=1.4 大和村思勝*=1.3 奄美市名瀬幸町*=1.3 伊仙町伊仙*=1.2 奄美市住用町西仲間*=1.1 喜界町湾*=1.1 大崎町仮宿*=1.0 瀬戸内町古仁屋*=0.9 錦江町田代支所*=0.8 曾於市大隅町中之内*=0.7 屋久島町宮之浦*=0.7 龍郷町屋入=0.7 知名町瀬利覚=0.7 鹿屋市札元*=0.6 南種子町西之*=0.5 鹿屋市新栄町=0.5 肝付町北方*=0.5				
139	31 20 21	福島県会津 福島県	37° 12.7' N	139° 54.4' E	7km	M: 2.7
		1 下郷町塩生*=1.2 天栄村湯本支所*=0.7				
140	31 21 01	沖縄本島近海 沖縄県	26° 31.2' N	126° 58.9' E	15km	M: 3.0
		1 久米島町山城=0.6 久米島町謝名堂=0.6 久米島町比嘉*=0.6				
141	31 21 24	宮古島近海 沖縄県	24° 17.9' N	125° 10.5' E	34km	M: 4.3
		1 宮古島市城辺福北=1.2 宮古島市下地*=1.2 宮古島市伊良部長浜*=1.0 宮古島市城辺福西*=0.6				
142	31 22 40	秋田県内陸南部 秋田県	39° 31.3' N	140° 25.7' E	9km	M: 2.9
		2 大仙市神宮寺*=1.7 1 大仙市刈和野*=1.2 大仙市北長野*=1.0 大仙市大曲花園町*=0.6				

付録 2. 過去 1 年間に震度 1 以上を観測した地震の最大震度別の月別回数 〈平成 29 年 (2017 年) 1 月～平成 29 年 (2017 年) 12 月〉

	1	2	3	4	5弱	5強	6弱	6強	7	計	記事
平成 29 年 (2017 年)											
1 月	98	42	9	4						153	「平成 28 年 (2016 年) 熊本地震」の地震活動 (震度 1 以上合計: 32 回) 福島県沖の地震活動 (震度 4 : 1 回、震度 2 : 3 回、震度 1 : 6 回) 茨城県北部の地震活動 (震度 2 : 4 回、震度 1 : 9 回)
2 月	85	44	13	2	1					145	「平成 28 年 (2016 年) 熊本地震」の地震活動 (震度 1 以上合計: 18 回) 福島県沖の地震活動 (震度 3 : 1 回、震度 2 : 3 回、震度 1 : 6 回) 茨城県北部の地震活動 (震度 3 : 1 回、震度 2 : 7 回、震度 1 : 8 回) 28 日 福島県沖 (震度 5 弱)
3 月	99	44	12	2						157	「平成 28 年 (2016 年) 熊本地震」の地震活動 (震度 1 以上合計: 25 回)
4 月	123	40	18	3						184	「平成 28 年 (2016 年) 熊本地震」の地震活動 (震度 1 以上合計: 25 回) 新潟県中越地方の地震活動 (震度 1 以上合計: 10 回)
5 月	114	42	6	2						164	「平成 28 年 (2016 年) 熊本地震」の地震活動 (震度 1 以上合計: 28 回)
6 月	153	42	18	3		2				218	「平成 28 年 (2016 年) 熊本地震」の地震活動 (震度 1 以上合計: 10 回) 伊豆大島近海の地震活動 (震度 1 以上合計: 11 回) 20 日 豊後水道 (震度 5 強) 25 日 長野県南部 (震度 5 強) 地震活動 (震度 4 : 2 回、震度 3 : 6 回、震度 2 : 13 回、震度 1 : 46 回)
7 月	115	48	9	2	2	1				177	「平成 28 年 (2016 年) 熊本地震」の地震活動 (震度 5 弱: 1 回、震度 1 以上合計: 17 回) 長野県南部の地震活動 (震度 1 以上合計: 10 回) 1 日 胆振地方中東部 (震度 5 弱) 11 日 鹿児島湾 (震度 5 強) 地震活動 (震度 5 強: 1 回、震度 3 : 2 回、震度 1 : 18 回)
8 月	136	56	15	3						210	「平成 28 年 (2016 年) 熊本地震」の地震活動 (震度 1 以上合計: 19 回) 鹿児島湾の地震活動 (震度 1 以上合計: 21 回) 茨城県北部の地震活動 (震度 1 以上合計: 13 回)
9 月	118	52	13	4		1				188	「平成 28 年 (2016 年) 熊本地震」の地震活動 (震度 1 以上合計: 20 回) 8 日 秋田県内陸南部 (震度 5 強) 地震活動 (震度 5 強: 1 回、震度 4 : 1 回、震度 3 : 2 回、震度 2 : 12 回、震度 1 : 33 回)
10 月	92	41	9		1					143	「平成 28 年 (2016 年) 熊本地震」の地震活動 (震度 1 以上合計: 22 回) 6 日 福島県沖 (震度 5 弱) 福島県中通りから茨城県北部にかけての地震活動 (震度 1 以上合計: 13 回)
11 月	95	34	11	4						144	「平成 28 年 (2016 年) 熊本地震」の地震活動 (震度 1 以上合計: 15 回) 鹿児島湾の地震活動 (震度 1 以上合計: 10 回)
12 月	96	34	9	3						142	「平成 28 年 (2016 年) 熊本地震」の地震活動 (震度 1 以上合計: 14 回)
平成 29 年計	1324	519	142	32	4	4	0	0	0	2025	
過去 1 年計	1324	519	142	32	4	4	0	0	0	2025	(平成 29 年 1 月～平成 29 年 12 月)

注) 「記事」の欄には主に震度 5 弱以上を観測した地震、または震度 1 以上を 10 回以上観測した地震活動について記載した。

付録 3. 日本及びその周辺におけるマグニチュード (M) 別の月別地震回数 <平成29年（2017年）1月～平成29年（2017年）12月>

	M3.0 ～ M3.9	M4.0 ～ M4.9	M5.0 ～ M5.9	M6.0 ～ M6.9	M7.0 以上	計 M3.0 以上	計 M4.0 以上	記事
平成29年（2017年）								
1月	413	66	10			489	76	
2月	289	75	7			371	82	
3月	418	55	8			481	63	
4月	349	64	11			424	75	
5月	386	48	9	1		444	58	9日 宮古島近海 (M6.4)
6月	336	64	10			410	74	
7月	383	65	12	1		461	78	13日 日本海西部 (M6.3)
8月	371	54	8			433	62	
9月	388	63	13	3		467	79	8日 小笠原諸島西方沖 (M6.1) 21日 三陸沖 (M6.3) 27日 岩手県沖 (M6.1)
10月	415	76	7	1		499	84	6日 福島県沖 (M6.3)
11月	395	72	10	2		479	84	13日 三陸沖 (M6.0) 16日 八丈島東方沖 (M6.0)
12月	354	79	10	1		444	90	21日 鳥島近海 (M6.0)
平成29年計	4497	781	115	9	0	5402	905	
過去1年計	4497	781	115	9	0	5402	905	(平成29年1月～平成29年12月)

注) 日本及びその周辺：原則、北緯 20～49 度、東経 120～154 度の範囲。「記事」の欄には主に M6.0 以上の地震を記載した。

● 付録 4. 緊急地震速報の提供状況

平成 29 年 12 月に緊急地震速報（警報）を発表した回数は 1 回であった。また、緊急地震速報（予報）を発表した回数は 77 回であった。

平成 29 年 12 月に発表した緊急地震速報（警報）

地震発生日時	震央地名	マグニチュード (M)	最大震度	予想最大震度	警報発表までの経過時間 (秒)
平成 29 年 12 月 06 日 00 時 13 分	長野県中部	5.3	4	5 弱	5.5

※表中の「予想最大震度」は緊急地震速報（警報）で発表した予想震度の最大値、「警報発表までの経過時間（秒）」は地震検知から緊急地震速報（警報）第 1 報発表までの経過時間（秒）を示す。

平成 19 年 10 月～平成 29 年 12 月に発表した緊急地震速報の月別回数

年 \ 月	1 月	2 月	3 月	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	計
平成 19 年 (2007 年)										0 (48)	0 (33)	0 (39)	0 (120)
平成 20 年 (2008 年)	0 (35)	0 (41)	0 (48)	1 (42)	1 (70)	3 (75)	2 (63)	0 (47)	1 (58)	0 (46)	1 (40)	0 (57)	9 (622)
平成 21 年 (2009 年)	0 (44)	0 (39)	0 (34)	0 (34)	0 (24)	0 (54)	0 (36)	2 (65)	0 (47)	1 (44)	0 (39)	0 (47)	3 (507)
平成 22 年 (2010 年)	0 (53)	1 (44)	1 (50)	0 (36)	0 (27)	0 (35)	0 (47)	0 (51)	1 (40)	1 (50)	0 (40)	1 (34)	5 (507)
平成 23 年 (2011 年)	0 (50)	0 (74)	45 (1191)	26 (770)	5 (425)	5 (304)	5 (248)	3 (239)	4 (188)	1 (163)	2 (135)	1 (136)	97 (3923)
平成 24 年 (2012 年)	2 (149)	3 (141)	3 (142)	2 (128)	1 (129)	3 (118)	0 (102)	1 (107)	0 (70)	0 (109)	0 (77)	1 (134)	16 (1406)
平成 25 年 (2013 年)	0 (81)	2 (99)	0 (53)	3 (103)	0 (91)	0 (83)	0 (102)	2 (97)	1 (61)	0 (80)	0 (93)	1 (67)	9 (1010)
平成 26 年 (2014 年)	0 (70)	0 (70)	1 (68)	0 (62)	0 (53)	0 (57)	2 (97)	1 (96)	1 (68)	0 (84)	1 (87)	0 (75)	6 (887)
平成 27 年 (2015 年)	0 (67)	1 (88)	0 (90)	1 (77)	3 (71)	0 (84)	1 (74)	0 (88)	0 (81)	0 (92)	1 (86)	0 (75)	7 (973)
平成 28 年 (2016 年)	1 (76)	0 (71)	0 (65)	20 (228)	1 (101)	2 (89)	0 (95)	0 (71)	1 (80)	3 (92)	2 (124)	1 (86)	31 (1178)
平成 29 年 (2017 年)	0 (77)	0 (72)	0 (61)	0 (60)	0 (52)	1 (55)	1 (79)	1 (73)	2 (52)	1 (53)	0 (57)	1 (77)	7 (768)

※ 表中の数字は緊急地震速報（警報）の発表回数、() 内の数字は緊急地震速報（予報）の発表回数を示す。

緊急地震速報（警報及び予報）の提供には、気象庁の地震計の観測データに加え、国立研究開発法人防災科学技術研究所の地震観測データを利用している。

1. 平成 29 年 12 月 6 日 00 時 13 分 長野県中部の地震

発生した地震の概要（暫定値）

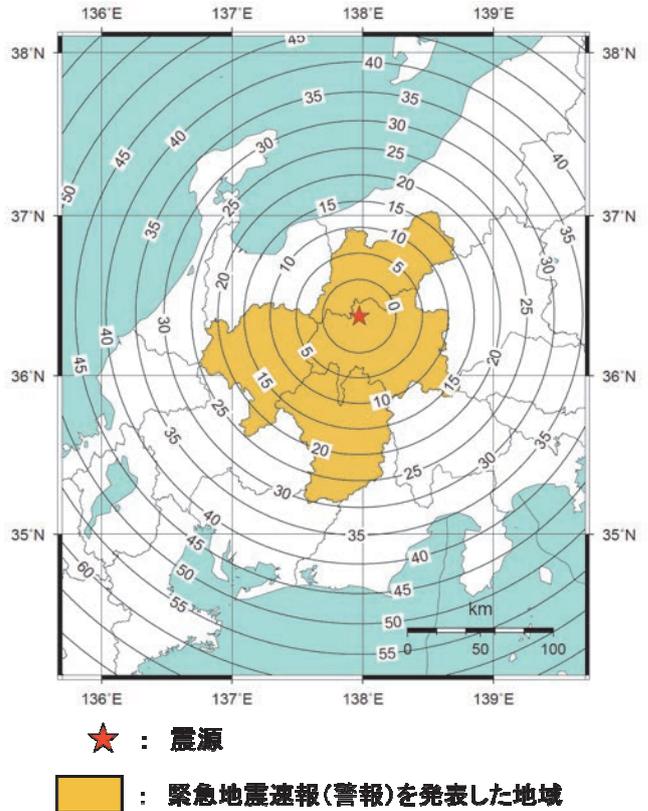
地震発生日時	震央地名	北緯	東経	深さ	M	最大震度
平成 29 年 12 月 06 日 00 時 13 分 49.3 秒	長野県中部	36° 22.6′	137° 58.3′	10km	5.3	4

緊急地震速報の詳細（緊急地震速報（警報）は背景が灰色の時に発表）

地震波検知時刻		00 時 13 分 52.0 秒 (長野坂井)						
提供時刻		経過 時間	震源要素					予測震度
			震央地名	北緯	東経	深さ	M	
第 1 報	00 時 13 分 56.4 秒	4.4	長野県中部	36.3	138.2	10km	5.8	※1
第 2 報	00 時 13 分 57.5 秒	5.5	長野県中部	36.4	138.0	10km	5.7	※2
第 3 報	00 時 14 分 00.2 秒	8.2	長野県中部	36.4	138.0	10km	5.3	※3
第 4 報	00 時 14 分 02.1 秒	10.1	長野県中部	36.4	138.0	10km	5.3	※3
第 5 報	00 時 14 分 03.4 秒	11.4	長野県中部	36.4	138.0	10km	5.5	※4
第 6 報	00 時 14 分 04.6 秒	12.6	長野県中部	36.4	138.0	10km	5.3	※3
第 7 報	00 時 14 分 10.8 秒	18.8	長野県中部	36.4	138.0	10km	5.2	※3
第 8 報	00 時 14 分 22.3 秒	30.3	長野県中部	36.4	138.0	10km	5.2	※3
第 9 報	00 時 14 分 40.6 秒	48.6	長野県中部	36.4	138.0	10km	5.2	※3

- ※1 震度 5 弱程度以上 長野県中部
震度 4 程度以上 長野県北部、長野県南部、群馬県南部
- ※2 震度 5 弱程度 長野県中部
震度 4 程度 長野県北部、岐阜県飛騨
震度 3 から 4 程度 長野県南部
- ※3 震度 4 程度 長野県中部、長野県北部
- ※4 震度 4 から 5 弱程度 長野県中部
震度 4 程度 長野県北部
震度 3 から 4 程度 岐阜県飛騨

警報第 1 報発表から主要動到達までの時間及び警報発表対象地域の分布図



● 付録 5. 長周期地震動階級 1 以上を観測した地震

平成 29 年 12 月に、長周期地震動階級[※] 1 以上を観測した地震の回数は 1 回であった。

平成 25 年 3 月～平成 29 年 12 月に長周期地震動階級 1 以上を観測した地震の月別回数
（平成 25 年 3 月 28 日の長周期地震動に関する観測情報（試行）^{※※}の提供開始以降）

年 \ 月	1 月	2 月	3 月	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	計
平成 25 年 (2013 年)			1	4	1	0	0	1	1	1	1	1	11
平成 26 年 (2014 年)	0	1	1	0	1	1	3	0	1	1	1	0	10
平成 27 年 (2015 年)	0	3	0	1	2	0	2	0	0	0	1	0	9
平成 28 年 (2016 年)	1	0	0	13	1	1	0	2	0	2	4	1	25
平成 29 年 (2017 年)	1	2	0	0	0	1	2	0	1	1	0	1	9

長周期地震動階級関連解説表

長周期地震動階級	人の体感・行動	室内の状況	備考
長周期地震動階級 1	室内にいたほとんどの人が揺れを感じる。驚く人もいる。	ブラインドなど吊り下げものが大きく揺れる。	—
長周期地震動階級 2	室内で大きな揺れを感じ、物に掴まりたいと感じる。物につかまらなると歩くことが難しいなど、行動に支障を感じる。	キャスター付き什器がわずかに動く。棚にある食器類、書棚の本が落ちることがある。	—
長周期地震動階級 3	立っていることが困難になる。	キャスター付き什器が大きく動く。固定していない家具が移動することがあり、不安定なものは倒れることがある。	間仕切壁などにひび割れ・亀裂が入ることがある。
長周期地震動階級 4	立っていることができず、はわないと動くことができない。揺れにほんろうされる。	キャスター付き什器が大きく動き、転倒するものがある。固定していない家具の大半が移動し、倒れるものもある。	間仕切壁などにひび割れ・亀裂が多くなる。

※ 長周期地震動階級に関する詳細は、本誌「付録 10. 長周期地震動階級関連解説表」を参照。

※※ 長周期地震動に関する観測情報（試行）に関する詳細は、地震・火山月報（防災編）平成 25 年 4 月号「特集 3. 長周期地震動に関する観測情報（試行）について」を参照。

1. 平成 29 年 12 月 6 日 00 時 13 分 長野県中部の地震

長周期地震動階級 1 以上を観測した地域・観測点

2017 年 12 月 6 日 00 時 13 分 長野県中部 北緯 36 度 22.6 分 東経 137 度 58.3 分 深さ 10km M5.3			
都道府県	地域	地点	長周期地震動階級
長野県	長野県中部	上田市上田古戦場公園	1
長野県	長野県中部	諏訪市湖岸通り	1

長周期地震動階級 1 以上が観測された地域



長周期地震動階級の凡例: ■ 階級1 ■ 階級2 ■ 階級3 ■ 階級4

● 平成 29 年 (2017 年) の日本の地震活動	91
● 平成 29 年 (2017 年) 1 月から 10 月の東海地域の地震活動	105
● 平成 29 年 (2017 年) 11 月から 12 月の南海トラフ沿いの地震活動	107
● 平成 29 年 (2017 年) の日本及びその周辺で発生した主な地震	109
● 平成 29 年 (2017 年) の都道府県別の震度観測回数表	112
● 平成 29 年 (2017 年) の観測点別の震度観測回数表	113
● 平成 29 年 (2017 年) に主な観測点で震度 1 以上を観測した回数分布	120
● 過去 10 年間 (2008 年～2017 年) の最大震度別の月別地震回数	121
● 平成 29 年 (2017 年) の緊急地震速報の提供状況	122
● 平成 29 年 (2017 年) に長周期地震動階級 1 以上を観測した地震	123
● 平成 29 年 (2017 年) の日本の主な火山活動	124
● 平成 29 年 (2017 年) の世界の主な地震活動	137
● 平成 29 年 (2017 年) の世界の主な火山活動	139

●平成 29 年 (2017 年) の日本の地震活動

[概況]

2017 年に国内で被害を伴った地震は 5 回 (2016 年は 7*回) 発生した (被害状況は、総務省消防庁による。以下同様)。

死者・行方不明者を伴った地震は、なかった (2016 年は 1*回)。

震度 1 以上を観測した地震は 2,025 回 (2016 年は 6,587 回) で、最大震度 4 以上を観測した地震は 40 回 (2016 年は 192 回)、最大震度 5 弱以上を観測した地震は 8 回 (2016 年は 33 回) であった。2017 年中に観測した最大の震度は 5 強で、図 1 中の矢印で示した 4 つの地震であった。震度 6 弱以上を観測する地震はなかった。

M6.0 以上の地震は 9 回 (2016 年は 27 回) 発生した。過去 92 年間の地震回数中央値が 16 回で、2017 年の地震回数が過去の地震回数の下位 10% に相当することから発生回数はかなり少なかったといえる (図 4)。M7.0 以上の地震はなかった。これは 1997 年以来で、20 年ぶりであった。2017 年中で最大規模の地震は、5 月 9 日に発生した宮古島近海の地震 (M6.4) であった (図 2)。

日本で津波を観測した地震 (海外で発生した地震を含む) はなかった (2016 年は 2 回)。1 年間に 1 回も津波を観測しなかったのは 1988 年以来で、29 年ぶりであった (図 4)。また、津波注意報、警報の発表はなかった。これは 2000 年以来で、17 年ぶりであった。

* 2016 年 4 月 14 日以降に、熊本県から大分県にかけて発生した一連の地震活動 (「平成 28 年 (2016 年) 熊本地震」) により生じた被害については 1 回として扱った。

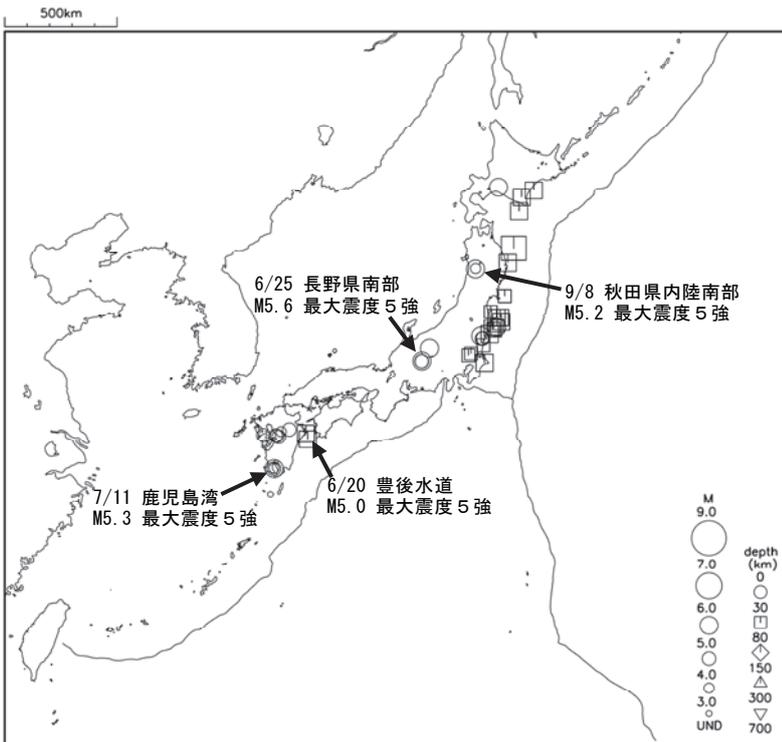


図 1 平成 29 年 (2017 年) に最大震度 4 以上を観測した地震の震央分布図
最大震度 5 強以上を観測した地震に矢印をつけた



図 2 平成 29 年 (2017 年) に発生した M6.0 以上の地震の震央分布図
2017 年中で最大規模の地震に矢印をつけた

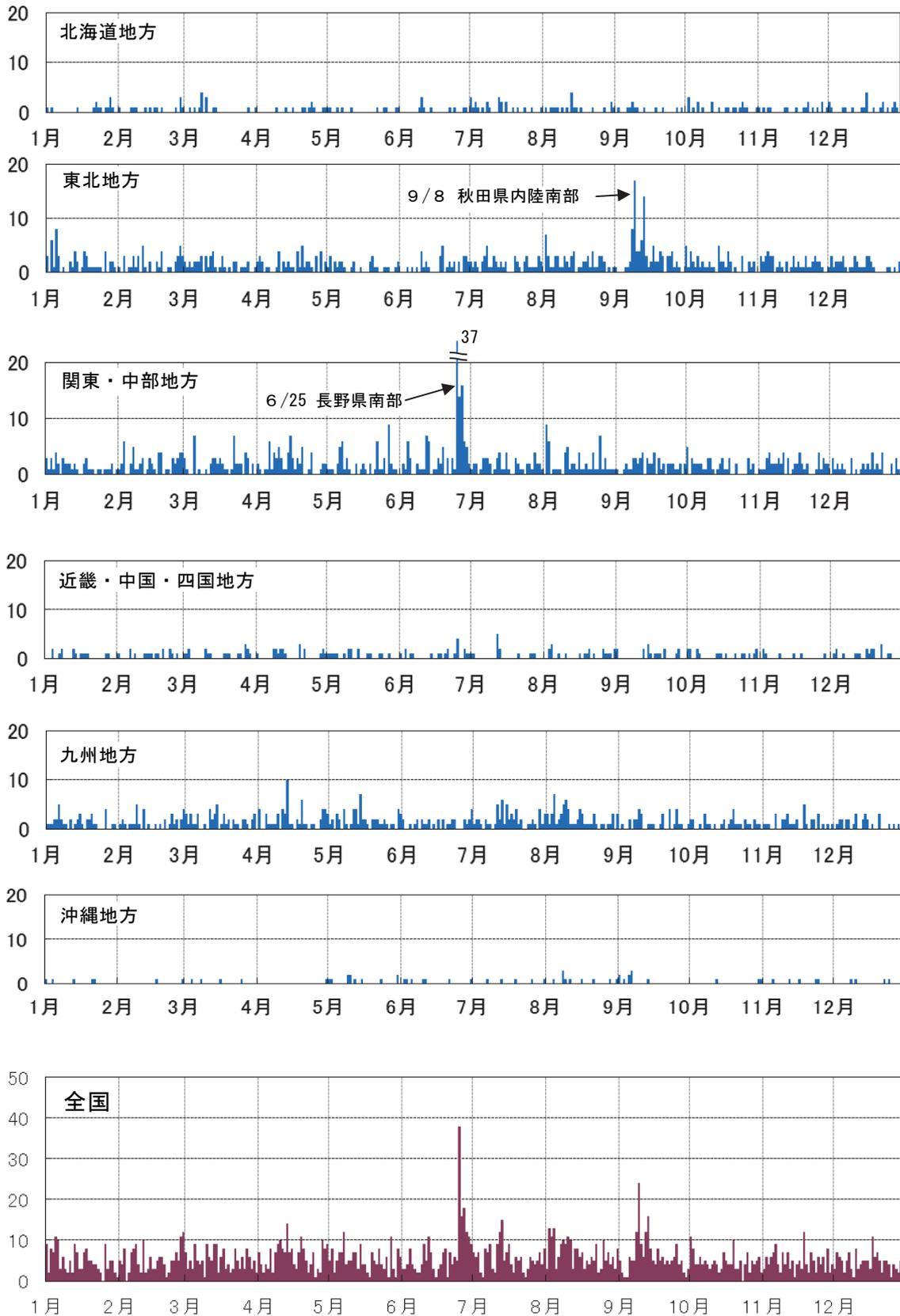


図3 平成 29 年（2017 年）に震度 1 以上を観測した日別回数（全国及び各地方別）

6つの地方（北海道地方、東北地方、関東・中部地方（三重県を含む）、近畿・中国・四国地方、九州地方及び沖縄地方）に分割した。

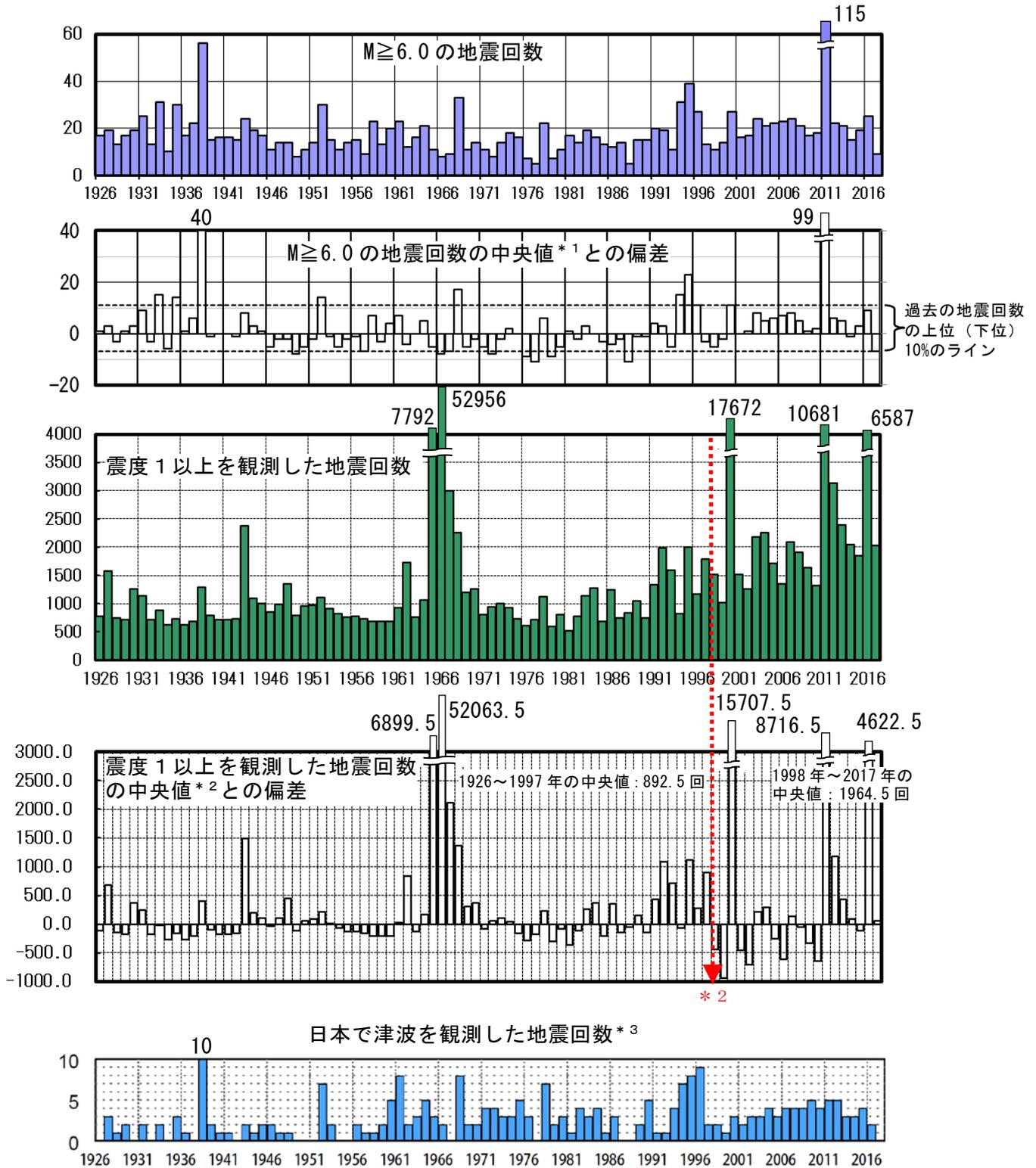


図 4 全国の $M \geq 6.0$ 、震度 1 以上及び津波を観測した年別地震回数 (1926-2017 年)

- * 1 $M \geq 6.0$ の過去 92 年間 (1926~2017 年) の中央値は 16 回/年であった。
- * 2 震度 1 以上を観測した地震の回数と比較するにあたっては、近年、震度観測点が増えたことを考慮する必要がある。ここでは、地方公共団体の震度計のデータを活用開始した時期 (1997 年 11 月) を考慮し、1998 年を区切りとして、その前後で各々中央値を求めて比較した。なお、中央値からの偏差が大きい 1965~1967 年には松代群発地震、2000 年には新島・神津島の地震活動、2011 年には「平成 23 年 (2011 年) 東北地方太平洋沖地震」、2016 年には「平成 28 年 (2016 年) 熊本地震」が発生している。
- * 3 海外で発生した地震を含む。また、過去の津波を観測した地震回数については、津波の観測点数や観測手法等が異なるため、一概に比較することができないことを考慮する必要がある。

○北海道地方の地震活動

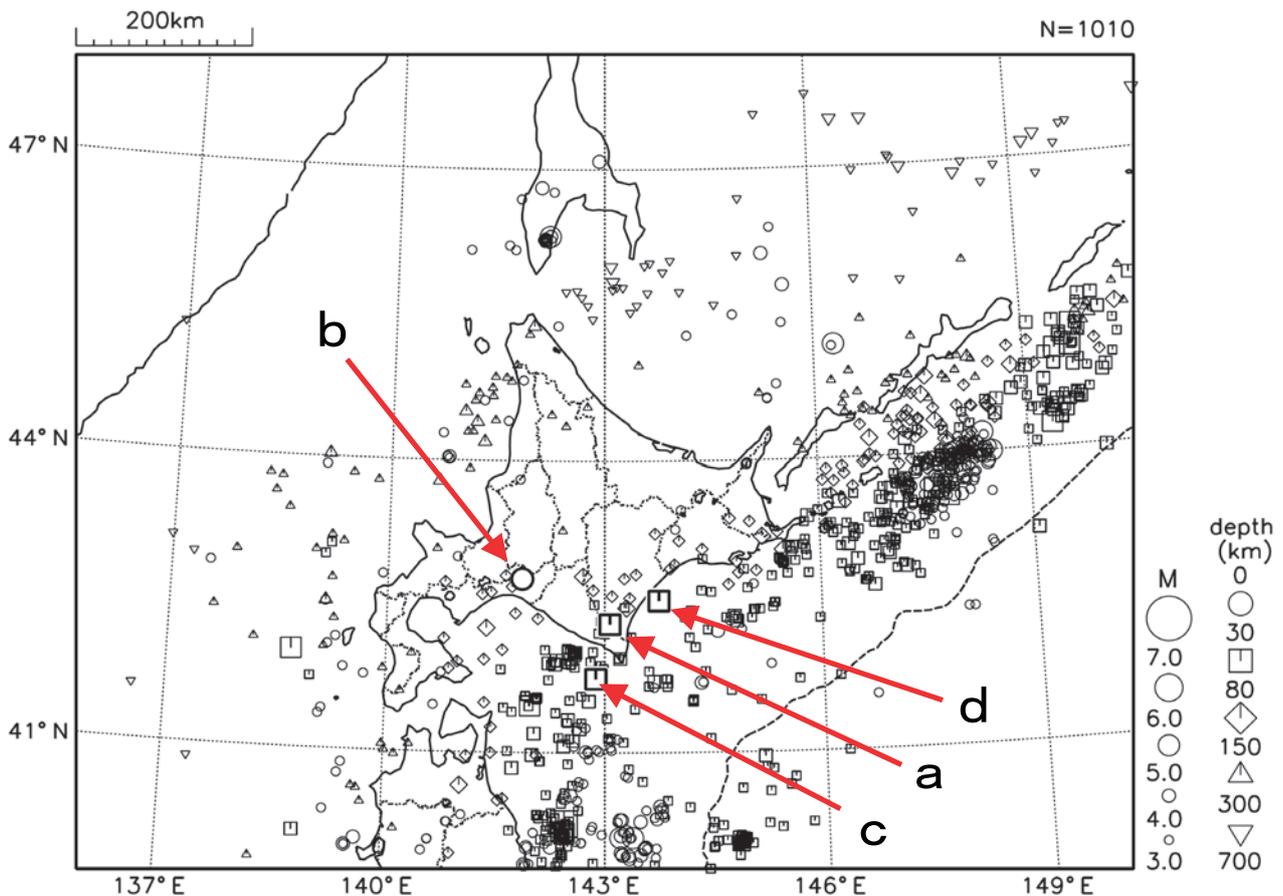


図5 北海道地方の震央分布図 (2017年1月1日~12月31日、 $M \geq 3.0$)

[概況]

2017年に北海道地方で震度4以上を観測した地震は4回(2016年は6回)であった。2017年中の主な地震活動は次のとおりである。

4月30日23時42分に十勝地方南部の深さ53kmでM5.4の地震(図5中のa)が発生し、北海道浦河町、様似町、大樹町で震度4を観測したほか、北海道から青森県と岩手県にかけて震度3~1を観測した。この地震は、太平洋プレートと陸のプレートの境界で発生した。

7月1日23時45分に胆振地方中東部の深さ27kmでM5.1の地震(図5中のb)が発生し、北海道安平町で震度5弱を観測したほか、北海道から青森県にかけて震度4~1を観測した。この地震は、地殻内で発生した。この地震により、重傷者1人の被害が生じた。

9月10日17時44分に浦河沖の深さ43kmでM5.6の地震(図5中のc)が発生し、北海道浦河町、新冠町で震度4を観測したほか、北海道から宮城県にかけて震度3~1を観測した。この地震は、太平洋プレートと陸のプレートの境界で発生した。

11月3日12時45分に十勝沖の深さ66kmでM5.0(図5中のd)の地震が発生し、北海道浦幌町で震度4を観測したほか、北海道から青森県と岩手県にかけて震度3~1を観測した。この地震は、太平洋プレート内部で発生した。

○東北地方の地震活動

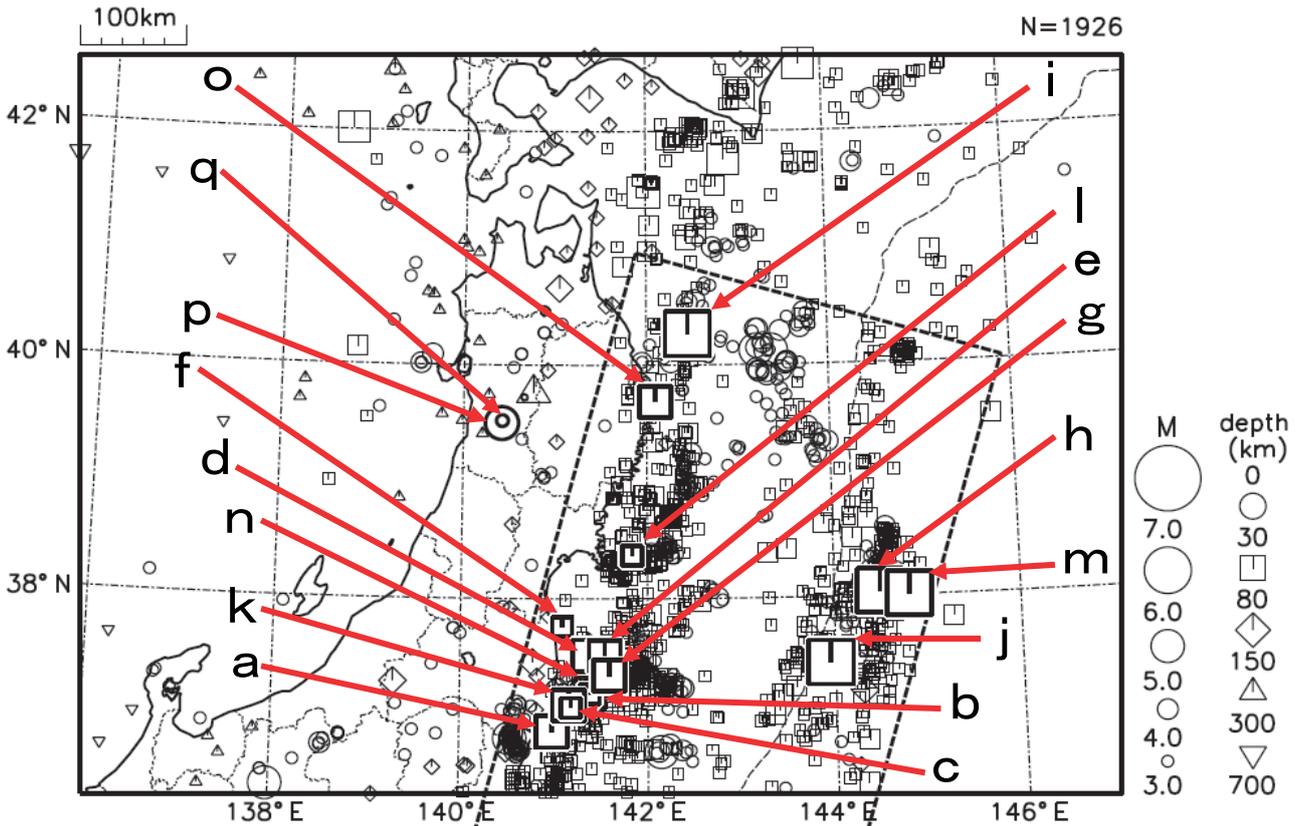


図6 東北地方の震央分布図（2017年1月1日～12月31日 M \geq 3.0）
「平成23年（2011年）東北地方太平洋沖地震」の余震域を太い点線で示す。

[概況]

2017年に東北地方で震度4以上を観測した地震は15回（2016年も15回）であった。
2017年中の主な地震活動は次のとおりである。

・「平成23年（2011年）東北地方太平洋沖地震」の余震域内で発生した主な地震活動

1月5日00時43分に福島県沖の深さ56kmでM5.3の地震（図6中のa）が発生し、福島県いわき市、白河市、茨城県水戸市、日立市などで震度4を観測したほか、東北地方から中部地方にかけて震度3～1を観測した。この地震は、太平洋プレートと陸のプレートの境界付近で発生した。

1月5日02時53分に福島県沖でM5.6の地震（図6中のb）が発生し、福島県いわき市、郡山市、茨城県日立市、高萩市で震度4を観測したほか、東北地方から中部地方にかけて震度3～1を観測した。この地震は、陸のプレートの地殻内で発生した。

2月27日00時03分に福島県沖の深さ50kmでM4.9の地震（図6中のc）が発生し、福島県いわき市、川内村で震度4を観測したほか、東北地方から関東地方及び新潟県にかけて震度3～1を観測した。この地震は、太平洋プレートと陸のプレートの境界で発生した。

2月28日16時49分に福島県沖の深さ52kmでM5.7の地震（図6中のd）が発生し、福島県相馬市、南相馬市、楡葉町、双葉町、宮城県岩沼市で震度5弱を観測したほか、東北地方から中部地方にかけて震度4～1を観測した。この地震は、太平洋プレートと陸のプレートの境界で発生した。

3月12日04時57分に福島県沖の深さ46kmでM5.4の地震（図6中のe）が発生し、福島県田村市、浪江町で震度4を観測したほか、東北地方から中部地方にかけて震度3～1を観測した。この地震は、太平洋プレートと陸のプレートの境界で発生した。

7月7日21時48分に福島県沖の深さ66kmでM4.9の地震（図6中のf）が発生し、福島県田村市、相馬市、南相馬市、新地町、飯舘村で震度4を観測したほか、東北地方から関東地方にかけて震度3～1を観測した。この地震は、太平洋プレート内部で発生した。

7月20日09時11分に福島県沖の深さ46kmでM5.8の地震（図6中のg）が発生し、宮城県石巻市、福島県いわき市、広野町、楡葉町、富岡町、双葉町で震度4を観測したほか、東北地方から中部地方にかけて震度3～1を観測した。この地震は、太平洋プレートと陸のプレートの境界で発生した。

9月21日01時37分に三陸沖の深さ18km（CMT解による）でM6.3の地震（図6中のh）が発生し、北海道から中部地方にかけて震度2～1を観測した。この地震は、日本海溝の東側の太平洋プレート内部で発生した。

9月27日05時22分に岩手県沖の深さ35kmでM6.1の地震（図6中のi）が発生し、青森県八戸市、階上町、岩手県盛岡市、普代村、野田村、宮城県登米市で震度4を観測したほか、北海道から中部地方にかけて震度3～1を観測した。この地震は、太平洋プレートと陸のプレートの境界で発生した。

10月6日16時59分に福島県沖の深さ13km（CMT解による）でM6.3の地震（図6中のj）が発生し、北海道から中部地方にかけて震度2～1を観測した。この地震は、日本海溝付近の太平洋プレート内部で発生した。

10月6日23時56分に福島県沖の深さ53kmでM5.9の地震（図6中のk）が発生し、福島県楡葉町と川内村で震度5弱を観測したほか、北海道から中部地方にかけて震度4～1を観測した。この地震により、軽傷者1人の被害が生じた。この地震は、太平洋プレートと陸のプレートの境界で発生した。

11月11日01時38分に宮城県沖の深さ59kmでM4.7の地震（図6中のl）が発生し、宮城県塩竈市で震度4を観測したほか、東北地方から茨城県にかけて震度3～1を観測した。この地震は、太平洋プレート内部で発生した。

11月13日07時24分に三陸沖の深さ11km（CMT解による）でM6.0の地震（図6中のm）が発生し、北海道から関東地方にかけて震度2～1を観測した。この地震は、日本海溝の海溝軸の東側の太平洋プレート内部で発生した。

11月17日10時02分に福島県沖の深さ48kmでM4.8の地震（図6中のn）が発生し、福島県楡葉町で震度4を観測したほか、東北地方から関東地方にかけて震度3～1を観測した。この地震は、太平洋プレートと陸のプレートの境界で発生した。

12月16日02時58分に岩手県沖の深さ52kmでM5.5の地震（図6中のo）が発生し、岩手県八幡平市、遠野市、野田村で震度4を観測したほか、北海道から関東地方にかけて震度3～1を観測した。この地震は、太平洋プレート内部で発生した。

・「平成23年（2011年）東北地方太平洋沖地震」の余震域外で発生した主な地震活動

9月8日22時23分に秋田県内陸南部の深さ9kmでM5.2の地震（図6中のp）が発生し、秋田県大仙市で震度5強を観測したほか、東北地方を中心に北海道から新潟県の一部で震度4～1を観測した。この地震により、秋田県大仙市で住家一部損壊4棟の被害が生じた。また、翌9日11時42分にもほぼ同じ場所でもM3.4の地震（図6中のq）が発生し、秋田県大仙市で震度4を観測したほか、秋田県の一部で震度2～1を観測した。これらの地震は、地殻内で発生した。

○関東・中部地方の地震活動

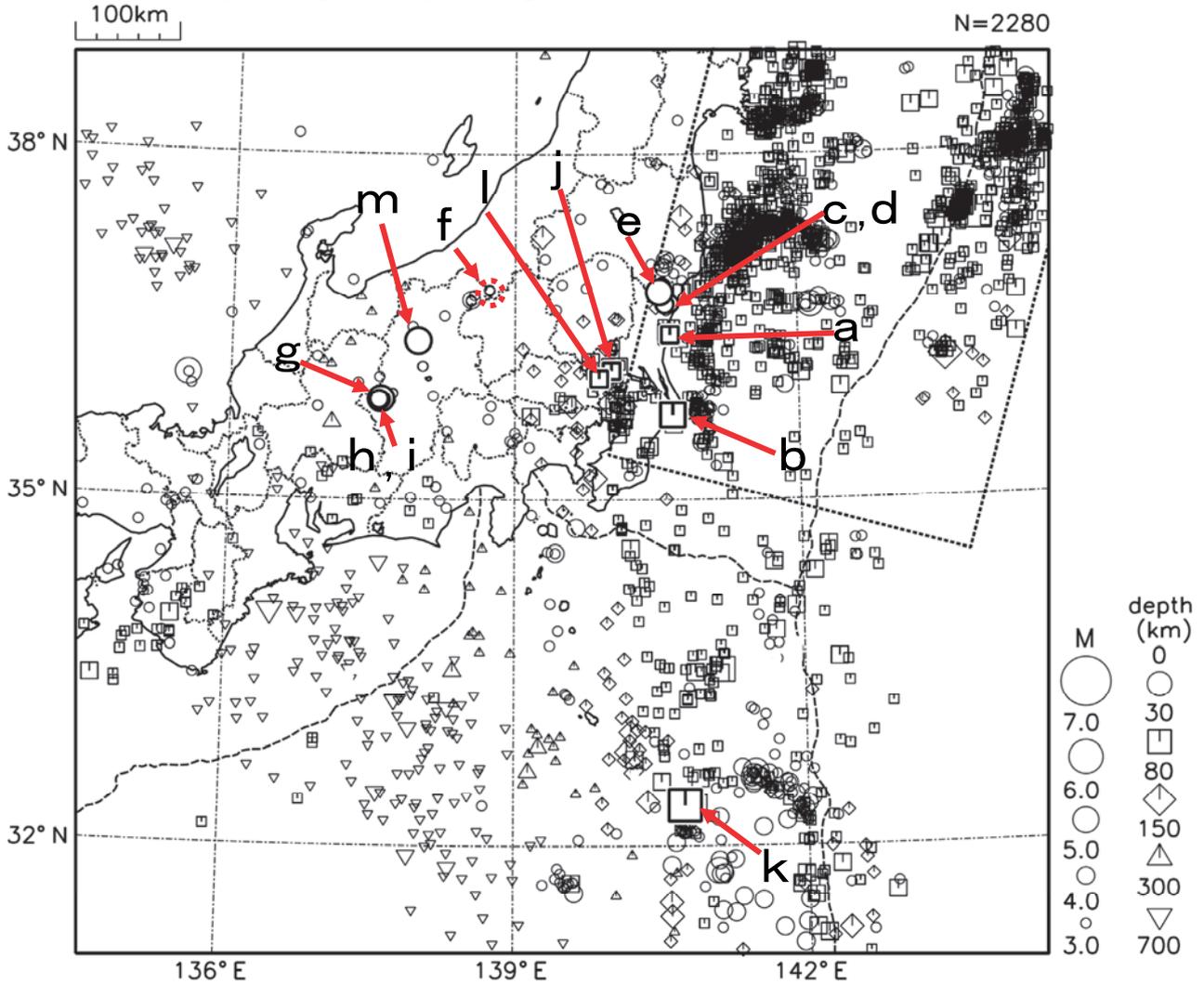


図7 関東・中部地方の震央分布図（2017年1月1日～12月31日、 $M \geq 3.0$ ）
「平成23年（2011年）東北地方太平洋沖地震」の余震域を太い点線で示す。

【概況】

2017年に関東・中部地方で震度4以上を観測した地震は14回（2016年は19回）であった。2017年中の主な地震活動は次のとおりである。

・「平成23年（2011年）東北地方太平洋沖地震」の余震域内で発生した主な地震活動

1月18日17時19分に茨城県沖の深さ53kmでM4.2の地震（図7中のa）が発生し、茨城県東海村で震度4を観測したほか、福島県と関東地方で震度3～1を観測した。この地震は、太平洋プレートと陸のプレートの境界で発生した。

2月19日18時19分に千葉県北東部の深さ52kmでM5.4の地震（図7中のb）が発生し、茨城県、千葉県で震度4を観測したほか、関東地方を中心に東北地方南部から中部地方にかけて震度3～1を観測した。この地震は、太平洋プレートとフィリピン海プレートの境界で発生した。

4月20日02時13分と04時46分に茨城県北部でそれぞれM4.5とM4.2の地震（図7中のc、d）が発生し、M4.5の地震では日立市、M4.2の地震では日立市、高萩市で震度4を観測したほか、いずれの地震も茨城県を中心に東北地方の一部から関東地方の一部にかけて震度3～1を観測した。これらの地震は、地殻内で発生した。

8月2日02時02分に茨城県北部の深さ9kmでM5.5の地震（図7中のe）が発生し、福島県、茨城県、栃木県、群馬県、埼玉県、千葉県で震度4を観測したほか、東北地方から関東甲信越地方及び静岡県で震度3～1を観測した。この地震は、地殻内で発生した。

・「平成 23 年（2011 年）東北地方太平洋沖地震」の余震域外で発生した主な地震活動

4 月 6 日から新潟県中越地方（図 7 中の領域 f）の地殻内で、地震活動がやや活発となり、4 月 30 日までに最大震度 1 以上を観測した地震が 10 回発生した。最大規模の地震は、4 月 14 日 23 時 01 分に発生した M3.9 の地震である。この地震により長野県栄村、新潟県上越市で震度 3 を観測したほか新潟県、長野県、群馬県で震度 2～1 を観測した。

6 月 25 日 07 時 02 分に長野県南部の深さ 7 km で M5.6 の地震（図 7 中の g）が発生し、長野県王滝村、木曾町で震度 5 強を観測したほか、中部地方を中心に関東・甲信越地方から中国・四国地方の一部にかけて震度 5 弱～1 を観測した。この地震は地殻内で発生した。この地震により軽傷 2 人の被害が生じた。この地震の発生後、同日 09 時 24 分に M4.5、15 時 17 分に M4.7 の地震が地殻内で発生し（図 7 中の h、i）、いずれも長野県で震度 4 を観測した。

8 月 2 日 07 時 15 分に茨城県南部の深さ 48 km で M4.6 の地震（図 7 中の j）が発生し、茨城県、栃木県、埼玉県、千葉県で震度 4 を観測したほか、東北地方南部から関東甲信地方及び静岡県で震度 3～1 を観測した。この地震は、フィリピン海プレートと陸のプレートの境界で発生した。

11 月 16 日 18 時 43 分に八丈島東方沖で M6.0 の地震（図 7 中の k）が発生し、東京都青ヶ島村で震度 3 を観測したほか、東北地方南部、関東地方、長野県及び静岡県で震度 2～1 を観測した。この地震は、太平洋プレート内部で発生した。

12 月 2 日 00 時 12 分に茨城県南部の深さ 43 km で M4.4 の地震（図 7 中の l）が発生し、栃木県真岡市、下野市で震度 4 を観測したほか、関東地方及び福島県、山梨県、静岡県で震度 3～1 を観測した。この地震は、フィリピン海プレートと陸のプレートの境界で発生した。

12 月 6 日 00 時 13 分に長野県中部の深さ 10 km で M5.3 の地震（図 7 中の m）が発生し、長野県で震度 4 を観測したほか、中部地方、関東地方及び滋賀県で震度 3～1 を観測した。この地震は、地殻内で発生した。

○近畿・中国・四国地方の地震活動

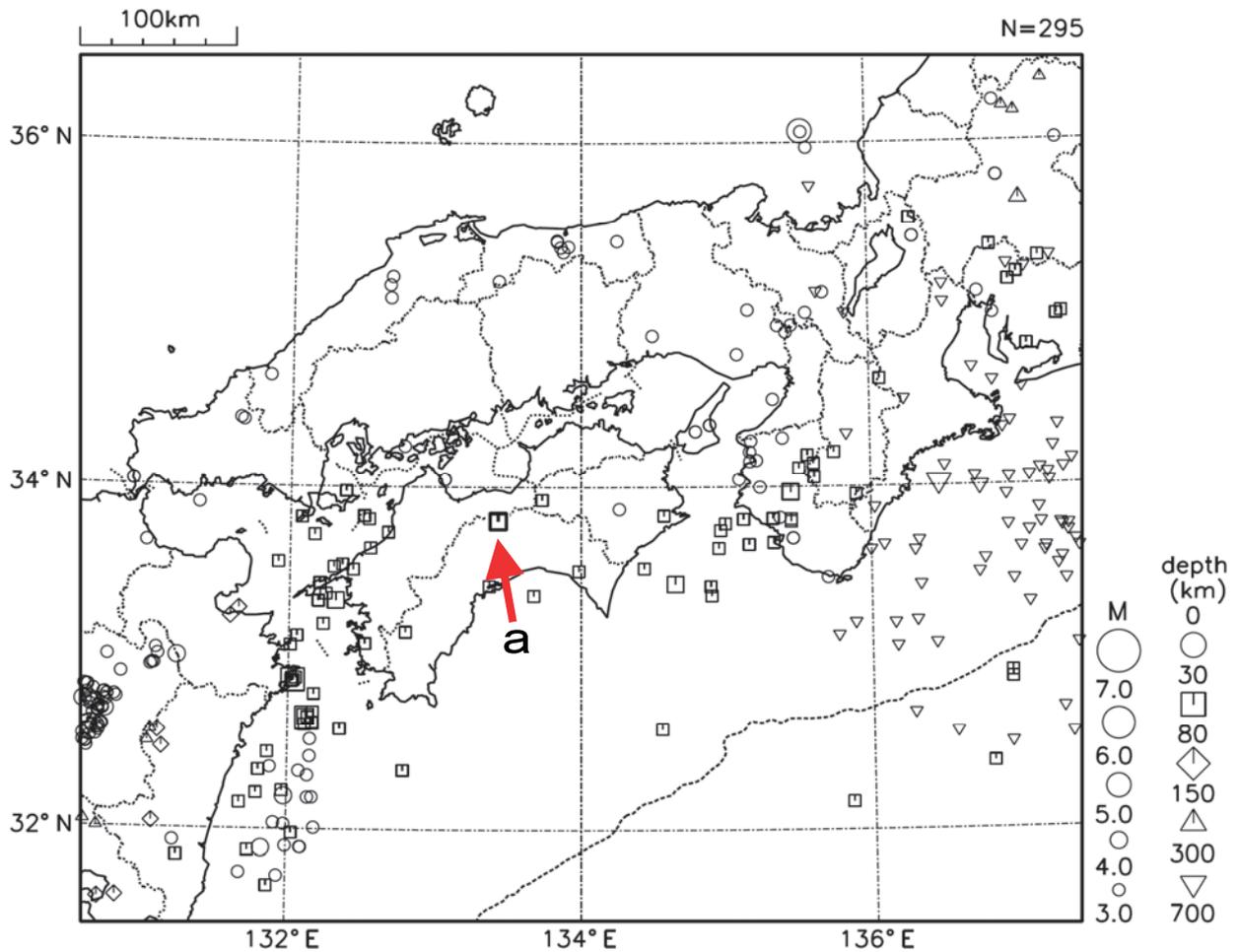


図 8 近畿・中国・四国地方の震央分布図 (2017 年 1 月 1 日~12 月 31 日、 $M \geq 3.0$)

[概況]

2017 年に近畿・中国・四国地方で震度 4 以上を観測した地震はなかった (2016 年は 15 回)。2017 年中の主な活動は次のとおりである。

6 月 14 日 19 時 24 分に高知県中部の深さ 38km で M4.5 の地震 (図 8 中の a) が発生し、広島県、徳島県、香川県、愛媛県、高知県で震度 3 を観測したほか、中国・四国地方及び兵庫県の一部で震度 2~1 を観測した。この地震は、フィリピン海プレート内部で発生した。

○九州地方の地震活動

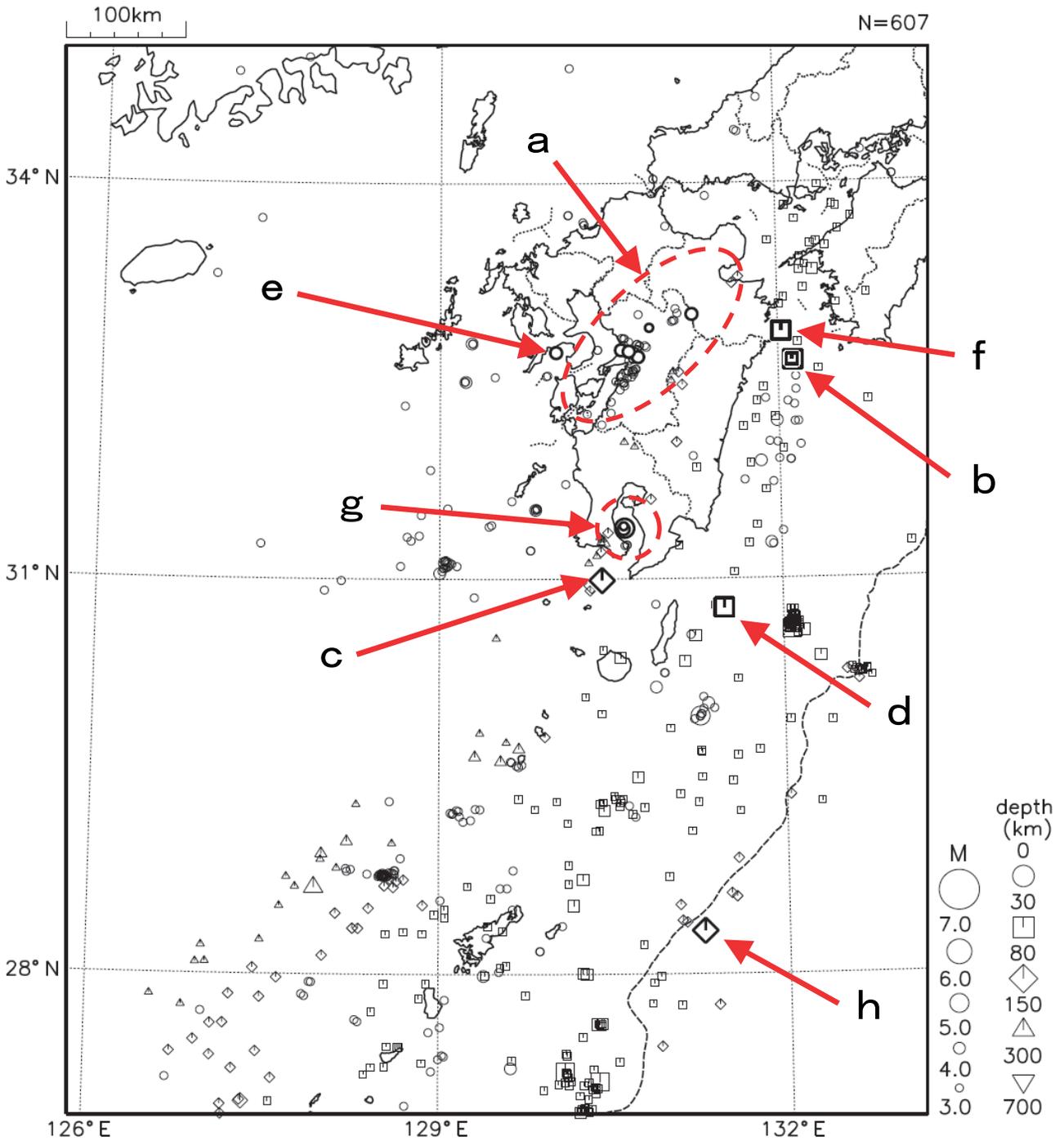


図9 九州地方の震央分布図（2017年1月1日～12月31日、M≥3.0）

〔概況〕

2017年に九州地方で震度4以上を観測した地震は11回（2016年は147回）であった。2017年中の主な地震活動は次のとおりである。

・「平成28年（2016年）熊本地震」の活動（図9中の領域a）

熊本県熊本地方及び阿蘇地方における「平成28年（2016年）熊本地震」の一連の地震活動は、全体として引き続き減衰しつつも継続している。大分県中部の活動は低下した。

一連の地震活動により、死者255人、住家全壊8,675棟などの被害が生じた（2017年12月14日現在）。

1月11日19時11分に熊本県熊本地方の深さ9kmでM3.4の地震が発生し、熊本県菊池市で震度4を観測したほか、熊本県、福岡県および大分県で震度3～1を観測した。

5月4日14時22分に熊本県熊本地方の深さ11kmでM4.1の地震が発生し、熊本県美里町で震度4を観測したほか、九州地方と山口県で震度3～1を観測した。

5月11日20時21分に有明海の深さ13kmでM4.4の地震が発生し、熊本県熊本市、上天草市で震度4を観測したほか、九州地方で震度3～1を観測した。

7月2日00時58分に熊本県阿蘇地方の深さ11kmでM4.5の地震が発生し、熊本県産山村で震度5弱を観測したほか、九州地方から中国・四国地方の一部にかけて震度4～1を観測した。

9月8日14時20分に熊本県熊本地方の深さ14kmでM4.1の地震が発生し、熊本県熊本市で震度4を観測したほか、九州地方で震度3～1を観測した。

これらの地震は、地殻内で発生した。

・「平成 28 年（2016 年）熊本地震」の活動域外で発生した主な地震

3月2日23時53分に日向灘の深さ37kmでM5.3の地震（図9中のb）が発生し、宮崎県、大分県、熊本県で震度4を観測したほか、九州地方から中国・四国地方にかけて震度3～1を観測した。また、ほぼ同じ場所で同日23時54分にM4.9の地震が発生した。これらの地震は、フィリピン海プレート内部で発生した。

3月12日03時48分に種子島近海の深さ136kmでM5.1の地震（図9中のc）が発生し、鹿児島県大崎町、錦江町、屋久島町（口永良部島）などで震度3を観測したほか、九州地方から四国地方にかけて震度2～1を観測した。この地震は、フィリピン海プレート内部で発生した。

4月29日21時32分に大隅半島東方沖でM5.6の地震（図9中のd）が発生し、宮崎県日南市、鹿児島県鹿児島市などで震度3を観測したほか、九州地方から四国地方の一部にかけて震度2～1を観測した。

6月9日23時36分に橘湾の深さ16kmでM4.3の地震（図9中のe）が発生し、長崎県諫早市で震度4を観測したほか、長崎県、佐賀県、福岡県などで震度3～1を観測した。この地震は、地殻内で発生した。

6月20日23時27分に豊後水道の深さ42kmでM5.0の地震（図9中のf）が発生し、大分県佐伯市で震度5強を観測したほか、九州地方から中国・四国地方にかけて震度4～1を観測した。この地震は、フィリピン海プレート内部で発生した。

鹿児島湾（図9中の領域g）では、2016年12月頃から地震活動がやや活発となり、2017年7月11日に深さ10kmでM5.3の地震が発生し、鹿児島県鹿児島市で震度5強を観測したほか、鹿児島県を中心として九州地方で震度5弱～1を観測した。この地震の発生以降、最大震度4を観測する地震が2回発生した。これらの地震は、地殻内で発生した。7月11日の地震により負傷者1人などの被害が生じた。

10月19日18時02分に奄美大島北東沖の深さ18km（CMT解による）でM5.6の地震（図9中のh）が発生し、鹿児島県の奄美市、喜界町で震度3を観測したほか、九州地方で震度2～1を観測した。この地震は、南西諸島海溝付近のフィリピン海プレート内部で発生した。

○沖縄地方の地震活動

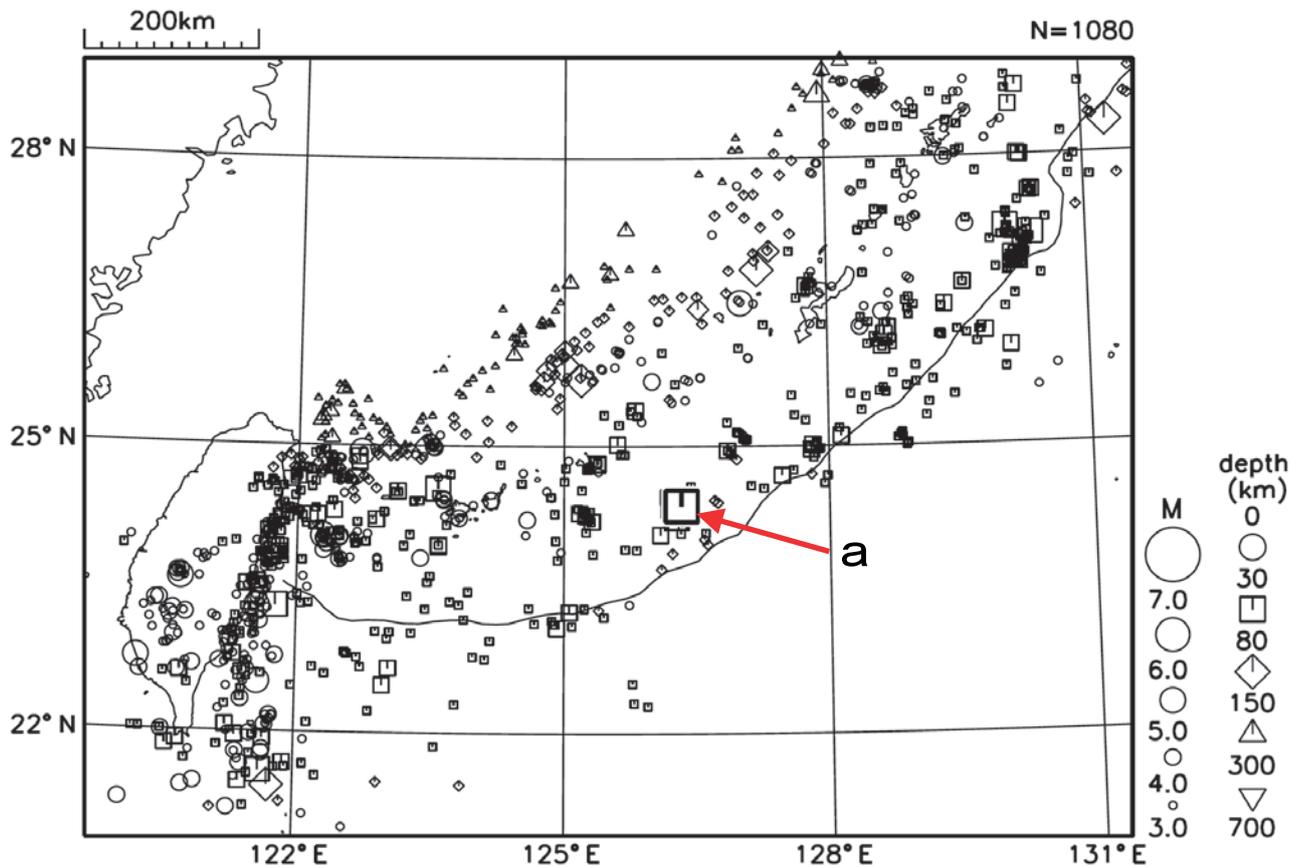


図 10 沖縄地方の震央分布図 (2017 年 1 月 1 日～12 月 31 日、 $M \geq 3.0$)

[概況]

2017 年に沖縄地方で震度 4 以上を観測した地震はなかった。
2017 年中の主な活動は次のとおりである。

5 月 9 日 10 時 54 分に宮古島近海の深さ 20km (CMT 解による) で $M6.4$ の地震 (図 10 中の a) が発生し、沖縄県宮古島市で震度 3 を観測したほか、座間味島から西表島にかけて震度 2 ～ 1 を観測した。

○その他の地域の地震活動

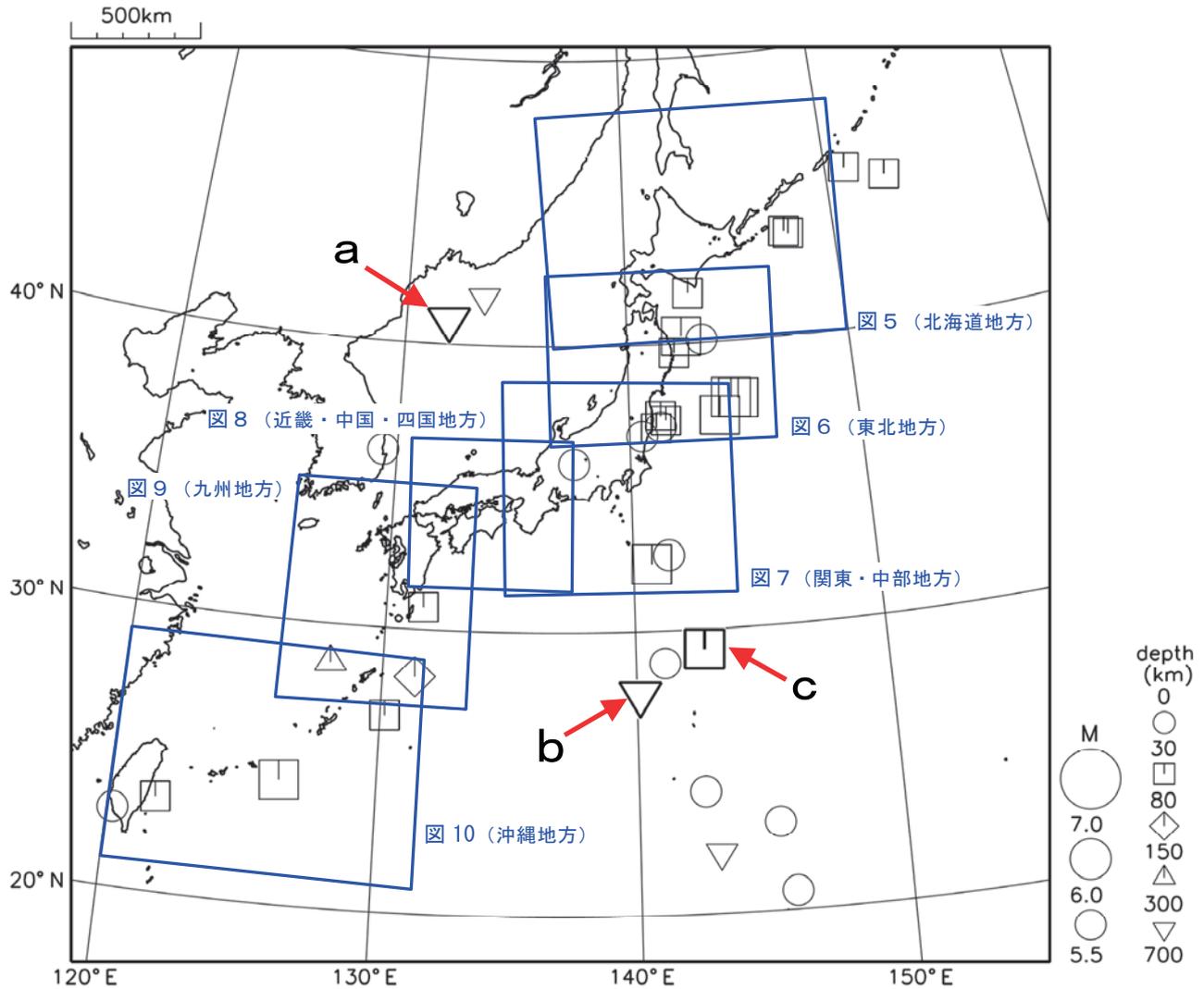


図 11 日本周辺で発生した主な地震の震央分布図（2017 年 1 月 1 日～12 月 31 日、 $M \geq 5.5$ ）

[概況]

2017 年に日本周辺で発生した $M6.0$ 以上の地震は 9 回（2016 年は 27 回）であった。2017 年中に図 5～10 の領域外で発生した主な活動は次のとおりである。

7 月 13 日 04 時 48 分に日本海西部の深さ 603 km で $M6.3$ の地震（図 11 中の a）が発生し、北海道、福島県及び埼玉県の一部で震度 1 を観測した。この地震は、太平洋プレート内部で発生した。

9 月 8 日 02 時 26 分に小笠原諸島西方沖の深さ 475 km で $M6.1$ の地震（図 11 中の b）が発生し、東京都小笠原村母島で震度 3、小笠原村父島で震度 2 を観測したほか、関東地方及び宮城県で震度 1 を観測した。この地震は、太平洋プレート内部で発生した。

12 月 21 日 12 時 00 分に鳥島近海の深さ 10 km（CMT 解による）で $M6.0$ の地震（図 11 中の c）が発生した。

○日本国内で津波を伴った地震

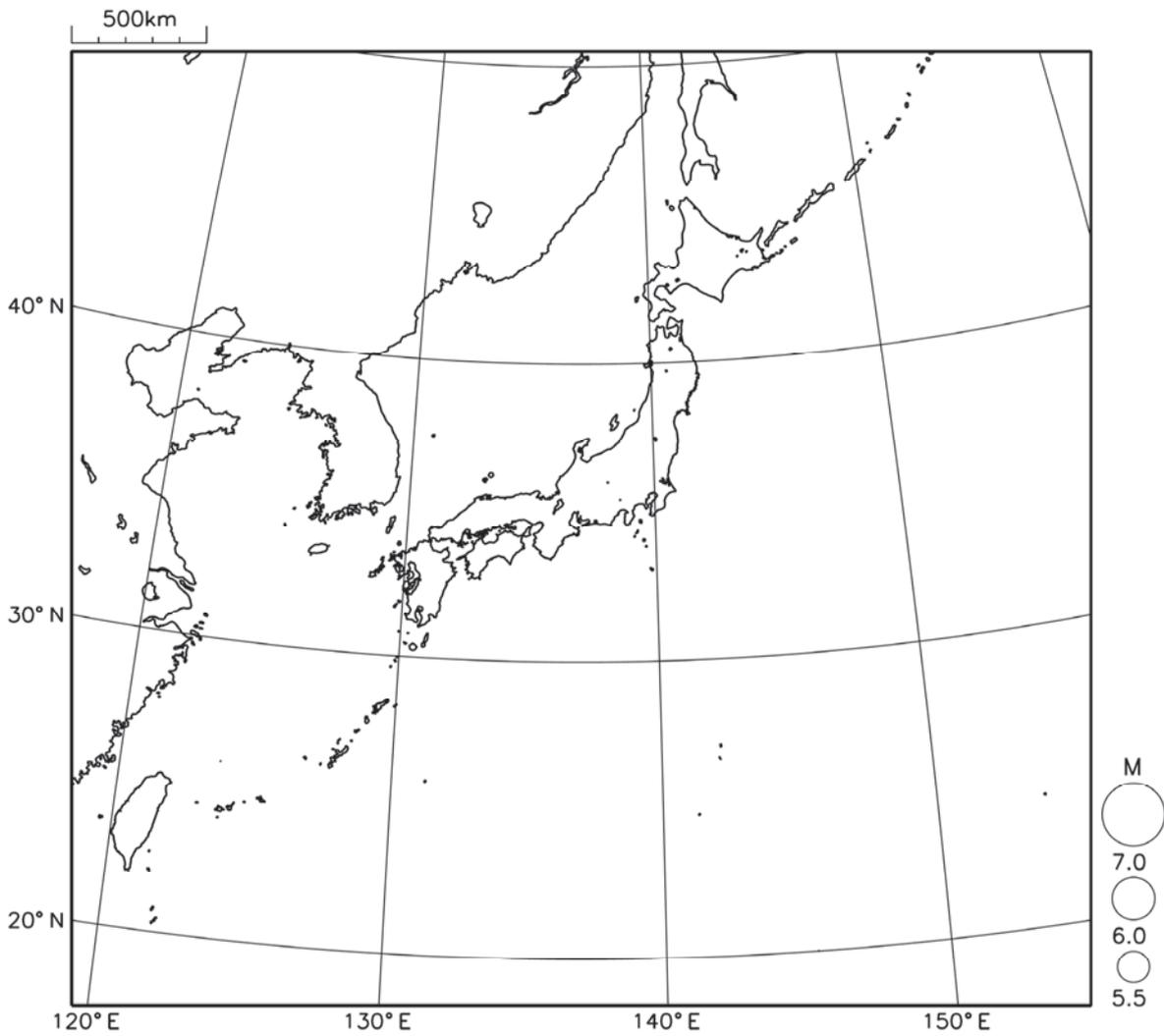


図 12 日本周辺で発生した津波を伴った地震の震央分布図 (2017 年 1 月 1 日~12 月 31 日、 $M \geq 5.5$)

[概況]

2017 年に日本国内で津波を伴った地震 (海外で発生した地震を含む) はなかった (2016 年は 2 回)。

●平成 29 年（2017 年）1 月から 10 月の東海地域の地震活動

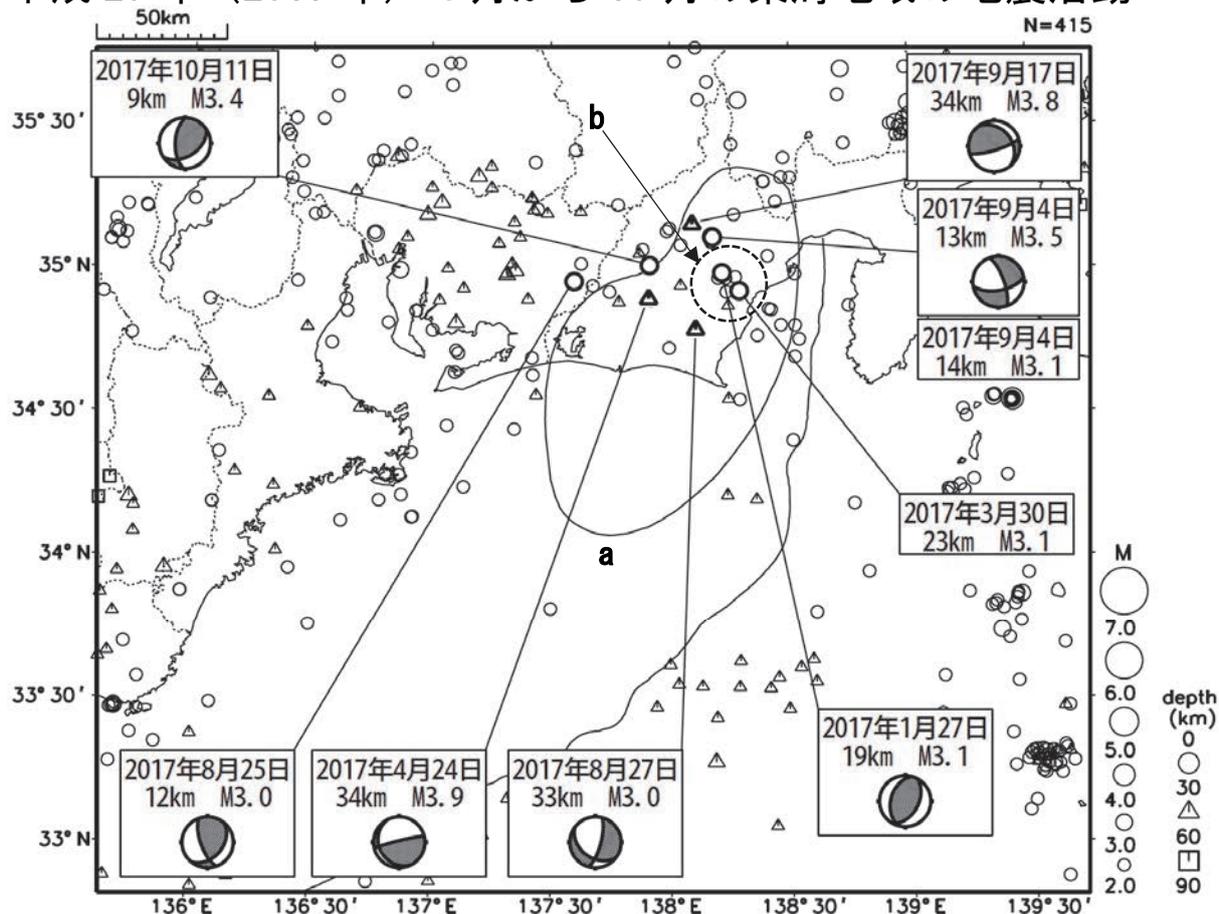


図 13 震央分布図（2017 年 1 月 1 日～10 月 31 日、深さ 0～90km、M \geq 2.0）、図中の領域 a は、東海地震の想定震源域）

※図中の吹き出しは、領域 a 内及びその周辺の M3.0 以上の地震もしくは最大震度 3 以上を観測した地震、それ以外の陸域 M5.0 以上・海域 M6.0 以上とその他の主な地震

○東海地震の想定震源域およびその周辺：

M3.0 以上の地震もしくは最大震度 3 以上を観測した地震及びその他の主な地震

月/日	時:分	震央地名	深さ (km)	M	最大震度	発生場所
1/27	12:35	静岡県中部	19	3.1	1	フィリピン海プレートと陸のプレートの境界付近
3/30	00:03	静岡県中部	23	3.1	1	フィリピン海プレート内部
4/24	22:58	静岡県西部	34	3.9	2	フィリピン海プレート内部
8/25	12:05	愛知県東部	12	3.0	2	地殻内
8/27	20:16	静岡県西部	33	3.0	1	フィリピン海プレート内部
9/4	07:38	静岡県中部	13	3.5	1	地殻内
9/4	07:38	静岡県中部	14	3.1	-	地殻内
9/17	04:12	静岡県中部	34	3.8	2	フィリピン海プレート内部
10/11	08:49	静岡県西部	9	3.4	2	地殻内

・ 5 月中旬頃から 8 月頃にかけて、静岡県中部（領域 b 内）のプレート境界付近で、M2 程度以下のまとまった地震活動が見られた。

○主な深部低周波地震（微動）活動

活動期間	活動領域（地域）
<u>2月13日～22日</u>	愛知県から長野県
<u>3月3日～8日</u>	和歌山県・奈良県・三重県
<u>3月29日～4月1日</u>	伊勢湾から愛知県
<u>4月20日～30日</u>	三重県から奈良県
<u>5月4日～8日</u>	三重県から伊勢湾
5月10日	三重県から伊勢湾、愛知県
<u>5月12日～13日</u>	三重県から伊勢湾
<u>5月17日～18日</u>	愛知県
5月17日	長野県
5月21日～23日	愛知県
6月7日	愛知県
6月23日	愛知県
<u>6月24日、27日～28日</u>	長野県
<u>8月5日～7日</u>	三重県から伊勢湾
8月16日	愛知県
<u>9月3日～5日</u>	奈良県から和歌山県
10月3日	愛知県

※深部低周波地震（微動）活動期間は特定の場所での一連の活動期間を記載する。

※深部低周波地震（微動）活動と同期してひずみ変化が観測された活動（期間）に下線を付している。

●平成 29 年（2017 年）11 月から 12 月の 南海トラフ沿いの地震活動

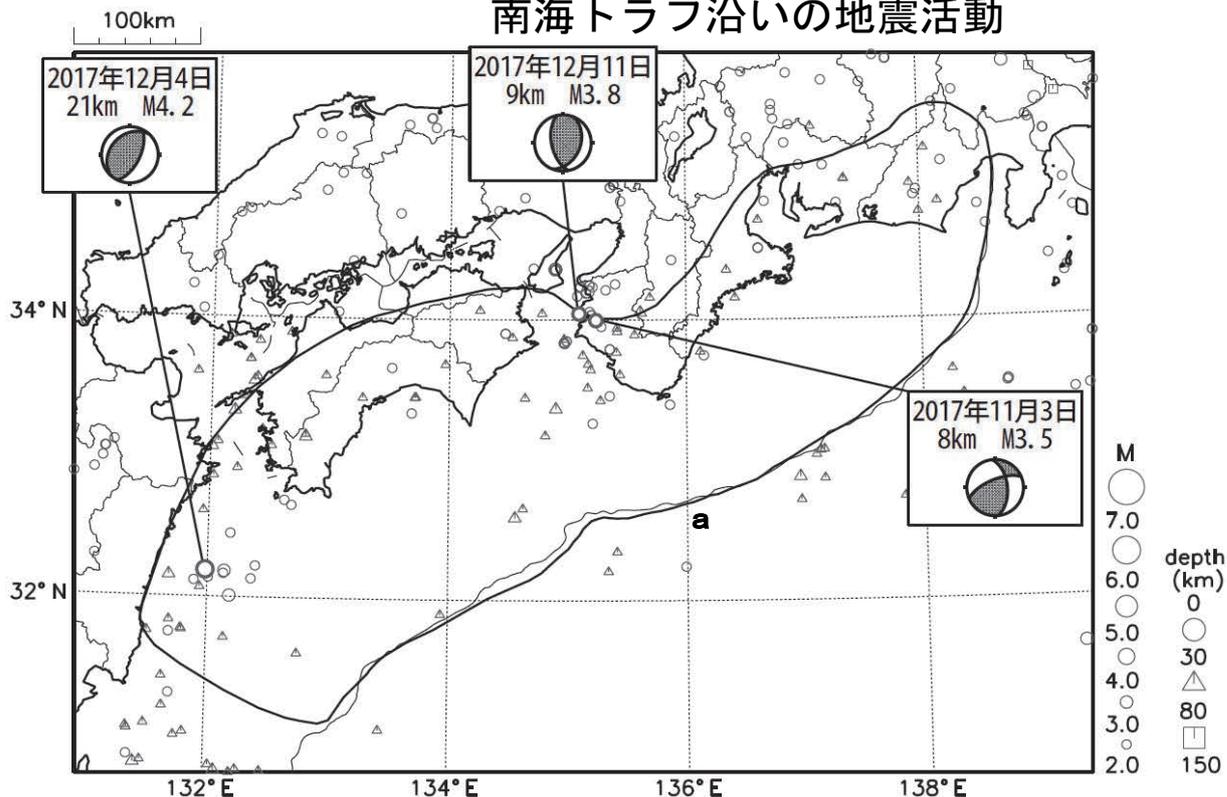


図 14 震央分布図（2017 年 11 月 1 日～12 月 31 日、深さ 0～150km、 $M \geq 2.0$ 、図中の領域 a は、南海トラフ巨大地震の想定震源域）

※図中の吹き出しは、領域 a 内の $M4.0$ 以上の地震もしくは最大震度 3 以上を観測した地震、それ以外の陸域 $M5.0$ 以上・海域 $M6.0$ 以上とその他の主な地震

○南海トラフ巨大地震の想定震源域およびその周辺：

M4.0 以上の地震もしくは最大震度 3 以上を観測した地震及びその他の主な地震

月/日	時:分	震央地名	深さ (km)	M	最大震度	発生場所
11/3	13:49	和歌山県北部	8	3.5	3	地殻内
12/4	16:54	日向灘	21	4.2	2	フィリピン海プレートと陸のプレートの境界
12/11	05:39	紀伊水道	9	3.8	3	地殻内

○主な深部低周波地震（微動）活動

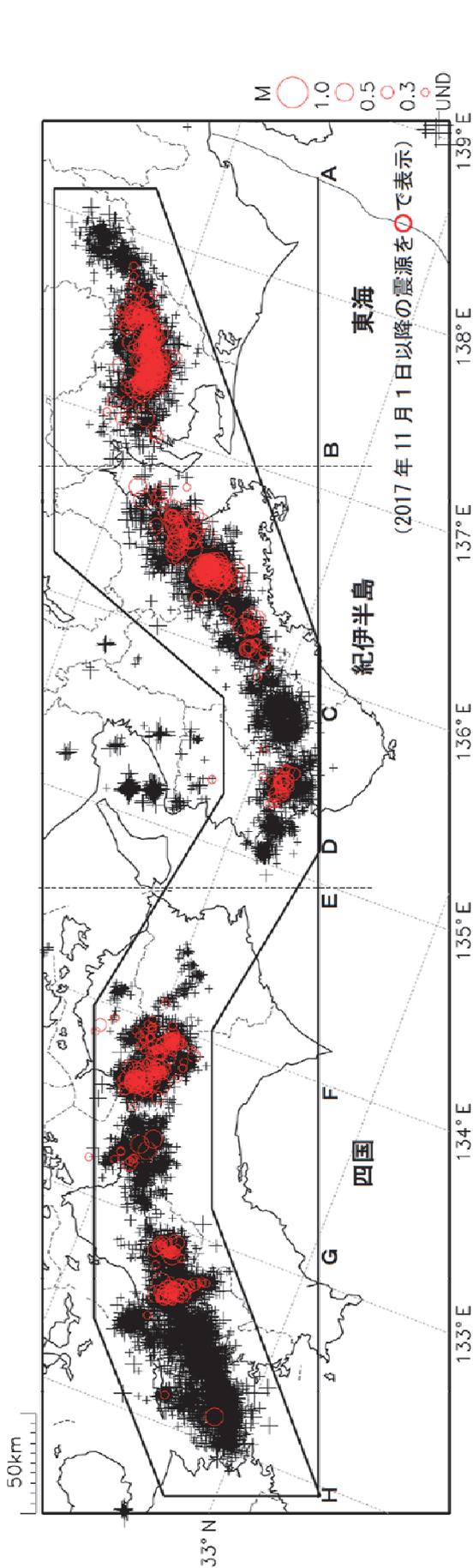
四国	紀伊半島	東海
11月26日～30日	<u>11月15日～23日</u>	<u>11月25日～12月5日</u>

※深部低周波地震（微動）活動期間は特定の場所での一連の活動期間を記載する。

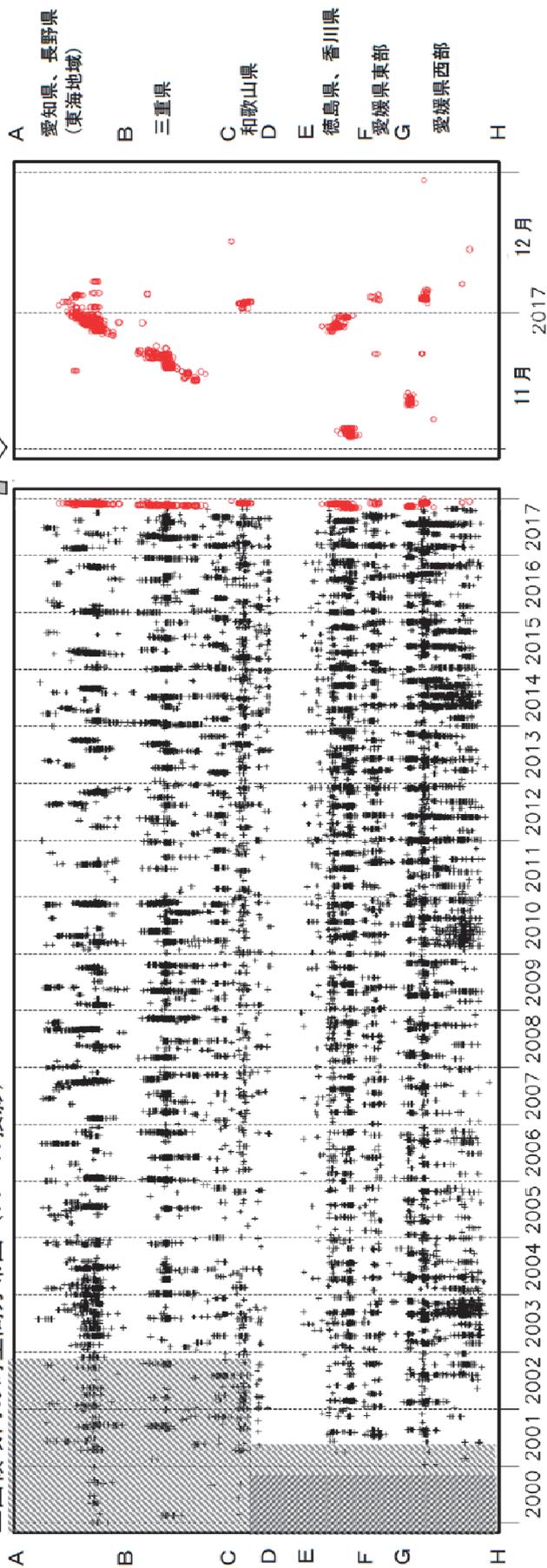
※深部低周波地震（微動）活動と同期してひずみ変化が観測された活動（期間）に下線を付している。

※深部低周波地震（微動）活動の地域は、次頁で示している。

深部低周波地震活動 (2000 年 1 月 1 日 ~ 2017 年 12 月 31 日)
 深部低周波地震は、「短期的ゆっくりすべり」に密接に関連する現象とみられており、プレート境界の状態の変化を監視するために、その活動を監視している。

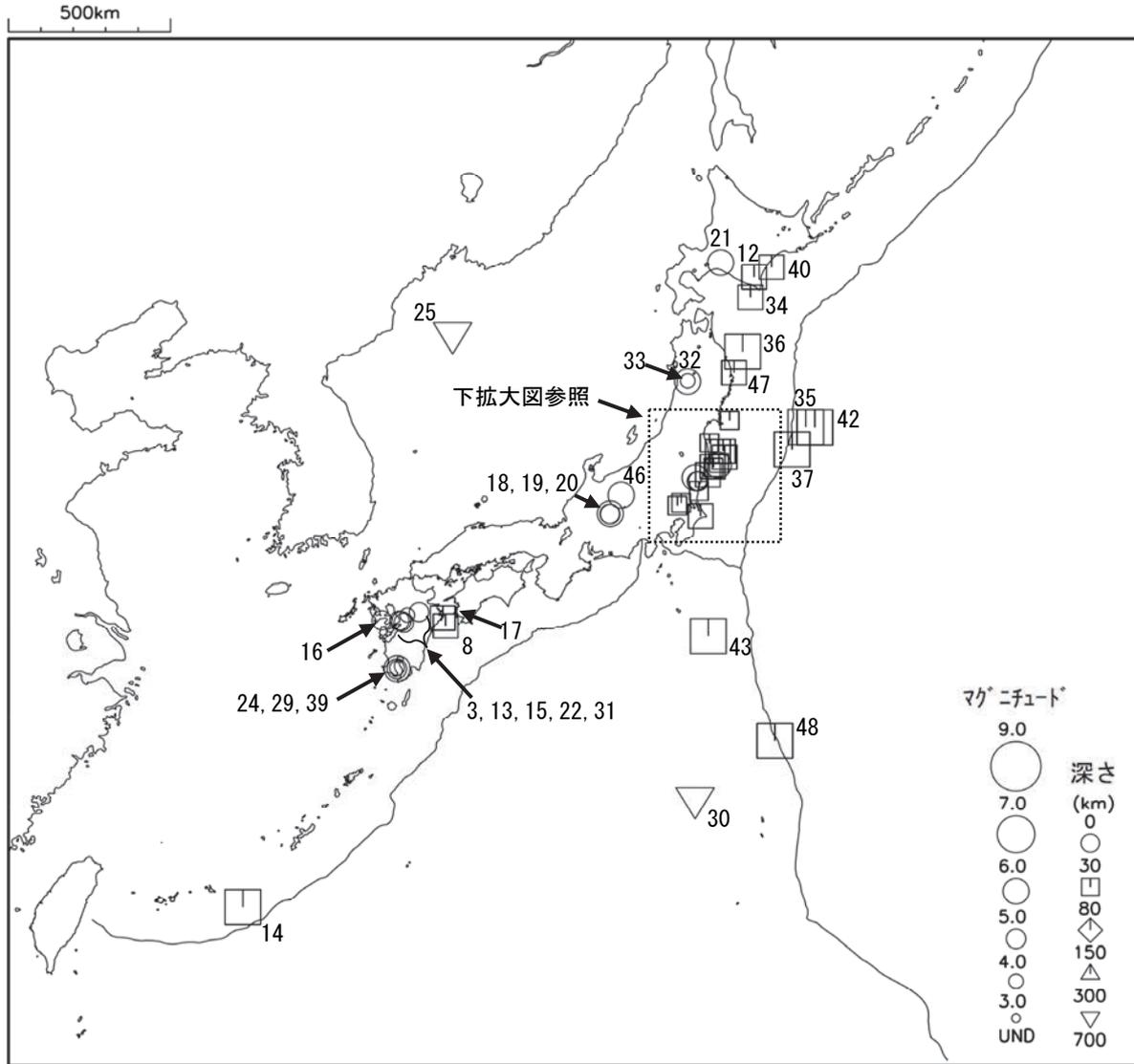


上図領域内の時空間分布図 (A-H 投影)



気象庁作成

●平成 29 年（2017 年）の日本及びその周辺で発生した主な地震



掲載基準

- ・「マグニチュード 6.0 以上」
- ・「被害を伴った」
- ・「震度 4 以上を観測した」
- ・「津波を観測した」

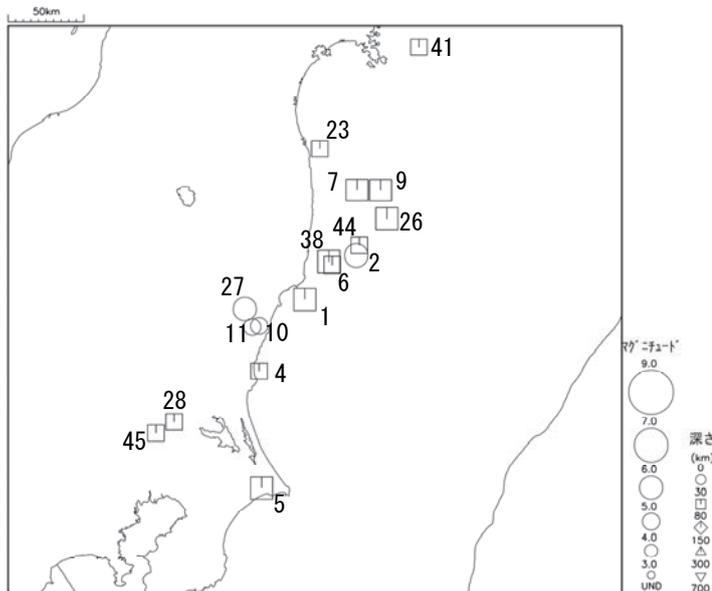


図 1 平成 29 年（2017 年）の日本及びその周辺で発生した主な地震の震央分布図

表 1 図 1 中の「マグニチュード 6.0 以上」、「被害を伴った」、「震度 4 以上を観測した」、「津波を観測した」のいずれかに該当する地震の表

No.	震源時				震央地名	震源要素 (注 1) (注 2)						M H S T (注 3)	最大震度・被害状況など (注 4)	
						緯度		経度		深さ (km)	M			Mw
	度	分	度	分										
1	1	5	00	43	福島県沖	36°	51.7'	140°	58.7'	56	5.3	5.1	・ ・ S ・	4：福島県 田村市大越町* 茨城県 日立市助川小学校* など 2 県 22 地点
2	1	5	02	53	福島県沖	37°	7.3'	141°	21.5'	26	5.6	5.3	・ ・ S ・	4：福島県 いわき市錦町* いわき市小名浜 茨城県 高萩市下手綱* など 2 県 5 地点
3	1	11	19	11	熊本県熊本地方	32°	54.1'	130°	51.4'	9	3.4	—	・ ・ S ・	「平成 28 年 (2016 年) 熊本地震」の活動 4：熊本県 菊池市旭志*
4	1	18	17	19	茨城県沖	36°	25.7'	140°	38.5'	53	4.2	4.3	・ ・ S ・	4：茨城県 東海村東海*
5	2	19	18	19	千葉県北東部	35°	43.8'	140°	39.8'	52	5.4	5.4	・ ・ S ・	4：千葉県 旭市南堀之内* など 2 県 22 地点
6	2	27	00	03	福島県沖	37°	4.0'	141°	10.8'	50	4.9	4.8	・ ・ S ・	4：福島県 川内村上川内早渡* など 1 県 3 地点
7	2	28	16	49	福島県沖	37°	30.8'	141°	22.0'	52	5.7	5.7	・ ・ S ・	5 弱：福島県 檜葉町北田* 双葉町両竹* 南相馬市原町区高見町* など 2 県 5 地点
8	3	2	23	53	日向灘	32°	38.7'	132°	7.9'	37	5.3	5.2	・ ・ S ・	4：大分県 佐伯市鶴見* 宮崎県 延岡市天神小路 熊本県 熊本高森町高森* など 3 県 14 地点
9	3	12	04	57	福島県沖	37°	30.7'	141°	32.5'	46	5.4	5.3	・ ・ S ・	4：福島県 田村市都路町* 浪江町幾世橋
10	4	20	02	13	茨城県北部	36°	42.1'	140°	38.5'	6	4.5	—	・ ・ S ・	4：茨城県 日立市十王町友部*
11	4	20	04	46	茨城県北部	36°	41.7'	140°	35.4'	9	4.2	—	・ ・ S ・	4：茨城県 日立市助川小学校* 日立市十王町友部* 高萩市下手綱*
12	4	30	23	42	十勝地方南部	42°	19.3'	143°	4.2'	53	5.4	5.4	・ ・ S ・	4：北海道 浦河町潮見 など 1 道 4 地点
13	5	4	14	22	熊本県熊本地方	32°	40.9'	130°	45.3'	11	4.1	—	・ ・ S ・	「平成 28 年 (2016 年) 熊本地震」の活動 4：熊本県 熊本美里町永富*
14	5	9	10	54	宮古島近海	24°	22.6'	126°	19.5'	20*	6.4	6.1	M ・ ・ ・	3：沖縄県 宮古島市城辺福北 など 1 県 5 地点
15	5	11	20	21	有明海	32°	44.0'	130°	36.2'	13	4.4	4.4	・ ・ S ・	「平成 28 年 (2016 年) 熊本地震」の活動 4：熊本県 上天草市大矢野町 熊本南区富合町*
16	6	9	23	36	橘湾	32°	43.0'	130°	1.6'	16	4.3	4.3	・ ・ S ・	4：長崎県 諫早市多良見町* 諫早市飯盛町*
17	6	20	23	27	豊後水道	32°	52.0'	132°	1.8'	42	5.0	4.9	・ ・ S ・	5 強：大分県 佐伯市鶴見* 5 強：長野県 王滝村役場* 木曾町三岳* 王滝村鈴ヶ沢*
18	6	25	07	02	長野県南部	35°	52.0'	137°	35.1'	7	5.6	5.2	・ H S ・	緊急地震速報 (警報) を発表 被害：軽傷 2 人など (平成 29 年 7 月 3 日現在)
19	6	25	09	24	長野県南部	35°	51.8'	137°	34.0'	6	4.5	—	・ ・ S ・	4：長野県 木曾町開田高原西野*
20	6	25	15	17	長野県南部	35°	51.4'	137°	35.0'	7	4.7	4.5	・ ・ S ・	4：長野県 木曾町三岳* など 1 県 3 地点
21	7	1	23	45	胆振地方中東部	42°	47.2'	141°	51.5'	27	5.1	5.0	・ H S ・	5 弱：北海道 安平町早来北進* 安平町追分柏が丘* 被害：重傷 1 人 (平成 29 年 7 月 10 日現在)
22	7	2	00	58	熊本県阿蘇地方	33°	0.2'	131°	14.2'	11	4.5	4.4	・ ・ S ・	5 弱：熊本県 産山村山鹿*
23	7	7	21	48	福島県沖	37°	45.7'	141°	5.3'	66	4.9	4.8	・ ・ S ・	4：福島県 新地町谷地小屋* など 1 県 6 地点
24	7	11	11	56	鹿児島湾	31°	23.0'	130°	37.2'	10	5.3	5.2	・ H S ・	5 強：鹿児島県 鹿児島市喜入町* 緊急地震速報 (警報) を発表 被害：軽傷 1 人など (平成 29 年 7 月 18 日現在)
25	7	13	04	48	日本海西部	40°	51.8'	131°	55.3'	603	6.3	5.8	M ・ ・ ・	1：北海道 白糠町西 1 条* など 1 道 2 県 4 地点
26	7	20	09	11	福島県沖	37°	20.4'	141°	35.2'	46	5.8	5.8	・ ・ S ・	4：福島県 いわき市三和町 宮城県 石巻市桃生町* など 2 県 6 地点
27	8	2	02	02	茨城県北部	36°	48.2'	140°	32.1'	9	5.5	5.1	・ ・ S ・	4：福島県 矢祭町戸塚* 茨城県 常総市水海道諏訪町* など 6 県 67 地点 緊急地震速報 (警報) を発表
28	8	2	07	15	茨城県南部	36°	7.2'	140°	1.3'	48	4.6	4.6	・ ・ S ・	4：栃木県 真岡市石島* など 4 県 14 地点
29	8	24	14	34	鹿児島湾	31°	22.6'	130°	36.7'	7	4.4	4.4	・ ・ S ・	4：鹿児島県 鹿児島市喜入町*
30	9	8	02	26	小笠原諸島西方沖	27°	48.2'	140°	7.7'	475	6.1	6.1	M ・ ・ ・	3：東京都 小笠原村母島
31	9	8	14	20	熊本県熊本地方	32°	43.4'	130°	40.4'	14	4.1	—	・ ・ S ・	4：熊本県 熊本西区春日
32	9	8	22	23	秋田県内陸南部	39°	30.0'	140°	25.1'	9	5.2	—	・ H S ・	5 強：秋田県 大仙市神宮寺* 緊急地震速報 (警報) を発表 被害：住家一部破損 4 棟 (平成 29 年 9 月 15 日現在)
33	9	9	11	42	秋田県内陸南部	39°	31.3'	140°	25.4'	9	3.4	—	・ ・ S ・	4：秋田県 大仙市神宮寺*
34	9	10	17	44	浦河沖	41°	45.5'	142°	52.6'	43	5.6	5.6	・ ・ S ・	4：北海道 浦河町潮見 浦河町築地* 新冠町北星町
35	9	21	01	37	三陸沖	38°	2.1'	144°	29.3'	18*	6.3	6.2	M ・ ・ ・	2：宮城県 丸森町鳥屋* など 1 道 10 県 143 地点
36	9	27	05	22	岩手県沖	40°	16.0'	142°	27.3'	35	6.1	5.9	M ・ S ・	4：岩手県 普代村銅屋* など 3 県 7 地点 緊急地震速報 (警報) を発表
37	10	6	16	59	福島県沖	37°	26.1'	143°	56.9'	13*	6.3	6.2	M ・ ・ ・	2：宮城県 石巻市桃生町* 茨城県 笠間市石井* など 1 道 11 県 181 地点
38	10	6	23	56	福島県沖	37°	5.2'	141°	9.3'	53	5.9	5.7	・ H S ・	5 弱：福島県 檜葉町北田* 川内村上川内早渡* 緊急地震速報 (警報) を発表 被害：軽傷 1 人 (平成 29 年 10 月 13 日現在)

No.	震源時				震央地名	震源要素（注1）（注2）						M H S T （注3）	最大震度・被害状況など （注4）	
						緯度		経度		深さ (km)	M			Mw
	度	分	度	分										
39	11	1	00	46	鹿児島湾	31°	23.9'	130°	36.8'	9	3.8	—	・ ・ ・ ・	4：鹿児島県 鹿児島市喜入町*
40	11	3	12	45	十勝沖	42°	33.8'	143°	44.9'	66	5.0	5.0	・ ・ ・ ・	4：北海道 浦幌町桜町*
41	11	11	01	38	宮城県沖	38°	22.0'	141°	50.2'	59	4.7	4.6	・ ・ ・ ・	4：宮城県 塩竈市旭町*
42	11	13	07	24	三陸沖	38°	0.3'	144°	48.3'	11*	6.0	5.9	M ・ ・ ・	2：宮城県 東松島市矢本* 涌谷町新町裏 など1道4県19地点
43	11	16	18	43	八丈島東方沖	32°	21.1'	140°	44.7'	46	6.0	5.8	M ・ ・ ・	3：東京都 青ヶ島村
44	11	17	10	02	福島県沖	37°	10.9'	141°	22.9'	48	4.8	4.7	・ ・ ・ ・	4：福島県 檜葉町北田*
45	12	2	00	12	茨城県南部	36°	3.1'	139°	53.4'	43	4.4	4.3	・ ・ ・ ・	4：栃木県 下野市田中* 真岡市石島*
46	12	6	00	13	長野県中部	36°	22.6'	137°	58.3'	10	5.3	5.0	・ ・ ・ ・	4：長野県 大町市八坂* 大町市美麻* 筑北村西条* など1県14地点 緊急地震速報（警報）を発表
47	12	16	02	58	岩手県沖	39°	41.1'	142°	5.6'	52	5.5	—	・ ・ ・ ・	4：岩手県 野田村野田* 八幡平市田頭* 遠野市青笹町*
48	12	21	12	00	鳥島近海	29°	18.5'	142°	43.0'	10*	6.0	5.7	M ・ ・ ・	国内で震度1以上を観測した地点なし

（注1）震源要素は再調査後、修正することがある。

（注2）深さに*が付いている地震は、CMT解の深さを用いている。

（注3）M H S Tの各項目について、M:M6.0以上の地震、H:被害を伴った地震、S:震度4以上を観測した地震、T:津波を観測した地震、として該当項目にそれぞれの記号を記した。

（注4）最大震度の観測点名にある*印は地方公共団体もしくは国立研究開発法人防災科学技術研究所の震度観測点の情報である。被害の報告は出典の記載がないものは総務省消防庁による。

●平成 29 年（2017 年）の都道府県別の震度観測回数表

都道府県名	震度1	震度2	震度3	震度4	震度5弱	震度5強	震度6弱	震度6強	震度7	合計
北海道	114	54	12	3	1	0	0	0	0	184
青森県	90	35	11	1	0	0	0	0	0	137
岩手県	152	58	14	2	0	0	0	0	0	226
宮城県	142	55	13	4	1	0	0	0	0	215
秋田県	69	25	5	1	0	1	0	0	0	101
山形県	34	14	5	0	0	0	0	0	0	53
福島県	159	70	21	8	2	0	0	0	0	260
茨城県	197	85	20	9	0	0	0	0	0	311
栃木県	84	39	14	4	0	0	0	0	0	141
群馬県	70	30	4	1	0	0	0	0	0	105
埼玉県	59	26	8	2	0	0	0	0	0	95
千葉県	100	42	14	3	0	0	0	0	0	159
東京都	102	32	6	0	0	0	0	0	0	140
神奈川県	41	24	5	0	0	0	0	0	0	70
新潟県	19	16	2	0	0	0	0	0	0	37
富山県	5	1	1	0	0	0	0	0	0	7
石川県	6	2	3	1	0	0	0	0	0	12
福井県	12	2	0	0	0	0	0	0	0	14
山梨県	27	19	1	0	0	0	0	0	0	47
長野県	120	39	14	3	0	1	0	0	0	177
岐阜県	42	13	3	1	0	0	0	0	0	59
静岡県	50	13	2	0	0	0	0	0	0	65
愛知県	21	6	1	0	0	0	0	0	0	28
三重県	8	2	0	0	0	0	0	0	0	10
滋賀県	10	3	1	0	0	0	0	0	0	14
京都府	10	6	1	0	0	0	0	0	0	17
大阪府	13	5	0	0	0	0	0	0	0	18
兵庫県	17	6	1	0	0	0	0	0	0	24
奈良県	7	3	0	0	0	0	0	0	0	10
和歌山県	32	19	5	0	0	0	0	0	0	56
鳥取県	27	7	3	0	0	0	0	0	0	37
島根県	17	1	0	0	0	0	0	0	0	18
岡山県	12	5	0	0	0	0	0	0	0	17
広島県	17	6	1	0	0	0	0	0	0	24
徳島県	17	6	1	0	0	0	0	0	0	24
香川県	7	1	1	0	0	0	0	0	0	9
愛媛県	25	8	4	0	0	0	0	0	0	37
高知県	20	2	5	0	0	0	0	0	0	27
山口県	12	6	0	0	0	0	0	0	0	18
福岡県	27	9	1	0	0	0	0	0	0	37
佐賀県	13	6	0	0	0	0	0	0	0	19
長崎県	26	9	4	1	0	0	0	0	0	40
熊本県	171	76	11	6	1	0	0	0	0	265
大分県	28	9	1	2	0	1	0	0	0	41
宮崎県	44	14	5	2	0	0	0	0	0	65
鹿児島県	168	46	10	2	0	1	0	0	0	227
沖縄県	45	16	8	0	0	0	0	0	0	69
全国	1324	519	142	32	4	4	0	0	0	2025

●平成 29 年（2017 年）の観測点別の震度観測回数表

- ・ 気象庁の震度観測点（平成 29 年 11 月 16 日現在）について記載した。
- ・ 表の「観測点」欄の「注）」は、計数期間注意（欄外記載）。

北海道地方

地方	観測点	震度									合計
		1	2	3	4	5弱	5強	6弱	6強	7	
石狩・渡島	石狩市花川	3	2	0	0	0	0	0	0	0	5
	石狩市聚富	5	2	1	0	0	0	0	0	0	8
	札幌中央区北2条	2	2	0	0	0	0	0	0	0	4
	江別市高砂町	7	1	2	0	0	0	0	0	0	10
	千歳市北栄	14	9	0	1	0	0	0	0	0	24
	新千歳空港	13	4	0	1	0	0	0	0	0	18
	恵庭市漁平	2	2	0	0	0	0	0	0	0	4
	八雲町上の湯	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	函館市美原	5	1	0	0	0	0	0	0	0	6
	函館市尾札部町	6	1	0	0	0	0	0	0	0	7
	七飯町桜町	8	0	0	0	0	0	0	0	0	8
	渡島森町御幸町	4	0	0	0	0	0	0	0	0	4
	渡島松前町福山	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1
	渡島松前町清部	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1
	知内町小谷石	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1
	檜山・後志	檜山江差町姥神	1	0	0	0	0	0	0	0	0
せたな町北檜山区豊岡		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
小樽市勝納町		6	3	0	0	0	0	0	0	0	9
積丹町日司町		1	0	0	0	0	0	0	0	0	1
余市町朝日町		6	1	0	0	0	0	0	0	0	7
倶知安町南1条		2	1	0	0	0	0	0	0	0	3
島牧村江ノ島		1	0	0	0	0	0	0	0	0	1
寿都町新栄		1	0	0	0	0	0	0	0	0	1
岩内町高台		2	0	0	0	0	0	0	0	0	2
奥尻町松江		1	0	0	0	0	0	0	0	0	1
空知・上川	北竜町竜西	6	1	0	0	0	0	0	0	0	7
	芦別市旭町	5	0	0	0	0	0	0	0	0	5
	滝川市大町	3	1	0	0	0	0	0	0	0	4
	夕張市若菜	3	2	0	0	0	0	0	0	0	5
	岩見沢市5条	4	2	0	0	0	0	0	0	0	6
	美瑛市西5条	2	3	0	0	0	0	0	0	0	5
	士別市東6条	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	士別市朝日町	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	名寄市大通	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	旭川市宮前1条	2	0	0	0	0	0	0	0	0	2
	上川地方上川町越路	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	富良野市若松町	2	2	0	0	0	0	0	0	0	4
	上富良野町大町	2	0	0	0	0	0	0	0	0	2
	南富良野町幾寅	4	0	0	0	0	0	0	0	0	4
留萌・宗谷	羽幌町南3条	2	2	0	0	0	0	0	0	0	4
	羽幌町焼尻	1	1	0	0	0	0	0	0	0	2
	初山別村有明	2	0	0	0	0	0	0	0	0	2
	留萌市大町	2	0	0	0	0	0	0	0	0	2
	稚内市恵北	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	稚内市開運	0	1	0	0	0	0	0	0	0	1
	宗谷枝幸町岬町	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	宗谷枝幸町本町	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	礼文町上泊崎	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1
	利尻富士町鬼脇	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1

地方	観測点	震度									合計
		1	2	3	4	5弱	5強	6弱	6強	7	
網走・胆振	網走市台町	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	美幌町東3条	4	0	0	0	0	0	0	0	0	4
	斜里町本町	2	2	0	0	0	0	0	0	0	4
	北見市公園町	0	1	0	0	0	0	0	0	0	1
	北見市留辺蘂町上町	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1
	北見市常呂町吉野	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	紋別市南が丘町	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	遠軽町丸瀬布金湧山	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1
	雄武町雄武	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	胆振伊達市梅本	5	2	0	0	0	0	0	0	0	7
	室蘭市山手町	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1
	苫小牧市末広町	9	2	1	0	0	0	0	0	0	12
	登別市鉱山	9	0	0	0	0	0	0	0	0	9
	白老町大町	6	2	1	0	0	0	0	0	0	9
	厚真町鹿沼	16	4	3	0	0	0	0	0	0	23
	日高・十勝	平取町仁世宇	4	2	0	0	0	0	0	0	0
新ひだか町静内山手町		15	8	2	0	0	0	0	0	0	25
新ひだか町静内御園		7	3	0	0	0	0	0	0	0	10
浦河町野深		16	3	2	0	0	0	0	0	0	21
浦河町湖見		26	4	1	2	0	0	0	0	0	33
えりも町本町		2	1	1	0	0	0	0	0	0	4
足寄町上螺湾		10	2	0	0	0	0	0	0	0	12
帯広市東4条		8	6	0	0	0	0	0	0	0	14
十勝清水町南4条		6	6	0	0	0	0	0	0	0	12
幕別町忠類明和		2	3	0	0	0	0	0	0	0	5
本別町北2丁目		13	4	1	0	0	0	0	0	0	18
広尾町並木通		14	6	1	0	0	0	0	0	0	21
広尾町白樺通		10	6	1	0	0	0	0	0	0	17
弟子屈町美里 ^(注)		5	0	0	0	0	0	0	0	0	5
釧路市幸町		12	5	0	0	0	0	0	0	0	17
釧路市音別町尺別		5	3	0	0	0	0	0	0	0	8
厚岸町尾幌	11	1	0	0	0	0	0	0	0	12	
浜中町湯沸	13	2	0	0	0	0	0	0	0	15	
中標津町養老牛	10	1	0	0	0	0	0	0	0	11	
標津町古多糠	4	0	0	0	0	0	0	0	0	4	
羅臼町春日	10	4	0	0	0	0	0	0	0	14	
別海町常盤	22	7	0	0	0	0	0	0	0	29	
根室市弥栄	3	3	0	0	0	0	0	0	0	6	
根室市豊里	4	0	0	0	0	0	0	0	0	4	

注)
「弟子屈町美里」

平成 29 年 6 月 7 日まで

東北地方

県	観測点	震度									合計
		1	2	3	4	5弱	5強	6弱	6強	7	
青森県	青森市花園	6	2	1	0	0	0	0	0	0	9
	五所川原市栄町	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	五所川原市太田	2	0	0	0	0	0	0	0	0	2
	平内町小湊	1	6	0	0	0	0	0	0	0	7
	弘前市和田町	2	0	0	0	0	0	0	0	0	2
	弘前市弥生	3	0	0	0	0	0	0	0	0	3
	鯉ヶ沢町本町	2	0	0	0	0	0	0	0	0	2
	深浦町長慶平	4	0	0	0	0	0	0	0	0	4
	深浦町深浦岡町	5	1	0	0	0	0	0	0	0	6
	八戸市島守	13	3	0	0	0	0	0	0	0	16
	八戸市湊町	49	11	5	0	0	0	0	0	0	65
	七戸町北天間館	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1
	六ヶ所村尾駸	16	3	0	0	0	0	0	0	0	19
	六ヶ所村出戸	13	1	0	0	0	0	0	0	0	14
	五戸町古館	35	16	3	0	0	0	0	0	0	54
	むつ市金曲	26	5	0	0	0	0	0	0	0	31
	むつ市大畑町奥薬研	7	0	0	0	0	0	0	0	0	7
	東通村砂子又蒲谷地	29	5	0	0	0	0	0	0	0	34
	岩手県	宮古市鍛ヶ崎	31	8	2	0	0	0	0	0	41
		宮古市長沢	14	3	0	0	0	0	0	0	17
久慈市川崎町		26	6	3	0	0	0	0	0	35	
久慈市枝成沢		38	5	3	0	0	0	0	0	46	
山田町八幡町		28	6	2	0	0	0	0	0	36	
田野畑村田野畑		20	3	1	0	0	0	0	0	24	
岩手洋野町種市		23	3	1	0	0	0	0	0	27	
大船渡市大船渡町		70	20	5	0	0	0	0	0	95	
大船渡市猪川町		50	12	1	0	0	0	0	0	63	
釜石市只越町		53	7	3	0	0	0	0	0	63	
盛岡市山王町		38	10	2	0	0	0	0	0	50	
二戸市福岡		21	2	0	0	0	0	0	0	23	
雫石町千刈田		16	1	2	0	0	0	0	0	19	
雫石町西根上駒木野		8	2	0	0	0	0	0	0	10	
葛巻町葛巻元木		28	4	1	0	0	0	0	0	33	
八幡平市大更		23	3	2	0	0	0	0	0	28	
花巻市大迫町		33	9	2	0	0	0	0	0	44	
北上市柳原町		26	5	2	0	0	0	0	0	33	
一関市大東町		50	9	2	0	0	0	0	0	61	
奥州市水沢区大鐘町		16	6	1	0	0	0	0	0	23	
宮城県	気仙沼市赤岩	60	21	4	0	0	0	0	0	85	
	気仙沼市本吉町西川内	25	3	1	0	0	0	0	0	29	
	涌谷町新町裏	35	27	6	0	0	0	0	0	68	
	栗原市栗駒	56	10	3	0	0	0	0	0	69	
	登米市中田町	57	14	6	0	0	0	0	0	77	
	南三陸町志津川	68	24	4	0	0	0	0	0	96	
	大崎市古川三日町	47	13	6	0	0	0	0	0	66	
	大崎市古川大崎	44	13	3	0	0	0	0	0	60	
	仙台空港	24	12	4	0	0	0	0	0	40	
	柴田町船岡	38	8	3	0	0	0	0	0	49	
	丸森町上滝	21	6	2	1	0	0	0	0	30	
	仙台青葉区大倉	40	4	3	0	0	0	0	0	47	
	仙台宮城野区五輪	28	8	4	0	0	0	0	0	40	
	石巻市泉町	46	10	1	0	0	0	0	0	57	
	石巻市大瓜	22	4	0	0	0	0	0	0	26	
	松島町高城	50	16	5	0	0	0	0	0	71	

県	観測点	震度									合計
		1	2	3	4	5弱	5強	6弱	6強	7	
秋田県	能代市緑町	3	2	0	0	0	0	0	0	0	5
	能代市常盤山谷	3	1	0	0	0	0	0	0	0	4
	男鹿市男鹿中	4	1	0	0	0	0	0	0	0	5
	五城目町西磯ノ目	7	0	1	0	0	0	0	0	0	8
	秋田市山王	6	2	0	0	0	0	0	0	0	8
	秋田市雄和和米木	7	1	1	0	0	0	0	0	0	9
	由利本荘市石脇	8	0	1	0	0	0	0	0	0	9
	大館市比内町味噌内	4	1	0	0	0	0	0	0	0	5
	北秋田市花園町	8	2	0	0	0	0	0	0	0	10
	横手市雄物川町今宿	5	2	1	0	0	0	0	0	0	8
	湯沢市沖鶴	7	1	1	0	0	0	0	0	0	9
	秋田美郷町六郷東根	11	3	1	0	0	0	0	0	0	15
	仙北市角館町東勝楽丁	12	1	1	0	0	0	0	0	0	14
	山形県	鶴岡市馬場町	3	0	0	0	0	0	0	0	0
鶴岡市温海川		6	2	0	0	0	0	0	0	0	8
酒田市飛鳥		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
酒田市亀ヶ崎		4	5	0	0	0	0	0	0	0	9
遊佐町遊佐		6	2	0	0	0	0	0	0	0	8
遊佐町小原田		1	0	0	0	0	0	0	0	0	1
新庄市東谷地田町		9	2	0	0	0	0	0	0	0	11
山形市金山町中田		3	0	0	0	0	0	0	0	0	3
山形市緑町		7	1	0	0	0	0	0	0	0	8
河北町谷地		15	6	0	0	0	0	0	0	0	21
米沢市駅前		13	6	0	0	0	0	0	0	0	19
米沢市アルカディア		18	6	2	0	0	0	0	0	0	26
山形小国町岩井沢		9	2	0	0	0	0	0	0	0	11
白鷹町黒鴨		9	3	0	0	0	0	0	0	0	12
福島県	福島市松木町	28	10	2	1	0	0	0	0	0	41
	郡山市朝日	45	10	8	1	0	0	0	0	0	64
	白河市郭内	44	11	8	2	0	0	0	0	0	65
	大玉村南小屋	38	8	5	2	0	0	0	0	0	53
	棚倉町棚倉中層野	62	21	5	3	0	0	0	0	0	91
	古殿町松川横川	38	13	6	0	0	0	0	0	0	57
	田村市船引町	65	16	6	2	0	0	0	0	0	89
	いわき市小名浜	41	17	5	2	0	0	0	0	0	65
	いわき市三和町	72	21	10	4	0	0	0	0	0	107
	川内村下川内	49	14	6	2	0	0	0	0	0	71
	浪江町巖世橋	79	24	10	3	0	0	0	0	0	116
	南相馬市原町区三島町	31	10	4	1	0	0	0	0	0	46
	南相馬市鹿島区栢窪	33	11	3	0	0	0	0	0	0	47
	会津若松市材木町	9	5	0	0	0	0	0	0	0	14
西会津町野沢	10	6	0	0	0	0	0	0	0	16	
猪苗代町城南	17	11	1	0	0	0	0	0	0	29	
柳津町大成沢	7	1	0	0	0	0	0	0	0	8	
南会津町田島(旧) ^{注)}	7	0	0	0	0	0	0	0	0	7	
南会津町田島 ^{注)}	9	2	0	0	0	0	0	0	0	11	

注)

「南会津町田島(旧)」
「南会津町田島」

平成 29 年 3 月 8 日まで
平成 29 年 3 月 8 日から

関東地方

県	観測点	震度									
		1	2	3	4	5弱	5強	6弱	6強	7	合計
茨城県	水戸市金町	60	27	4	1	0	0	0	0	0	92
	常陸太田市町屋町	58	19	7	1	0	0	0	0	85	
	ひたちなか市山ノ上町	30	8	1	0	0	0	0	0	39	
	常陸大宮市中富町	35	8	4	0	0	0	0	0	47	
	土浦市常名	95	33	10	2	0	0	0	0	140	
	石岡市柿岡	77	23	8	2	0	0	0	0	110	
	茨城鹿嶋市鉢形	49	17	5	0	0	0	0	0	71	
	潮来市堀之内	32	12	2	0	0	0	0	0	46	
	利根町布川	25	9	2	0	0	0	0	0	36	
	坂東市岩井	53	14	5	0	0	0	0	0	72	
	筑西市舟生	50	18	10	2	0	0	0	0	80	
	鉾田市鉾田	42	16	1	0	0	0	0	0	59	
	栃木県	日光市瀬川	27	9	1	0	0	0	0	0	37
		日光市中宮祠	11	2	0	0	0	0	0	0	13
大田原市黒羽田町		25	9	2	0	0	0	0	0	36	
那須塩原市蕎麦沼		12	4	0	0	0	0	0	0	16	
宇都宮市明保野町		68	33	4	1	0	0	0	0	106	
栃木市旭町		53	12	5	0	0	0	0	0	70	
益子町益子		51	19	4	1	0	0	0	0	75	
群馬県	那須烏山市中央	46	18	4	0	0	0	0	0	68	
	沼田市西倉内町	28	9	1	0	0	0	0	0	38	
	中之条町日影	13	4	0	0	0	0	0	0	17	
	片品村東小川	17	7	0	0	0	0	0	0	24	
	東吾妻町原町	22	1	0	0	0	0	0	0	23	
	前橋市昭和町	14	1	0	0	0	0	0	0	15	
	桐生市織姫町	25	4	0	0	0	0	0	0	29	
	富岡市七日市	13	1	0	0	0	0	0	0	14	
	板倉町板倉	31	9	2	0	0	0	0	0	42	
	埼玉県	熊谷市桜町	24	8	1	0	0	0	0	0	33
本庄市児玉町		28	7	2	0	0	0	0	0	37	
久喜市下早見		49	15	5	0	0	0	0	0	69	
鳩山町大豆戸		13	3	0	0	0	0	0	0	16	
川越市旭町		16	6	0	0	0	0	0	0	22	
飯能市苜生		2	0	0	0	0	0	0	0	2	
さいたま浦和区高砂		31	10	1	0	0	0	0	0	42	
秩父市上町		18	3	0	0	0	0	0	0	21	
小鹿野町両神薄		1	0	0	0	0	0	0	0	1	
千葉県		銚子市川口町	23	6	0	0	0	0	0	0	29
	銚子市天王台 ^{注)}	8	0	0	0	0	0	0	0	8	
	東金市東新宿	27	9	3	0	0	0	0	0	39	
	多古町多古	39	16	2	1	0	0	0	0	58	
	一宮町一宮	32	10	2	0	0	0	0	0	44	
	長柄町大津倉	20	4	0	0	0	0	0	0	24	
	香取市佐原平田	39	13	1	1	0	0	0	0	54	
	山武市松尾町富士見台	28	12	2	0	0	0	0	0	42	
	千葉中央区中央港	28	13	2	0	0	0	0	0	43	
	千葉美浜区ひび野	37	13	3	0	0	0	0	0	53	
	成田市花崎町	41	19	4	1	0	0	0	0	65	
	成田国際空港	25	15	1	1	0	0	0	0	42	
	柏市旭町	35	16	2	1	0	0	0	0	54	
	浦安市日の出	35	8	3	0	0	0	0	0	46	
	館山市長須賀	15	6	0	0	0	0	0	0	21	
	木更津市太田	15	2	0	0	0	0	0	0	17	
	勝浦市墨名	17	5	0	0	0	0	0	0	22	
	鴨川市八色	14	2	0	0	0	0	0	0	16	
	鴨川市内浦	5	1	0	0	0	0	0	0	6	
	南房総市上堀	11	0	0	0	0	0	0	0	11	

都 県	観測点	震度									
		1	2	3	4	5弱	5強	6弱	6強	7	合計
東京都	東京千代田区大手町	40	17	3	0	0	0	0	0	60	
	東京港区海岸	20	6	0	0	0	0	0	0	26	
	東京新宿区西新宿	14	4	0	0	0	0	0	0	18	
	東京墨田区横川	16	2	1	0	0	0	0	0	19	
	東京江東区青海	20	4	1	0	0	0	0	0	25	
	東京国際空港	17	8	0	0	0	0	0	0	25	
	東京杉並区阿佐谷	17	2	0	0	0	0	0	0	19	
	東京江戸川区中央	25	14	2	0	0	0	0	0	41	
	八王子市大横町	16	1	0	0	0	0	0	0	17	
	国分寺市戸倉	23	6	0	0	0	0	0	0	29	
	青梅市東青梅	10	0	0	0	0	0	0	0	10	
	神津島村金長	5	0	0	0	0	0	0	0	5	
	伊豆大島町差木地	10	0	0	0	0	0	0	0	10	
	伊豆大島町元町	17	4	0	0	0	0	0	0	21	
	東京利島村東山	9	1	0	0	0	0	0	0	10	
	新島村大原	7	1	0	0	0	0	0	0	8	
	新島村式根島	4	0	0	0	0	0	0	0	4	
	三宅村神着	5	0	0	0	0	0	0	0	5	
	三宅村坪田	3	2	0	0	0	0	0	0	5	
	御蔵島村西川	5	1	0	0	0	0	0	0	6	
	八丈町榎立	2	1	0	0	0	0	0	0	3	
	八丈町三根	1	2	0	0	0	0	0	0	3	
	青ヶ島村	4	1	1	0	0	0	0	0	6	
	小笠原村父島西町	3	1	0	0	0	0	0	0	4	
	小笠原村父島三日月山	6	1	0	0	0	0	0	0	7	
	小笠原村母島	14	1	1	0	0	0	0	0	16	
	神奈川県	横浜中区山手町	33	9	1	0	0	0	0	0	43
		川崎中原区小杉陣屋町	22	4	0	0	0	0	0	0	26
		横須賀市光の丘	18	3	0	0	0	0	0	0	21
		茅ヶ崎市茅ヶ崎	26	6	0	0	0	0	0	0	32
		小田原市久野	4	0	0	0	0	0	0	0	4
		秦野市曾屋	21	4	0	0	0	0	0	0	25
		湯河原町中央	20	9	0	0	0	0	0	0	29
相模原中央区中央		2	3	0	0	0	0	0	0	5	
相模原緑区若柳		4	0	0	0	0	0	0	0	4	

注)
「銚子市天王台」

平成 29 年 8 月 22 日まで

中部地方

県	観測点	震度									
		1	2	3	4	5弱	5強	6弱	6強	7	合計
新潟県	糸魚川市一の宮	1	1	0	0	0	0	0	0	0	2
	上越市中ノ俣	2	1	0	0	0	0	0	0	0	3
	上越市大手町	7	0	0	0	0	0	0	0	0	7
	長岡市幸町	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	小千谷市城内	4	0	0	0	0	0	0	0	0	4
	出雲崎町米田	7	1	0	0	0	0	0	0	0	8
	魚沼市下折立	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1
	南魚沼市六日町	14	5	0	0	0	0	0	0	0	19
	村上市塩町	2	0	0	0	0	0	0	0	0	2
	五泉市村松乙	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1
	粟島浦村笹畑	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	阿賀野市畑江	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	胎内市新和町	5	0	0	0	0	0	0	0	0	5
	新潟空港	5	0	0	0	0	0	0	0	0	5
	新潟中央区美咲町	6	0	0	0	0	0	0	0	0	6
	新潟秋葉区程島	5	0	0	0	0	0	0	0	0	5
新潟西蒲区役所	6	0	0	0	0	0	0	0	0	6	
佐渡市相川金山	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
佐渡市相川三町目	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
富山県	富山市石坂	3	1	0	0	0	0	0	0	0	4
	富山市八尾町福島	2	1	0	0	0	0	0	0	0	3
	魚津市釈迦堂	2	0	0	0	0	0	0	0	0	2
	立山町吉峰	2	0	0	0	0	0	0	0	0	2
	富山朝日町道下	3	0	0	0	0	0	0	0	0	3
	高岡市伏木	2	1	0	0	0	0	0	0	0	3
	小矢部市泉町	1	2	0	0	0	0	0	0	0	3
	南砺市天池	2	1	0	0	0	0	0	0	0	3
	七尾市本府中町	3	3	0	0	0	0	0	0	0	6
	輪島市鳳至町	6	1	0	0	0	0	0	0	0	7
石川県	輪島市船倉島	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	珠洲市三崎町	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	羽咋市柳田町	3	0	0	0	0	0	0	0	0	3
	志賀町富来領家町	2	1	0	0	0	0	0	0	0	3
	能登町宇出津	2	1	0	0	0	0	0	0	0	3
	金沢市西念	2	1	0	0	0	0	0	0	0	3
	小松市小馬出町	0	2	0	0	0	0	0	0	0	2
	加賀市直下町	1	1	0	0	0	0	0	0	0	2
	津幡町加賀爪	2	1	0	0	0	0	0	0	0	3
	福井市豊島	1	2	0	0	0	0	0	0	0	3
福井県	勝山市旭町	3	0	0	0	0	0	0	0	0	3
	越前市高瀬	3	0	0	0	0	0	0	0	0	3
	福井坂井市三国町中央 ^{注)}	3	1	0	0	0	0	0	0	0	4
	福井坂井市三国町陣ヶ岡 ^{注)}	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	敦賀市松栄町	3	2	0	0	0	0	0	0	0	5
	福井美浜町新庄	3	0	0	0	0	0	0	0	0	3
	高浜町宮崎	2	2	0	0	0	0	0	0	0	4
	甲府市飯田	19	1	0	0	0	0	0	0	0	20
	身延町大磯小磯	9	1	0	0	0	0	0	0	0	10
	甲州市塩山下於曾	13	1	0	0	0	0	0	0	0	14
山梨県	大月市大月	20	2	0	0	0	0	0	0	0	22
	上野原市上野原	22	1	1	0	0	0	0	0	0	24
	富士河口湖町船津	25	5	0	0	0	0	0	0	0	30
	長野市箱清水	5	1	1	0	0	0	0	0	0	7
	長野市松代	2	1	0	0	0	0	0	0	0	3
	大町市役所	9	4	1	0	0	0	0	0	0	14
	山ノ内町平穂	7	2	1	0	0	0	0	0	0	10
	松本市沢村	1	2	1	0	0	0	0	0	0	4
	上田市上田古戦場公園	4	1	0	1	0	0	0	0	0	6
	諏訪市湖岸通り	10	4	2	0	0	0	0	0	0	16
長野県	佐久市下小田切	6	2	0	0	0	0	0	0	0	8
	軽井沢町追分	9	2	0	0	0	0	0	0	0	11
	安曇野市穂高支所	2	1	1	0	0	0	0	0	0	4
	筑北村坂井	5	1	0	1	0	0	0	0	0	7
	飯田市高羽町	11	2	1	0	0	0	0	0	0	14
	伊那市高遠町荊口	4	2	1	0	0	0	0	0	0	7
	辰野町中央	3	2	1	0	0	0	0	0	0	6
	飯島町飯島	6	1	0	0	0	0	0	0	0	7
	泰阜村梨久保	5	1	0	0	0	0	0	0	0	6

県	観測点	震度									
		1	2	3	4	5弱	5強	6弱	6強	7	合計
岐阜県	高山市丹生川町森部	0	1	0	0	0	0	0	0	0	1
	高山市桐生町	2	1	0	0	0	0	0	0	0	3
	飛騨市神岡町殿	3	1	0	0	0	0	0	0	0	4
	下呂市森	1	2	1	0	0	0	0	0	0	4
	中津川市かやの木町	6	0	1	0	0	0	0	0	0	7
	美濃加茂市太田町	0	2	0	0	0	0	0	0	0	2
	白川町黒川	0	1	0	0	0	0	0	0	0	1
	岐阜市加納二之丸	4	0	1	0	0	0	0	0	0	5
	揖斐川町三輪	4	0	0	0	0	0	0	0	0	4
	岐阜山県市谷合運動場	2	1	0	0	0	0	0	0	0	3
	郡上市八幡町島谷	4	2	1	0	0	0	0	0	0	7
	熱海市網代	13	2	0	0	0	0	0	0	0	15
	伊東市大原	5	0	0	0	0	0	0	0	0	5
	下田市加増野	3	0	0	0	0	0	0	0	0	3
	南伊豆町石廊崎	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1
	伊豆市中伊豆グラウンド	20	4	0	0	0	0	0	0	0	24
静岡県	三島市東本町	5	0	0	0	0	0	0	0	0	5
	富士宮市弓沢町	16	1	0	0	0	0	0	0	0	17
	富士市富士総合運動公園	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1
	御殿場市萩原	12	0	0	0	0	0	0	0	0	12
	島田市中央町	3	1	0	0	0	0	0	0	0	4
	島田市川根町家山	2	2	0	0	0	0	0	0	0	4
	静岡駿河区曲金	4	2	0	0	0	0	0	0	0	6
	静岡清水区千歳町	3	0	0	0	0	0	0	0	0	3
	牧之原市鬼女新田	2	1	0	0	0	0	0	0	0	3
	掛川市篠場	2	1	0	0	0	0	0	0	0	3
	袋井市新屋	2	2	0	0	0	0	0	0	0	4
	御前崎市御前崎	2	0	0	0	0	0	0	0	0	2
	浜松中区高丘東	1	1	0	0	0	0	0	0	0	2
	浜松北区三ヶ日町	3	1	0	0	0	0	0	0	0	4
	浜松北区滝沢町	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1
	豊橋市向山	5	1	0	0	0	0	0	0	0	6
新城市乗本	2	0	0	0	0	0	0	0	0	2	
新城市矢部	7	3	0	0	0	0	0	0	0	10	
田原市石神町	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
田原市福江町	2	1	0	0	0	0	0	0	0	3	
名古屋千種区日和町	6	1	0	0	0	0	0	0	0	7	
岡崎市若宮町	5	1	0	0	0	0	0	0	0	6	
愛知県	一宮市千秋	9	2	0	0	0	0	0	0	0	11
	豊田市小坂本町	6	1	0	0	0	0	0	0	0	7
	豊田市大洞町	2	1	0	0	0	0	0	0	0	3
	西尾市一色町	4	1	0	0	0	0	0	0	0	5
	常滑市新開町	2	0	1	0	0	0	0	0	0	3
	中部国際空港	2	1	0	0	0	0	0	0	0	3
	南知多町豊浜	2	0	0	0	0	0	0	0	0	2
	愛西市稲葉町	2	1	0	0	0	0	0	0	0	3
	四日市市日永	1	1	0	0	0	0	0	0	0	2
	鈴鹿市西条	3	2	0	0	0	0	0	0	0	5
三重県	津市島崎町	1	1	0	0	0	0	0	0	0	2
	津市片田薬王寺町	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1
	松阪市上川町	3	0	0	0	0	0	0	0	0	3
	伊賀市緑ヶ丘本町	2	0	0	0	0	0	0	0	0	2
	尾鷲市南陽町	2	0	0	0	0	0	0	0	0	2
	三重御浜町寺谷総合公園	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	三重紀北町十須	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	伊勢市矢持町	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	志摩市志摩町和具	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

注) 「福井坂井市三国町中央」 平成 29 年 7 月 13 日まで
 「福井坂井市三国町陣ヶ岡」 平成 29 年 7 月 13 日から

近畿地方

府	観測点	震度									
		1	2	3	4	5弱	5強	6弱	6強	7	合計
滋賀県	彦根市城町	4	1	1	0	0	0	0	0	0	6
	大津市御陵町	1	1	0	0	0	0	0	0	0	2
	大津市南小松	1	2	0	0	0	0	0	0	0	3
	近江八幡市桜宮町	3	1	1	0	0	0	0	0	0	5
	甲賀市水口町(旧) ^{注)}	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
京都府	甲賀市水口町 ^{注)}	2	1	0	0	0	0	0	0	0	3
	東近江市君ヶ畑町	3	0	0	0	0	0	0	0	0	3
	福知山市内記	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1
	舞鶴市下福井	2	0	0	0	0	0	0	0	0	2
	京丹後市弥栄町吉沢	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1
	京都中京区西ノ京	3	1	0	0	0	0	0	0	0	4
	宇治市宇治琵琶	2	1	0	0	0	0	0	0	0	3
	亀岡市安町	6	2	0	0	0	0	0	0	0	8
	京丹波町坂原	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	大阪府	大阪中央区大手前	1	0	0	0	0	0	0	0	0
大阪国際空港		1	1	0	0	0	0	0	0	0	2
高槻市桃園町		3	0	0	0	0	0	0	0	0	3
箕面市箕面		3	0	0	0	0	0	0	0	0	3
岸和田市岸城町		2	0	0	0	0	0	0	0	0	2
富田林市本町		2	0	0	0	0	0	0	0	0	2
関西国際空港		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
大阪堺市中区深井清水町		3	0	0	0	0	0	0	0	0	3

注)
「甲賀市水口町(旧)」 平成 29 年 3 月 17 日まで
「甲賀市水口町」 平成 29 年 3 月 17 日から

県	観測点	震度										
		1	2	3	4	5弱	5強	6弱	6強	7	合計	
兵庫県	豊岡市桜町	0	2	0	0	0	0	0	0	0	2	
	兵庫香美町香住区三川	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	朝来市和田山町枚田	1	1	0	0	0	0	0	0	0	2	
	神戸中央区脇浜	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1	
	明石市中崎	4	0	0	0	0	0	0	0	0	4	
	西宮市宮前町	1	1	0	0	0	0	0	0	0	2	
	加古川市加古川町	1	1	0	0	0	0	0	0	0	2	
	三木市細川町	2	0	0	0	0	0	0	0	0	2	
	三田市下深田	4	1	0	0	0	0	0	0	0	5	
	加西市下万願寺町	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	篠山市北新町	1	1	0	0	0	0	0	0	0	2	
	加東市社	2	0	0	0	0	0	0	0	0	2	
	姫路市神子岡前	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	相生市旭	4	0	0	0	0	0	0	0	0	4	
	宍粟市山崎町中広瀬	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1	
	洲本市小路谷 ^{注)}	2	0	0	0	0	0	0	0	0	2	
	洲本市物部 ^{注)}	2	2	0	0	0	0	0	0	0	4	
	南あわじ市福良	6	0	0	0	0	0	0	0	0	6	
	淡路市富島	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	淡路市長澤	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
奈良県	奈良市半田開町 ^{注)}	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1	
	奈良市西紀寺町 ^{注)}	2	0	0	0	0	0	0	0	0	2	
	桜井市初瀬	5	1	0	0	0	0	0	0	0	6	
	平群町鳴川	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	大淀町檢垣本	3	0	0	0	0	0	0	0	0	3	
	天川村洞川	5	0	0	0	0	0	0	0	0	5	
	和歌山県	和歌山市男野芝丁	12	1	0	0	0	0	0	0	0	13
		有田市箕島	6	1	0	0	0	0	0	0	0	7
		御坊市園	15	1	0	0	0	0	0	0	0	16
		高野町高野山中学校	4	0	0	0	0	0	0	0	0	4
みなべ町土井		8	0	0	0	0	0	0	0	0	8	
紀の川市粉河		3	1	0	0	0	0	0	0	0	4	
田辺市中辺路町近露		6	1	0	0	0	0	0	0	0	7	
新宮市新宮		2	0	0	0	0	0	0	0	0	2	
白浜町消防本部		4	2	0	0	0	0	0	0	0	6	
串本町潮岬		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
古座川町高池	4	0	0	0	0	0	0	0	0	4		

注)
「洲本市小路谷」 平成 29 年 8 月 29 日まで
「洲本市物部」 平成 29 年 8 月 29 日から

「奈良市半田開町」 平成 29 年 3 月 9 日まで
「奈良市西紀寺町」 平成 29 年 3 月 9 日から

中国地方

県	観測点	震度							合計		
		1	2	3	4	5弱	5強	6弱		6強	7
鳥取県	鳥取市吉方	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1
	岩美町浦富	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1
	智頭町智頭	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1
	倉吉市岩倉長峯	2	0	0	0	0	0	0	0	0	2
	米子市博労町	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	境港市東本町	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1
島根県	松江市西生馬町	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	松江市西津田	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	出雲市今市町	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	出雲市坂浦町	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	雲南市大東町大東	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1
	浜田市大辻町	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	益田市匹見町石谷	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	島根美郷町君谷	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1
	隠岐の島町西町	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1
	隠岐の島町山田	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1
岡山県	津山市林田	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1
	新見市新見	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	美作市尾谷	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	倉敷市新田	3	0	0	0	0	0	0	0	0	3
	備前市伊部	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1
	赤磐市上市	3	0	0	0	0	0	0	0	0	3
	浅口市天草公園	2	0	0	0	0	0	0	0	0	2
	岡山区桑田町	2	0	0	0	0	0	0	0	0	2
	岡山区足守	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	岡山区三木町十日市中	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
広島県	庄原市西城町熊野	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	北広島町都志見	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	北広島町有田	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	三原市円一町	3	1	0	0	0	0	0	0	0	4
	広島空港	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	福山市松永町	1	1	0	0	0	0	0	0	0	2
	広島中区上八丁堀	2	0	0	0	0	0	0	0	0	2
	呉市宝町	8	0	0	0	0	0	0	0	0	8
	呉市倉橋町薫ヶ巣	5	1	0	0	0	0	0	0	0	6
	東広島市黒瀬町	5	1	0	0	0	0	0	0	0	6
山口県	萩市土原	2	0	0	0	0	0	0	0	0	2
	萩市見島宇津	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	下関市竹崎	4	0	0	0	0	0	0	0	0	4
	下関市豊浦町川棚	2	0	0	0	0	0	0	0	0	2
	宇部市野中	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1
	岩国市今津	2	0	0	0	0	0	0	0	0	2
	田布施町下田布施	6	0	0	0	0	0	0	0	0	6
	山口市前町	3	0	0	0	0	0	0	0	0	3
	防府市寿	3	0	0	0	0	0	0	0	0	3
	下松市瀬戸	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

四国地方

県	観測点	震度							合計		
		1	2	3	4	5弱	5強	6弱		6強	7
徳島県	徳島市大和町	6	0	0	0	0	0	0	0	0	6
	鳴門市撫養町	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1
	吉野川市鴨島町	3	0	0	0	0	0	0	0	0	3
	美馬市脇町	2	0	0	0	0	0	0	0	0	2
	美馬市穴吹ふれスポ公園	2	1	0	0	0	0	0	0	0	3
	徳島三好市池田総合体育館	3	2	1	0	0	0	0	0	0	6
香川県	阿南市富岡町	6	0	0	0	0	0	0	0	0	6
	那賀町横石	2	0	0	0	0	0	0	0	0	2
	高松市伏石町	2	0	0	0	0	0	0	0	0	2
	高松空港	2	0	0	0	0	0	0	0	0	2
	東かがわ市西村	3	1	0	0	0	0	0	0	0	4
	土庄町甲	6	0	0	0	0	0	0	0	0	6
愛媛県	坂出市玉越町	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1
	観音寺市坂本町	2	2	0	0	0	0	0	0	0	4
	多度津町家中	1	2	0	0	0	0	0	0	0	3
	今治市南宝来町二丁目	7	1	0	0	0	0	0	0	0	8
	新居浜市一宮町	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1
	西条市丹原町鞍瀬	5	3	0	0	0	0	0	0	0	8
高知県	松山市北持田町	4	0	0	0	0	0	0	0	0	4
	宇和島市住吉町	1	3	0	0	0	0	0	0	0	4
	八幡浜市広瀬	3	2	0	0	0	0	0	0	0	5
	大洲市豊茂	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1
	西予市野村町	6	0	1	0	0	0	0	0	0	7
	愛媛鬼北町成川	3	0	0	0	0	0	0	0	0	3
高知県	室戸市吉良川町	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	室戸市室戸岬町	1	1	0	0	0	0	0	0	0	2
	安芸市西浜	4	1	0	0	0	0	0	0	0	5
	高知市本町	3	1	0	0	0	0	0	0	0	4
	高知市春野町芳原	7	1	0	0	0	0	0	0	0	8
	須崎市山手町	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1
	香美市土佐山田町宝町	1	1	0	0	0	0	0	0	0	2
	香美市物部町神池	2	0	0	0	0	0	0	0	0	2
	宿毛市片島	7	3	0	0	0	0	0	0	0	10
	土佐清水市有永	2	0	0	0	0	0	0	0	0	2
土佐清水市足摺岬	2	0	0	0	0	0	0	0	0	2	
四万十町窪川中津川	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1	
黒潮町入野(旧) ^{注)}	1	3	0	0	0	0	0	0	0	4	
黒潮町入野 ^{注)}	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	

注)
「黒潮町入野(旧)」
「黒潮町入野」

平成 29 年 11 月 16 日まで
平成 29 年 11 月 16 日から

九州地方及び沖縄地方

県	観測点	震度									
		1	2	3	4	5弱	5強	6弱	6強	7	合計
福岡県	福岡空港	9	1	0	0	0	0	0	0	0	10
	福岡中央区大濠	8	0	0	0	0	0	0	0	0	8
	福岡早良区板屋	3	0	0	0	0	0	0	0	0	3
	福津市手光	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	糸島市志摩初	7	1	0	0	0	0	0	0	0	8
	北九州八幡東区桃園	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	苅田町若久	2	0	0	0	0	0	0	0	0	2
	飯塚市川島	4	0	0	0	0	0	0	0	0	4
	福智町上野	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	大牟田市笹林	9	0	0	0	0	0	0	0	0	9
	久留米市津福本町	8	2	0	0	0	0	0	0	0	10
	八女市黒木町北木屋	4	0	0	0	0	0	0	0	0	4
	筑前町下高場	6	0	0	0	0	0	0	0	0	6
	唐津市西城内	3	1	0	0	0	0	0	0	0	4
佐賀県	佐賀市駅前中央	9	0	0	0	0	0	0	0	0	9
	太良町多良	4	0	0	0	0	0	0	0	0	4
長崎県	嬉野市不動山	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	佐世保市千反町	2	0	0	0	0	0	0	0	0	2
	平戸市岩の上町	2	0	0	0	0	0	0	0	0	2
	長崎市南山手	2	1	0	0	0	0	0	0	0	3
	長崎市黒浜町	2	0	0	0	0	0	0	0	0	2
	長崎市長浦町	2	1	0	0	0	0	0	0	0	3
	諫早市東小路町	4	1	1	0	0	0	0	0	0	6
	雲仙市国見町	13	3	0	0	0	0	0	0	0	16
	雲仙市小浜町雲仙	21	5	1	0	0	0	0	0	0	27
	長崎対馬市厳原町東里	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1
	長崎対馬市上県町銅所	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	長崎対馬市美津島町鴨居瀬	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1
	壱岐市芦辺町中野	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	五島市富江町繁敷	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
五島市木場町	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
熊本県	南阿蘇村中松	15	7	1	0	0	0	0	0	0	23
	八代市平山新町	17	10	0	0	0	0	0	0	0	27
	八代市泉町	17	2	0	0	0	0	0	0	0	19
	玉名市築地	3	0	0	0	0	0	0	0	0	3
	宇土市新小路町	61	16	4	0	0	0	0	0	0	81
	益城町木山	32	6	5	0	0	0	0	0	0	43
	宇城市松橋町	56	14	3	0	0	0	0	0	0	73
	熊本西区春日	81	34	6	1	0	0	0	0	0	122
	人吉市西間下町	8	3	0	0	0	0	0	0	0	11
	多良木町多良木	6	2	0	0	0	0	0	0	0	8
	芦北町芦北	13	5	0	0	0	0	0	0	0	18
	上天草市大矢野町	25	10	0	1	0	0	0	0	0	36
	天草市本町	2	0	0	0	0	0	0	0	0	2
	天草市牛深町	3	0	0	0	0	0	0	0	0	3
大分県	中津市上宮永	4	0	0	0	0	0	0	0	0	4
	国東市国見町西方寺	3	1	0	0	0	0	0	0	0	4
	国東市鶴川	1	3	0	0	0	0	0	0	0	4
	大分市長浜 ^{注)}	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	大分市明野北 ^{注)}	4	1	1	0	0	0	0	0	0	6
	別府市鶴見	4	2	0	0	0	0	0	0	0	6
	別府市天間	2	3	0	0	0	0	0	0	0	5
	臼杵市之見	1	2	0	0	0	0	0	0	0	3
	佐伯市蒲江蒲江浦	12	3	1	2	0	0	0	0	0	18
	佐伯市堅田	1	0	2	0	0	0	0	0	0	3
	佐伯市蒲江猪串浦	1	1	1	0	0	0	0	0	0	3
	豊後大野市三重町	2	0	3	0	0	0	0	0	0	5
	日田市中津江村合瀬	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1
	日田市三本松	3	0	0	0	0	0	0	0	0	3
玖珠町帆足	3	0	0	0	0	0	0	0	0	3	

注)
「大分市長浜」 平成 29 年 2 月 23 日まで
「大分市明野北」 平成 29 年 2 月 23 日から

県	観測点	震度									
		1	2	3	4	5弱	5強	6弱	6強	7	合計
宮崎県	延岡市北方町未	3	1	1	0	0	0	0	0	0	5
	延岡市天神小路	8	2	1	1	0	0	0	0	0	12
	日向市亀崎	2	1	1	0	0	0	0	0	0	4
	日向市大王谷運動公園	8	1	2	0	0	0	0	0	0	11
	新富町上富田	7	2	0	0	0	0	0	0	0	9
	宮崎都農町川北	1	1	0	0	0	0	0	0	0	2
	高千穂町三田井	20	2	2	1	0	0	0	0	0	25
	宮崎市霧島	16	5	0	0	0	0	0	0	0	21
	日南市油津	7	2	0	0	0	0	0	0	0	9
	日南市北郷町大藤	4	0	0	0	0	0	0	0	0	4
	串間市奈留	2	2	0	0	0	0	0	0	0	4
	都城市葦浦原	15	4	1	0	0	0	0	0	0	20
	都城市高崎町江平	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	小林市真方	15	8	0	0	0	0	0	0	0	23
鹿児島県	鹿児島市東郡元	10	5	1	1	0	0	0	0	0	17
	鹿児島市下福元	17	3	2	0	1	0	0	0	0	23
	枕崎市高見町	12	4	2	1	0	0	0	0	0	19
	阿久根市赤瀬川	1	1	0	0	0	0	0	0	0	2
	指宿市山川新生町	10	3	2	1	0	0	0	0	0	16
	薩摩川内市中郷	9	1	1	0	0	0	0	0	0	11
	さつま町宮之城屋地	5	1	0	0	0	0	0	0	0	6
	霧島市隼人町内山田	3	1	0	0	0	0	0	0	0	4
	伊佐市大口山野	9	2	0	0	0	0	0	0	0	11
	鹿屋市新栄町	27	5	2	1	0	0	0	0	0	35
	錦江町田代籠	9	4	1	0	0	0	0	0	0	14
	志布志市志布志町志布志	11	2	2	0	0	0	0	0	0	15
	鹿児島十島村中之島徳之尾	10	3	0	0	0	0	0	0	0	13
	薩摩川内市下飯町青瀬	2	1	0	0	0	0	0	0	0	3
沖縄県	西之表市住吉	13	1	1	0	0	0	0	0	0	15
	西之表市西之表	7	2	1	0	0	0	0	0	0	10
	南種子町中之下	4	3	0	0	0	0	0	0	0	7
	屋久島町小瀬田	3	2	0	0	0	0	0	0	0	5
	屋久島町口永良部島池田	4	0	0	0	0	0	0	0	0	4
	屋久島町平内	6	3	0	0	0	0	0	0	0	9
	瀬戸内町西古見	14	4	0	0	0	0	0	0	0	18
	龍郷町屋入	5	1	0	0	0	0	0	0	0	6
	喜界町滝川	7	7	0	0	0	0	0	0	0	14
	奄美市名瀬港町	11	7	2	0	0	0	0	0	0	20
	天城町当部	3	0	0	0	0	0	0	0	0	3
	和泊町国頭	6	1	0	0	0	0	0	0	0	7
	知名町瀬利覚	12	1	0	0	0	0	0	0	0	13
	与論町麦屋	2	0	0	0	0	0	0	0	0	2
沖縄県	名護市宮里	4	1	0	0	0	0	0	0	0	5
	名護市豊原	8	0	1	0	0	0	0	0	0	9
	国頭村奥	9	1	1	0	0	0	0	0	0	11
	粟国村浜	6	2	0	0	0	0	0	0	0	8
	伊平屋村我喜屋	2	1	0	0	0	0	0	0	0	3
	那覇市樋川	6	1	0	0	0	0	0	0	0	7
	那覇空港	3	2	0	0	0	0	0	0	0	5
	読谷村座喜味	8	0	1	0	0	0	0	0	0	9
	南城市玉城字玉城	2	1	0	0	0	0	0	0	0	3
	久米島町山城	4	2	0	0	0	0	0	0	0	6
	久米島町謝名堂	5	2	2	0	0	0	0	0	0	9
	南大東村在所	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1
	南大東村池之沢	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1
	北大東村黄金山	0	1	0	0	0	0	0	0	0	1
多良間村塩川	6	2	0	0	0	0	0	0	0	8	
宮古島市平良下里	6	3	1	0	0	0	0	0	0	10	
宮古島市城辺福北	9	3	1	0	0	0	0	0	0	13	
宮古島市平良池間	8	2	0	0	0	0	0	0	0	10	
宮古島市伊良部国仲	6	3	0	0	0	0	0	0	0	9	
宮古島市上野新里	4	2	1	0	0	0	0	0	0	7	
石垣市登野城	4	3	0	0	0	0	0	0	0	7	
石垣市新川	2	2	0	0	0	0	0	0	0	4	
石垣市平久保	2	2	1	0	0	0	0	0	0	5	
与那国町祖納	2	1	0	0	0	0	0	0	0	3	
与那国町久部良	3	2	0	0	0	0	0	0	0	5	
竹富町大原	8	2	1	0	0	0	0	0	0	11	
竹富町黒島	6	1	0	0	0	0	0	0	0	7	
竹富町波照間	2	0	0	0	0	0	0	0	0	2	
竹富町船浮	14	3	0	0	0	0	0	0	0	17	

● 過去 10 年間 (2008 年～2017 年) の最大震度別の月別地震回数

震度	1	2	3	4	5弱	5強	6弱	6強	7	計
2008年1月	59	30	6	1	1	0	0	0	0	97
2月	58	24	5	0	0	0	0	0	0	87
3月	59	24	11	2	0	0	0	0	0	96
4月	64	25	8	5	0	0	0	0	0	102
5月	89	41	17	3	1	0	0	0	0	151
6月	367	135	54	12	1	0	0	1	0	570
7月	116	36	11	2	2	0	1	0	0	168
8月	86	38	9	3	0	0	0	0	0	136
9月	77	40	13	0	1	0	0	0	0	131
10月	94	26	10	3	0	0	0	0	0	133
11月	68	29	4	2	0	0	0	0	0	103
12月	79	35	15	1	0	0	0	0	0	130
計	1216	483	163	34	6	0	1	1	0	1904
2009年1月	62	28	5	1	0	0	0	0	0	96
2月	70	27	6	7	0	0	0	0	0	110
3月	59	26	5	0	0	0	0	0	0	90
4月	73	19	9	2	0	0	0	0	0	103
5月	75	27	8	1	0	0	0	0	0	111
6月	89	30	7	3	0	0	0	0	0	129
7月	71	22	10	2	0	0	0	0	0	105
8月	99	39	19	4	1	0	1	0	0	163
9月	86	34	8	3	0	0	0	0	0	131
10月	57	33	11	5	0	0	0	0	0	106
11月	67	30	8	1	0	0	0	0	0	106
12月	260	84	28	7	2	0	0	0	0	381
計	1068	399	124	36	3	0	1	0	0	1631
2010年1月	72	27	5	6	0	0	0	0	0	110
2月	74	19	7	2	1	0	0	0	0	103
3月	69	24	8	2	1	0	0	0	0	104
4月	71	23	5	2	0	0	0	0	0	101
5月	65	23	4	2	0	0	0	0	0	94
6月	59	19	11	1	1	0	0	0	0	91
7月	72	27	7	3	1	0	0	0	0	110
8月	65	24	8	1	0	0	0	0	0	98
9月	80	30	10	3	0	0	0	0	0	123
10月	106	36	15	6	1	0	0	0	0	164
11月	64	25	9	3	0	0	0	0	0	101
12月	86	17	10	1	0	0	0	0	0	114
計	883	294	99	32	5	0	0	0	0	1313
2011年1月	49	18	8	2	0	0	0	0	0	77
2月	108	38	12	5	0	0	0	0	0	163
3月	2341	1120	412	120	21	6	2	3	1	4026
4月	1167	549	201	46	12	2	2	1	0	1980
5月	587	258	78	18	2	0	0	0	0	943
6月	450	187	60	14	2	2	0	0	0	715
7月	393	148	35	11	2	3	0	0	0	592
8月	362	153	34	14	3	0	0	0	0	566
9月	301	106	44	10	1	2	0	0	0	464
10月	303	101	32	3	0	1	0	0	0	440
11月	232	88	28	6	2	1	0	0	0	357
12月	224	97	32	4	0	0	0	0	0	357
計	6517	2863	976	253	45	17	4	4	1	10680
2012年1月	221	84	27	10	2	0	0	0	0	344
2月	196	83	24	6	1	1	0	0	0	311
3月	232	80	23	4	3	1	0	0	0	343
4月	171	83	19	6	2	0	0	0	0	281
5月	162	67	20	3	0	1	0	0	0	253
6月	154	66	19	5	0	0	0	0	0	244
7月	166	62	22	8	1	0	0	0	0	259
8月	150	82	15	5	1	1	0	0	0	254
9月	129	46	9	1	0	0	0	0	0	185
10月	168	71	27	5	1	0	0	0	0	272
11月	124	44	11	6	0	0	0	0	0	185
12月	136	48	16	6	1	0	0	0	0	207
計	2009	816	232	65	12	4	0	0	0	3138
2013年1月	124	45	12	5	2	0	0	0	0	188
2月	171	62	26	4	0	2	0	0	0	265
3月	95	50	14	3	0	0	0	0	0	162
4月	183	62	18	6	1	1	1	0	0	272
5月	134	52	17	2	0	1	0	0	0	206
6月	108	56	9	6	0	0	0	0	0	179
7月	137	54	18	5	0	0	0	0	0	214
8月	133	56	16	3	0	1	0	0	0	209
9月	110	41	6	5	0	1	0	0	0	163
10月	97	50	13	5	0	0	0	0	0	165
11月	126	43	20	4	1	0	0	0	0	194
12月	106	41	18	4	1	0	0	0	0	170
計	1524	612	187	52	5	6	1	0	0	2387
2014年1月	92	50	8	2	0	0	0	0	0	152
2月	84	48	10	4	0	0	0	0	0	146
3月	101	48	8	1	0	1	0	0	0	159
4月	92	44	13	4	0	0	0	0	0	153
5月	125	45	15	1	1	0	0	0	0	187
6月	92	34	12	5	0	0	0	0	0	143
7月	118	46	9	5	2	0	0	0	0	180
8月	103	43	9	5	1	0	0	0	0	161
9月	141	37	11	5	2	0	0	0	0	196
10月	92	35	10	5	0	0	0	0	0	142
11月	177	67	16	5	1	0	1	0	0	267
12月	111	38	13	4	0	0	0	0	0	166
計	1328	535	134	46	7	1	1	0	0	2052
2015年1月	94	39	13	3	0	0	0	0	0	149
2月	100	42	8	3	0	2	0	0	0	155
3月	90	33	17	2	0	0	0	0	0	142
4月	85	38	8	2	0	0	0	0	0	133
5月	108	37	10	2	2	2	0	0	0	161
6月	107	38	10	4	1	0	0	0	0	160
7月	84	36	11	2	1	1	0	0	0	135
8月	97	41	23	4	0	0	0	0	0	165
9月	80	37	11	1	1	0	0	0	0	130
10月	106	46	12	5	0	0	0	0	0	169
11月	113	33	13	5	0	0	0	0	0	164
12月	110	54	13	1	0	0	0	0	0	178
計	1174	474	149	34	5	5	0	0	0	1841
2016年1月	115	35	13	2	2	0	0	0	0	167
2月	92	36	9	4	0	0	0	0	0	141
3月	74	29	10	2	0	0	0	0	0	115
4月	1798	891	335	100	10	5	3	2	2	3146
5月	417	183	54	9	1	0	0	0	0	664
6月	247	86	27	7	1	0	1	0	0	369
7月	174	71	33	5	1	0	0	0	0	284
8月	155	66	12	4	1	0	0	0	0	238
9月	125	57	24	4	1	0	0	0	0	211
10月	378	136	44	12	0	0	1	0	0	571
11月	237	114	19	6	1	0	0	0	0	377
12月	204	74	21	4	0	0	1	0	0	304
計	4016	1778	601	159	18	5	6	2	2	6587
2017年1月	98	42	9	4	0	0	0	0	0	153
2月	85	44	13	2	1	0	0	0	0	145
3月	99	44	12	2	0	0	0	0	0	157
4月	123	40	18	3	0	0	0	0	0	184
5月	114	42	6	2	0	0	0	0	0	164
6月	153	42	18	3	0	2	0	0	0	218
7月	115	48	9	2	2	1	0	0	0	177
8月	136	56	15	3	0	0	0	0	0	210
9月	118	52	13	4	0	1	0	0	0	188
10月	92	41	9	0	1	0	0	0	0	143
11月	95	34	11	4	0	0	0	0	0	144
12月	96	34	9	3	0	0	0	0	0	142
計	1324	519	142	32	4	4	0	0	0	2025

震度観測点数の変遷は以下の通り。

～1995年 4月 12日	: 約 150 点	2002年 3月 20日	～: 約 3,250 点	2011年 1月 6日	～: 約 4,270 点
1995年 4月 13日	～: 約 300 点	2003年 3月 10日	～: 約 3,440 点	2013年 1月 7日	～: 約 4,300 点
1996年 10月 1日	～: 約 600 点	2004年 5月 26日	～: 約 3,520 点	2014年 1月 7日	～: 約 4,380 点
1997年 11月 1日	～: 約 1,200 点	2006年 3月 1日	～: 約 3,920 点	2015年 3月 26日	～: 約 4,380 点
1998年 6月 15日	～: 約 1,500 点	2007年 3月 1日	～: 約 4,220 点	2016年 3月 29日	～: 約 4,390 点
2000年 1月 12日	～: 約 2,500 点	2009年 8月 21日	～: 約 4,230 点	2017年 11月 16日	現在 4,375 点
2001年 3月 22日	～: 約 2,700 点	2010年 7月 1日	～: 約 4,250 点		

● 平成 29 年（2017 年）の緊急地震速報の提供状況

平成 29 年に緊急地震速報（予報）を発表した回数は 768 回、そのうち緊急地震速報（警報）を発表した回数は 7 回であった（表 1、表 2 参照）。

表 1. 平成 29 年に緊急地震速報を発表した月別回数

年月	平成 29 年												合計
	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	
緊急地震速報（予報）	77	72	61	60	52	55	79	73	52	53	57	77	768
緊急地震速報（警報）	0	0	0	0	0	1	1	1	2	1	0	1	7

表 2. 平成 29 年に緊急地震速報（警報）を発表した地震

地震発生日時	震央地名	マグニチュード (M)	最大震度	予想最大震度	警報発表までの経過時間 (秒)
平成 29 年 06 月 25 日 07 時 02 分	長野県南部	5.6	5 強	5 弱	7.6
平成 29 年 07 月 11 日 11 時 56 分	鹿児島湾	5.3	5 強	5 弱	9.7
平成 29 年 08 月 02 日 02 時 02 分	茨城県北部	5.5	4	5 弱	6.2
平成 29 年 09 月 08 日 22 時 23 分	秋田県内陸南部	5.2	5 強	5 弱	4.7
平成 29 年 09 月 27 日 05 時 22 分	岩手県沖	6.1	4	5 弱	6.6
平成 29 年 10 月 06 日 23 時 56 分	福島県沖	5.9	5 弱	5 弱	9.2
平成 29 年 12 月 06 日 00 時 13 分	長野県中部	5.3	4	5 弱	5.5

※表中の「予想最大震度」は緊急地震速報（警報）で発表した予想震度の最大値、「警報発表までの経過時間（秒）」は地震検知から緊急地震速報（警報）第 1 報発表までの経過時間（秒）を示す。

（震度 5 弱以上を観測し、緊急地震速報（警報）を発表しなかった地震）

地震発生日時	震央地名	マグニチュード (M)	最大震度	予想最大震度
平成 29 年 02 月 28 日 16 時 49 分	福島県沖	5.7	5 弱	4
平成 29 年 06 月 20 日 23 時 27 分	豊後水道	5.0	5 強	4
平成 29 年 07 月 01 日 23 時 45 分	胆振地方中東部	5.1	5 弱	4
平成 29 年 07 月 02 日 00 時 58 分	熊本県阿蘇地方	4.5	5 弱	4

※表中の「予想最大震度」は緊急地震速報（予報）の最終報で発表した予想震度の最大値を示す。

● 平成 29 年 (2017 年) に長周期地震動階級 1 以上を観測した地震

平成 29 年 (2017 年) に長周期地震動階級[※]1 以上を観測した地震は 9 回であった (平成 28 年は 25 回)。

表 1 平成 29 年に長周期地震動階級 1 以上を観測した地震

No	震源時	震央地名	深さ (km)	M	最大 階級	最大の長周期地震動階級を 観測した地域 (地点)
1	1 月 5 日 02 時 53 分	福島県沖	26	5.6	1	福島県浜通り (いわき市小名浜)
2	2 月 19 日 18 時 19 分	千葉県北東部	52	5.4	1	千葉県北東部 (多古町多古)
3	2 月 28 日 16 時 49 分	福島県沖	52	5.7	1	福島県浜通り (南相馬市原町区三島町、 浪江町幾世橋)
4	6 月 25 日 07 時 02 分	長野県南部	7	5.6	1	長野県中部 (諏訪市湖岸通り)
5	7 月 11 日 11 時 56 分	鹿児島湾	10	5.3	1	鹿児島県薩摩 (指宿市山川新生町)
6	7 月 20 日 09 時 11 分	福島県沖	46	5.8	1	宮城県北部 (涌谷町新町裏)
7	9 月 27 日 05 時 22 分	岩手県沖	35	6.1	1	青森県津軽北部 (青森市花園) 宮城県北部 (登米市中田町、涌谷町新町裏)
8	10 月 6 日 23 時 56 分	福島県沖	53	5.9	1	福島県中通り (郡山市朝日) 福島県浜通り (南相馬市原町区三島町、 いわき市小名浜、浪江町幾世橋)
9	12 月 6 日 00 時 13 分	長野県中部	10	5.3	1	長野県中部 (上田市上田古戦場公園、 諏訪市湖岸通り)

【注】震源要素は気象庁による。震源要素、震央地名は長周期地震動に関する観測情報(試行)^{※※}の発表時の値(速報値)とは異なる場合がある。

※ 長周期地震動階級に関する詳細は、本誌「付録 10. 長周期地震動階級関連解説表」を参照。

※※長周期地震動に関する観測情報(試行)に関する詳細は、地震・火山月報(防災編)平成 25 年 4 月号「特集 3. 長周期地震動に関する観測情報(試行)について」を参照。

● 2017 年の日本の主な火山活動

【北海道地方】

知床硫黄山 [噴火予報（活火山であることに留意）]

7 月の上空からの観測（国土交通省北海道開発局の協力による）では、噴気は認められなかった。また、北西側中腹の爆裂火口の地熱域に特段の変化はなかった。

羅臼岳 [噴火予報（活火山であることに留意）]

7 月の上空からの観測（国土交通省北海道開発局の協力による）では、山頂付近に噴気や地熱域は認められなかった。

天頂山 [噴火予報（活火山であることに留意）]

7 月の上空からの観測（国土交通省北海道開発局の協力による）では、噴気や地熱域は認められなかった。

摩周 [噴火予報（活火山であることに留意）]

7 月の上空からの観測（国土交通省北海道開発局の協力による）では、噴気や地熱域は認められなかった。

アトサヌプリ [噴火予報（噴火警戒レベル 1、活火山であることに留意）]

地震活動及び噴気活動は低調で、地殻変動にも特段の変化はなかった。

7 月の現地調査、7 月及び 9 月の上空からの観測（国土交通省北海道開発局の協力による）では、各火口の状況に特段の変化はなかった。

雄阿寒岳 [噴火予報（活火山であることに留意）]

2 月、4 月、7 月及び 9 月の上空からの観測（第一管区海上保安本部及び国土交通省北海道開発局の協力による）では、噴気は認められなかった。また、北西斜面の弱い地熱域に特段の変化はなかった。

雌阿寒岳 [噴火予報（噴火警戒レベル 1、活火山であることに留意）]

ポンマチネシリ 96-1 火口及びその他の火口の噴煙及び噴気活動は低調に経過した。6 月及び 9 月に実施した現地調査、7 月の上空からの観測（国土交通省北海道開発局の協力による）では、ポンマチネシリ 96-1 火口の噴煙の勢いは弱く、2014 年から 2016 年にかけて地熱域の拡大がみられたポンマチネシリ第 3 火口及び第 4 火口では明瞭な地熱域は認められなかった。また、その他の火口については特段の変化はなかった。

全磁力連続観測¹⁾では、2015～2016 年にみら

れていた、ポンマチネシリ 96-1 火口近傍の地下における熱活動の活発化の可能性を示す全磁力の減少傾向は、2016 年 10 月以降やや増加に転じている。

地震活動は低調に経過した。地震はポンマチネシリ火口付近及び中マチネシリ火口付近の浅い所、東山腹のやや深い所で発生した。中マチネシリ火口付近及び東山腹付近の地震は、2016 年 12 月頃からやや多い状態だったが、2017 年 6 月以降は増加する前と同様に少ない状態で経過した。

GNSS²⁾連続及び繰り返し観測では、山体浅部の収縮と考えられる動きが継続している。また、2016 年 10 月下旬以降、雌阿寒岳の北東側に膨張源が推定される地殻変動が観測され、2017 年 5 月以降は小さくなったが、わずかに継続している。

大雪山 [噴火予報（活火山であることに留意）]

8 月 18 日、旭岳付近の浅い所を震源とするマグニチュード 2.1 の地震が発生した。地震増加時にその他の観測データに特段の変化はなく、それ以外の期間については、地震活動は低調に経過した。

噴気活動は低調に経過した。8 月に実施した現地調査及び 4 月の上空からの観測（国土交通省北海道開発局の協力による）では、噴気の状況や地熱域に特段の変化はなかった。

十勝岳 [噴火予報（噴火警戒レベル 1、活火山であることに留意）]

GNSS連続及び繰り返し観測では、2006 年以降、62-2 火口直下浅部の膨張を示すと考えられる変動が引き続き認められている。ここ数年、山体浅部の膨張のほか、大正火口の噴煙量増加、地震増加、火山性微動の発生、発光現象及び地熱域の拡大などを観測しており、長期的に火山活動に高まる傾向がみられている。

1 月及び 4 月に実施した上空からの観測（第一管区海上保安本部及び国土交通省北海道開発局の協力による）では、62-2 火口や大正火口の状況に特段の変化はみられなかったが、振子沢噴気孔群では 2015 年 6 月以降みられている地熱域が拡大した状態が継続していた。

6 月、9 月及び 10 月に実施した現地調査では、振子沢噴気孔群の刺激臭を伴った噴気や前十勝頂上付近の複数の列状の噴気を引き続き確認した。また、振子沢噴気孔群の地熱域の拡大した状態が継続していた。62-2 火口周辺では、引き続き熱活動が活発な状態が継続していた。

地震活動は、62-2 火口付近のごく浅い所を震源とする火山性地震が一時的にやや増加する日があったが、1 日あたり概ね 10 回以下と低調に経過

した。グラウンド火口周辺や旧噴火口付近の浅い所を震源とする周辺の地震活動は概ね低調に経過したが、7月6日から8日にかけて一時的にやや増加し、7月7日のマグニチュード2.0の地震では山麓で震度1程度の揺れを感じた。十勝岳の地震回数は、長期的にみると2010年頃からやや多い状態となっている。また、2月、6月、11月及び12月には、振幅が小さい火山性微動を観測した。

樽前山 [噴火予報（噴火警戒レベル1、活火山であることに留意）]

噴気活動は低調に経過した。5月の現地調査、2月、8月及び9月の上空からの観測（第一管区海上保安本部及び国土交通省北海道開発局の協力による）では、山頂溶岩ドーム周辺の状況に特段の変化はなく、山頂溶岩ドームの高温状態が継続していた。また、2009年以降の山頂溶岩ドーム付近の収縮傾向も継続していた。

地震活動は低調に経過した。地震は山頂溶岩ドーム直下のごく浅い所及び山体の西側で発生した。

恵庭岳 [噴火予報（活火山であることに留意）]

8月の上空からの観測（国土交通省北海道開発局の協力による）では、山頂東側の爆裂火口内に引き続き弱い噴気及び地熱域が認められたが、特段の変化はなかった。

倶多楽 [噴火予報（噴火警戒レベル1、活火山であることに留意）]

地震活動は、5月22日に振幅の小さい地震がやや増加した以外は、低調に経過した。

噴気活動は低調に経過した。4月に実施した現地調査では、日和山爆裂火口の状況に特段の変化はなく、噴気温度は2007年以降のやや高い状態が継続していた。その他の場所でも特段の変化は認められなかった。また、8月の上空からの観測（国土交通省北海道開発局の協力による）では、噴気や火口の状況に特段の変化は認められなかったが、大湯沼では北東側の水面にも温度の高まりが認められた。

大正地獄では4月27日以降時々小規模な熱湯噴出が確認されている。また、大湯沼では8月22日に北東岸で小規模な熱水の吹き上げが確認された。大正地獄での熱湯噴出や大湯沼での熱水の吹き上げはこれまでも発生しており、局所的な現象であるため、火山活動の活発化に直接つながるものではないと考えられる。

有珠山 [噴火予報（噴火警戒レベル1、活火山であることに留意）]

地震活動及び噴気活動は低調に経過した。

10月の現地調査、2月及び8月の上空からの観測（第一管区海上保安本部及び国土交通省北海道開発局の協力による）では、火口の噴気の状態や地熱域に特段の変化はなかった。

GNSS連続観測では、1977年から1978年にかけての噴火後の山体収縮を示す地殻変動が継続している。

羊蹄山 [噴火予報（活火山であることに留意）]

8月の上空からの観測（国土交通省北海道開発局の協力による）では、山頂火口周辺に噴気及び地熱域は認められなかった。

ニセコ [噴火予報（活火山であることに留意）]

8月の上空からの観測（国土交通省北海道開発局の協力による）では、イワオヌプリ（硫黄山）山頂部や五色温泉周辺に噴気及び地熱域は認められなかった。

北海道駒ヶ岳 [噴火予報（噴火警戒レベル1、活火山であることに留意）]

噴気活動は低調で、地殻変動にも特段の変化はなかった。5月及び7月の現地調査、9月及び10月の上空からの観測（国土交通省北海道開発局及び北海道の協力による）では、火口の噴気の状態や地熱域に特段の変化は認められなかった。

地震活動も低調に経過していたが、11月26日に山頂の浅い所を震源とする規模の小さな地震が増加した。地震増加時にその他の観測データに異常はなく、12月5日の現地調査では昭和4年火口や明治火口の状況に特段の変化は認められなかった。11月27日以降、地震活動は概ね低調に経過したが、以前の状態には戻っていない。

恵山 [噴火予報（噴火警戒レベル1、活火山であることに留意）]

地震活動及び噴気活動は低調で、地殻変動にも特段の変化はなかった。

10～11月の現地調査及び9月の上空からの観測（国土交通省北海道開発局の協力による）では、火口の噴気の状態や地熱域に特段の変化はなかった。

【東北地方】

恐山 [噴火予報（活火山であることに留意）]

8月及び10月の現地調査では、宇曽利山湖北岸の噴気や地熱域に特段の変化は認められなかった。10月の上空からの観測（青森県の協力による）では、宇曽利山湖北岸とその周辺の変質地帯や湖面の状況に特段の変化は認められなかった。

いわきさん
岩木山【噴火予報（噴火警戒レベル 1、活火山であることに留意）】

監視カメラでは、噴気は確認されなかった。
 地震活動は低調で、地殻変動にも特段の変化はなかった。

はっこうださん
八甲田山【噴火予報（活火山であることに留意）】

9 月 1 日に八甲田山山頂（大岳）の南約 3 km 付近の深さ約 2 km でマグニチュード 2.4 の地震が発生した。この地震の前後で地震活動に変化はなく、その他の期間、火山性地震は少ない状態で経過した。

監視カメラでは、噴気は確認されず、地殻変動には特段の変化はなかった。

6 月及び 12 月の現地調査では、地獄沼周辺の噴気や地熱域、地中温度の状況に特段の変化は認められなかった。10 月の上空からの観測（青森県の協力による）では、地獄沼周辺及び酸ヶ湯沢上流の状況に特段の変化は認められなかった。

とわだ
十和田【噴火予報（活火山であることに留意）】

監視カメラでは、噴気は確認されなかった。
 地震活動は低調で、地殻変動には特段の変化はなかった。

あきたやけやま
秋田焼山【噴火予報（噴火警戒レベル 1、活火山であることに留意）】

地震活動及び噴気活動は低調で、地殻変動にも特段の変化はなかった。

3 月から 6 月にかけて第二管区海上保安本部仙台航空基地が上空から撮影した映像、及び 6 月の上空からの観測（東北地方整備局の協力による）では、叫沢源頭部、湯沼及び空沼の状況に特段の変化は認められなかった。9 月の現地調査では、叫沢源頭部及び湯沼の噴気や地熱域の状況に特段の変化は認められず、空沼では地熱域は認められなかった。

いわてさん
岩手山【噴火予報（噴火警戒レベル 1、活火山であることに留意）】

10 月に岩手山山頂付近のやや深いところを震源とする火山性地震が一時的に増加したが、その他の期間は、火山性地震は少ない状態で経過した。噴気活動は低調で、地殻変動にも特段の変化はなかった。

4 月及び 11 月の上空からの観測（岩手県の協力による）では、岩手山山頂付近、黒倉山山頂、黒倉山東側崖面、西小沢及び大地獄谷の噴気や融雪域の状況に特段の変化は認められなかった。6 月の現地調査では、大地獄谷、黒倉山及び網張元湯の噴気や地熱域の状況に特段の変化は認めら

れなかった。

あきたこまがたけ
秋田駒ヶ岳【噴火予報（噴火警戒レベル 1、活火山であることに留意）】

9 月 14 日に火山性地震を 227 回観測し、日別地震回数は観測開始以降最多となった。震源は男女岳の北西約 1 km 付近の深さ 1～3 km で、最大規模の地震はマグニチュード 1.2 であった。5 月及び 12 月にも火山性地震の一時的な増加がみられた。その他の観測データに、地震活動に伴う特段の変化は認められなかった。

女岳の山頂付近では、地熱域が引き続き確認されている。

3 月から 11 月にかけて（岩手県の協力による）、6 月（東北地方整備局の協力による）の上空からの観測、並びに 3 月及び 6 月に第二管区海上保安本部仙台航空基地が上空から撮影した映像では、女岳の山頂付近の地形や噴気の状況に特段の変化は認められなかった。8 月から 10 月にかけて実施した現地調査では、女岳の地熱域や噴気の状況に大きな変化は認められず、GNSS 繰り返し観測では、火山活動によると考えられる変化は認められなかった。

ちようかいさん
鳥海山【噴火予報（活火山であることに留意）】

監視カメラでは噴気は観測されなかった。
 地震活動は低調で、地殻変動にも特段の変化はなかった。

くりこまやま
栗駒山【噴火予報（活火山であることに留意）】

地震活動及び噴気活動は低調で、地殻変動にも特段の変化はなかった。

3 月から 11 月にかけての上空からの観測（岩手県の協力による）、5 月及び 8 月の現地調査では、ゼツタ沢上流、ゆげ山、地獄釜の地熱域に特段の変化はなく、昭和湖及びその周辺に地熱域は認められなかった。

なるこ
鳴子【噴火予報（活火山であることに留意）】

6 月及び 11 月の現地調査では、瀧沼周辺の噴気や地熱域の状況に特段の変化は認められなかった。

さおうざん
蔵王山【噴火予報（噴火警戒レベル 1、活火山であることに留意）】

4 月に火山性微動が 2 回発生した。火山性地震は少ない状態で経過した。

監視カメラでは、丸山沢で最高で 200m の噴気を確認した。

坊平の傾斜計³⁾では、3 月 26 日頃からわずかな南東（山頂の南側）上がり、その後、4 月 7 日頃から 4 月下旬にかけてわずかな南東下りの

変化が観測された。GNSS 連続観測では、特段の変化はなかった。

1 月から 4 月にかけて第二管区海上保安本部 仙台航空基地が上空から撮影した映像、及び 2 月の上空からの観測（陸上自衛隊の協力による）、並びに 6 月から 8 月にかけて実施した現地調査では、御釜とその周辺に噴気及び地熱域はみられず、丸山沢の地熱域や噴気の状態に特段の変化は認められなかった。2015 年に温泉湧出が認められた振子沢付近に、高温域は認められなかった。7 月に実施した GNSS 繰り返し観測では、火山活動によると考えられる変化は認められなかった。

あづまやま 吾妻山 [噴火予報（噴火警戒レベル 1、活火山であることに留意）]

大穴火口付近の熱活動は継続しているが、噴気の高さは最高 200m で噴気活動に変化は認められなかった。地震活動は低調に経過した。

2 月の上空からの観測（陸上自衛隊の協力による）及び 4 月から 10 月にかけて実施した現地調査では、大穴火口の噴気及び大穴火口周辺の地熱域の状態に特段の変化は認められなかった。9 月に実施した現地調査では、火山ガス（二酸化硫黄）の放出量⁴⁾ は 1 日あたり 10 トン未満と少ない状態であった。

GNSS 繰り返し観測では、大穴火口を囲む基線で縮みの傾向がみられた。

あたたらやま 安達太良山 [噴火予報（噴火警戒レベル 1、活火山であることに留意）]

監視カメラでは、噴気は確認されなかった。

地震活動は低調で、地殻変動にも特段の変化はなかった。

2 月の上空からの観測（陸上自衛隊の協力による）及び 6 月の現地調査では、沼ノ平火口付近の噴気や地熱域に特段の変化は認められなかった。

ぼんだいさん 磐梯山 [噴火予報（噴火警戒レベル 1、活火山であることに留意）]

8 月 27 日に火山性地震が一時的に増加し、71 回観測した。震源は山頂付近の深さ約 1～2 km で、最大規模の地震はマグニチュード 0.5 であった。その他の期間、地震活動は低調に経過した。噴気活動は低調で、地殻変動にも特段の変化はなかった。

2 月の上空からの観測（陸上自衛隊の協力による）では、沼ノ平噴気地帯及び山体北側火口壁噴気地帯の噴気と地熱域に特段の変化は認められなかった。

【関東・中部地方、伊豆・小笠原諸島】

なすだけ 那須岳 [噴火予報（噴火警戒レベル 1、活火山であることに留意）]

地震活動及び噴煙活動は低調で、地殻変動にも特段の変化はなかった。

10 月の上空からの観測（栃木県消防防災航空隊の協力による）では、茶臼岳の西斜面の 38 火口、北西斜面、南西に位置する牛ヶ首付近で、従来から観測されている弱い噴気を確認した。その他の場所からは、噴気は確認されなかった。

にっこうしらねさん 日光白根山 [噴火予報（噴火警戒レベル 1、活火山であることに留意）]

地震活動は低調で、地殻変動にも特段の変化はなかった。監視カメラでは噴気は観測されなかった。

10 月の上空からの観測（栃木県消防防災航空隊の協力による）では、山頂周辺に噴気など特段の異常は認められなかった。

くまつしらねさん 草津白根山 [噴火予報（噴火警戒レベル 1、活火山であることに留意）]

東京工業大学によると、2014 年以降、湯釜の湖水に含まれる高温の火山ガス由来の成分の濃度上昇が続き、火山活動が活発な状態であることを示していたが、2017 年に入って低下傾向に転じていることが確認された。また、火山性地震は少ない状態が続き、地殻変動観測では湯釜付近の収縮傾向がみられている。山頂火口から 1 km の範囲に影響を及ぼす噴火の可能性は低くなったと考えられることから、6 月 7 日に噴火予報を発表し、噴火警戒レベルを 2（火口周辺規制）から 1（活火山であることに留意）に引き下げた。

全磁力連続観測で、2014 年 5 月以降の湯釜近傍地下の温度上昇を示唆する変化は、2014 年 7 月以降停滞していたが、2016 年夏頃から温度低下を示す変化に転じている。

5 月及び 9 月に実施した現地調査では、湯釜火口内壁や水釜火口北側の高温の地熱域が引き続き認められたが、その温度や広がりには大きな変化は認められなかった。

あきまやま 浅間山 [火口周辺警報（噴火警戒レベル 2、火口周辺規制）]

山頂火口からの噴煙は白色で、火口縁上概ね 800m 以下で経過した。山頂火口で、夜間に高感度カメラで観測できる程度の微弱な火映⁵⁾ が時々観測された。

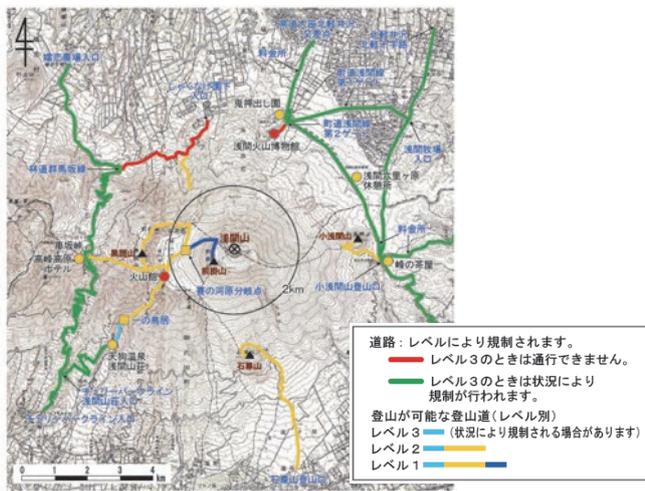
2 月（群馬県の協力による）及び 11 月（陸上自衛隊の協力による）の上空からの観測では、これまでの観測と比較して、火口内の地形に大きな変化はなかったが、2 月の観測に比べて 11 月は火口底中央部の火孔付近の高温領域が縮小して

いるのが認められた。

山頂火口からの火山ガス（二酸化硫黄）の放出量は、1月から3月にかけては1日あたり3,000トンを超えることもあったが、その後はやや減少したものの、500～1,000トンと多い状態で経過している。

山頂火口直下のごく浅い所を震源とする体を感じない火山性地震は、やや多い状態で経過していたが、11月頃から徐々に減少している。火山性微動は、時々発生した。

塩野山に設置している傾斜計による地殻変動観測では、2016年12月頃からみられている北または北西上がりの緩やかな変化が継続している。GNSS連続観測によると、浅間山の西部の基線で2017年1月頃から小さな伸びがみられおり、4月頃から停滞していたが、秋頃からわずかな伸びが再びみられている。



浅間山 警戒が必要な範囲（黒円内：火口から概ね2kmの範囲）

新潟焼山 [噴火予報（噴火警戒レベル1、活火山であることに留意）]

噴煙活動及び地震活動は、低下している。噴煙は、2015年夏頃からやや高く上がる傾向が認められ、2015年12月下旬からは噴煙量も多くなったが、2016年秋から噴煙高度は低下してきている。

火山性地震は、2015年3月頃から回数が増加しだし、2016年5月1日にはさらに増加し、低周波地震も発生したが、その後、回数は減少し、2017年頃からは、さらに少なくなっている。

GNSS連続観測では、2016年1月頃から新潟焼山を南北に挟む基線で伸びがみられていたが、2016年夏以降は停滞傾向が認められる。

5月の上空からの観測（新潟県消防防災航空隊の協力による）では、山頂部の噴煙量は少なく、噴気孔周辺で新たな噴出物はみられなかった。一部の噴気孔周辺では引き続き高温領域が認めら

れた。7月の現地調査では、山頂東側斜面の噴気孔で高さ約10mの弱い噴気を確認した。付近では1ppm（臭気を感じる）程度の硫化水素（H₂S）を検出した。また、この噴気孔の上方では地熱域を確認した。

みだがはら 弥陀ヶ原 [噴火予報（活火山であることに留意）]

弥陀ヶ原近傍を震源とする地震活動は低調に経過した。

10月の現地調査及び上空からの観測（北陸地方整備局の協力による）では、地獄谷周辺で引き続き活発な噴気活動が認められた。赤外熱映像装置⁶⁾による観測では、地獄谷周辺などに引き続き高温域がみられ、その分布は2017年10月と比較して特段の変化はなかった。

やけどだけ 焼岳 [噴火予報（噴火警戒レベル1、活火山であることに留意）]

8月9日23時50分頃から10日02時頃にかけて、空振を伴う低周波地震が発生した。この時間帯に、北陸地方整備局が設置している焼岳北監視カメラ（焼岳の北北西約4km）で、普段、噴気が見られない山頂西側400m付近の黒谷火口において白色の噴気が100m程度まで上がるのを観測した。今後も同様な噴気が見られる可能性が考えられたことから、8月10日06時00分に火山の状況に関する解説情報（臨時）を発表した。

8月27日に実施された信州大学の調査によると、黒谷火口内で弱い噴気と土砂が噴出された跡が観測された。8月29日から9月1日にかけて実施した現地調査では、北峰周辺や焼岳展望台周辺では、地表面温度分布の分布に特段の変化はなかったが、北峰南斜面と焼岳展望台での噴気の温度が前回の観測（2016年7月）と比べてやや上昇していた。

その後、焼岳北監視カメラによる観測では、10月までは黒谷火口で弱い噴気を時々確認したが、11月以降は観測されていない。

焼岳北監視カメラによる観測では、北峰付近の噴気孔からの噴気の高さは概ね100m以下で経過した。同局設置の焼岳南西斜面監視カメラ（焼岳の西南西約2.5km）による観測では、岩坪谷上部の噴気孔からの噴気の高さは概ね100m以下で経過した。

火山性地震は少なく、地震活動は低調に経過した。GNSS連続観測では、火山活動によるとみられる変動は認められない。

のりくらだけ 乗鞍岳 [噴火予報（活火山であることに留意）]

地震活動は低調で、地殻変動にも特段の変化はなかった。監視カメラでは噴気は観測されなかった。

おんたけさん

御嶽山【噴火予報（噴火警戒レベル 1、活火山であることに留意）】

2014 年 10 月以降噴火の発生はなく、噴煙活動や山頂直下付近の地震活動は緩やかな低下が続いている。7 月に実施した山頂付近の現地調査でも、高温領域に広がりはみられず、噴煙・火山ガスの増加傾向は認められなかった。これらのことから、火山活動の静穏化の傾向が続いていると判断し、8 月 21 日 15 時 00 分に噴火予報を発表し、噴火警戒レベルを 2（火口周辺規制）から 1（活火山であることに留意）に引き下げた。

一方、7 月及び 9 月の現地調査では、2014 年に噴火が発生した火口列の一部の噴気孔では、引き続き噴気が勢いよく噴出していることが確認された。

GNSS 連続観測の一部の基線では、2014 年 10 月以降山体の収縮によると考えられる縮みの傾向がみられている。



御嶽山 注意が必要な範囲
（赤円内：活発な噴気孔から概ね 500m の範囲）

はくさん

白山【噴火予報（噴火警戒レベル 1、活火山であることに留意）】

11 月 29 日 03 時頃から夜にかけて、山頂付近を震源とする火山性地震が多発した。11 月 29 日の地震回数は 370 回に達した。これは、2005 年 12 月 1 日の観測開始以来最多である。最大の地震は 05 時 06 分に発生したマグニチュード 2.8 で、白山市白峰で震度 1 を観測した。今後火山活動が高まる可能性も否定できないことから、29 日 08 時 00 分に火山の状況に関する解説情報（臨時）を発表した。

11 月の地震活動のほかに、3 月、4 月、10 月にも山頂付近を震源とする微小な地震がまとまって発生した。低周波地震や火山性微動は観測されていない。

監視カメラでは、山頂部に噴気は認められない。

ふじさん

富士山【噴火予報（噴火警戒レベル 1、活火山であることに留意）】**ことに留意】**

2011 年 3 月 15 日に静岡県東部（富士山の南部付近）で発生したマグニチュード 6.4 の地震以降、地震活動が活発化したが、2016 年以降は、地震活動は低調に経過している。深さ 15km 付近を震源とする深部低周波地震は少ない状況で経過している。監視カメラでは噴気は観測されず、地殻変動にも特段の変化はなかった。

はこねやま

箱根山【噴火予報（噴火警戒レベル 1、活火山であることに留意）】

火山性地震の発生は少なく、地震活動は低調に経過している。低周波地震及び火山性微動は観測されていない。

GNSS 連続観測、気象庁と神奈川県温泉地学研究所が設置している傾斜計及び気象庁の湯河原鍛冶屋の体積ひずみ計⁷⁾では、火山活動に関連する変動はみられていない。

監視カメラによる観測では、大涌谷の火口や噴気孔、またその周辺の大涌谷温泉供給施設から引き続き蒸気が勢いよく噴出しているのを確認している。

いずとうぶかさんぐん

伊豆東部火山群【噴火予報（噴火警戒レベル 1、活火山であることに留意）】

3 月 25 日に伊豆半島東方沖を震源とするマグニチュード (M) 1.7 の地震が発生し、東伊豆奈良本で震度 1 を観測した。7 月 28 日に伊豆半島東方沖を震源とする M3.1 の地震が発生し、東伊豆奈良本で最大震度 2 を観測した。10 月 27 日に静岡県伊豆地方を震源とする M2.9 の地震が発生し、熱海市網代で最大震度 2 を観測した。これらの地震の発生前後でその他のデータに異常はみられなかった。その他の期間は、地震活動は低調に経過した。低周波地震及び火山性微動は観測されなかった。

監視カメラでは噴気は観測されず、地殻変動にも特段の変化はなかった。

いずおおしま

伊豆大島【噴火予報（噴火警戒レベル 1、活火山であることに留意）】

GNSS 等による観測では、地下深部へのマグマの供給によると考えられる島全体の長期的な膨張傾向が、2011 年頃からの一時的な鈍化を経て 2013 年 8 月頃から再びみられている。加えて約 1 年周期で膨張と収縮を繰り返す変動がみられ、2016 年 11 月頃からの膨張傾向が、2017 年 8 月頃から収縮に転じている。

この周期的な変動の膨張の時期に、カルデラ周辺で地震活動が活発化する傾向があり、4 月から 6 月にかけて、一時的な増加を繰り返し、島内で震度 1 以上を観測する地震が複数回発生した。

定期的に行っている現地調査や監視カメラで

は、三原山山頂火口内やその周辺、剣ガ峰付近や三原新山付近の噴気活動は低調で、地熱域にも特段の変化は認められなかった。

^{にいじま}**新島**【噴火予報（活火山であることに留意）】

震度 1 以上を観測する地震が 2 月、10 月及び 12 月にそれぞれ 1 回発生した。その他の期間では地震活動は低調に経過した。監視カメラでは噴気は観測されず、地殻変動にも特段の変化はなかった。

^{こうづしま}**神津島**【噴火予報（活火山であることに留意）】

地震活動は低調で、地殻変動にも特段の変化はなかった。監視カメラでは噴気は観測されなかった。

^{みやげしま}**三宅島**【噴火予報（噴火警戒レベル 1、活火山であることに留意）】

山頂直下の浅部を震源とする地震は概ね少ない状態で経過している。

山頂火口からの噴煙の高さは、概ね 500m 以下で経過している。火山ガス（二酸化硫黄）の放出量は 1 日あたり数十トン以下で経過している。

3 月の上空からの観測（陸上自衛隊の協力による）及び毎月の現地調査では、山頂火口南側内壁に位置する主火孔及びその周辺で引き続き高温領域が認められたが、火口内の状況に特段の変化は認められなかった。

GNSS 連続観測によると、2006 年頃から山体深部の膨張を示す地殻変動がみられていたが、2017 年 1 月頃から変化が鈍化している。

2000 年以降みられていた山体浅部の収縮を示す地殻変動は 2016 年 5 月頃から停滞している。

^{はちじょうしま}**八丈島**【噴火予報（活火山であることに留意）】

地震活動は低調で、地殻変動にも特段の変化はなかった。監視カメラでは噴気は観測されなかった。

^{あおがしま}**青ヶ島**【噴火予報（活火山であることに留意）】

地震活動は低調で、地殻変動にも特段の変化はなかった。監視カメラでは、丸山西斜面に噴気は観測されなかった。

^{れつがん}**ベヨネース列岩**【噴火警報（周辺海域警戒）及び火山現象に関する海上警報】

3 月 24 日及び 25 日に海上保安庁が実施した上空からの観測で、明神礁付近で、薄い黄緑色の変色水が確認された。今後、小規模な海底噴火が発生する可能性が考えられたため、3 月 24 日 15 時 00 分に噴火警報（周辺海域）及び火山現象に関する海上警報を発表した。なお、両日とも浮遊

物は確認されていません。変色水が確認されたのは海上自衛隊による 1988 年以來である。

その後も、海上保安庁及び第三管区海上保安本部の観測で、明神礁付近の海水面に火山活動によるとみられる変色水や気泡が時々観測されている。

^{にしおしま}**西之島**【火口周辺警報（火口周辺危険）及び火山現象に関する海上警報】

4 月 20 日に海上保安庁が実施した上空からの観測で、噴火が確認された。このことを受け同日、火口周辺警報を発表し、噴火予報（活火山であることに留意）から火口周辺警報（入山危険）に引き上げた。西之島で噴火が確認されたのは 2015 年 11 月 17 日以來です。

東京大学地震研究所によると、西之島に設置した地震計及び空振計の記録には、4 月 18 日に空振を伴う地震と、その後断続的に発生する火山性微動がみられた。また気象衛星ひまわりの観測で、西之島付近で 4 月 19 日夜から周囲に比べて地表温度の高い領域を確認している。これらのことから、4 月 18 日に噴火が発生し、4 月 19 日には溶岩の流出が顕著になったと推定される。

その後、海上保安庁、第三管区海上保安本部、海上自衛隊及び気象庁による観測で、断続的な噴火の発生と溶岩流出が確認されたが、8 月 11 日以降噴火は観測されず。また 8 月 24 日には、これまで確認されていた溶岩流先端の高温域が認められなくなった。8 月 24 日の海上保安庁による観測では、島の面積は 2016 年 9 月 15 日の観測時と比べて 0.28km² 拡大し、2.96km² になっていた。

^{いおうとう}**硫黄島**【火口周辺警報（火口周辺危険）及び火山現象に関する海上警報】

火山性地震は概ねやや多い状態で経過した。

GNSS 観測によると、地殻変動は隆起が続いている。

監視カメラによる観測では、島西部の阿蘇台陥没孔からの噴気の高さは概ね 100m 以下で経過し、島北西部の井戸ヶ浜からは噴気は観測されていない。

2 月と 8 月に海上自衛隊の協力で現地調査を行った。阿蘇台陥没孔では、周辺に前回（2017 年 2 月～3 月）調査時には認められなかった泥の噴出した跡が確認された。泥は陥没孔の北側約 60m にわたり分布していました。井戸ヶ浜、ミリオンダラーホール（旧噴火口）、天山、千鳥ヶ浜、北ノ鼻海岸・北ノ鼻火口、東山、金剛岩、摺鉢山、硫黄ヶ丘及び翁浜などその他の地域では、噴気や地熱、地形等の状況は、これまでの現地調査で確認されている熱活動や地形に特段の変化は認められなかった。

福岡ノ場^{ふくとくおか} [噴火警報（周辺海域警戒）及び火山現象に関する海上警報]

3月24日及び12月11日に海上保安庁が実施した上空からの観測で、福岡ノ場で変色水を確認した。しかし、7月3日及び10月6日に海上自衛隊が実施した上空からの観測では、変色水等は認められなかった。

【九州地方、南西諸島】

鶴見岳・伽藍岳^{つるみだけ がらんだけ} [噴火予報（噴火警戒レベル1、活火山であることに留意）]

1月、2月、5月、10月、12月に伽藍岳で稜線上高さ100～200mの噴気を観測した。監視カメラで伽藍岳の噴気を観測したのは、2010年に遠望観測を開始して以来初めてである。地殻変動には特段の変化はなかった。火山性地震は少ない状態であった。

九重山^{くじゅうざん} [噴火予報（噴火警戒レベル1、活火山であることに留意）]

噴煙活動は、低調に経過した。

星生山北尾根に設置している赤外熱映像装置による観測では、熱異常域において温度の高い状態が継続している。

火山性地震は少ない状態で経過したが、6月頃からB型地震⁸⁾が時折発生しておりわずかに火山活動が高まっている可能性がある。

GNSS連続観測では、坊ガツルー牧ノ戸峠、星生山北山腹一坊ガツル、星生山北山腹一直入Aの基線で、2012年頃から、伸びの傾向が認められていたが、2017年に入り鈍化している。

阿蘇山^{あそざん} [噴火予報（噴火警戒レベル1、活火山であることに留意）]

噴火は、2016年10月9日以降観測されていない。

2月に阿蘇山の火山活動は低下し、火口周辺に影響を及ぼす噴火の兆候は認められなくなったため、2月7日14時00分に噴火予報を発表し、噴火警戒レベルを2（火口周辺規制）から1（活火山であることに留意）に引き下げた。

白色の噴煙が、火口縁上500～1,400mまで上がった。

中岳第一火口の湯だまりは、緑色で湯だまり量は4月以降中岳第一火口底の10割であった。土砂噴出は観測されていない。

振幅の小さな火山性地震が、7月頃から次第に増加しその後は多い状態で経過した。

火山性微動の振幅は、概ね小さな状態で経過した。

孤立型微動⁹⁾は、4月に一時的に増加したが、

その後減少し、概ねやや少ない状態で経過した。

火山ガス（二酸化硫黄）の放出量は、4月中旬までは1日あたり300～1,400トンとやや少ない状態で経過したが、その後は、1日あたり600～2,500トンと増減を繰り返しながら、やや多い状態で経過した。

GNSS連続観測では、2016年7月頃から認められていた、草千里深部にあると考えられているマグマだまりの膨張を示す基線の伸びは、2016年11月中旬以降は停滞しており、その後火山活動に伴う特段の変化は認められない。

雲仙岳^{うんぜんだけ} [噴火予報（噴火警戒レベル1、活火山であることに留意）]

噴気活動は低調に経過した。

火山性地震は少ない状態で経過し、震源は主に普賢岳から平成新山直下の深さ0～2kmに分布した。長期的には2010年頃から普賢岳から平成新山直下の火山性地震の活動がやや活発となっている。火山性微動は観測されなかった。

12月13～15日に実施した現地調査では平成新山の一部から弱い噴気が認められ、赤外熱映像装置による観測では平成新山の複数個所に熱異常域が認められたが、前回（2016年11月7～9日）と比較して特段の変化は認められなかった。

GNSS連続観測では、火山活動によると考えられる変化は認められなかった。

霧島山（えびの高原（硫黄山）周辺）^{きりしまやま いおうやま} [噴火予報（噴火警戒レベル1、活火山であることに留意）]

えびの高原（硫黄山）周辺では、2016年12月12日に火山性地震が70回と増加したが、その後は1日あたり5回以下と少ない状態で経過した。火山性微動は2016年12月13日以降観測されていない。山体の隆起を示す傾斜変動は、2016年12月16日以降観測されていない。2016年12月16日から12月31日にかけて、一時的に噴気の高さが稜線上100m以上になり噴気活動の活発化がみられたが、その後は概ね稜線上30mで経過した。2017年1月11日に現地調査及び九州地方整備局の協力により上空からの観測を実施し、噴気や熱異常域に大きな変化がないことを確認した。これらのことから、えびの高原（硫黄山）周辺の火山活動は低下しており、硫黄山周辺に影響を及ぼす噴火の兆候は認められなくなったと判断し、1月13日14時00分に噴火予報を発表し、噴火警戒レベルを2（火口周辺規制）から1（活火山であることに留意）に引き下げた。

その後、2015年12月頃から長期的に熱異常域の拡大や噴気量の増加が認められている中で、4月25日11時頃から硫黄山南西観測点の傾斜計で、硫黄山付近が隆起する傾斜変動がみられ、5月9日も継続していた。東京大学地震研究所が5

月 8 日に実施した現地調査により、硫黄山火口内で泥状の噴出物が確認された。この様に、えびの高原（硫黄山）周辺では、火山活動が高まっており、今後、小規模な噴火が発生するおそれがあると判断したことから、5 月 9 日 19 時 20 分に火口周辺警報を公表し、噴火警戒レベルを 1（活火山であることに留意）から 2（火口周辺規制）に引き上げた。

6 月以降も、活発な噴気活動や硫黄山方向が隆起する傾斜変動が続いており、二酸化硫黄の放出量は 1 日あたり数トン～20 トンで推移した。7 月中旬以降は時々噴気が稜線上 300m 以上に上がった。硫黄山方向が隆起する傾斜変動は、8 月中旬から概ね停滞し、9 月 5 日 13 時 29 分に硫黄山付近のごく浅いところを震源とする振幅の大きな火山性地震が発生し、14 時頃まで一時的に地震が増加した。13 時 29 分に発生した地震により、えびの高原ではわずかに身体に感じる程度の揺れがあった。これらの地震に伴い、硫黄山周辺の傾斜計では傾斜変動が観測された。火山性微動は観測されなかった。その後、火山性地震は少ない状態で経過したが、火山ガスや熱水が関与していると考えられる浅い低周波地震が時々観測された。

えびの高原（硫黄山）周辺では、9 月 5 日に硫黄山付近を震源とする火山性地震が増加し、また、硫黄山周辺の傾斜計で傾斜変動が観測されたが、その後は、火山性地震は少ない状態で経過し、傾斜計の変動も停滞している。火山性微動は観測されていない。9 月中旬以降、噴気の高さは概ね稜線上 100m 以下で経過しており、10 月 26 日に実施した現地調査では、硫黄山の火口内及び周辺の熱異常域に縮小が認められた。また、10 月 25 日の観測では、火山ガス（二酸化硫黄）の放出量は検出限界未満であった。これらのデータは地下深部からの高温の火山ガスや熱水等の供給の低下を示していると考えられることから、えびの高原の硫黄山から概ね 1 km の範囲に大きな噴石¹⁰⁾が飛散する噴火の可能性は低くなったと判断し、10 月 31 日 14 時 00 分に噴火予報を公表し、噴火警戒レベルを 2（火口周辺規制）から 1（活火山であることに留意）に引き下げた。

その後火山性地震は、少ない状態で経過していたが、12 月 17 日から 21 日にかけて微小な地震を含む火山性地震がやや増加し、21 日には 18 回発生した。22 日以降は、火山性地震は再び少ない状態となった。硫黄山火口内の活発な噴気域及び熱異常域の高まりは継続している。噴気は概ね 100m 以下で推移している。

広域の GNSS 連続観測では、2017 年 7 月頃から霧島山を挟む基線での伸びが継続している。このことから、霧島山の深い場所でマグマが蓄積されていると考えられる。

霧島山(新燃岳)^{まじりしまやま しんもえだけ}[火口周辺警報(噴火警戒レベル 3、入山規制)]

10 月 11 日 05 時 34 分頃に新燃岳火口東側から小規模な噴火が発生し、10 月 13 日 16 時頃まで継続した。噴煙は火口縁上 2,000m まで上がった。新燃岳で噴火が発生したのは、2011 年 9 月 7 日以来であった。11 日に実施した聞き取りによる降灰調査では、宮崎県宮崎市、都城市、小林市、高原町で降灰を確認した。また同日実施した現地調査では、新燃岳火口から東北東約 8 km の高原町広原付近では、1 m²あたり 272g の降灰を確認した。東に約 50km 離れた宮崎地方気象台でもごくわずかな降灰を確認した。

14 日 08 時 23 分に噴火が再開し、灰白色の噴煙が火口縁上 2,300m まで上がった。この噴火は消長を繰り返しながら継続し、17 日の 00 時 30 分頃に停止した。14 日に実施した聞き取りによる降灰調査では、新燃岳周辺から北東側の宮崎県日向市（新燃岳火口から北東約 90km）までの範囲で降灰を確認した。降灰のあった市町村は、宮崎県高原町、小林市、西都市、新富町、西米良村、日向市、美郷町であった。いずれの噴火でも、弾道を描いて火口外に飛散する大きな噴石や火砕流¹¹⁾は確認されていない。その後、噴火は発生していない。

火口内に蓄積した溶岩のわずかな膨張が、2016 年夏頃から停滞していることや、2016 年 10 月以降に火口付近で繰り返し行った現地調査で、火口内及び周辺の噴気や熱異常域の状況に変化はみられないこと、火口近傍の傾斜計による地殻変動観測、地震活動等その他の観測データに特段の活動の高まりを示す変化はみられないことから、5 月 26 日 14 時 00 分に噴火予報を公表し、噴火警戒レベルを 2（火口周辺規制）から 1（活火山であることに留意）へ引き下げた。

9 月 23 日頃から火口直下付近を震源とする火山性地震が増加し、10 月 4 日からはさらに増加し、地震の振幅も次第に大きくなった。また、国土地理院による GNSS 連続観測結果では、2017 年 7 月頃から霧島山を挟む基線で伸びの傾向がみられていたことから、霧島山の深い場所が膨張していると考えられる。これらのことから、小規模な噴火が発生するおそれがあると判断し、10 月 5 日 23 時 35 分に噴火警戒レベルを 1（活火山であることに留意）から 2（火口周辺規制）に引き上げた。

10 月 11 日 05 時 34 分頃に新燃岳火口内東側から小規模な噴火が発生し、13 日 16 時頃まで継続した。火山性微動は消長を繰り返しながら連続して発生した。また、新燃岳方向が隆起し、えびの岳方向が収縮する変動が継続した。噴火活動が活発になる可能性があるかと判断し、11 日 11 時 05

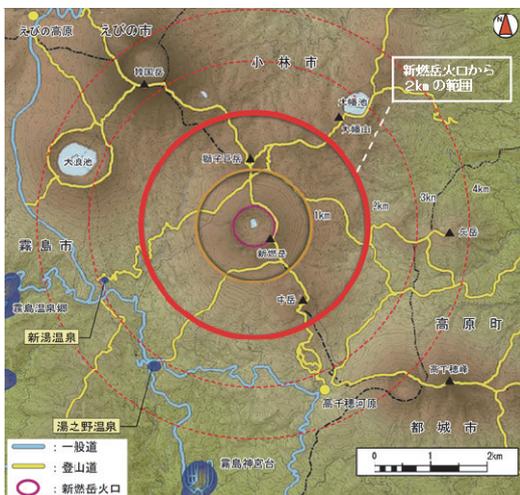
分に火口周辺警報を公表し、噴火警戒レベルを 2（火口周辺規制）から 3（入山規制）に引き上げた。

10 月 14 日に噴火が再開し噴煙が 2,300m まで上がった。15 日には、火山ガス（二酸化硫黄）の放出量が 1 日あたり 11,000 トンと急増した。さらに噴火活動が活発になる可能性があるかと判断したため、15 日 19 時 00 分に火口周辺警報（噴火警戒レベル 3、入山規制）を切替え、警戒が必要な範囲を概ね 2 km から概ね 3 km の範囲へ拡大した。

10 月 16 日以降、火山ガス（二酸化硫黄）の放出量は 1 日あたり数 100 トン以下に減少し、傾斜計にも特段の変化は認められなくなった。噴火は 17 日 00 時 30 分頃に停止したとみられ、以降は発生していない。火山性微動は、21 日までは消長を繰り返しながら発生していたが、その後は観測されていない。一方、マグマなどの火山性流体の活動を示すと考えられる低周波地震は引き続き発生している。これらのことから、今後も、弾道を描いて飛散する大きな噴石が新燃岳火口から概ね 2 km まで、火砕流が概ね 1 km まで達する噴火が発生する可能性があるかと判断し、31 日 14 時 00 分に火口周辺警報（噴火警戒レベル 3、入山規制）の警戒の必要な範囲を火口から概ね 3 km から概ね 2 km に縮小した。

その後火山性地震は、時々増加しており、12 月 2 日には 201 回発生するなど一時的に増加するときがある。また、浅い場所を震源とする低周波地震波も時々発生している。傾斜計では、新燃岳の山体の膨張を示す明瞭な変化は認められていない。二酸化硫黄の放出量は、1 日あたり概ね 100 トンで経過している。

GNSS 連続観測では、7 月頃から霧島山を挟む基線で伸びの傾向がみられている。このことから、霧島山の深い場所でマグマが蓄積されていると考えられる。火山活動に注意が必要である。



霧島山（新燃岳） 警戒が必要な範囲

霧島山（御鉢）[噴火予報（噴火警戒レベル 1、活火山であることに留意）]

火口縁を越える噴煙は認められない。

火山性地震は少ない状態で経過した。火山性微動は観測されていない。

傾斜計及びGNSS連続観測では、火山活動によると考えられる変化は認められていない。

桜島 [火口周辺警報（噴火警戒レベル 3、入山規制）]

桜島の噴火活動は、3月から再開し、5月、8月～11月には活発な状態で経過した。

3月は、南岳山頂火口では、噴火が2回発生した。25日18時03分の噴火では、小規模な火砕流が発生し、南岳山頂火口から南側へ約1,100m流下した。南岳山頂火口で噴火を観測したのは2016年6月3日以来であった。

4月は、昭和火口で26日05時11分に噴火が発生した。昭和火口で噴火が発生したのは、2016年7月26日以来であった。28日11時01分の爆発的噴火¹²⁾では、噴煙が火口縁上3,200mまで上がった。30日02時23分の噴火では、弾道を描いて飛散する大きな噴石が5合目（昭和火口より500から800m）まで達した。南岳山頂火口では、噴火が2回発生した。

5月は、昭和火口で噴火が47回発生し、このうち爆発的噴火は9回であった。2日03時20分の噴火では、多量の噴煙が火口縁上4,000mまで上がり、同日に実施した現地調査及び電話による聞き取り調査では、桜島の西側から北西側の鹿児島市から日置市及び、いちき串木野市にかけて降灰を確認した。17日、23日、25日の噴火では噴石が5合目まで達した。南岳山頂火口では、噴火が2回発生した。同火口では2日、5日及び25日の夜間に高感度の監視カメラで確認できる程度の微弱な火映が観測された。

6月は、昭和火口で噴火が14回発生した。このうち爆発的噴火は2回であった。6日07時56分の爆発的噴火では、やや多量以上の噴煙が火口縁上3,200mまで上がり雲に入った。この爆発的噴火及び2日03時51分の噴火では、弾道を描いて飛散する大きな噴石が5合目（昭和火口より500から800m）まで達した。30日の夜間には、高感度の監視カメラで確認できる程度の微弱な火映を観測した。

7月は、昭和火口で噴火が7回発生した。このうち爆発的噴火は1回であった。

8月は、昭和火口で噴火が98回発生した。このうち爆発的噴火は20回であった。弾道を描いて飛散する大きな噴石が最高で5合目（昭和火口より500～800m）まで達した。また、同火口では12日と13日、21日から28日の夜間には高感度の監視カメラで明瞭に見える火映を観測し、8

月 22 日夜から 23 日朝にかけて、噴石を概ね 200 m まで連続的に上げる噴火（溶岩噴泉）が発生した。23 日に実施した現地調査では、鹿児島市黒神町（昭和火口から東側約 4 km 付近）で、大きな鳴動を観測した。24 日に実施した聞き取り調査では、島外の垂水市、鹿屋市の一部の地区でも鳴動が確認されている。

9 月は、昭和火口で噴火が 170 回発生した。このうち爆発的噴火は 38 回であった。弾道を描いて飛散する大きな噴石が最高で 4 合目（昭和火口より 800~1,300m）まで達した。噴煙は最高で火口縁上 2,800m まで上がった。また、同火口で 2 日、7 日から 11 日、13 日と 17 日の夜間には高感度の監視カメラで明瞭に見える火映を観測した。

10 月は、昭和火口で噴火が 37 回発生した。このうち爆発的噴火は 5 回であった。1 日 21 時 35 分の爆発的噴火では、やや多量の噴煙が火口縁上 2,300m まで上がり、弾道を描いて飛散する大きな噴石が最大で 4 合目（昭和火口より 800~1,300m）まで達した。また、同火口では 6 日から 7 日にかけて夜間に高感度の監視カメラで確認できる程度の微弱な火映を観測した。南岳山頂火口では、24 日から断続的にごく小規模な噴火が発生し、31 日 12 時 21 分の噴火で噴煙が火口縁上 1,000m まで上がった。

11 月は、南岳山頂火口で噴火が 5 回発生した。このうち爆発的噴火は 4 回であった。南岳山頂火口で爆発的噴火が発生したのは、2012 年 12 月 2 日以来であった。13 日 22 時 07 分の爆発的噴火では、弾道を描いて飛散する大きな噴石が 5 合目（南岳山頂火口より 1,000~1,300m）まで達した。この噴火に伴い、鹿児島県及び宮崎県の一部では、窓ガラスが揺れるなどの空振があった。27 日 16 時 37 分の噴火では、やや多量の噴煙が火口縁上 2,000m まで上がった。また、同火口では夜間に高感度の監視カメラで火映を 13 日以降、時々観測した。南岳山頂火口で火映を観測したのは、2012 年 12 月 20 日以来であった。昭和火口では、14 日 09 時 55 分に噴火が発生し、噴煙が火口縁上 1,300m まで上がった。

12 月は、昭和火口では、4 日に噴火が発生し、噴煙が火口縁上 1,400m まで上がった。

年間の噴火回数は、406 回で、このうち爆発的噴火は 81 回であった。

浅い地震（B 型地震）は概ね少ない状態で経過したが、南岳山頂火口で噴火が発生する前の 3 月 19 日からやや増加し、4 月上旬頃までやや多い状況となった。その後減少したが 8 月、9 月は再びやや多い状態で経過した。やや深い地震（A 型地震）は、少ない状態で経過した。

火山性微動は時々発生しており、5 月以降には、噴火に伴う微動が増加した。また、8 月 23 日か

ら 28 日にかけて、断続的な噴火が発生し、それに対応して振幅の大きな調和的な火山性微動が時々発生した。

桜島島内の傾斜計では、2015 年 8 月 15 日の急激な変動以降、顕著な山体隆起を示す変化は認められないが、7 月下旬からわずかな山体の隆起を示す変化が観測され、8 月 11 日以降は噴火活動が活発化した。

GNSS 連続観測では、始良カルデラ（鹿児島湾奥部）の地下深部の膨張が続いている。桜島島内では、2017 年 10 月頃からわずかに山体の収縮がみられていたが、12 月頃から停滞している。

火山ガス（二酸化硫黄）の放出量は、2 月から 3 月にかけては 1 日あたり 100~300 トンと少ない状況であったが、4 月は 300~500 トン、5 月は 300~1,700 トンとやや増加した。6 月から 7 月にかけては 300 トン~800 トンとやや少ない状況であったが、8 月後半は 1,000 トン~1,900 トンと増加し、やや多い状態となった。9 月は 300 トンと減少したが、10 月以降は 400~1,800 トンと概ねやや多い状態で経過した。

鹿児島地方気象台における観測では、降灰量は年合計で 162 g/m²（降灰日数 53 日）で、9 月が最も多く、92 g/m²であった。鹿児島県の降灰量観測データをもとに解析した 2017 年の総降灰量は、約 91 万トン（2016 年：約 87 万トン）であった。



桜島 南岳山頂火口及び昭和火口から半径 2 km の常時立入禁止区域

（桜島では、鹿児島市が災害対策基本法第 63 条に則り、南岳山頂火口及び昭和火口から半径 2 km 以内は立入り禁止としている）

薩摩硫黄島【噴火予報（噴火警戒レベル 1、活火山であることに留意）】

1 月 1 日から火山性地震が増加したため、1 月 5 日 11 時 00 分に火口周辺警報を発表し、噴火警戒レベルを 1（活火山であることに留意）から 2（火口周辺規制）に引き上げた。

その後、火山性地震は 1 月下旬以降、徐々に減少し、2 月 5 日以降は日回数が 10 回未満と少ない状態になった。また、1 月 10 日、12 日、2 月 8

日に実施した現地調査では、火山ガス（二酸化硫黄）の放出量は 1 日あたり 400～800 トンで、昨年（2016 年）と同様にやや少ない状態であった。2 月 21 日に鹿児島県の協力を得て実施した上空からの観測では、これまでと比較して、噴煙や熱異常域の状況に特段の変化は認められなかった。傾斜計や GNSS 連続観測では、火山活動に伴う特段の変化は認められなかった。

これらのことから 2 月 24 日 11 時 00 分に噴火予報を発表し、噴火警戒レベルを 2（火口周辺規制）から 1（活火山であることに留意）に引き下げた。

その後、噴煙活動に特段の変化はなく、白色の噴煙が、火口縁上 500～1,500m まで上がった。

火山性地震は少なく、静穏な状態で経過したが、7 月 1 日に継続時間が約 1 分の振幅のやや大きな火山性微動が観測された。

火山性微動を観測したのは、2015 年 7 月 2 日以来であった。その後は観測されていない。

7 月 19 日から 23 日にかけて実施した現地調査では、前回（2017 年 2 月 8～12 日）と比較して噴煙の状況に特段の変化はなかった。また、赤外熱映像装置による観測でも硫黄岳北斜面及び西側斜面の熱異常域の分布に特段の変化は認められなかった。火山ガス（二酸化硫黄）の放出量は 1 日あたり 1,000 トンで、やや多い状態であった。

12 月 14 日に海上自衛隊第 1 航空群の協力により実施した上空からの観測では、火口周辺や山腹からは前回（2017 年 2 月 21 日）の観測と同様、噴煙が上がっているのを確認したが、火口周辺の状況に特段の変化は認められなかった。

GNSS 連続観測では、火山活動によると考えられる変化は認められなかった。

くちのうらぶしま

口永良部島 [噴火警報（噴火警戒レベル 3、入山規制）]

口永良部島では、2015 年 6 月 19 日のごく小規模な噴火の後、噴煙は観測されていない。

新岳火口の噴煙活動には特段の変化はなく、白色の噴煙が概ね火口縁上 500m 以下の高さで経過した（最高：900m）。

期間中に実施した現地調査では、火口周辺の地形や噴煙等の状況に変化は認められていない。また、赤外線熱映像装置による観測では、2015 年 3 月頃から 5 月 29 日の噴火前に温度上昇が認められていた新岳火口西側割れ目付近の熱異常域の温度は、低下した状態が続いており特段の変化は認められなかった。

12 月 14 日に海上自衛隊第 1 航空群の協力により実施した上空からの観測では、新岳火口から白色の噴煙が上がっているのを確認した。また、火口西側の割れ目付近からも白色の噴煙が上がっているのを確認した。前回（2016 年 5 月 31 日）の観測と比べて、火口周辺の状況に特段の変化は認

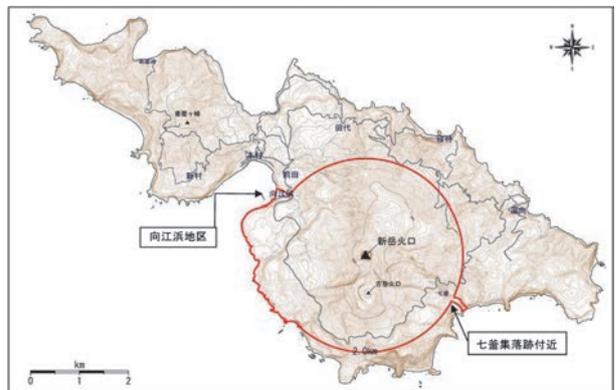
められなかった。

火山性地震は、2 月中旬に日回数 10 回を超える日が時々みられるなど一時的に多い状態となった。その後、少ない状態で経過したが 10 月に再び増加し 11 月以降は多い状態で経過した。このうち震源が求まった地震は、主に新岳火口付近のごく浅いところに分布し、これまでと比べて変化はなかった。

火山性微動は 2016 年 9 月以降、観測されていない。

期間中に東京大学大学院理学系研究科、京都大学防災研究所、産業技術総合研究所、屋久島町及び気象庁が実施した観測では、火山ガス（二酸化硫黄）の放出量は、1 日あたり 30～500 トンと 2014 年 8 月 3 日の噴火前よりは多い状態が続いている。

GNSS 連続観測では、新岳火口を挟む山麓と山頂付近の基線長に縮みの傾向が認められている。



口永良部島 警戒が必要な範囲
（新岳火口から概ね 2 km の範囲）

すわのせしま

諏訪之瀬島 [火口周辺警報（噴火警戒レベル 2、火口周辺規制）]

御岳火口では、噴煙が時々発生した。そのうち爆発的噴火¹³⁾は 32 回（2 月：5 回、5 月：2 回、8 月：12 回、9 月：4 回、10 月：4 回、11 月：5 回）で、活発な火山活動が継続した（2016 年：77 回）。これらの爆発的噴火に伴い、監視カメラで火口付近に飛散する噴煙を時々確認した。

噴煙に伴う灰白色の噴煙は、概ね火口縁上 1,000m 以下で経過した。8 月 3 日 18 時 28 分に発生した爆発的噴火では、灰白色の噴煙が火口縁上 2,800m まで上がり（前年の最高 2,700m）、2003 年の観測開始以降の最高となった。ほぼ年間を通して夜間に高感度の監視カメラで火映を観測した。

十島村役場諏訪之瀬島出張所によると、御岳の南南西約 4 km の集落で鳴動や降灰を時折確認した。降灰を確認した日数は 6 日（2016 年：20 日）であった。また、5 月 16 日には肉眼で火映を確認した。

12 月 14 日に海上自衛隊第 1 航空隊の協力によ

り実施した上空からの観測では、御岳火口内の状況は噴煙により確認できなかったが、2016 年 5 月 31 日の観測と比較して、火口周辺の状況に特段の変化は認められなかった。

火山性地震の年回数は、A 型地震：1154 回、B 型地震：836 回と前年（2016 年：A 型 3068 回、B 型 610 回）と比べて A 型地震が減少した。このうち最大のものは、4 月 13 日 06 時 42 分に発生したマグニチュード 3.4 の地震で、島内の震度観測点で震度 3 を観測した。

爆発的噴火に伴う空振の最大振幅は、11 月 3 日 07 時 06 分に観測した 71Pa であった（火口から南南西約 4 km の榊戸原観測点による）。

火山性微動は、時々発生した。火山性微動の年間継続時間は、698 時間 00 分と前年（2016 年：637 時間 35 分）と同程度であった。

GNSS 連続観測では、火山活動によると考えられる変化は認められなかった。

いおうとりしま

硫黄島島【噴火予報（活火山であることに留意）】

1 月、7 月、12 月の海上からの観測、1 月、3 月に第十一管区海上保安本部、1 月に海上保安庁が実施した上空からの観測では、島の北側に位置する硫黄岳火口、島の中央部に位置するグスク火山火口及び従来から認められている場所において、少量の噴気が確認されたが、その状況に特段の変化はなかった。

- 1) 火山体の南側で全磁力を観測した場合、全磁力値が減少すると火山体内部で温度上昇が、全磁力値が増加すると火山体内部で温度低下が生じていると推定される。
- 2) GNSS (Global Navigation Satellite Systems) とは、GPSをはじめとする衛星測位システム全般を示す呼称である。
- 3) 火山活動による山体の傾きを精密に観測する機器。火山体直下へのマグマの貫入等により変化が観測されることがある。
- 4) 火口から放出される火山ガスには、マグマに溶けていた水蒸気や二酸化硫黄、硫化水素など様々な成分が含まれており、これらのうち、二酸化硫黄はマグマが浅部へ上昇するとその放出量が増加する。気象庁では、二酸化硫黄の放出量を観測し、火山活動の評価に活用している。
- 5) 赤熱した溶岩や高温の火山ガス等が、噴煙や雲に映って明るく見える現象。
- 6) 赤外熱映像装置は物体が放射する赤外線を感知して温度分布を測定する測器である。熱源から離れた場所から測定することができる利点があるが、測定距離や大気等の影響で実際の熱源の温度よりも低く測定される場合がある。
- 7) センサーで周囲の岩盤から受ける力による体積の変化をとらえ、岩石の伸びや縮みを精密に観測する機器。火山体直下へのマグマの貫入等で変化が観測されることがある。

- 8) 火山性地震のうち、相が不明瞭で、比較的周期が長く、火口周辺の比較的浅い場所で発生する地震で、火道内のガスの移動やマグマの発泡などにより発生すると考えられている。
- 9) 阿蘇山特有の微動で、火口直下のごく浅い場所で発生しており、周期 0.5～1.0 秒、継続時間 10 秒程度で、中岳西山腹観測点の南北動の振幅が 5 $\mu\text{m/s}$ 以上のものを孤立型微動としている。
- 10) 噴石については、大きさによる風の影響の程度の違いによって飛散範囲が大きく異なる。本文中「大きな噴石」とは、「風の影響を受けず弾道を描いて飛散する大きな噴石」のことであり、「小さな噴石」とは、それより小さく「風に流されて降る小さな噴石」のことである。
- 11) 火山ガスと火山灰等の混合物が、水面や地表面を高速で横方向に広がり、地表の物を巻き込む現象。人体や建物、船舶等に大きな被害を与える恐れがあり、とても危険である。
- 12) 桜島では、火道内の爆発による地震を伴い、爆発音、体に感じる空気の振動、噴石の火口外への飛散、または、気象台や島内の観測点で一定基準以上の空気の振動のいずれかを観測した場合に爆発的噴火としている。
- 13) 諏訪之瀬島では、火道内の爆発による地震を伴い、島内の観測点で一定基準以上の空気の振動を観測した場合に爆発的噴火としている。

● 平成 29 年 (2017 年) の世界の主な地震

2017 年 (以下、日本時間を基準とする) に人的被害^注を伴った地震は 17 回 (2016 年は 12 回) であり、Mj (気象庁マグニチュード) もしくは Mw (モーメントマグニチュード) 7.0 以上の地震は 7 回 (2016 年は 18 回) であった。また、Mj もしくは Mw8.0 以上の地震は 1 回 (2016 年はなかった) であった (図 1 及び表 1 参照)。

2017 年に世界で発生した地震のうち、最も規模の大きかった地震は、9 月 8 日のメキシコ、チアパス州沿岸の地震 (図 1 中の 16) の Mw8.1 (Mw は気象庁による) であった。

米国地質調査所 (USGS) の統計によると (<https://earthquake.usgs.gov/>)、M8.0 以上の地震の年間発生回数の平均は 1 回、M7.0~M7.9 の地震の年間発生回数の平均は 15 回であり、2017 年の地震発生回数はやや少なかった。

以下、死者が 100 人を超える海外の地震について記述する。

9 月 20 日、メキシコ中部の深さ 48km で Mw7.1 の地震 (図 1 中の 17) が発生し、メキシコで死者 369 人等の被害が生じた。

11 月 13 日、イラン/イラク国境付近の深さ 19km で Mw7.3 の地震 (図 1 中の 20) が発生し、死者 569 人以上等の被害が生じた。

注:被害状況は、出典のないものは OCHA (UN Office for the Coordination of Humanitarian Affairs: 国連人道問題調整事務所)、国内は、総務省消防庁による。

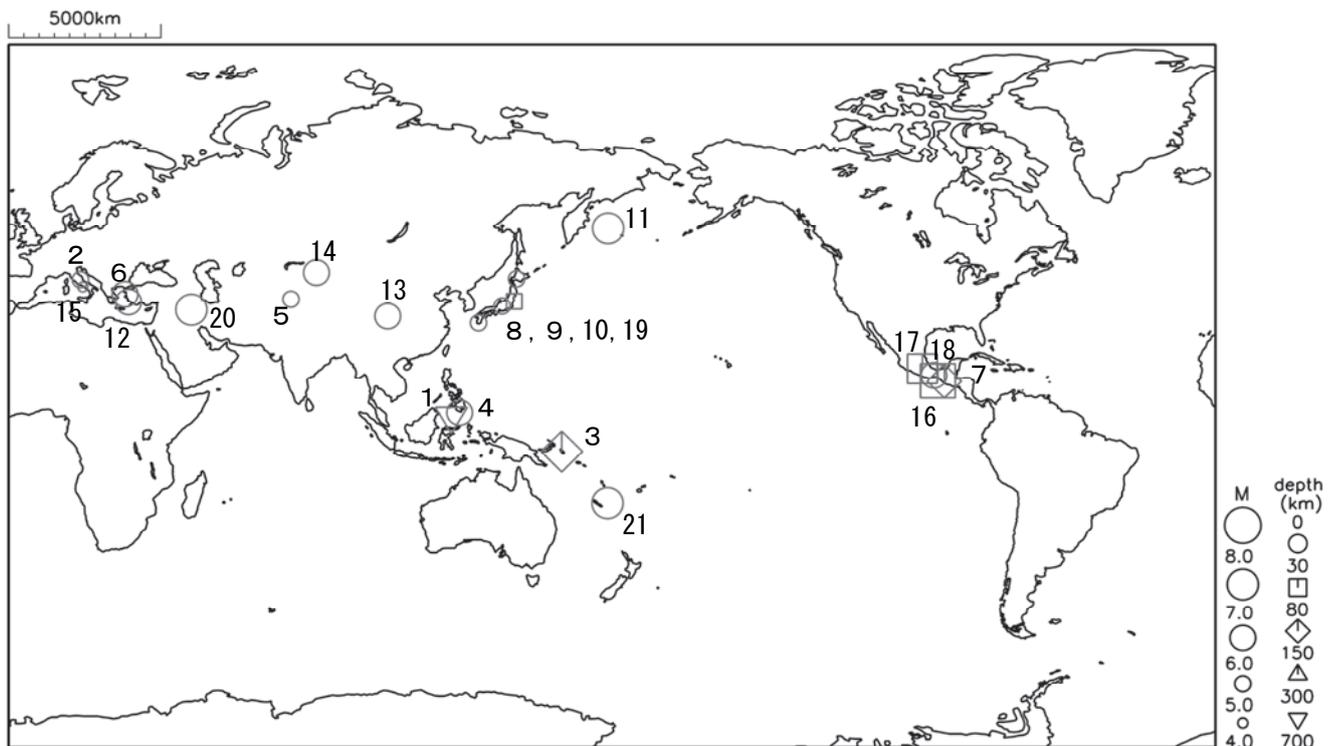


図 1 2017 年に世界で発生した M7.0 以上または人的被害を伴った地震の震央分布

* : 震源要素は、1 月 1 日～9 月 30 日は米国地質調査所 (USGS) 発表の PRELIMINARY DETERMINATION OF EPICENTERS (PDE) に、10 月 1 日～12 月 31 日は同所ホームページの “Earthquake Archive Search & URL Builder” (<http://earthquake.usgs.gov/earthquakes/search/>) による (2018 年 1 月 4 日現在)。ただし、日本付近で発生した地震の震源要素、及び一部の規模の大きな地震の Mw (モーメントマグニチュード) については気象庁による (表 1 参照)。

** : 数字は、表 1 の番号に対応する。

*** : マグニチュードは表 1 の値を使用している。海外の地震については、Mw (モーメントマグニチュード) を、Mw が決まっていなかった場合は Mj (気象庁マグニチュード) の値を表示している。

表 1 2017 年に世界で発生したマグニチュード 7.0 以上または人的被害を伴った地震の震源要素等

番号	地震発生時刻	緯度	経度	深さ (km)	Mj	Mw	震央地名	備考(被害状況 など)	北 西	遠 地
1	01月10日15時13分	N04° 28.7'	E122° 37.0'	627		(7.3)	セレベス海		○	○
2	01月18日19時14分	N42° 36.1'	E013° 13.6'	7		5.7	イタリア中央部	雪崩による死者29人		
3	01月22日13時30分	S06° 14.8'	E155° 10.3'	135		(7.9)	ソロモン諸島		○	○
4	04月29日05時23分	N05° 30.3'	E125° 3.9'	26		(6.8)	フィリピン諸島、ミンダナオ島	死者8人	○	○
5	05月11日06時58分	N37° 38.6'	E075° 18.6'	8		5.4	タジキスタン・シチヤン国境付近	死者8人		
6	06月12日21時28分	N38° 55.8'	E026° 21.9'	12		6.3	エーゲ海	死者1人		
7	06月14日16時29分	N14° 54.5'	W092° 0.6'	93		(6.9)	メキシコ、チハラス州沿岸 (グアテマラ)	死者5人		○
8	06月25日07時02分	N35° 52.0'	E137° 35.1'	7	5.6	(5.2)	長野県南部	軽傷2人		
9	07月01日23時45分	N42° 47.2'	E141° 51.5'	27	5.1	(5.0)	胆振地方中東部	重傷1人		
10	07月11日11時56分	N31° 23.0'	E130° 37.2'	10	5.3	(5.2)	鹿児島湾	軽傷1人		
11	07月18日08時34分	N54° 26.6'	E168° 51.4'	10		(7.7)	コマンドル諸島付近			○
12	07月21日07時31分	N36° 55.8'	E027° 24.8'	7		6.6	ドデカネーゼ諸島	死者2人		
13	08月08日22時19分	N33° 11.6'	E103° 51.3'	9		6.5	中国、カンスー（甘粛）省	死者25人		
14	08月09日08時27分	N44° 18.1'	E082° 49.9'	20		6.3	中国、シンチヤン北部	負傷者32人		
15	08月22日03時57分	N40° 47.0'	E013° 56.4'	3	4.2 (Mb)		チレニア海	死者2人		
16	09月08日13時49分	N15° 1.3'	W093° 54.0'	47		(8.1)	メキシコ、チハラス州沿岸	死者98人		○
17	09月20日03時14分	N18° 33.0'	W098° 29.3'	48		(7.1)	メキシコ中部	死者369人		○
18	09月23日21時53分	N16° 37.5'	W095° 4.7'	10		6.1	メキシコ、オアハカ州	死者5人		
19	10月06日23時56分	N37° 05.2'	E141° 09.3'	53	5.9	(5.7)	福島県沖	軽傷1人		
20	11月13日03時18分	N34° 54.7'	E045° 57.6'	19		(7.3)	イラン／イラク国境付近	死者569人以上		○
21	11月20日07時43分	S21° 19.5'	E168° 40.3'	10		(7.0)	ローヤリティ諸島			○

- ・震源要素は、1月1日～9月30日は米国地質調査所（USGS）発表の PRELIMINARY DETERMINATION OF EPICENTERS (PDE) に、10月1日～12月31日は同所ホームページの” Earthquake Archive Search & URL Builder” (<http://earthquake.usgs.gov/earthquakes/search/>) による（2017年1月4日現在）。ただし、日本付近で発生した地震の震源要素、Mw の欄に括弧を付して記載したモーメントマグニチュードは、気象庁による。
- ・地震発生時刻は日本時間 [日本時間＝協定世界時＋9時間] である。
- ・被害状況は、出典のないものは OCHA (UN Office for the Coordination of Humanitarian Affairs: 国連人道問題調整事務所)、国内は、総務省消防庁による。
- ・「北西」欄の○印は、気象庁が北西太平洋域に提供している北西太平洋津波情報 (NWPTA) (地震・火山月報 (防災編) 2005年5月号参照) を発表したことを表す。
- ・「遠地」欄の○印は、気象庁が「遠地地震に関する情報」を発表したことを表す。
- ・深さに「*」を付したものは、気象庁による CMT 解のセントロイドの深さを表す。

● 2017 年の世界の主な火山活動

平成 29 年 (2017 年) に噴火が報告された主な火山 (日本を除く) *は図のとおりである。
このうち顕著な活動がみられた火山は以下のとおりである。

エトナ (Etna) イタリア (図中 A) 標高 3,330m

3 月 16 日に、溶岩流の先端部が雪に覆われた場所に接触したことによるマグマ水蒸気爆発が発生した。報道によると、この爆発でおよそ 10 人が負傷した。

フエゴ (Fuego) グアテマラ (図中 B) 標高 3,763m

噴火が続くフエゴでは、5 月 5 日から新たな活動期に入り、それは 2012 年以降の活動の中でも最も激しい活動期であることが報告された。降灰も多く of 地域で報告されており、溶岩流は 2～3 km 流れた。報道によると、この活動に伴い約 300 人の住人が避難した。

シナブン (Sinabung) インドネシア (図中 C) 標高 2,460m

噴火が続くシナブンでは、8 月 2 日の 08 時から 12 時までに 17 回の火砕流が発生し、東南東に 4.5 km まで流下した。この活動に伴い約 7,000 人の住人が避難した。

ディエン高原 (Dieng Volcanic Complex) インドネシア (図中 D) 標高 2,565m

7 月 2 日に火口湖で水蒸気爆発が発生し、泥や噴出物が 50m 以上まで噴出した。ニュース記事によると、この噴火で周囲にいた 4 人が負傷した。

アグン (Agung) インドネシア (図中 E) 標高 2,995m

アグンでは、11 月 21 日に噴火が始まった。ダーウィン VAAC によると、衛星データによる解析では、噴煙が海拔 9.1 km の高さまで上昇した。ニュース記事によると、ロンボク国際空港やングラ・ライ国際空港が閉鎖された。火山泥流は 11 月 21 日から観測され続けており、家屋や道路、農地に影響を与えた。その後も噴火が継続し、12 月 25 日現在、避難者数は 71,045 人となった。

アオバ (Aoba) バヌアツ (図中 F) 標高 1,496m

アオバでは噴煙や降灰が確認され、9 月 26 日にバヌアツ政府は緊急事態を宣言した。9 月 27 日のニュース記事によると、約 8,000 人が避難した。

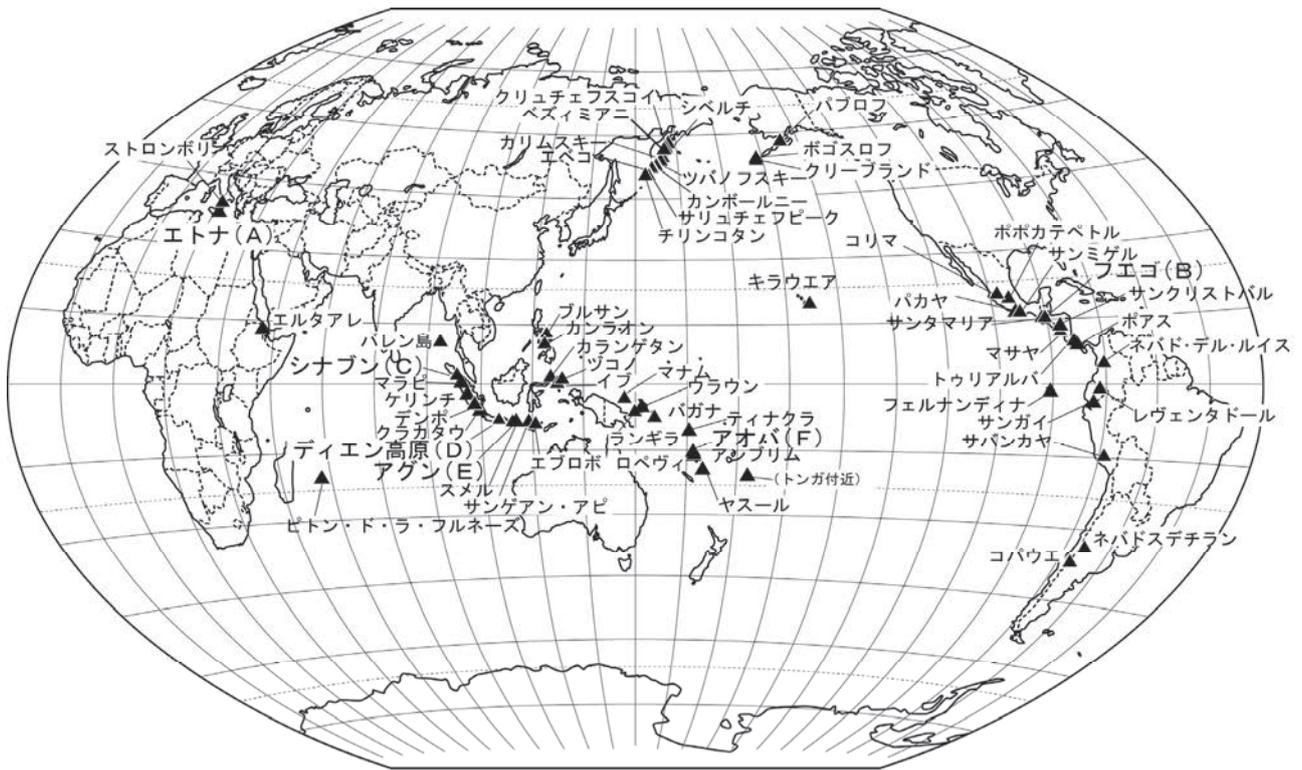


図 平成 29 年（2017 年）に噴火した主な火山（日本を除く）*

* 米国スミソニアン自然史博物館のホームページ“Global Volcanism Program | Smithsonian / USGS Weekly Volcanic Activity Report” (http://www.volcano.si.edu/reports_weekly.cfm) による。日付は全て現地時間。火山名の読み方は、原則として気象庁：「火山観測指針（参考編）」による。

● 付録 6. 気象庁震度階級関連解説表

平成 21 年 3 月 31 日改訂

使用にあたっての留意事項

- (1) 気象庁が発表している震度は、原則として地表や低層建物の一階に設置した震度計による観測値です。この資料は、ある震度が観測された場合、その周辺で実際にどのような現象や被害が発生するかを示すもので、それぞれの震度に記述される現象から震度が決定されるものではありません。
- (2) 地震動は、地盤や地形に大きく影響されます。震度は震度計が置かれている地点での観測値であり、同じ市町村であっても場所によって震度が異なることがあります。また、中高層建物の上層階では一般に地表より揺れが強くなるなど、同じ建物の中でも、階や場所によって揺れの強さが異なります。
- (3) 震度が同じであっても、地震動の振幅（揺れの大きさ）、周期（揺れが繰り返す時の 1 回あたりの時間の長さ）及び継続時間などの違いや、対象となる建物や構造物の状態、地盤の状況により被害は異なります。
- (4) この資料では、ある震度が観測された際に発生する被害の中で、比較的多く見られるものを記述しており、これより大きな被害が発生したり、逆に小さな被害にとどまる場合もあります。また、それぞれの震度階級で示されている全ての現象が発生するわけではありません。
- (5) この資料は、主に近年発生した被害地震の事例から作成したものです。今後、5 年程度で定期的に内容を点検し、新たな事例が得られたり、建物・構造物の耐震性の向上等によって実状と合わなくなった場合には変更します。
- (6) この資料では、被害などの量を概数で表せない場合に、一応の目安として、次の副詞・形容詞を用いています。

用語	意味
まれに わずか 大半 ほとんど	極めて少ない。めったにない。 数量・程度が非常に少ない。ほんの少し。 半分以上。ほとんどよりは少ない。 全部ではないが、全部に近い。
が（も）ある、 が（も）いる	当該震度階級に特徴的に現れ始めることを表し、量的には多くはないがその数量・程度の概数を表現できかねる場合に使用。
多くなる	量的に表現できかねるが、下位の階級より多くなることを表す。
さらに多くなる	上記の「多くなる」と同じ意味。下位の階級で上記の「多くなる」が使われている場合に使用。

※ 気象庁では、アンケート調査などにより得られた震度を公表することがありますが、これらは「震度〇相当」と表現して、震度計の観測から得られる震度と区別しています。

● 人の体感・行動、屋内の状況、屋外の状況

震度階級	人の体感・行動	屋内の状況	屋外の状況
0	人は揺れを感じないが、地震計には記録される。	—	—
1	屋内で静かにしている人の中には、揺れをわずかに感じる人がいる。	—	—
2	屋内で静かにしている人の大半が、揺れを感じる。眠っている人の中には、目を覚ます人もいる。	電灯などのつり下げ物が、わずかに揺れる。	—
3	屋内にいる人のほとんどが、揺れを感じる。歩いている人の中には、揺れを感じる人もいる。眠っている人の大半が、目を覚ます。	棚にある食器類が音を立てることがある。	電線が少し揺れる。
4	ほとんどの人が驚く。歩いている人のほとんどが、揺れを感じる。眠っている人のほとんどが、目を覚ます。	電灯などのつり下げ物は大きく揺れ、棚にある食器類は音を立てる。座りの悪い置物が、倒れることがある。	電線が大きく揺れる。自動車を運転していて、揺れに気付く人がいる。
5 弱	大半の人が、恐怖を覚え、物につかまりたいと感じる。	電灯などのつり下げ物は激しく揺れ、棚にある食器類、書棚の本が落ちることがある。座りの悪い置物の大半が倒れる。固定していない家具が移動することがあり、不安定なものは倒れることがある。	まれに窓ガラスが割れて落ちることがある。電柱が揺れるのがわかる。道路に被害が生じることがある。
5 強	大半の人が、物につかまらなさと歩くことが難しいなど、行動に支障を感じる。	棚にある食器類や書棚の本で、落ちるものが多くなる。テレビが台から落ちることがある。固定していない家具が倒れることがある。	窓ガラスが割れて落ちることがある。補強されていないブロック塀が崩れることがある。据付けが不十分な自動販売機が倒れることがある。自動車の運転が困難となり、停止する車もある。
6 弱	立っていることが困難になる。	固定していない家具の大半が移動し、倒れるものもある。ドアが開かなくなることがある。	壁のタイルや窓ガラスが破損、落下することがある。
6 強	立っていることができず、はわないと動くことができない。	固定していない家具のほとんどが移動し、倒れるものが多くなる。	壁のタイルや窓ガラスが破損、落下する建物が多くなる。補強されていないブロック塀のほとんどが崩れる。
7	揺れにほんろうされ、動くこともできず、飛ばされることもある。	固定していない家具のほとんどが移動したり倒れたりし、飛ぶこともある。	壁のタイルや窓ガラスが破損、落下する建物がさらに多くなる。補強されているブロック塀も破損するものがある。

● 木造建物（住宅）の状況

震度階級	木造建物（住宅）	
	耐震性が高い	耐震性が低い
5弱	—	壁などに軽微なひび割れ・亀裂がみられることがある。
5強	—	壁などにひび割れ・亀裂がみられることがある。
6弱	壁などに軽微なひび割れ・亀裂がみられることがある。	壁などのひび割れ・亀裂が多くなる。 壁などに大きなひび割れ・亀裂が入ることがある。 瓦が落下したり、建物が傾いたりすることがある。倒れるものもある。
6強	壁などにひび割れ・亀裂がみられることがある。	壁などに大きなひび割れ・亀裂が入るものが多くなる。 傾くものや、倒れるものが多くなる。
7	壁などのひび割れ・亀裂が多くなる。 まれに傾くことがある。	傾くものや、倒れるものがさらに多くなる。

(注 1) 木造建物(住宅)の耐震性により2つに区分けた。耐震性は、建築年代の新しいものほど高い傾向があり、概ね昭和 56 年(1981 年)以前は耐震性が低く、昭和 57 年(1982 年)以降には耐震性が高い傾向がある。しかし、構法の違いや壁の配置などにより耐震性に幅があるため、必ずしも建築年代が古いというだけで耐震性の高低が決まるものではない。既存建築物の耐震性は、耐震診断により把握することができる。

(注 2) この表における木造の壁のひび割れ、亀裂、損壊は、土壁(割り竹下地)、モルタル仕上壁(ラス、金網下地を含む)を想定している。下地の弱い壁は、建物の変形が少ない状況でも、モルタル等が剥離し、落下しやすくなる。

(注 3) 木造建物の被害は、地震の際の地震動の周期や継続時間によって異なる。平成 20 年(2008 年)岩手・宮城内陸地震のように、震度に比べ建物被害が少ない事例もある。

● 鉄筋コンクリート造建物の状況

震度階級	鉄筋コンクリート造建物	
	耐震性が高い	耐震性が低い
5強	—	壁、梁(はり)、柱などの部材に、ひび割れ・亀裂が入ることがある。
6弱	壁、梁(はり)、柱などの部材に、ひび割れ・亀裂が入ることがある。	壁、梁(はり)、柱などの部材に、ひび割れ・亀裂が多くなる。
6強	壁、梁(はり)、柱などの部材に、ひび割れ・亀裂が多くなる。	壁、梁(はり)、柱などの部材に、斜めや X 状のひび割れ・亀裂がみられることがある。 1階あるいは中間階の柱が崩れ、倒れるものがある。
7	壁、梁(はり)、柱などの部材に、ひび割れ・亀裂がさらに多くなる。 1階あるいは中間階が変形し、まれに傾くものがある。	壁、梁(はり)、柱などの部材に、斜めや X 状のひび割れ・亀裂が多くなる。 1階あるいは中間階の柱が崩れ、倒れるものが多くなる。

(注 1) 鉄筋コンクリート造建物では、建築年代の新しいものほど耐震性が高い傾向があり、概ね昭和 56 年(1981 年)以前は耐震性が低く、昭和 57 年(1982 年)以降は耐震性が高い傾向がある。しかし、構造形式や平面的、立面的な耐震壁の配置により耐震性に幅があるため、必ずしも建築年代が古いというだけで耐震性の高低が決まるものではない。既存建築物の耐震性は、耐震診断により把握することができる。

(注 2) 鉄筋コンクリート造建物は、建物の主体構造に影響を受けていない場合でも、軽微なひび割れがみられることがある。

● 地盤・斜面等の状況

震度階級	地盤の状況	斜面等の状況
5弱	亀裂※ ¹ や液状化※ ² が生じることがある。	落石や崖崩れが発生することがある。
5強		
6弱	地割れが生じることがある。	崖崩れや地すべりが発生することがある。
6強	大きな地割れが生じることがある。	崖崩れが多発し、大規模な地すべりや山体の崩壊が発生することがある※ ³ 。
7		

※¹ 亀裂は、地割れと同じ現象であるが、ここでは規模の小さい地割れを亀裂として表記している。

※² 地下水位が高い、ゆるい砂地盤では、液状化が発生することがある。液状化が進行すると、地面からの泥水の噴出や地盤沈下が起こり、堤防や岸壁が壊れる、下水管やマンホールが浮き上がる、建物の土台が傾いたり壊れたりするなどの被害が発生することがある。

※³ 大規模な地すべりや山体の崩壊等が発生した場合、地形等によっては天然ダムが形成されることがある。また、大量の崩壊土砂が土石流化することもある。

● ライフライン・インフラ等への影響

ガス供給の停止	安全装置のあるガスメーター（マイコンメーター）では震度 5 弱程度以上の揺れで遮断装置が作動し、ガスの供給を停止する。 さらに揺れが強い場合には、安全のため地域ブロック単位でガス供給が止まることもある※。
断水、停電の発生	震度 5 弱程度以上の揺れがあった地域では、断水、停電が発生することがある※。
鉄道の停止、高速道路の規制等	震度 4 程度以上の揺れがあった場合には、鉄道、高速道路などで、安全確認のため、運転見合わせ、速度規制、通行規制が、各事業者の判断によって行われる。（安全確認のための基準は、事業者や地域によって異なる。）
電話等通信の障害	地震災害の発生時、揺れの強い地域やその周辺の地域において、電話・インターネット等による安否確認、見舞い、問合せが増加し、電話等がつながりにくい状況（ふくそう）が起こることがある。 そのための対策として、震度 6 弱程度以上の揺れがあった地震などの災害などの発生時に、通信事業者により災害用伝言ダイヤルや災害用伝言板などの提供が行われる。
エレベーターの停止	地震管制装置付きのエレベーターは、震度 5 弱程度以上の揺れがあった場合、安全のため自動停止する。運転再開には、安全確認などのため、時間がかかることがある。

※ 震度 6 強程度以上の揺れとなる地震があった場合には、広い地域で、ガス、水道、電気の供給が停止することがある。

● 大規模構造物への影響

長周期地震動※による超高層ビルの揺れ	超高層ビルは固有周期が長い場合、固有周期が短い一般の鉄筋コンクリート造建物に比べて地震時に作用する力が相対的に小さくなる性質を持っている。しかし、長周期地震動に対しては、ゆっくりとした揺れが長く続き、揺れが大きい場合には、固定の弱い OA 機器などが大きく移動し、人も固定しているものにつかまらなると、同じ場所にいられない状況となる可能性がある。
石油タンクのスロッシング	長周期地震動により石油タンクのスロッシング（タンク内溶液の液面が大きく揺れる現象）が発生し、石油がタンクから溢れ出たり、火災などが発生したりすることがある。
大規模空間を有する施設の天井等の破損、脱落	体育館、屋内プールなど大規模空間を有する施設では、建物の柱、壁など構造自体に大きな被害を生じない程度の地震動でも、天井等が大きく揺れたりして、破損、脱落することがある。

※ 規模の大きな地震が発生した場合、長周期の地震波が発生し、震源から離れた遠方まで到達して、平野部では地盤の固有周期に応じて長周期の地震波が増幅され、継続時間も長くなる可能性がある。

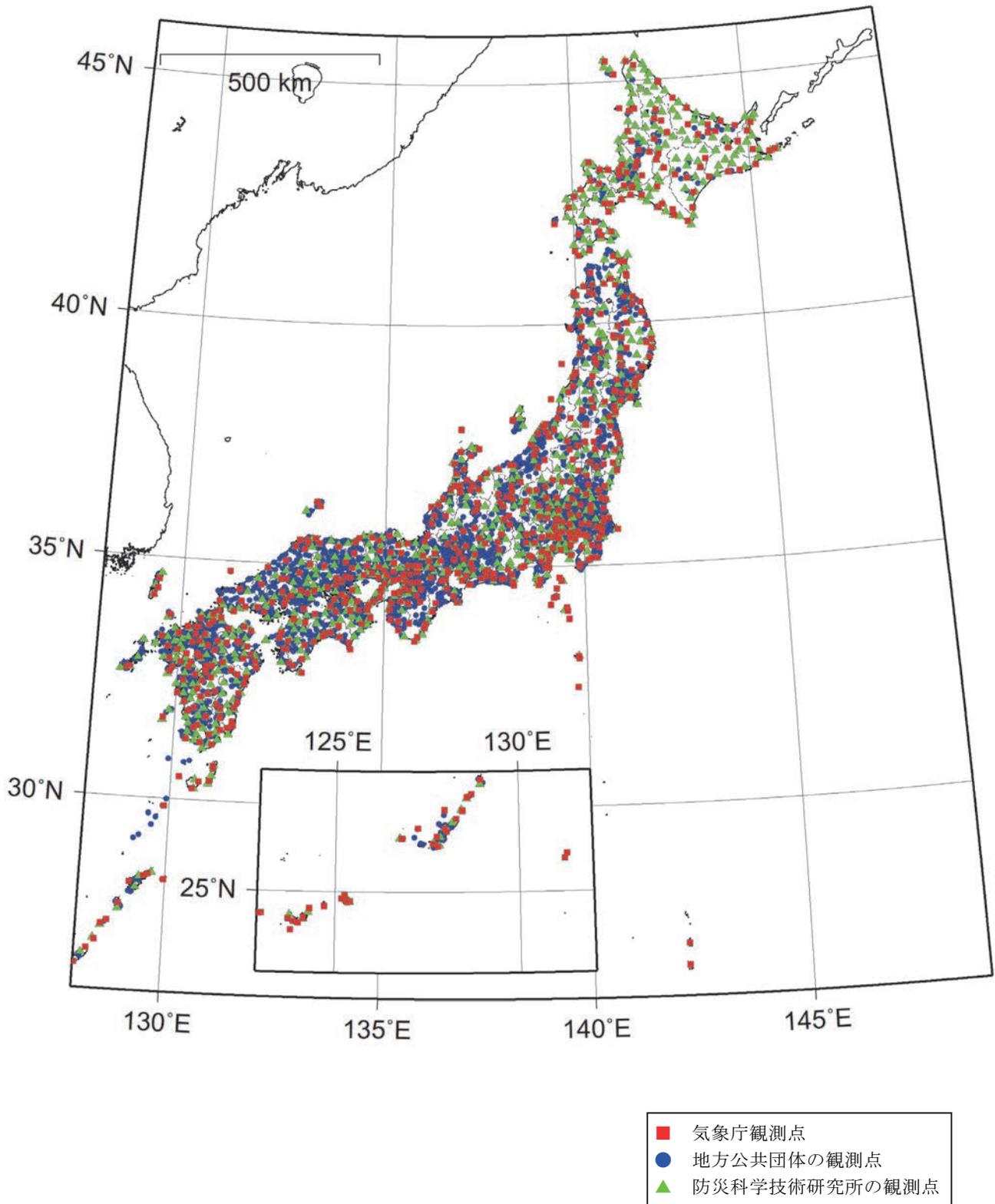
● 付録 7. 気象庁震度階級と計測震度

地震情報などにより発表される震度階級は、観測点における揺れの強さの程度を数値化した計測震度から換算されるものです。

震度階級	計測震度	震度階級	計測震度
0	0.5 未満	5弱	4.5 以上 5.0 未満
1	0.5 以上 1.5 未満	5強	5.0 以上 5.5 未満
2	1.5 以上 2.5 未満	6弱	5.5 以上 6.0 未満
3	2.5 以上 3.5 未満	6強	6.0 以上 6.5 未満
4	3.5 以上 4.5 未満	7	6.5 以上

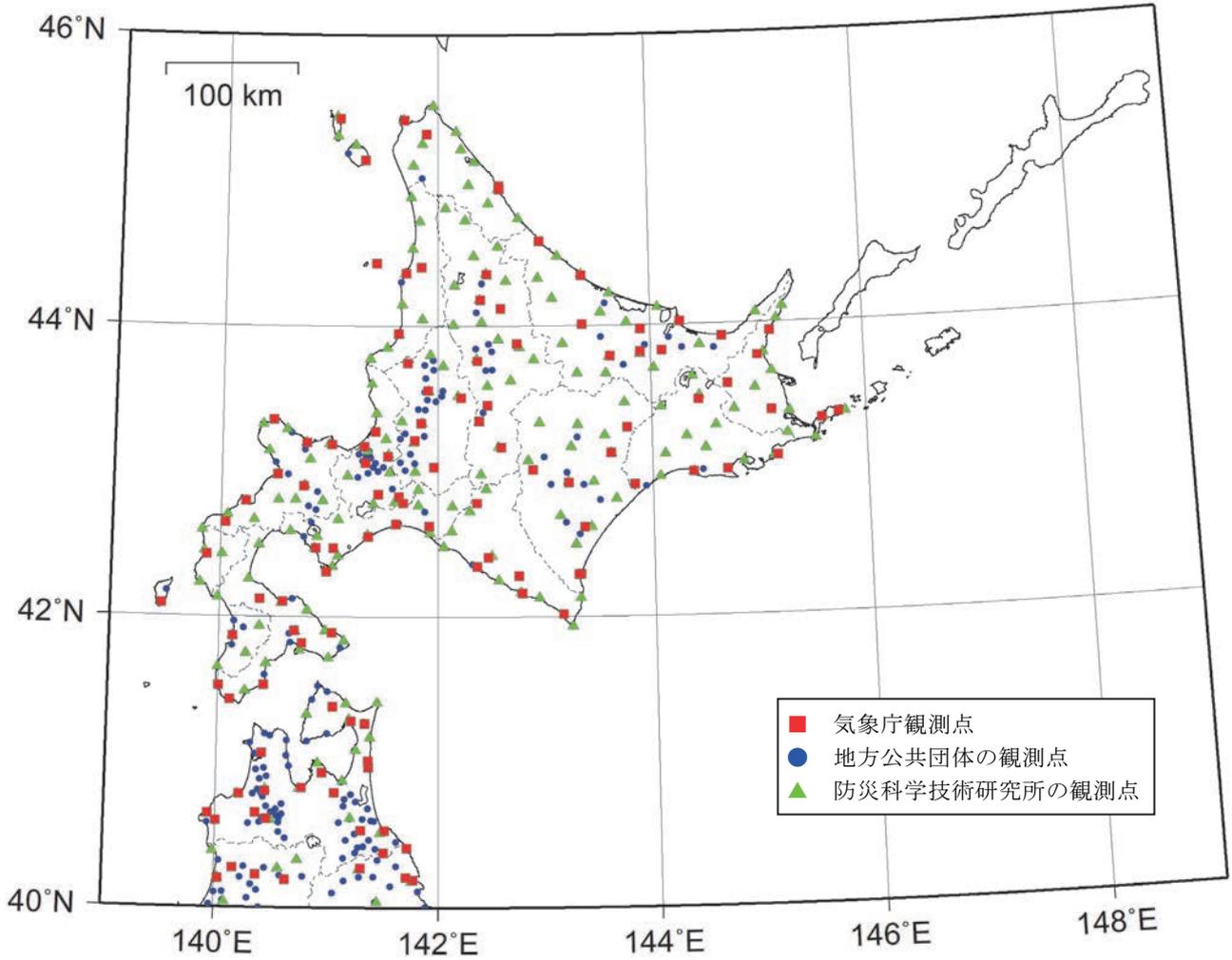
「気象庁震度階級表」より抜粋

● 付録 8. 震度観測点（平成 29 年 11 月 16 日現在）

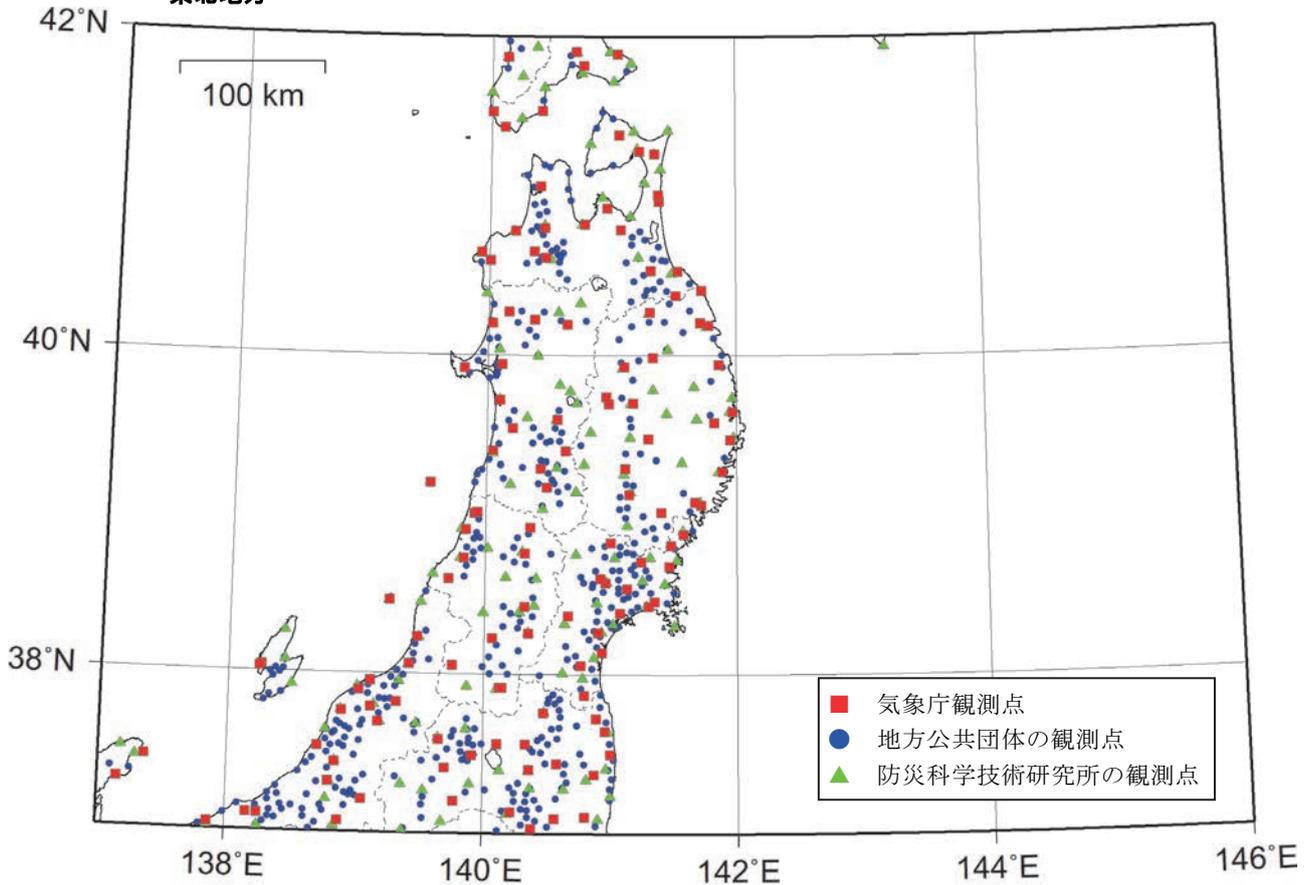


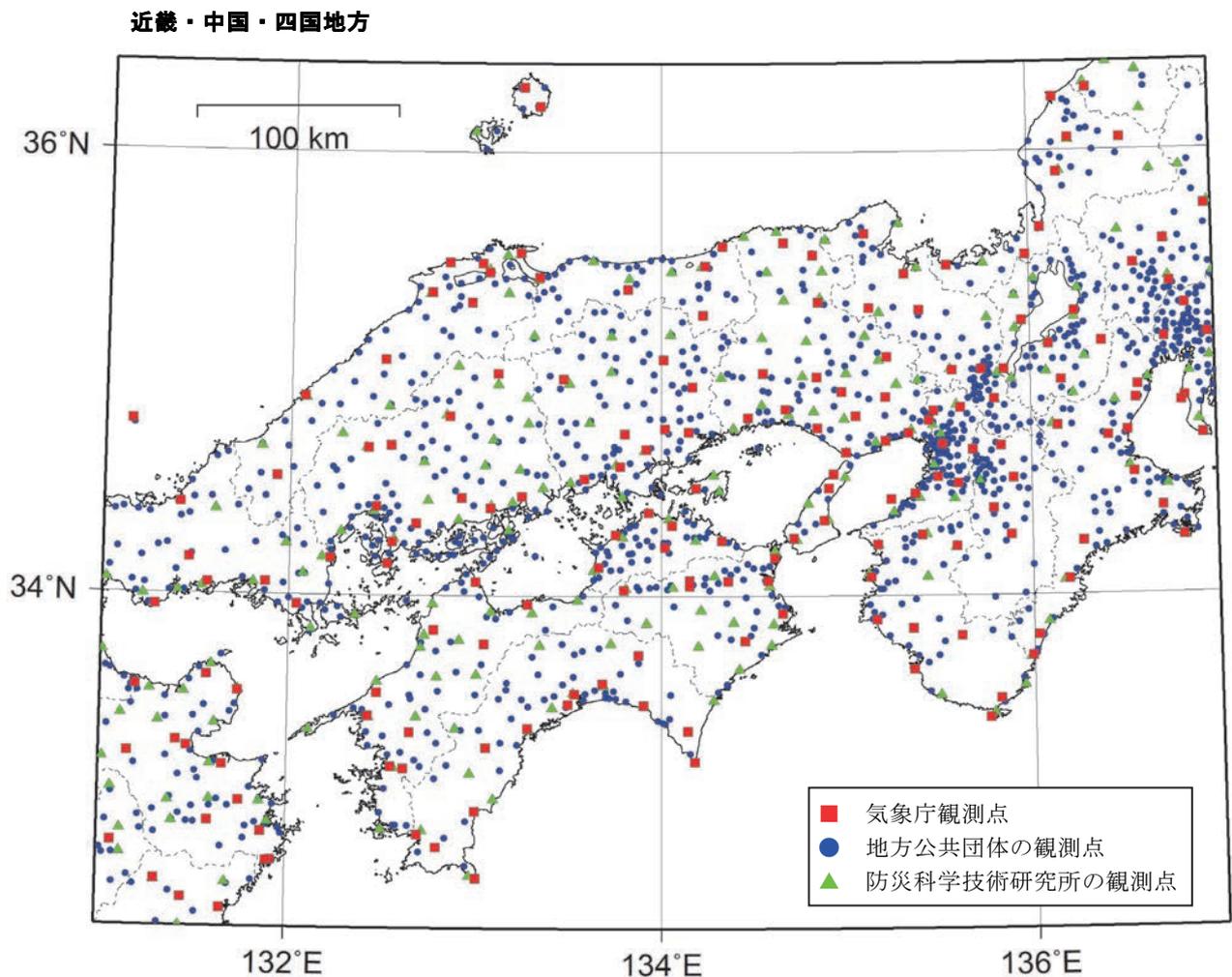
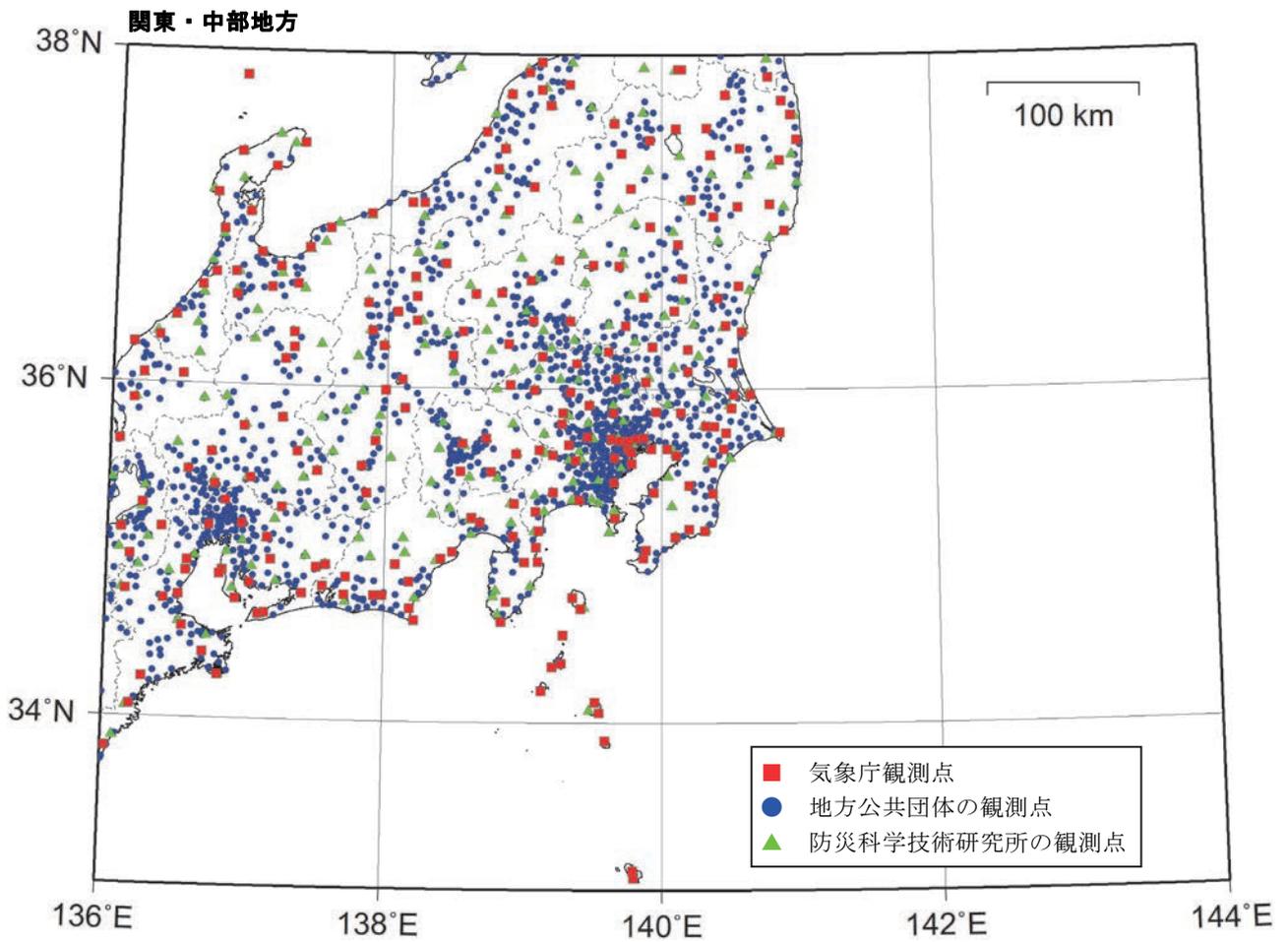
平成 29 年 11 月 16 日現在、気象庁の観測点（■印）は 671 点、地方公共団体の観測点（●印）は 2,917 点、国立研究開発法人防災科学技術研究所の観測点（▲印）は 787 点である。

北海道地方

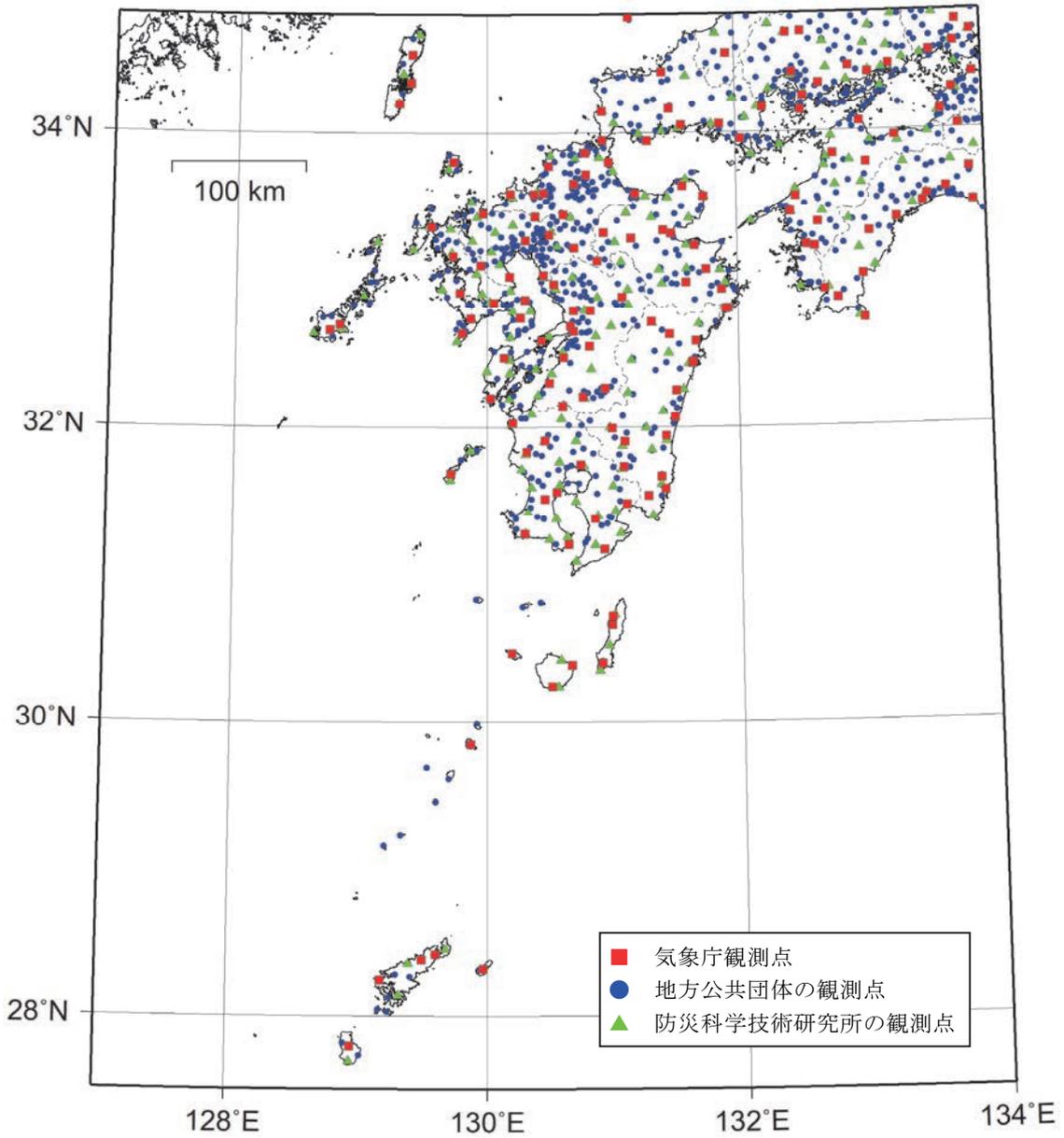


東北地方

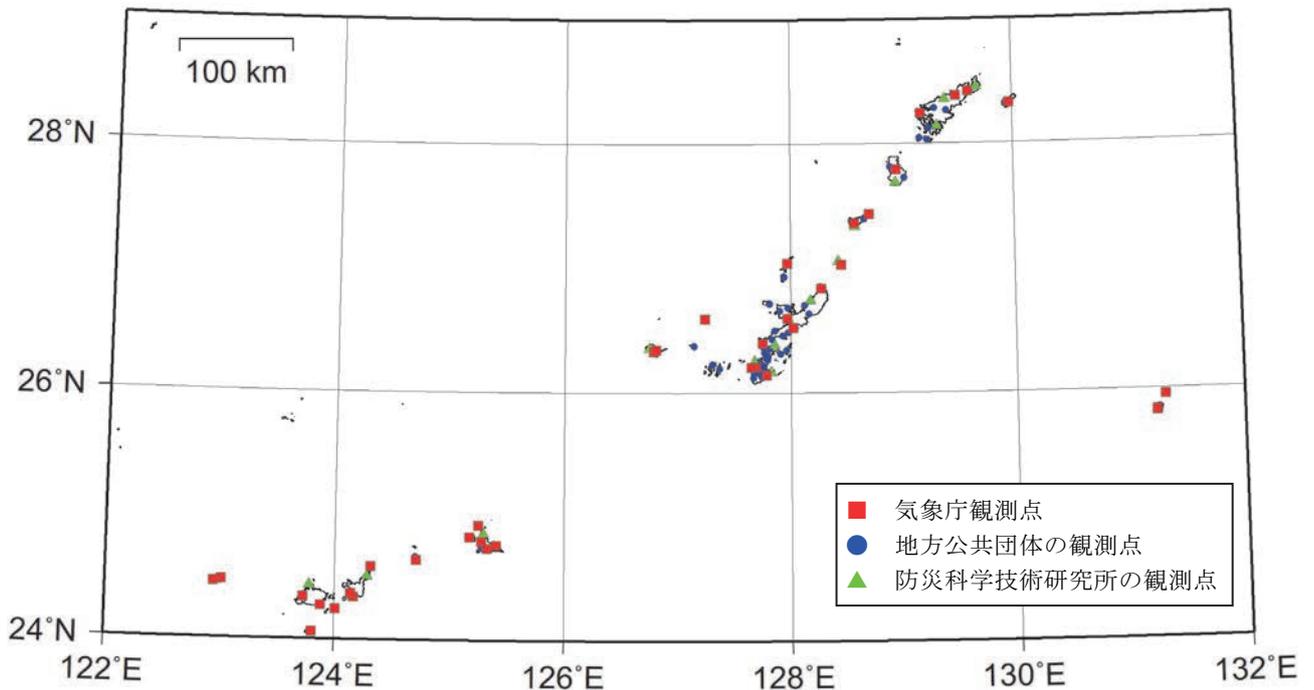




九州地方



沖縄地方



●付録 9.

震度 6 または震度 6 弱以上を観測した地震の表（1926年～2017年）

※ *のついている地点は、地方公共団体もしくは国立研究開発法人防災科学技術研究所の震度観測点、(注)を付した地震については、近接した地域でほぼ同時刻に発生した地震であるため震度の分離ができないことを示す。

※ 最大震度 6 または 6 弱以上を観測した地震について、震源要素と震度 5 または震度 5 弱以上を観測した観測点を掲載した。

※ 各観測点の末尾に計測震度（付録 7 参照）を記す（ただし、計測震度計で観測した期間のみ）。

※ 観測点名称は 2017 年 11 月 16 日現在、情報発表に用いているものである。なお、地震番号 1～13 に記載してある観測点名称は、原則気象官署名とし、括弧内に所在地を情報発表に用いる名称で記載した（ただし、当時の所在地が現在と異なる官署については、当時の所在地を情報発表に用いる名称に準じる形で記載した）。

※ (旧) のついている地点は、観測点の移設により現在とは異なる環境で観測していた地点等を示す。

※ 被害は、死者を伴った地震について死者と行方不明者の人数を記載した。被害は、総務省消防庁による。ただし、※印が付いている被害は「日本被害地震総覧」による。

地震番号	震源時 年 月 日 時 分	震央地名 各地の震度 地震名（地震の通称）・備考	緯度	経度	深さ	規模
1	1927 3 7 18 27	京都府北部 兵庫県 6 豊岡測候所（豊岡市山王町） 5 洲本測候所（洲本市小路谷） 京都府 6 宮津測候所（宮津市鶴賀） 5 京都地方気象台（京都中京区西ノ京） 福井県 5 福井地方気象台（福井市日之出）敦賀測候所（敦賀市川崎町） 奈良県 5 奈良地方気象台（橿原市八木町） 広島県 5 福山測候所（福山市松永町） （北丹後地震） 死者 2,912人 ※、津波あり	35° 37.9' N	134° 55.8' E	18km	M: 7.3
2	1930 11 26 04 02	静岡県伊豆地方 静岡県 6 三島測候所（三島市東本町（旧）） 5 沼津測候所（沼津市末広町） 神奈川県 5 横浜地方気象台（横浜中区山手町） 横須賀観測所（横須賀市夏島町） （北伊豆地震） 死者 272人 ※	35° 02.5' N	138° 58.4' E	1km	M: 7.3
3	1935 7 11 17 24	静岡県中部 静岡県 6 静岡地方気象台（静岡駿河区曲金（旧）） （静岡地震） 死者 9人 ※	35° 01.4' N	138° 23.6' E	10km	M: 6.4
4	1941 7 15 23 45	長野県北部 長野県 6 長野地方気象台（長野市箱清水） 死者 5人 ※	36° 39.4' N	138° 11.6' E	5km	M: 6.1
5	1943 9 10 17 36	鳥取県東部 鳥取県 6 鳥取地方気象台（鳥取市湖山町南） 岡山県 5 岡山地方気象台（岡山市内山下） 山口県 5 萩測候所（萩市江向） （鳥取地震） 死者 1,083人 ※	35° 28.3' N	134° 11.0' E	0km	M: 7.2
6	1944 12 7 13 35	三重県南東沖 静岡県 6 御前崎測候所（御前崎市御前崎） 5 浜松測候所（浜松中区鴨江町） 三重県 6 津地方気象台（津市下弁財町） 5 亀山測候所（亀山市北町） 尾鷲測候所（尾鷲市南陽町（旧）） 福井県 5 福井地方気象台（福井市日之出）敦賀測候所（敦賀市松栄町） 山梨県 5 甲府地方気象台（甲府市伊勢） 岐阜県 5 岐阜地方気象台（岐阜市加納二之丸） 愛知県 5 名古屋地方気象台（名古屋千種区日和町） 滋賀県 5 彦根地方気象台（彦根市城町（旧）） 奈良県 5 奈良地方気象台（橿原市八木町紺屋の坪） （東南海地震） 死者 1,183人 ※、津波あり	33° 34.4' N	136° 10.5' E	40km	M: 7.9
7	1948 6 28 16 13	福井県嶺北 福井県 6 福井地方気象台（福井市豊島） （福井地震） 死者 3,769人 ※	36° 10.3' N	136° 17.4' E	0km	M: 7.1
8	1972 12 4 19 16	八丈島東方沖 東京都 6 八丈島測候所（八丈町大賀郷（旧）） 1972年12月4日八丈島東方沖地震 津波あり	33° 12' N	141° 05' E	50km	M: 7.2

地震 番号	震源時 年 月 日 時 分	震央地名 各地の震度 地震名 (地震の通称) ・備考	緯度	経度	深さ	規模
9	1982 3 21 11 32	浦河沖 北海道 6 浦河測候所 (浦河町潮見 (旧)) 昭和57年 (1982年) 浦河沖地震	42° 04' N	142° 36' E	40km	M: 7.1
10	1993 1 15 20 06	釧路沖 北海道 6 釧路地方気象台 (釧路市幣舞町 (旧)) 5 浦河測候所 (浦河町潮見 (旧)) 帯広測候所 (帯広市東4条) 広尾測候所 (広尾町並木通) 青森県 5 八戸測候所 (八戸市湊町 (旧)) 平成5年 (1993年) 釧路沖地震 死者 2人 ※	42° 55.2' N	144° 21.2' E	101km	M: 7.5
11	1994 10 4 22 22	北海道東方沖 北海道 6 釧路地方気象台 (釧路市幣舞町 (旧)) 厚岸町尾幌 5 浦河測候所 (浦河町潮見 (旧)) 足寄町上螺湾 広尾測候所 (広尾町並木通) 中標津町養老牛 羅臼町春日 根室測候所 (根室市弥栄) 平成6年 (1994年) 北海道東方沖地震 択捉島など北方四島で死者 11人 ※、津波あり	43° 22.5' N	147° 40.4' E	28km	M: 8.2
12	1994 12 28 21 19	三陸沖 青森県 6 八戸測候所 (八戸市湊町 (旧)) 5 青森地方気象台 (青森市花園) むつ測候所 (むつ市金曲) 岩手県 5 盛岡地方気象台 (盛岡市山王町) 平成6年 (1994年) 三陸はるか沖地震 死者 3人 ※、津波あり	40° 25.8' N	143° 44.7' E	0km	M: 7.6
13	1995 1 17 05 46	大阪湾 兵庫県 7 (現地調査により、神戸市、芦屋市、西宮市、宝塚市及び淡路島北部の一部で震度7を観測) 6 神戸海洋気象台 (神戸中央区中山手) 洲本測候所 (洲本市小路谷) 5 豊岡測候所 (豊岡市桜町 (旧)) 滋賀県 5 彦根地方気象台 (彦根市城町 (旧)) 京都府 5 京都地方気象台 (京都中京区西ノ京) 平成7年 (1995年) 兵庫県南部地震 死者 6,434人、行方不明 3人、津波あり	34° 35.9' N	135° 02.1' E	16km	M: 7.3
14	1997 5 13 14 38	鹿児島県薩摩地方 鹿児島県 6弱 薩摩川内市中郷=5.6 5強 さつま町宮之城屋地 (旧) =5.4 5弱 阿久根市赤瀬川 (旧) =4.8	31° 56.9' N	130° 18.1' E	9km	M: 6.4
15	1998 9 3 16 58	岩手県内陸北部 岩手県 6弱 雫石町長山=5.9	39° 48.3' N	140° 54.0' E	8km	M: 6.2
16	2000 7 1 16 01	新島・神津島近海 東京都 6弱 神津島村金長=5.9 神津島村役場 (旧) *=5.6 5弱 新島村本村*=4.8 死者 1人	34° 11.4' N	139° 11.6' E	16km	M: 6.5
17	2000 7 9 03 57	新島・神津島近海 東京都 6弱 神津島村役場 (旧) *=5.5 5強 神津島村金長=5.1	34° 12.7' N	139° 13.8' E	15km	M: 6.1
18	2000 7 15 10 30	新島・神津島近海 東京都 6弱 新島村本村*=5.6 5弱 伊豆大島町差木地 (旧) =4.9	34° 25.4' N	139° 14.5' E	10km	M: 6.3
19	2000 7 30 21 25	三宅島近海 東京都 6弱 三宅村阿古2=5.6 5弱 三宅村神着 (旧) =4.9 神津島村金長=4.5	33° 58.2' N	139° 24.6' E	17km	M: 6.5
20	2000 8 18 10 52	新島・神津島近海 東京都 6弱 新島村式根島 (旧) =5.5 5強 神津島村役場 (旧) *=5.0 5弱 神津島村金長=4.9	34° 12.0' N	139° 14.4' E	12km	M: 6.1
21	2000 8 18 12 49	新島・神津島近海 東京都 6弱 新島村式根島 (旧) =5.7	34° 17.6' N	139° 10.4' E	7km	M: 5.1

地震番号	震源時 年 月 日 時 分	震央地名 各地の震度 地震名 (地震の通称) ・備考	緯度	経度	深さ	規模
22	2000 10 6 13 30	鳥取県西部 鳥取県 鳥取日野町根雨* 鳥取南部町法勝寺* 鳥取南部町天萬* 伯耆町溝口* 伯耆町吉長* 米子市淀江町* 日吉津村日吉津* 米子市博労町 (旧) * 大山町国信* 北栄町由良宿* 倉吉市関金町大鳥居* 湯梨浜町龍島* 北栄町土下* 琴浦町徳万 (旧) * 大山町御来屋* 大山町赤坂* 奥出雲町三成 (旧) * 松江市八束町波入 (旧) * 松江市東出雲町掛屋* 松江市玉湯町湯町* 松江市西津田 (旧) * 松江市鹿島町佐陀本郷* 仁摩町仁万 (旧) * 雲南市大東町大東* 雲南市加茂町加茂中 (旧) * 八雲村西岩坂 (旧) * 雲南市三刀屋町三刀屋 (旧) * 出雲市湖陵町二部 (旧) * 江津市桜江町川戸 (旧) * 島根斐川町荻原町 (旧) * 新見市哲多町本郷* 真庭市西河内* 新見市大佐小阪部 (旧) * 新見市新見* 真庭市美甘 (旧) * 新庄村役場* 真庭市久世 (旧) * 玉野市宇野* 真庭市下皆部* 真庭市蒜山上福田 (旧) * 真庭市蒜山上長田* 真庭市蒜山下和* 神郷町下神代 (旧) * 早島町前潟* 岡山北区大供* 岡山北区御津金川* 倉敷市真備町* 賀陽町豊野 (旧) * 真庭市勝山* 岡山東区瀬戸町* 岡山南区片岡* 倉敷市船徳町 (旧) * 笠岡市笠岡* 高梁市有漢町 (旧) * 土庄町甲* 東かがわ市湊 (旧) * 小豆島町池田 (旧) * 高松市庵治町 (旧) * 高松市国分寺町 (旧) * 観音寺市坂本町 (旧) * 三豊市三野町 (旧) * 豊中町本山 (旧) * 淡路市志筑 (旧) * 庄原市高野町 (旧) * 福山市駅家町* 大崎上島町中野* 呉市川尻町 (旧) * 府中町大通り (旧) * 福山市新市町 (旧) * 徳島市大和町 (旧) * 徳島市新蔵町 (旧) *	35° 16.4' N	133° 20.9' E	9km	M: 7.3
		平成12年 (2000年) 鳥取県西部地震				
23	2001 3 24 15 27	安芸灘 広島県 東広島市河内町 (旧) * 熊野町役場 (旧) * 大崎上島町中野* 呉市川尻町 (旧) * 呉市倉橋町支所* 広島安佐南区緑井* 呉市下蒲刈町* 府中町大通り (旧) * 江田島市能美町* 三原市円一町* 音戸町鱒浜 (旧) * 廿日市市下平良* 呉市広* 海田町上市* 三原市久井町 (旧) * 広島西区己斐* 尾道市向島町 (旧) * 東広島市安芸津町 (旧) * 江田島市沖美町* 江田島市大柿町 (旧) * 呉市豊町 (旧) * 広島豊浜町豊島 (旧) * 呉市安浦町 (旧) * 北広島町有田 (旧) * 三原市本郷南 (旧) * 広島安佐北区可部南* 東広島市黒瀬町=5.0 東広島市豊栄町 (旧) * 呉市宝町=5.0 三原市大和町 (旧) * 尾道市瀬戸田町 (旧) * 呉市倉橋町鶯ヶ巣* 呉市焼山 (旧) * 呉市蒲刈町 (旧) * 廿日市市津田* 大崎上島町東野 (旧) * 大崎上島町木江* 広島中区大手町* 広島安芸区中野* 世羅町西上原* 江田島市江田島町* 福山市松永町* 福山市内海町 (旧) * 広島三次市吉舎町 (旧) * 安芸高田市吉田町 (旧) * 広島福富町久芳 (旧) * 広島南区宇品海岸* 廿日市市宮島町 (旧) * 世羅町西小国 (旧) * 広島中区上八丁堀* 安芸高田市八千代町* 坂町役場* 広島三次市三良坂町 (旧) * 北広島町都志見* 福山市新市町 (旧) * 尾道市久保 (旧) * 尾道市御調町* 今治市南宝来町二丁目* 今治市上浦町* 今治市大三島町* 西条市丹原町鞆瀬* 松山市北持田町* 今治市波方町* 今治市菊間町* 今治市吉海町* 愛媛松前町筒井* 久万高原町久万* 西予市三瓶町 (旧) * 今治市大西町* 砥部町宮内* 愛媛吉田町東小路 (旧) * 西予市宇和町 (旧) * 上島町弓削 (旧) * 西条市丹原町池田* 上島町生名* 上島町岩城 (旧) * 今治市朝倉北* 今治市玉川町* 西条市新田* 西条市小松町 (旧) * 内子町平岡* 西予市明浜町 今治市宮窪町* 松山市中島大浦* 伊予市中山町 (旧) * 八幡浜市保内町* 大洲市大洲* 宇和島市住吉町* 西予市野村町* 今治市関前岡村 (旧) * 東温市見奈良* 伊方町湊浦 (旧) * 宇和島市三間町 (旧) * 新居浜市一宮町* 和木町和木 (旧) * 阿東町徳佐 (旧) * 周防大島町森* 周防大島町久賀 (旧) * 周防大島町小松* 岩国市今津 (旧) * 柳井市南町 (旧) * 柳井市大島 (旧) * 平生町平生 (旧) * 田布施町役場* 周防大島町西安下庄* 下松市大手町 (旧) * 岩国市由宇町* 岩国市玖珂総合支所 (旧) * 岩国市美和町生見* 上関町長島 (旧) * 田布施町下田布施* 周南市岐山通り (旧) * 光市中央 (旧) * 山口市小郡下郷* 山口市小郡下郷* 山口市小郡下郷* 山口市小郡下郷*	34° 07.9' N	132° 41.6' E	46km	M: 6.7

地震 番号	震源時 年 月 日 時 分	震央地名 各地の震度 地震名 (地震の通称) ・備考	緯度	経度	深さ	規模
		岩国市周東町下久原*4.5 光市岩田 (旧)*4.5 島根県 5弱 邑南町下口羽*4.5 浜田市三隅町三隅*4.5 江津市桜江町川戸 (旧)*4.5 高知県 5弱 高知市本町=4.6 大分県 5弱 佐伯市上浦 (旧)*4.5 平成13年 (2001年) 芸予地震 死者 2人				
24	2003 5 26 18 24	宮城県沖 岩手県 宮城県 青森県 秋田県 山形県 福島県	38° 49.2' N	141° 39.0' E	72km	M: 7.1
		6弱 大船渡市大船渡町=5.8 一関市室根町 (旧)*5.7 平泉町平泉 (旧)*5.6 奥州市衣川区 (旧)*5.6 奥州市江刺区*5.5 5強 岩手洋野町大野 (旧)*5.4 大船渡市猪川町=5.4 矢巾町南矢幅 (旧)*5.4 金ヶ崎町西根*5.4 一関市藤沢町*5.3 一関市舞川=5.3 遠野市宮守町*5.2 釜石市只越町=5.2 陸前高田市高田町 (旧)*5.2 花巻市大迫町=5.2 花巻市東和町 (旧)*5.2 奥州市胆沢区 (旧)*5.1 一関市川崎町 (旧)*5.1 住田町世田米 (旧)*5.1 盛岡市玉山区渋民*5.0 二戸市福岡 (旧)=5.0 花巻市材木町 (旧)*5.0 5弱 山田町八幡町 (旧)=4.9 普代村銅屋 (旧)*4.9 大槌町新町*4.9 一関市大東町 (旧)=4.9 奥州市水沢区大鐘町=4.9 奥州市前沢区*4.9 北上市柳原町=4.8 盛岡市山王町=4.8 紫波町日詰 (旧)*4.8 宮古市茂市*4.7 一関市東山町 (旧)*4.7 八幡平市大更=4.7 野田村野田*4.7 滝沢市鶴飼*4.6 久慈市川崎町=4.6 岩泉町岩泉*4.6 大迫町役*4.5 西和賀町沢内太田*4.5 6弱 栗原市高清水 (旧)*5.6 石巻市桃生町 (旧)*5.6 栗原市栗駒=5.5 栗原市金成 (旧)*5.5 石巻市泉町=5.5 涌谷町新町=5.5 5強 気仙沼市赤岩=5.4 栗原市志波姫 (旧)*5.4 登米市米山町*5.4 宮城美里町木間塚*5.4 登米市中田町=5.3 登米市登米町*5.3 栗原市一迫 (旧)*5.3 鹿島台町平渡 (旧)*5.3 栗原市瀬峰 (旧)*5.2 登米市迫町 (旧)*5.2 気仙沼市唐桑町*5.2 大崎市田尻*5.2 栗原市若柳 (旧)*5.2 石巻市前谷地*5.2 東松島市矢本*5.2 鳴瀬町小野 (旧)*5.2 南三陸町志津川 (旧)=5.1 大崎市松山*5.1 栗原市花山*5.1 宮城加美町小野田*5.1 色麻町四籠 (旧)*5.1 栗原市鶯沢*5.0 大崎市古川三日町=5.0 大崎市岩出山*5.0 5弱 宮城川崎町前川*4.9 南方町八の森*4.8 宮城美里町北浦*4.8 亙理町下小路*4.8 仙台泉区将監*4.8 名取市増田*4.7 大河原町新南 (旧)*4.7 仙台青葉区大倉=4.7 石巻市相野谷*4.7 気仙沼市本吉町*4.7 宮城加美町宮崎*4.7 大郷町粕川*4.6 大衡村大衡 (旧)*4.6 蔵王町円田*4.6 石巻市雄勝町 (旧)*4.6 石巻市大瓜=4.5 5強 階上町道仏 (旧)*5.1 5弱 八戸市南郷区 (旧)*4.7 青森南部町苦米地 (旧)*4.5 五戸町古館=4.5 秋田県 5強 大仙市刈和野*5.0 5弱 横手市大雄 (旧)*4.9 大仙市大曲花園町 (旧)*4.7 大仙市高梨 (旧)*4.7 秋田市雄和妙法 (旧)*4.6 羽後町西馬音内 (旧)*4.6 湯沢市川連町*4.5 山形県 5強 山形中山町長崎 (旧)*5.1 5弱 村山市中央*4.8 最上町向町 (旧)*4.5 福島県 5弱 南相馬市鹿島区 (旧)*4.8 相馬市中村 (旧)*4.6 田村市都路町 (旧)*4.5 富岡町本岡*4.5 南相馬市原町区三島町=4.5 南相馬市小高区 (旧)*4.5				
25	2003 7 26 00 13	宮城県中部 宮城県	38° 26.0' N	141° 09.8' E	12km	M: 5.6
		6弱 鳴瀬町小野 (旧)*5.9 東松島市矢本*5.5 5強 鹿島台町平渡 (旧)*5.4 宮城美里町木間塚*5.1 5弱 大崎市松山*4.8 石巻市泉町=4.8 大崎市田尻*4.7 涌谷町新町=4.6 石巻市前谷地*4.5 大郷町粕川*4.5				
26	2003 7 26 07 13	宮城県中部 宮城県	38° 24.3' N	141° 10.2' E	12km	M: 6.4
		6強 東松島市矢本*6.2 宮城美里町木間塚*6.0 鳴瀬町小野 (旧)*6.0 6弱 鹿島台町平渡 (旧)*5.9 涌谷町新町=5.8 石巻市前谷地*5.7 宮城美里町北浦*5.5 石巻市桃生町 (旧)*5.5 5強 大崎市松山*5.4 石巻市泉町=5.2 大崎市田尻*5.1 大崎市古川三日町=5.0 登米市米山町*5.0 5弱 栗原市志波姫 (旧)*4.9 石巻市相野谷*4.9 栗原市一迫 (旧)*4.8 栗原市瀬峰 (旧)*4.8 大郷町粕川*4.8 仙台泉区将監*4.7 栗原市高清水 (旧)*4.7 登米市迫町 (旧)*4.7 登米市中田町=4.6 大崎市三本木*4.5 栗原市金成 (旧)*4.5				
27	2003 7 26 16 56	宮城県中部 宮城県	38° 30.0' N	141° 11.3' E	12km	M: 5.5
		6弱 石巻市前谷地*5.7 5強 宮城美里町木間塚*5.4 涌谷町新町=5.2 5弱 石巻市桃生町 (旧)*4.7				
28	2003 9 26 04 50	十勝沖 北海道	41° 46.7' N	144° 04.7' E	45km	M: 8.0
		6弱 幕別町本町 (旧)*5.8 釧路町別保 (旧)*5.8 新冠町北星町 (旧)*5.7 浦河町潮見 (旧)=5.6 新ひだか町静内ときわ町=5.5 幕別町忠類錦町 (旧)*5.5				

地震 番号	震源時 年 月 日 時 分	震央地名 各地の震度 地震名 (地震の通称) ・備考	緯度	経度	深さ	規模
		豊頃町茂岩本町 (旧) *5.5 鹿追町東町 (旧) *5.5 厚岸町尾幌=5.5 5強 釧路市幸町=5.4 別海町常盤=5.4 更別村更別 (旧) *5.3 広尾町並木通=5.2 本別町北2丁目=5.2 厚真町京町 (旧) *5.2 釧路市音別町尺別=5.1 足寄町上螺湾=5.1 弟子屈町美里 (旧) =5.0 帯広市東4条=5.0 5弱 南幌町栄町 (旧) *4.9 音更町元町 (旧) *4.9 十勝清水町南4条=4.9 幕別町忠類明和=4.9 北見市公園町=4.8 芽室町東2条 (旧) *4.8 長沼町中央 (旧) *4.8 苫小牧市しらかほ=4.7 上士幌町上士幌 (旧) *4.7 清里町羽衣町 (旧) *4.7 新篠津村第4線 (旧) *4.6 栗山町松風 (旧) *4.5 訓子府町東町 (旧) *4.5 中富良野町市街地 (旧) *4.5 岩見沢市栗沢町東本町 (旧2) *4.5 平成15年 (2003年) 十勝沖地震 死者 1人、行方不明 1人、津波あり				
29	2003 9 26 06 08	十勝沖 北海道 6弱 浦河町潮見 (旧) =5.8 5強 新冠町北星町 (旧) *5.2 5弱 新ひだか町静内ときわ町=4.8 厚真町京町 (旧) *4.6 青森県 5弱 むつ市金曲=4.7 東通村砂子又 (旧) *4.6 野辺地町野辺地*4.5	41° 42.5' N	143° 41.4' E	21km	M: 7.1
30	2004 10 23 17 56	新潟県中越地方 新潟県 7 長岡市東川口*6.5 6強 長岡市古志竹沢*6.3 小千谷市城内=6.3 長岡市小国町法坂*6.0 6弱 十日町市千歳町*5.9 十日町市上山 (旧) *5.9 魚沼市堀之内 (旧) *5.9 十日町市水口沢 (旧) *5.7 魚沼市須原 (旧) *5.7 長岡市浦*5.6 刈羽村割町新田 (旧) *5.6 長岡市幸町=5.5 長岡市上岩井*5.5 魚沼市今泉*5.5 長岡市栃尾大町*5.5 魚沼市穴沢 (旧) *5.5 5強 長岡市中之島 (旧) *5.4 上越市安塚区安塚*5.3 長岡市与板町与板 (旧) *5.3 見附市昭和町 (旧) *5.3 長岡市小島谷*5.2 出雲崎町米田=5.2 魚沼市小出島*5.2 南魚沼市六日町=5.2 南魚沼市浦佐*5.2 南魚沼市塩沢庁舎*5.2 津南町下船渡*5.1 十日町市松之山 (旧) *5.0 十日町市松代 (旧) *5.0 5弱 三条市西裏館*4.9 三条市新堀*4.9 柏崎市中央町 (旧) *4.9 柏崎市西山町池浦 (旧) *4.9 弥彦村矢作 (旧) *4.8 柏崎市高柳町岡野町 (旧) *4.7 上越市吉川区原之町*4.7 出雲崎町川西*4.7 魚沼市米沢=4.7 燕市秋葉町 (旧) *4.7 燕市分水桜町 (旧) *4.7 新潟市中之口*4.7 加茂市幸町*4.6 上越市三和区井ノ口*4.6 新潟市月潟*4.6 魚沼市大沢*4.6 上越市頸城区百間町*4.5 上越市大手町 (旧) =4.5 燕市吉田日之出町 (旧) *4.5 上越市木田*4.5 上越市蒲川原区釜淵*4.5 新潟西蒲区役所=4.5 上越市牧区柳島*4.5 上越市柿崎区柿崎*4.5 福島県 5弱 只見町只見*4.7 西会津町野沢=4.5 柳津町柳津 (旧) *4.5 群馬県 5弱 渋川市北橋町*4.7 高崎市高松町*4.6 片品村東小川=4.5 埼玉県 5弱 久喜市下早見=4.7 長野県 5弱 飯綱町芋川 (旧) *4.6 平成16年 (2004年) 新潟県中越地震 死者 68人	37° 17.5' N	138° 52.0' E	13km	M: 6.8
31	2004 10 23 18 11	新潟県中越地方 新潟県 6強 小千谷市城内=6.0 6弱 長岡市浦*5.7 長岡市小国町法坂*5.7 5弱 出雲崎町米田=4.9 魚沼市堀之内 (旧) *4.9 柏崎市西山町池浦 (旧) *4.8 長岡市与板町与板 (旧) *4.8 長岡市小島谷*4.8 長岡市栃尾大町*4.7 長岡市幸町=4.7 長岡市中之島 (旧) *4.6 十日町市水口沢 (旧) *4.6 魚沼市今泉*4.5	37° 15.1' N	138° 49.7' E	12km	M: 6.0
32	2004 10 23 18 34	新潟県中越地方 新潟県 6強 長岡市東川口*6.2 十日町市千歳町*6.1 長岡市小国町法坂*6.1 6弱 十日町市水口沢 (旧) *5.9 小千谷市城内=5.7 南魚沼市六日町=5.7 魚沼市堀之内 (旧) *5.6 魚沼市今泉*5.6 十日町市松代 (旧) *5.6 南魚沼市浦佐*5.6 魚沼市穴沢 (旧) *5.5 十日町市上山 (旧) *5.5 上越市安塚区安塚*5.5 5強 魚沼市須原 (旧) *5.4 長岡市上岩井*5.3 出雲崎町米田=5.3 上越市蒲川原区釜淵*5.3 南魚沼市塩沢庁舎*5.3 魚沼市小出島*5.2 柏崎市高柳町岡野町 (旧) *5.2 長岡市浦*5.2 長岡市幸町=5.1 柏崎市西山町池浦 (旧) *5.1 長岡市小島谷*5.1 長岡市与板町与板 (旧) *5.0 上越市大手町 (旧) =5.0 魚沼市大沢*5.0 上越市牧区柳島*5.0 上越市三和区井ノ口*5.0 5弱 上越市清里区荒牧*4.9 十日町市松之山 (旧) *4.9 見附市昭和町 (旧) *4.8 長岡市栃尾大町*4.7 長岡市中之島 (旧) *4.7 津南町下船渡*4.7 魚沼市米沢=4.7 上越市木田*4.6 上越市吉川区原之町*4.6 上越市頸城区百間町*4.5 三条市新堀*4.5 柏崎市中央町 (旧) *4.5 上越市板倉区針 (旧) *4.5 出雲崎町川西*4.5 上越大島区上達*4.5 上越市柿崎区柿崎*4.5 群馬県 5弱 片品村東小川=4.8 渋川市北橋町*4.7 沼田市白沢町*4.6 群馬昭和村糸井*4.5	37° 18.3' N	138° 55.8' E	14km	M: 6.5

地震 番号	震源時 年 月 日 時 分	震央地名 各地の震度 地震名(地震の通称)・備考	緯度	経度	深さ	規模
33	2004 10 23 19 45	新潟県中越地方 新潟県 6弱 小千谷市城内=5.7 5強 長岡市小国町法坂*=5.0 5弱 魚沼市堀之内(旧)*=4.7 長岡市浦*=4.5	37° 17.7' N	138° 52.5' E	12km	M: 5.7
34	2004 10 27 10 40	新潟県中越地方 新潟県 6弱 魚沼市今泉*=5.6 魚沼市須原(旧)*=5.5 魚沼市穴沢(旧)*=5.5 5強 魚沼市堀之内(旧)*=5.4 魚沼市米沢=5.3 南魚沼市六日町=5.3 魚沼市大沢*=5.2 長岡市幸町=5.1 長岡市上岩井*=5.1 魚沼市小出島*=5.1 長岡市栃尾大町*=5.1 小千谷市城内=5.1 長岡市小国町法坂*=5.0 長岡市浦*=5.0 5弱 長岡市中之島(旧)*=4.9 見附市昭和町(旧)*=4.9 南魚沼市浦佐*=4.9 長岡市小島谷*=4.7 三条市新堀*=4.6 長岡市与板町与板(旧)*=4.6 出雲崎町米田=4.6 燕市秋葉町(旧)*=4.6 上越市安塚区安塚*=4.5 刈羽村割町新田(旧)*=4.5 上越市大手町(旧)=4.5 福島県 5弱 只見町只見*=4.6 群馬県 5弱 渋川市北橋町*=4.7 沼田市西倉内町(旧)=4.5	37° 17.5' N	139° 02.0' E	12km	M: 6.1
35	2005 3 20 10 53	福岡県北西沖 福岡県 6弱 福岡中央区舞鶴*=5.7 糸島市前原西(旧)*=5.5 福岡東区東浜*=5.5 5強 須恵町須恵*=5.3 新宮町緑ヶ浜*=5.3 糸島市志摩初=5.3 大川市酒見*=5.3 福岡西区今宿*=5.2 嘉麻市上臼井(旧)*=5.2 福岡早良区百道浜*=5.2 春日市原町(旧)*=5.1 久留米市津福本町=5.1 福岡中央区大濠=5.1 糸島市二丈深江*=5.0 飯塚市忠隈*=5.0 粕屋町仲原*=5.0 久山町久原*=5.0 5弱 福岡博多区博多駅前*=4.9 大野城市曙町*=4.9 宮若市福丸(旧)*=4.9 みやま市高田町(旧)*=4.9 筑前町篠隈*=4.8 福津市津屋崎*=4.8 久留米市北野町(旧)*=4.8 久留米市城島町*=4.8 柳川市本町(旧)*=4.8 筑前町下高場=4.8 福岡城南区神松寺*=4.7 遠賀町今古賀*=4.7 福岡南区塩原*=4.7 篠栗町篠栗*=4.7 志免町志免*=4.7 うきは市浮羽町(旧)*=4.6 北九州八幡西区相生町*=4.6 宗像市大島(旧)*=4.6 朝倉市宮野*=4.6 宗像市東郷*=4.6 小郡市小郡*=4.6 大木町八町牟田*=4.6 北九州戸畑区千防*=4.5 宗像市江口*=4.5 中間市中間*=4.5 福岡那珂川町西隈*=4.5 大刀洗町富多*=4.5 直方市新町(旧)*=4.5 飯塚市川島(旧)=4.5 飯塚市長尾*=4.5 宇美町宇美*=4.5 佐賀県 6弱 みやき町北茂安(旧)*=5.6 5強 上峰町坊所(旧)*=5.1 白石町有明(旧)*=5.1 唐津市七山(旧)*=5.0 5弱 佐賀市久保田(旧)*=4.9 白石町福田(旧)*=4.9 小城市芦刈(旧)*=4.9 神埼市千代田(旧)*=4.9 唐津市西城内=4.8 鳥栖市宿町(旧)*=4.8 白石町福富(旧)*=4.8 佐賀市川副(旧)*=4.7 嬉野市下宿乙(旧)*=4.7 神埼市神埼(旧)*=4.7 佐賀市諸富(旧)*=4.7 佐賀市三瀬(旧)*=4.6 多久市北多久町(旧)*=4.6 江北町山口(旧)*=4.6 小城市牛津(旧)*=4.6 唐津市北波多(旧)*=4.6 吉野ヶ里町三田川(旧)*=4.6 佐賀市大和(旧)*=4.6 武雄市北方(旧)*=4.5 唐津市呼子(旧)*=4.5 みやき町中原(旧)*=4.5 小城市三日月(旧)*=4.5 佐賀市東与賀(旧)*=4.5 長崎県 5強 壱岐市芦辺町芦辺(旧)*=5.1 5弱 壱岐市石田町(旧)*=4.5 大分県 5弱 中津市三光(旧)*=4.5 死者 1人	33° 44.3' N	130° 10.5' E	9km	M: 7.0
36	2005 8 16 11 46	宮城県沖 宮城県 6弱 宮城川崎町前川*=5.6 5強 石巻市桃生町(旧)*=5.3 東松島市矢本*=5.2 蔵王町円田*=5.2 栗原市築館(旧)*=5.2 宮城美里町北浦*=5.1 涌谷町新町=5.1 石巻市門脇*=5.0 大崎市田尻*=5.0 名取市増田*=5.0 登米市迫町(旧)*=5.0 仙台宮城野区苦竹*=5.0 仙台泉区将監*=5.0 5弱 栗原市金成(旧)*=4.9 登米市南方町*=4.9 南三陸町志津川(旧)=4.9 南三陸町歌津(旧)*=4.9 岩沼市桜*=4.9 山元町浅生原(旧)*=4.9 石巻市泉町=4.9 塩竈市旭町*=4.9 東松島市小野*=4.9 宮城美里町木間塚*=4.8 登米市中田町=4.8 登米市米山町*=4.8 石巻市北上町(旧)*=4.8 石巻市鮎川浜*=4.8 石巻市相野谷*=4.8 石巻市前谷地*=4.8 仙台宮城野区五輪=4.7 仙台若林区遠見塚*=4.7 栗原市若柳(旧)*=4.7 栗原市高清水(旧)*=4.7 栗原市志波姫(旧)*=4.7 大崎市古川三日町=4.7 大崎市鹿島台*=4.7 大衡村大衡(旧)*=4.7 登米市登米町*=4.7 栗原市瀬峰(旧)*=4.6 大崎市松山*=4.6 角田市角田*=4.6 大河原町新南(旧)*=4.6 女川町女川浜(旧)*=4.6 亶理町下小路*=4.6 栗原市栗駒=4.6 村田町村田*=4.5 柴田町船岡=4.5 大郷町粕川*=4.5 気仙沼市赤岩=4.5 宮城加美町中新田*=4.5 登米市東和町*=4.5 白石市亶理町*=4.5 栗原市一迫(旧)*=4.5 石巻市雄勝町(旧)*=4.5 岩手県 5強 一関市藤沢町*=5.0 5弱 一関市室根町(旧)*=4.9 奥州市前沢区*=4.8 奥州市衣川区(旧)*=4.8 一関市千厩町(旧)*=4.8 一関市花泉町(旧)*=4.7 平泉町平泉(旧)*=4.7	38° 08.9' N	142° 16.6' E	42km	M: 7.2

地震番号	震源時 年 月 日 時 分	震央地名 各地の震度 地震名 (地震の通称) ・備考	緯度	経度	深さ	規模
		福島県 5強 矢巾町南矢幅 (旧) * =4.7 一関市山目 * =4.6 奥州市江刺区 * =4.6 二戸市福岡 (旧) =4.6 奥州市胆沢区 (旧) * =4.6 陸前高田市高田町 (旧) * =4.6 花巻市東和町 (旧) * =4.6 北上市柳原町 =4.5 一関市舞川 (旧) =4.5 花巻市材木町 (旧) * =4.5 金ヶ崎町西根 * =4.5 5弱 新地町谷地小屋 (旧2) * =5.4 相馬市中村 (旧) * =5.3 国見町藤田 (旧) * =5.1 川俣町五百田 * =5.1 南相馬市鹿島区 (旧) * =5.0 5弱 二本松市針道 (旧) * =4.8 桑折町東大隅 * =4.8 南相馬市小高区 (旧) * =4.7 福島市五老内町 (旧) * =4.6 田村市大越町 * =4.6 福島伊達市梁川町 * =4.6 飯館村伊丹沢 (旧) * =4.6 中島村滑津 * =4.5 田村市都路町 (旧) * =4.5 福島伊達市保原町 * =4.5 福島伊達市霊山町 * =4.5 南相馬市原町区三島町 =4.5 茨城県 5弱 日立市役所 (旧) * =4.5				
37	2007 3 25 09 41	能登半島沖 石川県 6強 輪島市門前町走出 (旧) * =6.4 穴水町大町 (旧) * =6.3 七尾市田鶴浜町 (旧) * =6.2 輪島市鳳至町 =6.1 6弱 志賀町香能 * =5.9 中能登町能登部下 (旧) * =5.7 志賀町富来領家町 =5.6 能登町宇出津 =5.6 中能登町末坂 (旧) * =5.5 輪島市河井町 * =5.5 志賀町末吉千古 (旧) * =5.5 能登町松波 (旧) * =5.5 5強 七尾市本府中町 =5.3 七尾市袖ヶ江町 * =5.2 珠洲市正院町 * =5.1 5弱 羽咋市旭町 * =4.9 珠洲市大谷町 * =4.8 中能登町井田 (旧) * =4.8 能登町柳田 (旧) * =4.8 宝達志水町子浦 * =4.5 羽咋市柳田町 =4.5 かほく市浜北 (旧) * =4.5 新潟県 5弱 刈羽村割町新田 (旧2) * =4.5 富山県 5弱 氷見市加茂 (旧) * =4.9 富山市新桜町 * =4.8 舟橋村仏生寺 * =4.7 射水市加茂中部 (旧) * =4.6 富山市婦中町笹倉 * =4.6 滑川市寺家町 * =4.6 小矢部市水牧 * =4.6 射水市本町 (旧) * =4.6 射水市戸破 * =4.5 平成19年 (2007年) 能登半島地震 死者 1人、津波あり	37° 13.2' N	136° 41.1' E	11km	M: 6.9
38	2007 7 16 10 13	新潟県上中越沖 新潟県 6強 柏崎市中央町 (旧) * =6.3 柏崎市西山町池浦 (旧) * =6.2 長岡市小国町法坂 * =6.1 刈羽村割町新田 (旧2) * =6.0 6弱 出雲崎町米田 =5.9 上越市吉川区原之町 * =5.8 上越市柿崎区柿崎 * =5.8 長岡市山古志竹沢 * =5.7 柏崎市高柳町岡野町 (旧) * =5.6 長岡市上岩井 * =5.6 上越市三和区井ノ口 * =5.5 小千谷市土川 * =5.5 長岡市中之島 (旧) * =5.5 出雲崎町川西 * =5.5 5強 上越市大島区岡 * =5.4 長岡市与板町与板 (旧) * =5.4 長岡市小島谷 * =5.4 上越市大手町 (旧) =5.3 長岡市浦 * =5.3 上越市牧区柳島 * =5.3 上越市頸城区百間町 * =5.3 三条市新堀 * =5.3 燕市分水桜町 (旧) * =5.3 上越市蒲川原区釜淵 * =5.2 上越市五智 * =5.2 上越市安塚区安塚 * =5.1 小千谷市城内 =5.1 十日町市千歳町 * =5.0 十日町市松代 (旧) * =5.0 南魚沼市六日町 =5.0 長岡市千手 * =5.0 上越市大潟区土底浜 * =5.0 十日町市高山 * =5.0 5弱 上越市中ノ俣 =4.9 見附市昭和町 (旧) * =4.9 上越市名立区名立大町 (旧) * =4.8 長岡市寺泊上田町 * =4.8 三条市西裏館 * =4.8 十日町市松之山 (旧) * =4.8 上越市木田 * =4.8 弥彦村矢作 (旧) * =4.8 上越市清里区荒牧 * =4.7 長岡市幸町 =4.7 燕市吉田日之出町 (旧) * =4.7 十日町市水口沢 (旧) * =4.7 新潟西蒲区役所 =4.7 新潟西蒲区巻甲 * =4.7 加茂市幸町 * =4.6 長岡市寺泊一里塚 * =4.6 長岡市東川口 * =4.6 南魚沼市塩沢庁舎 * =4.6 五泉市太田 * =4.5 上越市板倉区針 (旧) * =4.5 魚沼市堀之内 (旧) * =4.5 長野県 6強 飯綱町芋川 (旧) * =6.2 5強 飯綱町牟礼 * =5.3 中野市豊津 * =5.1 飯山市飯山福寿町 * =5.0 信濃町柏原東裏 * =5.0 5弱 長野市戸隠 * =4.5 石川県 5弱 輪島市鳳至町 =4.6 能登町宇出津 =4.6 珠洲市正院町 * =4.5 平成19年 (2007年) 新潟県上中越沖地震 死者 15人、津波あり	37° 33.4' N	138° 36.5' E	17km	M: 6.8
39	2007 7 16 15 37	新潟県上中越沖 新潟県 6弱 長岡市小島谷 * =5.6 出雲崎町米田 =5.5 5強 出雲崎町川西 * =5.2 柏崎市西山町池浦 (旧) * =5.1 5弱 刈羽村割町新田 (旧2) * =4.9 新潟西蒲区役所 =4.8 新潟西蒲区巻甲 * =4.8 弥彦村矢作 (旧) * =4.6 長岡市中之島 (旧) * =4.6 燕市分水桜町 (旧) * =4.6 上越市大島区岡 * =4.5 上越市柿崎区柿崎 * =4.5 長岡市与板町与板 (旧) * =4.5 柏崎市中央町 (旧) * =4.5 小千谷市土川 * =4.5	37° 30.2' N	138° 38.6' E	23km	M: 5.8
40	2008 6 14 08 43	岩手県内陸南部 岩手県 6強 奥州市衣川区 (旧) * =6.1 6弱 奥州市胆沢区 (旧) * =5.5 5強 平泉町平泉 (旧) * =5.2 金ヶ崎町西根 * =5.1 奥州市水沢区大鐘町 =5.1 奥州市前沢区 * =5.1 北上市二子町 * =5.0 奥州市江刺区 * =5.0 一関市山目 * =5.0 5弱 一関市花泉町 (旧) * =4.9 奥州市水沢区佐倉河 * =4.8 一関市千厩町 (旧) * =4.7 一関市室根町 (旧) * =4.7 遠野市宮守町 * =4.7 一関市藤沢町 * =4.6 西和賀町川尻 * =4.6	39° 01.7' N	140° 52.8' E	8km	M: 7.2

地震番号	震源時 年 月 日 時 分	震央地名 各地の震度 地震名(地震の通称)・備考	緯度	経度	深さ	規模
		<p>一関市舞川=4.6 北上市柳原町=4.5</p> <p>宮城県 6強 栗原市一迫(旧)*=6.2</p> <p>6弱 栗原市栗駒=5.9 栗原市鶯沢*=5.8 栗原市築館(旧)*=5.7 栗原市金成(旧)*=5.6</p> <p>大崎市古川三日町=5.6 栗原市高清水(旧)*=5.5 栗原市志波姫(旧)*=5.5</p> <p>栗原市花山*=5.5 大崎市鳴子(旧)*=5.5 大崎市古川北町*=5.5 大崎市田尻*=5.5</p> <p>5強 大崎市松山*=5.4 大崎市岩出山*=5.4 栗原市若柳(旧)*=5.3 名取市増田*=5.3</p> <p>宮城美里町木間塚*=5.2 登米市南方町*=5.2 宮城美里町北浦*=5.2 宮城加美町中新田*=5.0</p> <p>涌谷町新町*=5.0 登米市迫町(旧)*=5.0 仙台宮城野区苦竹*=5.0 仙台若林区遠見塚*=5.0</p> <p>利府町利府*=5.0</p> <p>5弱 登米市米山町*=4.9 大崎市鹿島台*=4.9 大河原町新南(旧)*=4.9</p> <p>石巻市桃生町(旧2)*=4.9 仙台空港=4.8 色麻町四竈*=4.8 栗原市瀬峰(旧)*=4.8</p> <p>宮城加美町小野田*=4.8 蔵王町円田*=4.7 登米市中田町=4.7 角田市角田*=4.7</p> <p>岩沼市桜*=4.7 仙台宮城野区五輪=4.6 仙台泉区将監*=4.6</p> <p>石巻市前谷地*=4.6 大衡村大衡(旧)*=4.6 大崎市三本木*=4.5 宮城川崎町前川*=4.5</p> <p>仙台青葉区大倉=4.5 仙台青葉区作並*=4.5 仙台青葉区雨宮*=4.5 宮城加美町宮崎*=4.5</p> <p>秋田県 5強 東成瀬村椿川*=5.2 東成瀬村田子内*=5.2 湯沢市川連町*=5.0</p> <p>5弱 湯沢市沖鶴=4.9 湯沢市皆瀬*=4.9 横手市山内土淵(旧)*=4.8 湯沢市横堤(旧)*=4.8</p> <p>横手市十文字町*=4.7 大仙市高梨(旧)*=4.7 横手市増田町増田*=4.6</p> <p>横手市平鹿町浅舞(旧)*=4.6 横手市大森町*=4.6 横手市大雄(旧)*=4.6</p> <p>秋田美郷町土崎*=4.6 横手市安田柳堤地内*=4.5 横手市中央町*=4.5</p> <p>羽後町西馬音内(旧)*=4.5</p> <p>大仙市大曲花園町(旧)*=4.5</p> <p>山形県 5弱 最上町向町(旧)*=4.7</p> <p>福島県 5弱 新地町谷地小屋(旧2)*=4.6</p> <p>平成20年(2008年)岩手・宮城内陸地震 死者 17人、行方不明 6人</p>				
41	2008 7 24 00 26	<p>岩手県沿岸北部 39° 43.9' N 141° 38.1' E 108km M: 6.8</p> <p>青森県 6弱 五戸町古館=5.8 八戸市南郷区(旧)*=5.5 八戸市内丸*=5.5 階上町道仏(旧)*=5.5</p> <p>5強 青森南部町平(旧)*=5.4 東北町上北南*=5.2 東通村小田野沢*=5.0 八戸市湊町=5.0</p> <p>5弱 三沢市桜町*=4.9 七戸町森ノ上*=4.9 五戸町倉石中市(旧)*=4.9</p> <p>青森南部町苔米地(旧)*=4.9 東通村砂子又*=4.8 野辺地町田狹沢*=4.6</p> <p>十和田市西十二番町*=4.6 おいらせ町中下田*=4.6 八戸市島守=4.5 十和田市西二番町*=4.5</p> <p>岩手県 6弱 野田村野田*=5.5</p> <p>5強 宮古市茂市*=5.4 普代村銅屋(旧)*=5.4 大船渡市大船渡町=5.4 久慈市川崎町=5.3</p> <p>宮古市田老(旧)*=5.2 大槌町新町(旧)*=5.2 二戸市福岡(旧)=5.2 八幡平市田頭*=5.2</p> <p>北上市二子町*=5.2 一関市千厩町(旧)*=5.2 奥州市江刺区*=5.2 岩手洋野町種中=5.2</p> <p>奥州市前沢区*=5.1 一関市室根町(旧)*=5.1 平泉町平泉(旧)*=5.1 釜石市中妻町*=5.1</p> <p>山田町大沢(旧)*=5.0 一戸町高善寺*=5.0 大船渡市猪川町=5.0 八幡平市野駄(旧)*=5.0</p> <p>軽米町軽米*=5.0 遠野市宮守町*=5.0 一関市花泉町(旧)*=5.0</p> <p>5弱 釜石市只越町=4.9 住田町世田米(旧)*=4.9 盛岡市玉山区薮川*=4.9</p> <p>花巻市材木町(旧)*=4.9 遠野市松崎町*=4.9 一関市山目*=4.9 奥州市胆沢区(旧)*=4.9</p> <p>奥州市衣川区(旧)*=4.9 矢巾町南矢幅(旧)*=4.8 花巻市石鳥谷町*=4.8</p> <p>久慈市長内町*=4.8 花巻市東和町(旧2)*=4.8 田野畑村田野畑=4.8</p> <p>陸前高田市高田町(旧)*=4.8 一関市藤沢町*=4.8 宮古市五月町*=4.8 宮古市川井*=4.8</p> <p>盛岡市玉山区渋民*=4.8 二戸市浄法寺町*=4.8 岩泉町岩泉*=4.7 山田町八幡町(旧)=4.7</p> <p>田野畑村役場*=4.7 葛巻町消防分署*=4.6 滝沢市鶴飼*=4.6 奥州市水沢区大鐘町=4.6</p> <p>奥州市水沢区佐倉河*=4.6 九戸村伊保内*=4.6 宮古市区界*=4.6 花巻市大迫町=4.6</p> <p>盛岡市山王町=4.6 八幡平市叭田*=4.5 二戸市石切所(旧)*=4.5 金ヶ崎町西根*=4.5</p> <p>宮古市長沢=4.5 紫波町日詰(旧)*=4.5 葛巻町役場*=4.5 八幡平市大更=4.5</p> <p>宮城県 5強 栗原市志波姫(旧)*=5.4 石巻市桃生町(旧2)*=5.4 涌谷町新町=5.2</p> <p>大崎市古川三日町=5.1 大崎市松山*=5.1 気仙沼市唐桑町*=5.0 栗原市若柳(旧)*=5.0</p> <p>栗原市一迫(旧)*=5.0 宮城美里町木間塚*=5.0 大崎市古川北町*=5.0</p> <p>5弱 栗原市金成(旧)*=4.9 登米市米山町*=4.9 東松島市矢本*=4.9 登米市中田町=4.8</p> <p>登米市豊里町*=4.8 登米市迫町(旧)*=4.8 南三陸町歌津*=4.8 宮城美里町北浦*=4.8</p> <p>大崎市田尻*=4.8 岩沼市桜*=4.8 石巻市前谷地*=4.8 気仙沼市笹が陣*=4.7</p> <p>南三陸町志津川(旧)=4.7 色麻町四竈*=4.7 栗原市築館(旧)*=4.7 石巻市門脇*=4.7</p> <p>気仙沼市赤岩=4.7 栗原市栗駒=4.6 石巻市相野谷*=4.6 登米市石越町(旧)*=4.5</p> <p>登米市南方町*=4.5 大崎市鹿島台*=4.5 亙理町下小路*=4.5</p> <p>死者 1人</p>				
42	2009 8 11 05 07	<p>駿河湾 34° 47.1' N 138° 29.9' E 23km M: 6.5</p> <p>静岡県 6弱 牧之原市相良*=5.9 御前崎市白羽*=5.9 御前崎市御前崎=5.7 焼津市宗高*=5.6</p> <p>伊豆市市山(旧)*=5.5 牧之原市静波*=5.5</p> <p>5強 静岡駿河区曲金(旧)=5.4 焼津市東小川*=5.3 静岡菊川市赤土*=5.3 伊豆の国市田京*=5.2</p> <p>松崎町宮内*=5.1 東伊豆町奈良本*=5.1 静岡葵区駒形通*=5.1 静岡清水区庵原町*=5.1</p> <p>伊豆の国市長岡*=5.1 静岡菊川市堀之内*=5.1 富士宮市野中*=5.0 松崎町江奈*=5.0</p>				

地震番号	震源時 年 月 日 時 分	震央地名 各地の震度 地震名 (地震の通称) ・備考	緯度	経度	深さ	規模
43	2011 3 11 14 46	<p>牧之原市鬼女新田*5.0 袋井市浅名*5.0 焼津市本町 (旧)*5.0 西伊豆町仁科*5.0 5弱 沼津市戸田*4.9 藤枝市岡部町岡部*4.9 吉田町住吉*4.9 掛川市西大淵*4.9 掛川市三俣*4.9 島田市金谷代官町*4.8 河津町田中*4.8 伊豆の国市四日町*4.8 静岡葵区追手町市役所*4.8 島田市中央町*4.8 静岡葵区追手町県庁*4.7 南伊豆町下賀茂 (旧)*4.7 袋井市新屋*4.7 御前崎市池新田*4.7 南伊豆町入間*4.6 下田市東本郷*4.6 島田市川根町*4.6 下田市中*4.6 磐田市福田*4.5 函南町平井*4.5 静岡葵区峰山*4.5 長泉町中土狩*4.5 東伊豆町稲取*4.5</p> <p>長野県 5弱 泰阜村役場 (旧)*4.8 死者 1人、津波あり</p>	38° 06.2' N	142° 51.6' E	24km	M: 9.0
		<p>三陸沖 宮城県</p> <p>7 栗原市築館 (旧)*6.6 6強 栗原市若柳 (旧)*6.3 石巻市桃生町*6.3 登米市米山町*6.2 大崎市古川三日町*6.2 大崎市田尻*6.2 宮城川崎町前川*6.2 仙台宮城野区苦竹*6.2 名取市増田*6.1 栗原市高清水 (旧)*6.1 大崎市古川北町*6.1 宮城美里町木間塚*6.1 東松島市矢本*6.1 大崎市鹿島台*6.0 栗原市一迫 (旧3)*6.0 塩竈市旭町*6.0 涌谷町新町裏*6.0 大衡村大衡*6.0 蔵王町円田*6.0 登米市南方町*6.0 山元町浅生原 (旧)*6.0</p> <p>6弱 栗原市金成 (旧)*5.9 登米市迫町*5.9 大崎市松山*5.9 岩沼市桜*5.9 石巻市門脇*5.9 石巻市前谷地*5.9 気仙沼市赤岩*5.8 角田市角田*5.8 栗原市瀬峰 (旧)*5.8 仙台青葉区遠見塚*5.8 仙台区将監*5.8 宮城美里町北浦*5.8 登米市豊里町*5.7 仙台青葉区大倉*5.7 登米市登米町*5.7 栗原市栗駒*5.7 東松島市小野*5.7 松島町高城*5.7 登米市中田町*5.7 白石市互理町*5.6 利府町利府*5.6 大郷町粕川*5.6 大河原町新南*5.6 仙台青葉区作並*5.6 仙台宮城野区五輪*5.6 南三陸町志津川 (旧)*5.6 南三陸町歌津 (旧)*5.6 石巻市鮎川浜*5.6 富谷町富谷*5.5 仙台空港*5.5 石巻市泉町*5.5 石巻市北上町 (旧)*5.5 石巻市相野谷*5.5 互理町下小路*5.5 登米市東和町*5.5 気仙沼市唐桑町*5.5 仙台青葉区雨宮*5.5 大和町吉岡*5.5 仙台青葉区落合*5.5</p> <p>5強 気仙沼市笹が陣*5.4 宮城加美町中新田*5.4 色麻町四竈*5.4 栗原市鶯沢*5.4 大崎市三本木*5.4 村田町村田*5.4 柴田町船岡*5.4 丸森町鳥屋*5.4 仙台太白区山田*5.4 七ヶ浜町東宮浜*5.4 登米市石越町*5.3 登米市津山町*5.3 大崎市岩出山*5.3 宮城加美町小野田*5.3 多賀城市中央*5.3 栗原市花山*5.2 丸森町上滝*5.1 大崎市鳴子 (旧)*5.1 石巻市大瓜*5.0 七ヶ宿町関*5.0 気仙沼市本吉町津谷*5.0</p> <p>5弱 宮城加美町宮崎*4.9</p> <p>6強 国見町藤田 (旧2)*6.3 大熊町下野上*6.3 天栄村下松本*6.2 双葉町新山 (旧)*6.1 浪江町幾世橋*6.1 新地町谷地小屋*6.1 白河市新白河*6.1 富岡町本岡*6.0 須賀川市八幡町*6.0 鏡石町不時沼*6.0 檜葉町北田*6.0</p> <p>6弱 郡山市開成*5.9 田村市大越町*5.9 福島広野町下北迫大谷地原*5.9 須賀川市八幡山*5.8 二本松市油井*5.8 中島村滑津*5.8 川内村上川内早渡*5.8 郡山市朝日*5.8 郡山市湖南町*5.8 白河市表郷*5.7 桑折町東大隅*5.7 田村市常葉町*5.7 田村市滝根町*5.7 いわき市三和町*5.7 相馬市中村 (旧2)*5.7 大熊町野上*5.7 南相馬市原町区高見町*5.7 南相馬市鹿島区西町*5.7 田村市都路町*5.6 福島伊達市梁川町*5.6 いわき市錦町*5.6 矢吹町一本木*5.6 浅川町浅川*5.6 小野町小野新町*5.6 福島伊達市前川原*5.5 福島市五老内町*5.5 本宮市白岩*5.5 いわき市小名浜*5.5 川内村上川内小山平*5.5 須賀川市長沼支所*5.5 飯館村伊丹沢*5.5 二本松市金色*5.5 猪苗代町千代田*5.5 川俣町五百田*5.5 西郷村熊倉*5.5 棚倉町棚倉中居野*5.5 玉川村小高*5.5 小野町中通*5.5</p> <p>5強 白河市郭内*5.4 白河市八幡小路*5.4 白河市東*5.4 いわき市平四ツ波*5.4 葛尾村落合落合*5.4 南相馬市原町区三島町*5.4 南相馬市原町区本町*5.4 湯川村笈川 (旧)*5.4 会津美里町新鶴庁舎*5.4 大玉村玉井 (旧)*5.3 泉崎村泉崎 (旧)*5.3 平田村永田 (旧)*5.3 古殿町松川新桑原*5.3 田村市船引町 (旧)*5.3 福島伊達市保原町*5.3 福島伊達市霊山町*5.3 本宮市本宮*5.3 猪苗代町城南*5.3 会津坂下町市中三番甲*5.3 矢祭町東館*5.2 福島伊達市月館町*5.2 福島市松木町*5.2 福島市桜木町*5.2 川内村下川内*5.2 磐梯町磐梯 (旧)*5.2 大玉村曲藤*5.2 福島広野町下北迫苗代替*5.1 白河市大信 (旧)*5.1 喜多方市塩川町*5.1 石川町下泉*5.1 三春町大町*5.1 会津若松市東栄町*5.0 矢祭町東館下上野内*5.0</p> <p>5弱 福島市飯野町*4.9 棚倉町棚倉ヶ丘*4.9 塙町塙*4.9 会津若松市材木町 (旧)*4.9 二本松市小浜*4.7 鮫川村赤坂中野*4.7 会津若松市北会津町*4.7 会津若松市河東町*4.7 喜多方市高郷町*4.7 西会津町野沢*4.7 西会津町登世島*4.7 会津美里町本郷庁舎*4.7 下郷町塩生*4.5 柳津町柳津*4.5 会津美里町高田庁舎*4.5 南会津町田島 (旧)*4.5 喜多方市御清水 (旧)*4.5</p> <p>茨城県</p> <p>6強 日立市助川小学校*6.4 鉾田市当間*6.4 那珂市瓜連*6.2 小美玉市上玉里*6.1 日立市十王町友部*6.0 高萩市本町*6.0 笠間市中央*6.0 常陸大宮市北町*6.0 筑西市舟生*6.0</p>				

地震 番号	震源時 年 月 日 時 分	震央地名 各地の震度 地震名 (地震の通称) ・備考	緯度	経度	深さ	規模
		6弱 常陸太田市高柿町 (旧) *5.9 高萩市安良川*5.9 笠間市石井 (旧) *5.9 城里町石塚 (旧) *5.9 城里町阿波山 (旧) *5.9 つくば市研究学園*5.9 鉾田市汲上*5.9 水戸市金町*5.8 水戸市中央*5.8 水戸市内原町 (旧) *5.8 ひたちなか市南神敷台*5.8 ひたちなか市東石川*5.8 常陸大宮市山方*5.8 土浦市下高津*5.8 稲敷市役所 (旧) *5.8 行方市山田*5.8 水戸市千波町*5.7 北茨城市磯原町*5.7 茨城町小堤*5.7 東海村東海 (旧) *5.7 常陸大宮市野口 (旧) *5.7 土浦市常名*5.7 取手市井野*5.7 美浦村受領*5.7 筑西市門井 (旧) *5.7 鉾田市鉾田*5.7 那珂市福田*5.6 小美玉市堅倉*5.6 石岡市柿岡*5.6 石岡市石岡*5.6 つくば市天王台*5.6 茨城鹿嶋市鉢形 (旧) =5.6 潮来市辻 (旧) *5.6 行方市玉造*5.6 日立市役所 (旧) *5.6 小美玉市小川*5.5 茨城鹿嶋市宮中*5.5 坂東市山*5.5 稲敷市結佐 (旧) *5.5 かすみがうら市上土田*5.5 行方市麻生 (旧) *5.5 桜川市岩瀬*5.5 桜川市真壁*5.5 鉾田市造谷*5.5 常総市新石下*5.5 つくばみらい市加藤*5.5 笠間市下郷*5.5 常陸大宮市中富町=5.5				
		5強 大子町池田*5.4 常陸大宮市高部*5.4 常陸大宮市上小瀬*5.4 土浦市藤沢 (旧) *5.4 石岡市八郷*5.4 下妻市鬼怒*5.4 取手市寺田*5.4 取手市藤代*5.4 河内町源清田*5.4 筑西市海老ヶ島*5.4 かすみがうら市大和田*5.4 桜川市羽田*5.4 結城市結城*5.3 阿見町中央*5.3 坂東市馬立*5.3 稲敷市江戸崎甲*5.3 稲敷市柴崎*5.3 筑西市下中山*5.3 神栖市溝口*5.3 つくばみらい市福田 (旧) *5.3 常陸太田市町田町*5.3 常陸太田市町屋町=5.2 茨城古河市仁連*5.2 龍ヶ崎市寺後*5.2 下妻市本城町*5.2 つくば市小荃*5.2 五霞町小福田*5.2 境町旭町*5.2 坂東市岩井=5.1 大洗町磯浜町*5.1 城里町徳蔵*5.1 茨城古河市下大野*5.1 八千代町菅谷*5.1 守谷市大柏*5.0 坂東市役所*5.0 常陸太田市大中町*5.0 神栖市波崎*5.0 牛久市中央*5.0				
		栃木県 6強 大田原市湯津上*6.1 市貝町市塙*6.1 高根沢町石末*6.1 宇都宮市白沢町 (旧) *6.0 真岡市石島*6.0				
		6弱 芳賀町祖母井*5.9 那須町寺子*5.8 栃木那珂川町小川*5.8 真岡市田町*5.7 大田原市本町 (旧) *5.6 真岡市荒町*5.6 那須烏山市中央=5.6 那須烏山市大金*5.6 那須塩原市鍋掛*5.5 那須塩原市あたご町*5.5 栃木那珂川町馬頭*5.5				
		5強 那須塩原市共墾社*5.4 小山市神鳥谷*5.4 益子町益子=5.4 茂木町茂木*5.4 栃木さくら市氏家*5.4 宇都宮市明保野町=5.3 栃木さくら市喜連川 (旧) *5.3 宇都宮市中里町*5.2 鹿沼市晃望台*5.2 下野市田中 (旧) *5.2 大田原市黒羽田町=5.1 矢板市本町*5.1 足利市大正町*5.1 茂木町北高岡天矢場*5.1 那須烏山市役所*5.1 下野市小金井*5.1 日光市瀬川=5.0 日光市今市本町*5.0 那須塩原市塩原庁舎*5.0 栃木市藤岡町藤岡*5.0 佐野市高砂町*5.0 小山市中央町*5.0 上三川町しらさぎ*5.0 栃木市岩舟町静 (旧) *5.0 下野市石橋*5.0				
		5弱 宇都宮市旭*4.9 栃木市旭町=4.9 鹿沼市今宮町*4.9 塩谷町玉生*4.8 那須塩原市藁沼=4.8 佐野市葛生東 (旧) *4.8 野木町丸林*4.8 日光市鬼怒川温泉大原*4.7 日光市芹沼*4.7 宇都宮市塙田*4.7 壬生町通町*4.7 日光市中鉢石町*4.6 栃木市大平町富田*4.6 佐野市田沼町 (旧) *4.6 鹿沼市口栗野*4.6 栃木市都賀町家中*4.5 栃木市西方町本城*4.5 日光市湯元*4.5 日光市足尾町松原*4.5 那須塩原市中塩原*4.5				
		岩手県 6弱 一関市山目*5.8 一関市千蔵町 (旧) *5.8 矢巾町南矢幅 (旧) *5.7 釜石市中妻町*5.7 滝沢市鶴飼*5.6 大船渡市大船渡町=5.6 一関市花泉町 (旧) *5.6 大船渡市猪川町=5.6 一関市藤沢町*5.6 花巻市大迫町=5.5 奥州市前沢区*5.5 奥州市衣川区 (旧 3) *5.5 一関市室根町 (旧) *5.5				
		5強 釜石市只越町=5.4 盛岡市玉山区藪川*5.4 北上市柳原町=5.4 北上市相去町*5.4 奥州市江刺区*5.4 花巻市東和町 (旧 3) *5.3 普代村銅屋 (旧) *5.3 盛岡市玉山区洪民*5.3 遠野市松崎町*5.3 平泉町平泉 (旧) *5.3 八幡平市田頭*5.2 金ヶ崎町西根*5.2 八幡平市野駄 (旧) *5.2 奥州市水沢区佐倉河*5.2 花巻市材木町 (旧) *5.2 住田町世田米 (旧) *5.1 奥州市水沢区大鐘町=5.1 盛岡市山王町=5.1 一関市東山町 (旧) *5.1 一関市川崎町 (旧) *5.1 山田町大沢 (旧) *5.1 一関市大東町 (旧) =5.0 花巻市石鳥谷町*5.0 宮古市茂市*5.0 遠野市宮守町*5.0				
		5弱 宮古市区界*4.9 野田村野田*4.9 大船渡市盛町*4.9 二戸市浄法寺町*4.9 紫波町日詰 (旧) *4.9 宮古市五月町*4.8 一戸町高善寺*4.8 八幡平市大更=4.8 宮古市鉾ヶ崎=4.8 盛岡市馬場町*4.7 岩手町五日市*4.7 山田町八幡町 (旧) =4.7 宮古市田老 (旧) *4.7 宮古市川井*4.7 軽米町軽米*4.6 久慈市川崎町=4.6 二戸市石切所 (旧) *4.6 久慈市長内町*4.6 雫石町千刈田=4.6 二戸市福岡=4.5 宮古市長沢=4.5 花巻市大迫総合支所*4.5 葛巻町葛巻元木=4.5				
		群馬県 6弱 桐生市元宿町*5.5				
		5強 邑楽町中野*5.4 群馬明和町新里*5.2 大泉町日の出*5.2 沼田市白沢町*5.1 渋川市赤城町 (旧) *5.1 千代田町赤岩*5.1 高崎市高松町*5.0 桐生市新里町 (旧) *5.0 太田市西本町*5.0 前橋市富士見町*5.0				
		5弱 前橋市粕川町*4.9 桐生市織姫町=4.9 桐生市黒保根町*4.9 伊勢崎市西久保町*4.9 太田市浜町*4.9 太田市粕川町*4.9 館林市城町*4.9 吉岡町下野田*4.9 前橋市堀越町*4.8 伊勢崎市境*4.8 太田市新田金井町*4.8 太田市大原町*4.8				

地震 番号	震源時 年 月 日 時 分	震央地名 各地の震度 地震名 (地震の通称) ・備考	緯度	経度	深さ	規模
		沼田市西倉内町*4.7 沼田市利根町*4.7 中之条町小雨*4.7 伊勢崎市東町*4.7 館林市美園町*4.7 渋川市吹屋*4.7 板倉町板倉*4.7 安中市安中*4.6 みどり市笠懸町*4.6 沼田市下久屋町*4.6 前橋市駒形町*4.6 渋川市伊香保町 (旧) *4.5				
		埼玉県 6弱 宮代町笠原*5.5 5強 熊谷市大里*5.4 加須市大利根*5.4 春日部市谷原新田*5.4 吉見町下細谷*5.3 春日部市中央*5.3 加須市下三俣*5.2 加須市騎西*5.2 羽生市東*5.2 鴻巣市中央*5.2 久喜市下早見*5.2 久喜市栗橋*5.2 行田市本丸*5.1 加須市北川辺*5.1 鴻巣市川里*5.1 深谷市川本*5.1 春日部市金崎*5.1 草加市高砂*5.1 戸田市上戸田*5.1 吉川市吉川*5.1 さいたま大宮区天沼町*5.1 白岡市千駄野*5.1 東松山市松葉町*5.0 鴻巣市吹上富士見*5.0 久喜市鷺宮*5.0 川口市中青木分室*5.0 三郷市幸房*5.0 幸手市東*5.0 川島町平沼*5.0 杉戸町清地*5.0 さいたま中央区下落合*5.0				
		5弱 熊谷市江南*4.9 行田市南河原*4.9 久喜市青葉*4.9 久喜市菖蒲*4.9 埼玉美里町木部*4.9 和光市広沢*4.9 桶川市泉 (旧) *4.9 八潮市中央*4.9 鶴ヶ島市三ツ木*4.9 さいたま岩槻区本町*4.9 深谷市花園*4.8 川口市青木*4.8 蕨市中央*4.8 志木市中宗岡*4.8 坂戸市千代田*4.8 毛呂山町中央*4.8 松伏町松伏*4.8 越谷市越ヶ谷*4.7 朝霞市本町*4.7 富士見市鶴馬*4.7 蓮田市黒浜*4.7 さいたま浦和区高砂*4.7 秩父市近戸町*4.7 熊谷市妻沼*4.7 川口市三ツ和*4.6 所沢市北有楽町*4.6 狭山市入間川*4.6 上尾市本町*4.6 新座市野火止*4.6 北本市本町 (旧) *4.6 埼玉三芳町藤久保*4.6 秩父市上町*4.6 秩父市熊木町*4.6 熊谷市桜町*4.6 熊谷市宮町*4.6 伊奈町小室*4.5 本庄市児玉町 (旧) *4.5 本庄市本庄*4.5 横瀬町横瀬*4.5 嵐山町杉山*4.5 上里町七本木*4.5 川越市新宿町*4.5				
		千葉県 6弱 成田市花崎町*5.6 印西市大森*5.5 印西市笠神*5.5 5強 香取市役所*5.4 旭市南堀之内*5.3 千葉佐倉市海隣寺町 (旧) *5.3 香取市羽根川*5.2 香取市仁良*5.2 千葉中央区都町*5.2 千葉花見川区花島町*5.2 千葉美浜区稲毛海岸*5.2 千葉美浜区真砂*5.2 野田市東宝珠花 (旧) *5.2 成田国際空港*5.2 印西市美瀬 (旧) *5.2 白井市復 (旧) *5.2 東金市日吉台*5.1 神崎町神崎本宿*5.1 多古町多古*5.1 香取市佐原諏訪台*5.1 千葉中央区千葉市役所*5.1 千葉若葉区小倉台*5.1 野田市鶴奉 (旧) *5.1 成田市役所 (旧) *5.1 八千代市大和田新田 (旧) *5.1 浦安市猫実 (旧) *5.1 栄町安食台*5.1 旭市萩園*5.0 白子町関 (旧) *5.0 山武市蓮沼ハ (旧) *5.0 千葉中央区中央港 (旧) *5.0 成田市中台*5.0 成田市松子 (旧) *5.0 習志野市鷺沼 (旧) *5.0 柏市旭町*5.0 鋸南町下佐久間*5.0 銚子市若宮町*5.0				
		5弱 旭市二 (旧) *4.9 匝瑳市八日市場ハ*4.9 横芝光町宮川*4.9 山武市埴谷*4.9 千葉稲毛区園生町*4.9 市川市八幡*4.9 柏市大島田 (旧) *4.9 鎌ヶ谷市新鎌ヶ谷 (旧) *4.9 四街道市鹿渡 (旧) *4.9 八街市八街 (旧) *4.9 富里市七栄*4.9 南房総市谷向 (旧) *4.9 東金市東新宿*4.8 旭市高生*4.8 東庄町笹川*4.8 九十九里町片貝*4.8 香取市岩部*4.8 船橋市湊町 (旧) *4.8 我孫子市我孫子*4.8 銚子市川口町*4.8 いすみ市岬町長者*4.7 南房総市岩糸*4.7 東金市東岩崎 (旧) *4.7 芝山町小池 (旧) *4.7 長生村本郷*4.7 匝瑳市今泉 (旧) *4.7 山武市殿台 (旧) *4.7 市原市姉崎*4.7 流山市平和台*4.7 横芝光町横芝*4.6 山武市松尾町松尾*4.6 大網白里市大網*4.6 松戸市根本 (旧) *4.6 市原市国分寺台中央*4.6 酒々井町中央台 (旧) *4.6 木更津市役所 (旧) *4.6 睦沢町下之郷*4.6 千葉緑区おゆみ野*4.5 柏市柏 (旧) *4.5 館山市北条 (旧) *4.5 茂原市道表*4.5 君津市久留里市場*4.5 南房総市上堀*4.5				
		青森県 5強 階上町道仏*5.4 東北町上北南*5.2 八戸市南郷区*5.2 おいらせ町中下田*5.2 東通村小田野沢*5.1 五戸町古館*5.0 5弱 七戸町森ノ上*4.9 おいらせ町上明堂*4.9 六戸町大落瀬*4.8 八戸市内丸*4.8 青森南部町苔米地*4.7 十和田市西十二番町*4.6 七戸町七戸*4.6 十和田市西二番町*4.6 青森南部町平 (旧) *4.5 野辺地町田狭沢*4.5 三戸町在府小路町*4.5				
		秋田県 5強 秋田市雄和妙法 (旧) *5.1 大仙市高梨 (旧) *5.1 大仙市大曲花園町 (旧) *5.0 5弱 大仙市刈和野*4.9 井川町北川尻*4.8 横手市大雄 (旧) *4.7 秋田市河辺和田*4.6 由利本荘市西目町沼田*4.6 秋田市消防庁舎*4.5				
		山形県 5強 中山町長崎*5.2 米沢市林泉寺*5.1 上山市河崎*5.0 尾花沢市若葉町*5.0 5弱 河北町谷地*4.9 東根市中央*4.8 河北町役場*4.8 南陽市三間通*4.8 白鷹町荒砥 (旧) *4.8 酒田市飛鳥*4.8 村山市中央*4.8 米沢市駅前*4.7 高島町高島*4.7 山形川西町上小松*4.7 最上町向町 (旧) *4.7 天童市老野森*4.7 山辺町緑ヶ丘*4.7 酒田市山田*4.6 遊佐町遊佐*4.6 遊佐町舞鶴 (旧) *4.6 大蔵村清水*4.6 戸沢村古口*4.6 米沢市金池*4.6 庄内町狩川*4.5 新庄市東谷地田町*4.5 舟形町舟形*4.5 鶴岡市藤島*4.5 三川町横山*4.5 大石町緑町*4.5				
		東京都 5強 東京荒川区東尾久*5.3 東京千代田区大手町*5.1 東京江東区東陽*5.1 東京中野区中野*5.1 東京板橋区高島平*5.1 東京足立区千住中居町*5.1				

地震 番号	震源時 年 月 日 時 分	震央地名 各地の震度 地震名 (地震の通称) ・備考	緯度	経度	深さ	規模
		小美玉市小川*5.0 稲敷市須賀津*5.0 土浦市常名=5.0 那珂市瓜連*5.0 笠間市中央*5.0 5弱 ひたちなか市東石川*4.9 石岡市八郷*4.9 取手市井野*4.9 河内町源清田*4.9 かすみがうら市上土田*4.9 かすみがうら市大和田*4.9 日立市役所 (旧) *4.8 笠間市石井 (旧) *4.8 つくば市研究学園*4.8 阿見町中央*4.8 水戸市内原町 (旧) *4.8 筑西市下中山*4.8 筑西市門井 (旧) *4.8 常陸大宮市野口 (旧) *4.8 小美玉市堅倉*4.8 土浦市藤沢 (旧) *4.7 石岡市柿岡=4.7 桜川市真壁*4.7 常陸大宮市北町*4.7 つくば市天王台*4.6 桜川市岩瀬*4.6 大洗町磯浜町*4.6 桜川市羽田*4.6 つくば市小荃*4.6 結城市結城*4.6 下妻市本城町*4.6 八千代町菅谷*4.6 坂東市山*4.6 稲敷市江戸崎甲*4.6 稲敷市柴崎*4.6 取手市寺田*4.6 笠間市下郷*4.6 牛久市中央*4.6 筑西市海老ヶ島*4.5 利根町布川=4.5 茨城古河市下大野*4.5 高萩市安良川*4.5				
		栃木県 5強 真岡市石島*5.0 5弱 真岡市田町*4.8 大田原市湯津上*4.7 小山市神鳥谷*4.7 市貝町市塙*4.7 真岡市荒町*4.5 茂木町茂木*4.5 那須烏山市中央=4.5 下野市田中 (旧) *4.5				
		千葉県 5強 旭市南堀之内*5.4 旭市高生*5.4 銚子市若宮町*5.3 旭市二 (旧) *5.3 東金市日吉台*5.2 旭市萩園*5.2 匝瑳市八日市場ハ*5.2 香取市役所*5.2 香取市羽根川*5.2 成田市花崎町=5.2 匝瑳市今泉 (旧) *5.1 多古町多古=5.0 香取市仁良*5.0 5弱 銚子市川口町=4.9 東金市東新宿=4.9 九十九里町片貝*4.9 香取市岩部*4.9 横芝光町宮川*4.9 山武市殿台 (旧) *4.9 山武市蓮沼ハ (旧) *4.9 山武市松尾町松尾*4.9 東金市東岩崎 (旧) *4.8 東庄町笹川*4.8 白子町関 (旧) *4.8 横芝光町横芝*4.8 山武市埴谷*4.8 市原市姉崎*4.8 印西市笠神*4.8 いすみ市岬町長者*4.8 香取市佐原諏訪台*4.7 神崎町神崎本宿*4.7 成田国際空港=4.7 成田市中台*4.7 印西市大森*4.7 大網白里市大網*4.6 千葉中央区中央港 (旧) =4.6 千葉中央区都町*4.6 成田市松子 (旧) *4.6 千葉佐倉市海隣寺町 (旧) *4.6 八街市八街 (旧) *4.6 富里市七栄*4.6 芝山町小池 (旧) *4.5 千葉若葉区小倉台*4.5 一宮町一宮 (旧) =4.5 長生村本郷*4.5 成田市役所 (旧) *4.5 浦安市猫実 (旧) *4.5 栄町安食台*4.5				
		福島県 5弱 白河市新白河*4.7 白河市東*4.5 鏡石町不時沼*4.5				
		埼玉県 5弱 加須市大利根*4.9 春日部市谷原新田*4.9 吉川市吉川*4.7 川口市中青木分室*4.6 春日部市中央*4.6 八潮市中央*4.6 宮代町笠原*4.6 草加市高砂*4.5				
		東京都 5弱 東京江戸川区中央=4.5				
		神奈川県 5弱 二宮町中里*4.6				
45	2011 3 12 03 59	長野県北部 長野県 6強 栄村北信*6.4 5弱 野沢温泉村豊郷*4.8 新潟県 6弱 十日町市上山*5.9 十日町市松代*5.9 津南町下船渡*5.7 十日町市松之山 (旧 2) *5.6 5強 上越市三和区井ノ口*5.0 十日町市水口沢*5.0 5弱 上越市安塚区安塚*4.9 十日町市高山*4.9 長岡市山古志竹沢*4.8 上越市牧区柳島*4.8 十日町市千歳町*4.8 南魚沼市塩沢庁舎*4.7 長岡市小国町法坂*4.7 上越市清里区荒牧*4.6 出雲崎町米田=4.6 湯沢町神立*4.6 南魚沼市六日町=4.6 南魚沼市塩沢小学校*4.6 柏崎市高柳町岡野町*4.6 上越市頸城区百間町*4.6 上越市大島区岡*4.5 刈羽村割町新田 (旧 4) *4.5 群馬県 5強 中之条町小雨*5.1 死者 3人 (新潟県および長野県による)	36° 59.1' N	138° 35.8' E	8km	M: 6.7
46	2011 3 12 04 31	長野県北部 長野県 6弱 栄村北信*5.5 5弱 野沢温泉村豊郷*4.7	36° 56.9' N	138° 34.3' E	1km	M: 5.9
47	2011 3 12 05 42	長野県北部 長野県 6弱 栄村北信*5.9	36° 58.3' N	138° 35.4' E	4km	M: 5.3
48	2011 3 15 22 31	静岡県東部 静岡県 6強 富士宮市野中*6.3 富士宮市弓沢町=6.0 5弱 富士宮市猪之頭*4.9 御殿場市萩原=4.8 小山町藤曲*4.7 富士市本市場*4.5 富士市永田町*4.5 富士市岩淵*4.5 山梨県 5強 富士河口湖町長浜 (旧) *5.3 山中湖村山中*5.2 忍野村忍草 (旧) *5.0 5弱 鳴沢村役場 (旧) *4.9 富士河口湖町船津=4.9 富士河口湖町役場*4.8 富士吉田市下吉田 (旧) *4.7 富士吉田市上吉田*4.7 南アルプス市鮎沢*4.6 富士河口湖町勝山*4.6 身延町役場*4.5 市川三郷町岩間*4.5 神奈川県 5弱 小田原市荻窪 (旧 2) *4.7 山北町山北*4.5	35° 18.5' N	138° 42.8' E	14km	M: 6.4

地震番号	震源時 年 月 日 時 分	震央地名 各地の震度 地震名 (地震の通称)・備考	緯度	経度	深さ	規模
49	2011 4 7 23 32	宮城県沖 宮城県	38° 12.2' N	141° 55.2' E	66km	M: 7.2
		6強 栗原市若柳 (旧) * =6.2 仙台宮城野区苦竹 * =6.2 栗原市築館 (旧) * =6.1				
		6弱 大崎市古川北町 * =5.9 東松島市矢本 * =5.9 登米市南方町 * =5.8 名取市増田 * =5.8 塩竈市旭町 * =5.8 大崎市古川三日町 * =5.7 大崎市鹿島台 * =5.7 涌谷町新町裏 * =5.7 登米市米山町 * =5.7 利府町利府 * =5.7 大衡村大衡 * =5.7 女川町鷺神浜 * =5.7 岩沼市桜 * =5.6 蔵王町円田 * =5.6 仙台宮城野区五輪 * =5.6 登米市迫町 * =5.6 宮城美里町北浦 * =5.6 栗原市栗駒 * =5.6 宮城川崎町前川 * =5.5 仙台青葉区大倉 * =5.5 登米市中田町 * =5.5 仙台若林区遠見塚 * =5.5 石巻市泉町 * =5.5 石巻市門脇 (旧) * =5.5 登米市東和町 * =5.5 松島町高城 * =5.5				
		5強 気仙沼市赤岩 * =5.4 登米市石越町 * =5.4 石巻市鮎川浜 * =5.4 東松島市小野 * =5.4 気仙沼市笹が陣 * =5.3 亙理町下小路 * =5.3 仙台青葉区作並 * =5.3 仙台区区将監 * =5.3 大和町吉岡 * =5.3 南三陸町志津川 (旧 2) * =5.2 大河原町新南 * =5.2 柴田町船岡 * =5.2 気仙沼市本吉町津谷 * =5.2 七ヶ浜町東宮浜 * =5.2 登米市豊里町 * =5.2 仙台青葉区雨宮 * =5.1 富谷町富谷 * =5.1 宮城加美町中新田 * =5.1 色麻町四籠 * =5.0 仙台青葉区落合 * =5.0 山元町浅生原 (旧) * =5.0				
		5弱 大崎市鳴子 (旧) * =4.9 白石市亙理町 * =4.9 角田市角田 * =4.9 丸森町鳥屋 * =4.9 村田町村田 * =4.8 仙台太白区山田 * =4.8 石巻市大瓜 * =4.8 大崎市三本木 * =4.8				
		6弱 一関市山目 * =5.9 一関市花泉町 (旧) * =5.8 奥州市前沢区 * =5.8 奥州市衣川区 (旧 3) * =5.7 一関市千蔵町 (旧) * =5.7 釜石市中妻町 * =5.6 奥州市江刺区 * =5.6 矢巾町南矢幅 (旧) * =5.6 一関市東山町 (旧) * =5.5 一関市室根町 (旧) * =5.5 平泉町平泉 (旧) * =5.5 大船渡市大船渡町 * =5.5				
		5強 大船渡市猪川町 * =5.4 盛岡市玉山区薮川 * =5.4 滝沢市鶴飼 * =5.4 奥州市水沢区佐倉河 * =5.4 一関市川崎町 (旧) * =5.3 花巻市東和町 (旧 3) * =5.3 一関市大東町 (旧) * =5.3 金ヶ崎町西根 * =5.2 奥州市水沢区大鐘町 * =5.2 北上市相去町 * =5.2 住田町世田米 (旧) * =5.2 北上市柳原町 * =5.2 釜石市只越町 * =5.1 遠野市松崎町 * =5.1 花巻市材木町 (旧) * =5.0 八幡平市田頭 * =5.0				
		5弱 大船渡市盛町 * =4.9 盛岡市玉山区洪民 * =4.9 花巻市石鳥谷町 * =4.9 盛岡市山王町 * =4.8 普代村銅屋 (旧) * =4.8 宮古市区界 * =4.8 花巻市大迫町 * =4.7 紫波町日詰 (旧) * =4.6 久慈市川崎町 * =4.5 盛岡市馬場町 * =4.5				
		青森県 5強 八戸市南郷区 * =5.0				
		5弱 階上町道仏 * =4.9 おいらせ町中下田 * =4.7 青森南部町苫米地 * =4.5 五戸町古館 * =4.5				
		秋田県 5強 大仙市大曲花園町 (旧) * =5.1 秋田市雄和妙法 (旧) * =5.0 横手市大雄 (旧) * =5.0 大仙市刈和野 * =5.0 大仙市高梨 (旧) * =5.0				
		5弱 仙北市西木町上桧木内 * =4.6 五城目町西磯ノ目 * =4.5 秋田市河辺和田 * =4.5 湯沢市川連町 * =4.5				
		福島県 5強 国見町藤田 (旧 3) * =5.2 相馬市中村 (旧 2) * =5.1 飯館村伊丹沢 * =5.1 桑折町東大隅 * =5.0 田村市大越町 * =5.0 福島伊達市保原町 * =5.0 新地町谷地小屋 * =5.0 南相馬市鹿島区西町 * =5.0				
		5弱 川俣町五百田 * =4.9 南相馬市原町区高見町 * =4.9 福島市松木町 * =4.8 福島市桜木町 * =4.8 福島伊達市前川原 * =4.8 福島伊達市霊山町 * =4.8 本宮市本宮 * =4.8 檜葉町北田 * =4.8 田村市都路町 * =4.7 南相馬市原町区三島町 * =4.7 二本松市油井 * =4.6 双葉町新山 (旧) * =4.6 郡山市朝日 * =4.6 郡山市開成 * =4.6 天栄村下松本 * =4.5 玉川村小高 * =4.5 田村市常葉町 * =4.5 田村市滝根町 * =4.5				
		山形県 5弱 尾花沢市若葉町 * =4.9 大蔵村清水 * =4.8 舟形町舟形 * =4.7 村山市中央 * =4.6 中山町長崎 * =4.6 河北町谷地 * =4.6 最上町向町 (旧) * =4.6 東根市中央 * =4.5 大石田町緑町 * =4.5 新庄市東谷地田町 * =4.5				
		死者 4人				
50	2011 4 11 17 16	福島県浜通り 福島県	36° 56.7' N	140° 40.3' E	6km	M: 7.0
		6弱 中島村滑津 * =5.8 古殿町松川 * =5.8 いわき市錦町 * =5.6				
		5強 いわき市小名浜 * =5.3 鏡石町不時沼 * =5.2 浅川町浅川 * =5.2 白河市新白河 * =5.2 白河市東 * =5.1 天栄村下松本 * =5.1 平田村永田 (旧) * =5.1 いわき市三和町 * =5.0 棚倉町棚倉中居野 * =5.0				
		5弱 郡山市開成 * =4.9 矢吹町一本木 * =4.9 石川町下泉 * =4.9 いわき市平四ツ波 * =4.9 白河市表郷 * =4.8 檜葉町北田 * =4.8 鮫川村赤坂中野 * =4.8 玉川村小高 * =4.7 小野町中通 * =4.7 小野町小野新町 * =4.7 双葉町新山 (旧) * =4.7 湯川村笈川 (旧) * =4.7 須賀川市八幡山 * =4.7 郡山市朝日 * =4.6 田村市大越町 * =4.6 本宮市本宮 * =4.6 二本松市油井 * =4.6 泉崎村泉崎 (旧) * =4.6 会津坂下町市中三番甲 * =4.6 郡山市湖南町 * =4.6 会津美里町新鶴庁舎 * =4.6 白河市郭内 * =4.6 白河市八幡小路 * =4.6 西郷村熊倉 * =4.5 須賀川市長沼支所 * =4.5 西会津町登世島 * =4.5 猪苗代町千代田 * =4.5 棚倉町棚倉館ヶ丘 * =4.5 矢祭町東館 * =4.5 柳津町柳津 * =4.5 田村市都路町 * =4.5 福島伊達市霊山町 * =4.5				
		茨城県 6弱 鉾田市当間 * =5.5				
		5強 鉾田市鉾田 * =5.2 北茨城市磯原町 * =5.1 筑西市舟生 * =5.1 かすみがうら市上土田 * =5.1 小美玉市上玉里 * =5.0 日立市助川小学校 * =5.0 高萩市安良川 * =5.0 鉾田市汲上 * =5.0				

地震 番号	震源時 年 月 日 時 分	震央地名 各地の震度 地震名（地震の通称）・備考	緯度	経度	深さ	規模
		5弱 高萩市本町*4.9 笠間市中央*4.9 ひたちなか市南神敷台*4.9 常陸大宮市北町*4.9 城里町石塚（旧）*4.9 土浦市常名*4.9 那珂市福田*4.8 日立市役所（旧）=4.8 城里町阿波山（旧）*4.8 日立市十王町友部*4.7 水戸市中央*4.7 土浦市下高津*4.7 石岡市石岡*4.7 ひたちなか市東石川*4.6 茨城町小堤*4.6 那珂市瓜連*4.6 小美玉市小川*4.6 土浦市藤沢（旧）*4.6 水戸市千波町*4.6 石岡市八郷*4.6 稲敷市役所（旧）*4.6 常総市新石下*4.6 小美玉市堅倉*4.5 石岡市柿岡*4.5 つくば市天王台*4.5 つくば市研究学園*4.5 阿見町中央*4.5 坂東市馬立*4.5 坂東市山*4.5 大子町池田*4.5 行方市山田*4.5 つくばみらい市加藤*4.5 常陸大宮市野口（旧）*4.5 栃木県 5強 那須町寺子*5.1 5弱 大田原市湯津上*4.8 芳賀町祖母井*4.7 大田原市本町（旧）*4.5 宇都宮市白沢町（旧）*4.5 下野市小金井*4.5 宮城県 5弱 蔵王町円田*4.8 岩沼市桜*4.6 涌谷町新町*4.5 山形県 5弱 上山市河崎*4.7 白鷹町荒砥（旧）*4.7 山辺町緑ヶ丘*4.6 中山町長崎*4.5 埼玉県 5弱 春日部市谷原新田*4.6 春日部市金崎*4.5 新潟県 5弱 阿賀野市岡山町*4.5 死者 4人				
51	2011 4 12 14 07	福島県中通り 福島県 茨城県	37° 03.1' N	140° 38.6' E	15km	M: 6.4
		6弱 いわき市錦町*5.7 いわき市三和町=5.6 5強 古殿町松川新桑原*5.3 いわき市小名浜=5.3 浅川町浅川*5.0 5弱 中島村滑津*4.9 檜葉町北田*4.8 平田村永田（旧）*4.8 白河市東*4.7 白河市新白河*4.7 石川町下泉*4.7 郡山市開成*4.6 田村市都路町*4.6 いわき市平四ツ波*4.6 須賀川市八幡山*4.5 天栄村下松本*4.5 6弱 北茨城市磯原町*5.5 5強 高萩市本町*5.0 5弱 日立市十王町友部*4.9 日立市助川小学校*4.8 日立市役所（旧）*4.8 高萩市安良川*4.8 鉾田市当間*4.7 那珂市福田*4.6 ひたちなか市南神敷台*4.5 小美玉市上玉里*4.5				
52	2013 4 13 05 33	淡路島付近 兵庫県 大阪府 徳島県 香川県	34° 25.1' N	134° 49.7' E	15km	M: 6.3
		6弱 淡路市都家*5.5 淡路市志筑*5.5 5強 淡路市久留麻*5.3 南あわじ市湊*5.2 南あわじ市広田*5.1 5弱 洲本市小路谷*4.8 洲本市五色町都志*4.8 南あわじ市福良（旧）=4.7 淡路市中田*4.5 淡路市富島*4.5 5弱 大阪岬町深日*4.5 5弱 鳴門市鳴門町*4.5 5弱 小豆島町安田*4.6 東かがわ市湊（旧2）*4.5				
53	2014 11 22 22 08	長野県北部 長野県 新潟県	36° 41.5' N	137° 53.4' E	5km	M: 6.7
		6弱 長野市戸隠*5.7 小川村高府*5.7 長野市鬼無里*5.6 小谷村中小谷*5.6 5強 長野市箱清水*5.3 長野市中条*5.3 白馬村北城*5.3 信濃町柏原東裏*5.2 長野市豊野町豊野*5.0 5弱 長野市信州新町新町*4.8 大町市八坂*4.8 飯綱町芋川*4.7 長野市大岡*4.5 中野市豊津*4.5 飯綱町傘礼*4.5 5弱 糸魚川市能生*4.6 妙高市関川*4.5				
54	2016 4 14 21 26	熊本県熊本地方 熊本県 宮崎県	32° 44.5' N	130° 48.5' E	11km	M: 6.5
		7 益城町宮園*6.6 6弱 熊本東区佐土原*5.9 熊本西区春日*5.9 西原村小森*5.7 嘉島町上島*5.7 宇城市松橋町*5.7 宇城市不知火町*5.7 熊本南区城南町*5.6 玉名市天水町*5.5 宇城市小川町*5.5 宇城市豊野町*5.5 熊本南区富合町*5.5 5強 宇土市浦田町*5.4 山都町下馬尾*5.3 合志市竹迫*5.3 熊本中央区大江*5.3 熊本北区植木町*5.3 大津町大津*5.2 御船町御船*5.2 熊本美里町馬場*5.2 氷川町島地*5.2 玉名市横島町*5.1 熊本美里町永富*5.1 菊池市旭志*5.0 菊陽町久保田*5.0 5弱 八代市鏡町*4.9 南阿蘇村河陽（旧）*4.8 八代市千丁町*4.8 甲佐町豊内*4.8 和水町江田*4.8 大津町引水*4.7 氷川町宮原*4.7 上天草市大矢野町*4.7 天草市五和町*4.7 八代市松江城町*4.6 上天草市松島町*4.6 熊本高森町高森*4.5 阿蘇市内牧*4.5 南阿蘇村吉田*4.5 八代市平山新町*4.5 菊池市泗水町*4.5 長洲町長洲*4.5 合志市御代志*4.5 5弱 椎葉村下福良*4.9 平成28年（2016年）熊本地震 死者 255人（平成29年12月14日現在） ※「平成28年（2016年）熊本地震」は54番から60番までの地震を全て含む				

地震 番号	震源時 年 月 日 時 分	震央地名 各地の震度 地震名 (地震の通称)・備考	緯度	経度	深さ	規模
55	2016 4 14 22 07	熊本県熊本地方 熊本県	32° 46.5' N	130° 50.9' E	8km	M: 5.8
		6弱 益城町宮園*5.7 5強 西原村小森*5.3 熊本東区佐土原*5.0 5弱 菊池市旭志*4.8 熊本中央区大江*4.8 熊本西区春日=4.8 玉名市天水町*4.7 合志市竹迫*4.7 熊本南区富合町*4.6 大津町大津*4.5 菊陽町久保田*4.5 熊本美里町永富*4.5				
56	2016 4 15 00 03	熊本県熊本地方 熊本県	32° 42.0' N	130° 46.6' E	7km	M: 6.4
		6強 益城町宮園*6.0 宇城市豊野町*6.0 6弱 宇城市小川町*5.8 宇城市松橋町=5.7 氷川町島地*5.7 熊本南市区城南町*5.7 5強 八代市鏡町*5.4 嘉島町上島*5.4 宇土市浦田町*5.3 宇城市不知火町*5.3 熊本南区富合町*5.3 御船町御船*5.2 熊本美里町馬場*5.2 熊本西区春日=5.2 八代市千丁町*5.1 西原村小森*5.1 熊本美里町永富*5.0 氷川町宮原*5.0 5弱 玉名市天水町*4.9 山都町下馬尾*4.8 八代市平山新町=4.7 甲佐町豊内*4.7 熊本東区佐土原*4.7 八代市松江城町*4.5				
57	2016 4 16 01 25 (注) 01 25	熊本県熊本地方 大分県中部 熊本県	32° 45.2' N 33° 16.4' N	130° 45.7' E 131° 21.1' E	12km 12km	M: 7.3 M: 5.7
		7 益城町宮園*6.7 西原村小森*6.6 6強 菊池市旭志*6.4 南阿蘇村河陽 (旧) *6.2 宇土市浦田町*6.2 嘉島町上島*6.2 合志市竹迫*6.2 大津町大津*6.1 宇城市豊野町*6.1 宇城市松橋町=6.0 宇城市小川町*6.0 熊本中央区大江*6.0 熊本東区佐土原*6.0 熊本西区春日=6.0 6弱 南阿蘇村中松=5.9 熊本美里町馬場*5.9 宇城市不知火町*5.9 熊本南市区城南町*5.9 熊本南区富合町*5.9 阿蘇市内牧*5.8 菊陽町久保田*5.8 熊本北区植木町*5.8 南阿蘇村河陰*5.7 菊池市隈府*5.7 大津町引水*5.7 御船町御船*5.7 山都町下馬尾*5.7 氷川町島地*5.7 和水町江田*5.7 玉名市横島町*5.6 玉名市天水町*5.6 菊池市泗水町*5.6 熊本美里町永富*5.6 合志市御代志*5.6 阿蘇市一の宮町*5.5 八代市鏡町*5.5 上天草市大矢野町=5.5 天草市五和町*5.5 5強 南小国町赤馬場*5.4 産山村山鹿*5.4 玉東町木葉*5.4 熊本高森町高森*5.3 南阿蘇村吉田*5.3 八代市千丁町*5.3 八代市松江城町*5.2 甲佐町豊内*5.2 氷川町宮原*5.2 熊本小国町宮原*5.1 八代市平山新町=5.1 山鹿市菊鹿町*5.1 山鹿市鹿央町*5.1 菊池市七城町*5.1 長洲町長洲*5.1 上天草市松島町*5.1 玉名市中尾*5.0 山鹿市鹿本町*5.0 芦北町芦北=5.0 芦北町田浦町*5.0 5弱 阿蘇市波野*4.9 玉名市岱明町*4.9 八代市坂本町*4.9 山都町大平*4.9 山都町今*4.9 山鹿市老人福祉センター*4.8 和水町板橋*4.8 山江村山田*4.8 荒尾市宮内出目*4.7 山鹿市山鹿*4.7 宇城市三角町*4.7 津奈木町小津奈木*4.7 八代市泉支所*4.6 南関町関町*4.6 八代市東陽町*4.5 人吉市西間下町=4.5 あざぎり町須恵*4.5 水俣市牧ノ内*4.5 上天草市姫戸町 (旧2) *4.5				
		大分県 6弱 由布市湯布院町川上*5.9 別府市鶴見=5.5 5強 九重町後野上*5.4 竹田市直入町*5.2 別府市天間=5.0 豊後大野市清川町*5.0 日田市前津江町*5.0 竹田市荻町*5.0 5弱 津久見市宮本町*4.9 日田市上津江町*4.9 別府市上野口町*4.8 竹田市久住町*4.8 佐伯市春日町*4.7 佐伯市鶴見*4.7 佐伯市上浦*4.7 日田市田島*4.7 日田市中津江村栃野*4.6 竹田市会々*4.6 玖珠町帆足=4.6 大分市長浜=4.5 臼杵市臼杵*4.5 佐伯市蒲江蒲江浦=4.5				
		福岡県 5強 柳川市三橋町*5.1 大川市酒見*5.1 久留米市津福本町=5.0 みやま市高田町*5.0 5弱 久留米市城島町*4.9 柳川市大和町*4.9 柳川市本町*4.9 大木町八町牟田*4.9 筑前町篠隈*4.9 みやま市瀬高町*4.8 久留米市小森野町*4.7 久留米市北野町*4.7 筑後市山ノ井*4.7 遠賀町今古賀*4.6 久留米市三藩町*4.6 八女市吉田*4.6 八女市矢部村*4.6 福岡広川町新代*4.6 福岡南区塩原*4.5 八女市黒木町今*4.5 八女市本町*4.5 小郡市小郡*4.5				
		佐賀県 5強 神埼市千代田*5.4 上峰町坊所*5.3 佐賀市川副*5.1 佐賀市久保田*5.0 5弱 佐賀市諸富*4.9 白石町有明*4.9 みやき町北茂安 (旧2) *4.9 佐賀市駅前中央=4.7 佐賀市栄町*4.7 みやき町三根*4.7 小城市芦刈*4.7 神埼市神埼*4.7 佐賀市東与賀*4.6 白石町福田*4.6 白石町福富*4.6				
		長崎県 5強 南島原市北有馬町*5.0 5弱 雲仙市小浜町雲仙=4.9 南島原市深江町*4.9 南島原市加津佐町*4.8 雲仙市国見町=4.7 諫早市多良見町*4.7 島原市有明町*4.6 南島原市口之津町*4.6 南島原市西有家町*4.6				
		宮崎県 5強 椎葉村下福良*5.0 高千穂町三田井=5.0 宮崎美郷町田代*5.0 5弱 高千穂町寺迫*4.8 延岡市北川町川内名白石*4.6 椎葉村総合運動公園*4.6 延岡市北方町卯*4.5				
		愛媛県 5弱 八幡浜市保内町*4.5 鹿児島県 5弱 長島町伊唐島*4.6 長島町獅子島*4.5				

地震 番号	震源時 年 月 日 時 分	震央地名 各地の震度 地震名 (地震の通称) ・備考	緯度	経度	深さ	規模
58	2016 4 16 01 45 (注) 01 46	熊本県熊本地方 熊本県阿蘇地方 熊本県 6弱 合志市竹迫* 5強 菊池市旭志* 5弱 熊本北区植木町* 宇城市松橋町* 熊本南区富合町* 熊本南区城南町* 長崎県 5弱 南島原市加津佐町*	32° 51.7' N 32° 58.0' N	130° 53.9' E 131° 07.0' E	11km 7km	M: 5.9 M: — 合志市竹迫* 菊池市旭志* 熊本北区植木町* 宇城市松橋町* 熊本南区富合町* 熊本南区城南町* 南島原市加津佐町* 菊陽町久保田* 益城町宮園* 熊本東区佐土原* 大津町引水* 西原村小森* 大津町大津* 嘉島町上島* 玉名市天水町* 和水町江田* 南阿蘇村河陽 (旧)* 菊池市泗水町* 合志市御代志* 熊本中央区大江* 玉名市岱明町* 熊本西区春日* 上天草市大矢野町* 玉名市横島町* 長洲町長洲*
59	2016 4 16 03 55	熊本県阿蘇地方 熊本県 6強 産山村山鹿* 5強 阿蘇市波野* 5弱 熊本高森町高森* 大分県 5弱 竹田市荻町*	33° 01.5' N	131° 11.4' E	11km	M: 5.8 産山村山鹿* 阿蘇市波野* 熊本高森町高森* 竹田市荻町*
60	2016 4 16 09 48	熊本県熊本地方 熊本県 6弱 菊池市旭志* 5弱 合志市竹迫* 大津町大津* 大津町引水* 熊本美里町永富* 菊陽町久保田* 玉名市天水町*	32° 50.8' N	130° 50.1' E	16km	M: 5.4 菊池市旭志* 合志市竹迫* 大津町大津* 大津町引水* 熊本美里町永富* 菊陽町久保田* 玉名市天水町*
61	2016 6 16 14 21	内浦湾 北海道 6弱 函館市川汲町* 5弱 函館市泊町*	41° 56.9' N	140° 59.2' E	11km	M: 5.3 函館市川汲町* 函館市泊町*
62	2016 10 21 14 07	鳥取県中部 鳥取県 6弱 北栄町土下* 5強 北栄町由良宿* 5弱 倉吉市岩倉長峯* 鳥取市気高町浜村 (旧)* 琴浦町赤碕* 岡山県 5強 鏡野町上齋原* 5弱 真庭市蒜山下和* 鳥根県 5弱 隠岐の島町城北町*	35° 22.8' N	133° 51.3' E	11km	M: 6.6 北栄町土下* 北栄町由良宿* 倉吉市岩倉長峯* 鳥取市気高町浜村 (旧)* 琴浦町赤碕* 鏡野町上齋原* 真庭市蒜山下和* 隠岐の島町城北町* 倉吉市葵町* 湯梨浜町龍島* 鳥取市鹿野町鹿野* 鳥取市鹿野町鹿野小学校* 湯梨浜町久留* 鳥取市青谷町青谷* 倉吉市関金町大鳥居* 琴浦町徳万* 鳥取市吉方* 琴浦町赤碕中学校* 日吉津村日吉津* 真庭市蒜山下福田* 真庭市禾津* 真庭市蒜山上福田*
63	2016 12 28 21 38	茨城県北部 茨城県 6弱 高萩市下手綱* 5強 日立市十王町友部* 5弱 高萩市安良川* 日立市助川小学校* 日立市役所 (旧)* 常陸太田市金井町* 常陸太田市大中町*	36° 43.2' N	140° 34.4' E	11km	M: 6.3 高萩市下手綱* 日立市十王町友部* 高萩市安良川* 日立市助川小学校* 日立市役所 (旧)* 常陸太田市金井町* 常陸太田市大中町*

● 付録 10. 長周期地震動階級関連解説表

長周期地震動階級関連解説表（高層ビルにおける人の体感・行動、室内の状況等との関連）

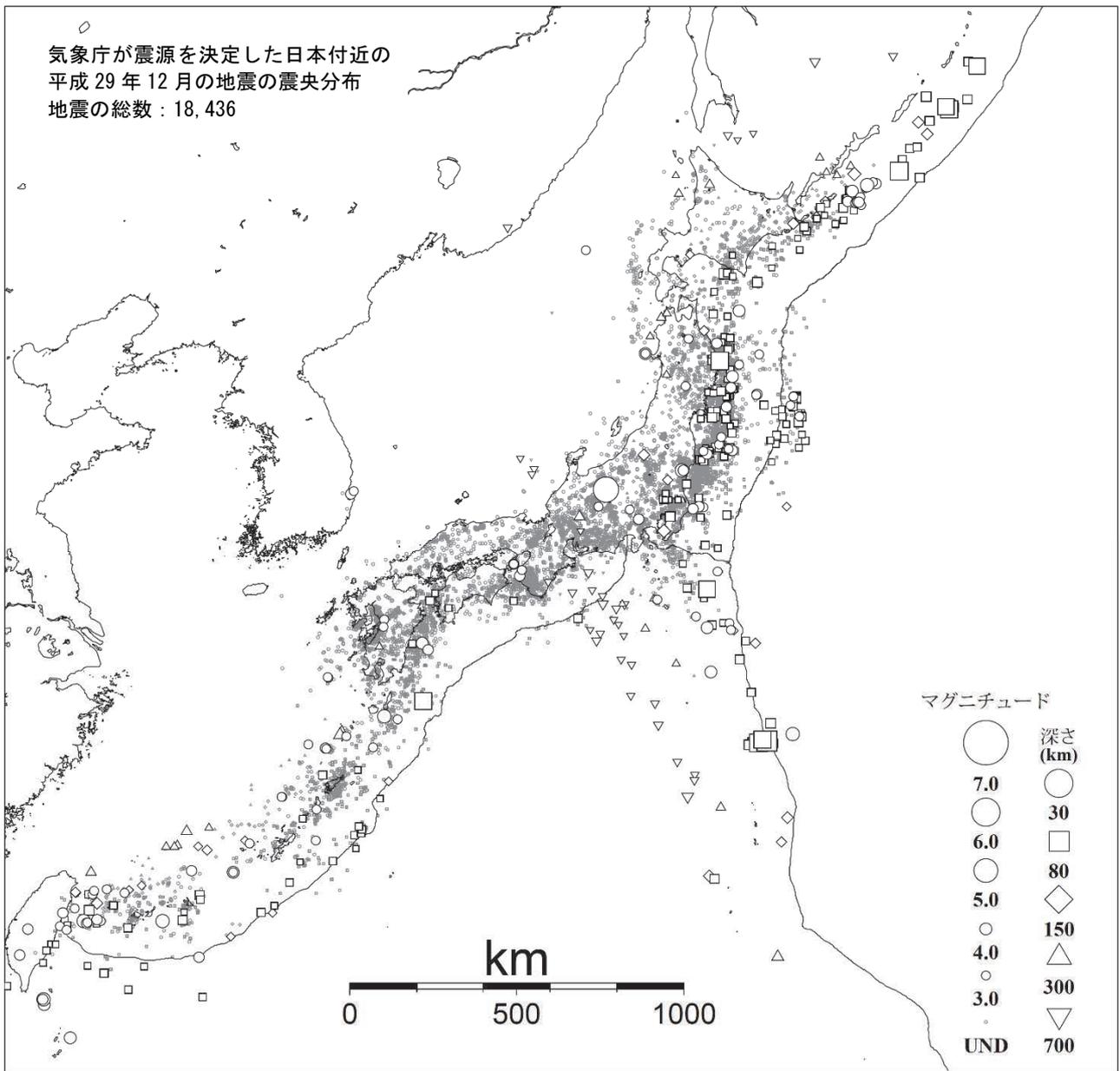
長周期地震動階級	人の体感・行動	室内の状況	備考
階級 1	室内にいたほとんどの人が揺れを感じる。驚く人もいる。	ブラインドなど吊り下げものが大きく揺れる。	—
階級 2	室内で大きな揺れを感じ、物に掴まりたいと感じる。物につかまらないと歩くことが難しいなど、行動に支障を感じる。	キャスター付き什器がわずかに動く。棚にある食器類、書棚の本が落ちることがある。	—
階級 3	立っていることが困難になる。	キャスター付き什器が大きく動く。固定していない家具が移動することがあり、不安定なものは倒れることがある。	間仕切壁などにひび割れ・亀裂が入ることがある。
階級 4	立っていることができず、はわかないと動くことができない。揺れにほんろうされる。	キャスター付き什器が大きく動き、転倒するものがある。固定していない家具の大半が移動し、倒れるものもある。	間仕切壁などにひび割れ・亀裂が多くなる。

長周期地震動階級関連解説表の使用にあたっての留意事項

- （1）長周期地震動階級関連解説表は、周期 1.5 秒程度から周期 8 秒程度までの一般的な高層ビルを対象として、各長周期地震動階級において発生が予想される被害のうち比較的多く見られるものを記述したものです。実際にはこれより大きな被害が発生することや、小さな被害にとどまることがあります。また、それぞれの長周期地震動階級で示されている全ての現象が発生するわけではありません。
- （2）同じ長周期地震動階級であっても、個々の建物や構造物の状態や構造、地震動の周期や継続時間などの性質の違いにより発生する被害は異なります。
- （3）長周期地震動階級関連解説表は、主に近年発生した長周期地震動による被害の事例から作成したものです。今後の被害事例の蓄積に応じて内容を点検し、新たな知見が得られたり、建物・構造物の耐震性の向上等によって実状と合わなくなった場合には内容を更新していくものです。
- （4）長周期地震動階級関連解説表では、被害などの量を概数で表せない場合に、一応の目安として、次の副詞・形容詞を用いています。

用語	意味
わずか	数量・程度が非常に少ない。ほんの少し。
大半	半分以上。ほとんどよりは少ない。
ほとんど	全部ではないが、全部に近い。
が（も）ある が（も）いる	量的には多くはなく、その数量・程度の概数の表現が難しいが、当該震度階級に特徴的に現れ始める場合に使用。
多くなる	量的な表現が難しいが、下位の階級より多くなることを表す。

気象庁が震源を決定した日本付近の
平成 29 年 12 月の地震の震央分布
地震の総数 : 18,436



(M3.0以上の地震については白抜きで示す)